

Printia *≈ LASER*

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-6010

ページプリンタ

取扱説明書

製品を安全に使用していただくために

本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

ESC/P、ESC/Pageは、セイコーエプソン(株)の登録商標です。

VP-1000、LP-8000Sは、セイコーエプソン(株)の商標です。

PC-PR201、PC-9800シリーズ、PC-9801シリーズ、PC-9821シリーズは、日本電気(株)の商標です。

IBM PS/55シリーズ、PS/Vシリーズは、米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

IntranetWare、NetWareは、米国ノベル社の登録商標です。

AdobeおよびAcrobatは、アドビシステムズ社の商標です。

True Type フォントは、米国アップルコンピュータ社の登録商標もしくは商標です。

PowerPC、PowerPC603eは、米国International Business Machines Corporationの商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて



この装置は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合しております。

国際エネルギースタープログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。

対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-6010をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタは、最大25枚/分（A4サイズ横送り）の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

1999年8月

本文中の略語について

Microsoft® Windows® operating system Version 3.1は、本文中ではWindows 3.1と表記しています。
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0は、本文中ではWindows NT4.0と表記しています。
Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版をWindows 98、Microsoft® Windows® 95 operating system日本語版をWindows 95と表記しています。両方を同時に示す場合は、Windows 98/95と表記しています。

警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本定格電源は100V、9Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります。危険です。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。



警告



風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

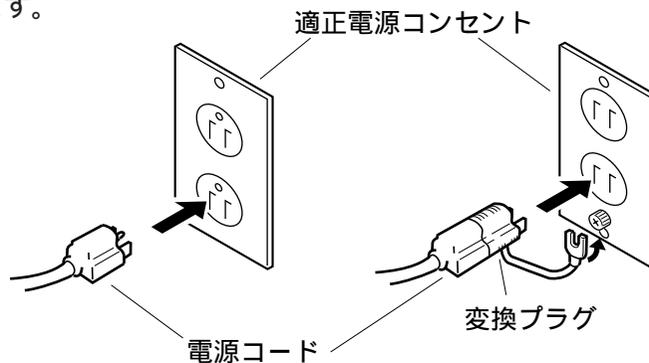
感電・火災の原因となります。



本プリンタに添付されている平行3ピンの電源コードを使用してください。
3ピンの電源コンセントが近くにない場合は、添付の変換プラグを使用し、
変換プラグから出ている緑色のアース線を必ずいずれかに取り付けてくださ
い。

- ・ 電源コンセントのアース線
- ・ 銅片などを650mm 以上地中に埋めたもの
- ・ 接地工事（第3種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因と
なります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、
必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源ブ
ラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないで
ください。

火災や感電または故障の原因となります。



近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさま
るのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因とな
ります。



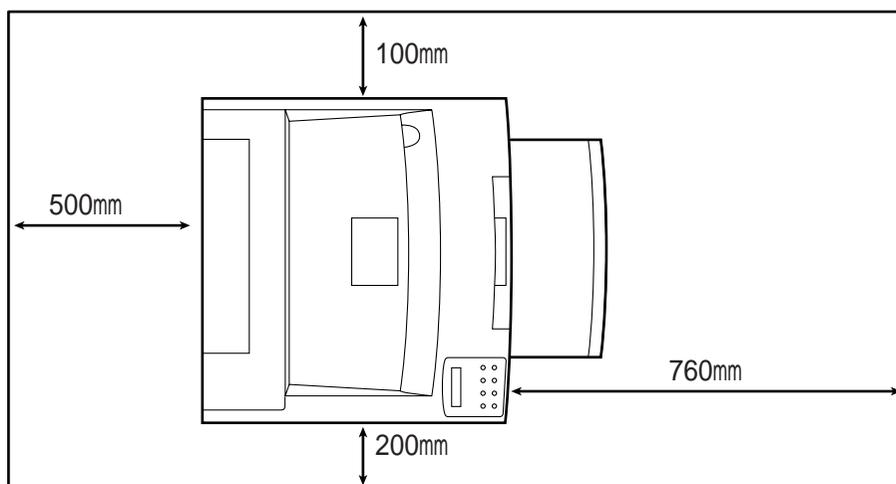
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から200mm以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な500mm以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

注意



プリンタは、重さ約40kg（フルオプション、消耗品と用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

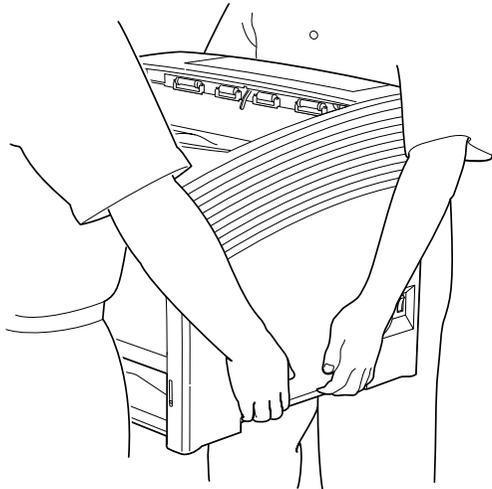
プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。



プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約25kgあります。プリンタを動かす場合は必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（操作パネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下によりけがの原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

故障の修理は、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



警告



電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターに修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っばると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があります、けがの原因となることがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。



1カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- ・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- ・電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。
- ・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターまでご連絡ください。



長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意



プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのプロセスカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。



トナーは目や口に入らないように注意してください。

プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

本書の構成

本書では、本プリンタをお使いになる前の準備、日常の操作のしかた、設定値の変えかた、日常の保守のしかたなどについて説明します。

本書は、プリンタの設置や操作について説明する「プリンタ編」と、プリンタドライバのインストールおよび添付のユーティリティについて説明する「ソフトウェア編」からなります。

【プリンタ編】

目次	内容
第1章 お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。
第2章 用紙について	プリンタで使用できる用紙と、用紙の保管のしかたについて説明します。
第3章 プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順の概要について説明します。
第4章 外部との接続	添付品の取り付けかたやケーブル類の接続について説明します。
第5章 日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることについて説明します。
第6章 オペレータパネルの操作	オペレータパネルの見かたと操作について説明します。
第7章 設定値を変える	プリンタが持つ機能と、その設定のしかたについて説明します。
第8章 こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
第9章 オプションの取り付け	オプションの取り付けかた、取り外しかたを説明します。
付録	プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることについて説明します。

【ソフトウェア編】

本書には第1章～第3章と付録を掲載しています。第4章～第8章()は、PDF形式のソフトウェアマニュアルでのみ提供しています。ソフトウェアマニュアルについては、「ソフトウェアマニュアルの使いかた」((14)ページ)をご覧ください。

目次	内容
第1章 インストールの概要	添付のCD-ROMに収められたソフトウェア類の概要と、これらのインストールの概要について説明します。
第2章 プリンタドライバのインストール	パソコンにプリンタドライバをインストールする操作手順について説明します。
第3章 プリンタドライバの設定	パソコンにインストールしたプリンタドライバの設定方法について説明します。
第4章 Printianavi ネットワークポート モニタ	プリンタをLAN(TCP/IP)で接続してパソコンから直接印刷できるようにするユーティリティのインストール方法と設定方法について説明します。
第5章 Printianavi ネットワーク連携 ユーティリティ	サーバに接続したプリンタの状態や制御をクライアント側で行えるようにするユーティリティのインストールと設定方法について説明します。
第6章 Printianavi マネージャ	プリンタの情報参照や環境設定などを、パソコン側で行えるようにするユーティリティのインストール方法と設定方法について説明します。
第7章 Printianavi ネットワーク設定 ユーティリティ	プリンタをLAN経由で利用するために必要な設定をパソコン側で行えるようにするユーティリティのインストール方法と設定方法について説明します。
第8章 NetWare印刷の設定	NetWare環境でプリンタを使用するときに必要な設定について説明します。
付 録	各ユーティリティのインストールの概要や、Printianavi使用中に表示されるエラーメッセージの内容について説明します。

本書の用語

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

 **お願い** 本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。
操作する前に必ずお読みください。

 **ガイド** 本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。
必要に応じてお読みください。

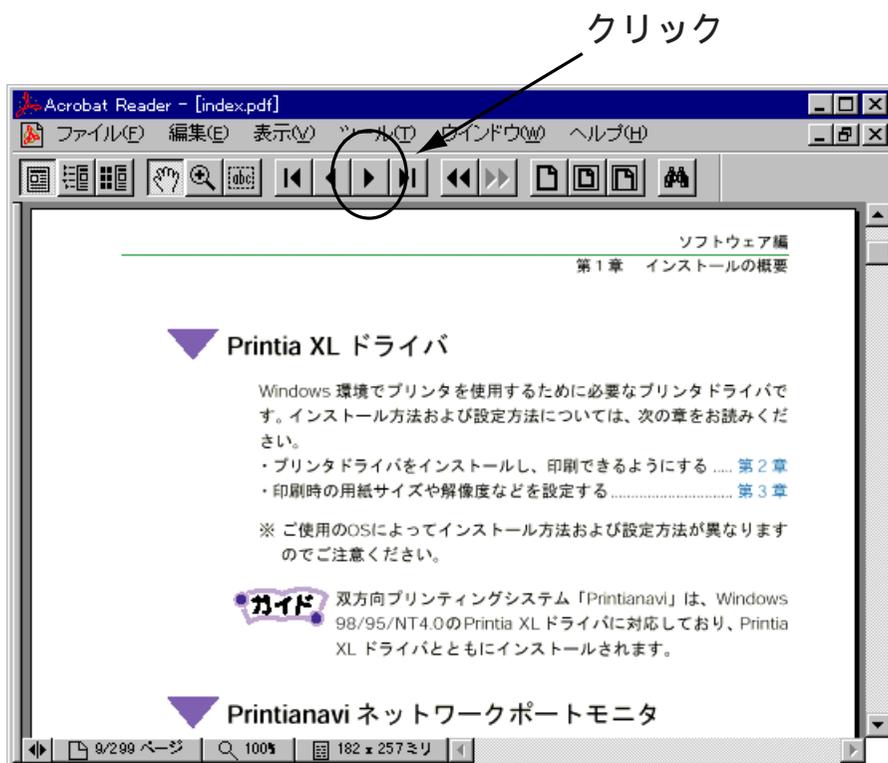
ソフトウェアマニュアルの使いかた

「ソフトウェア編」の第4章～第8章は、ソフトウェアマニュアルという名称のPDF形式のファイルで提供しています。PDF形式のファイルは、添付のAdobe Acrobat Reader 3.0Jで参照できるようになっています。

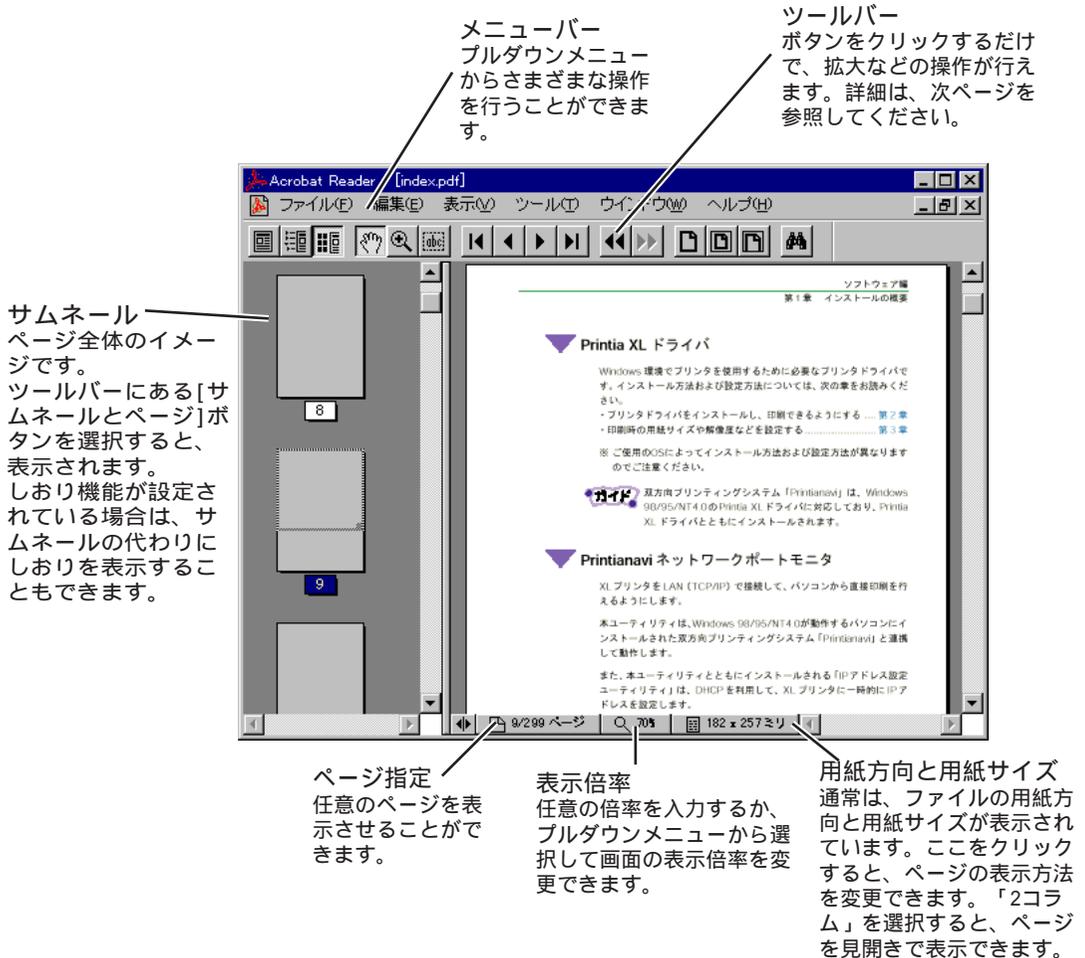
Acrobat Reader 3.0J の基本操作

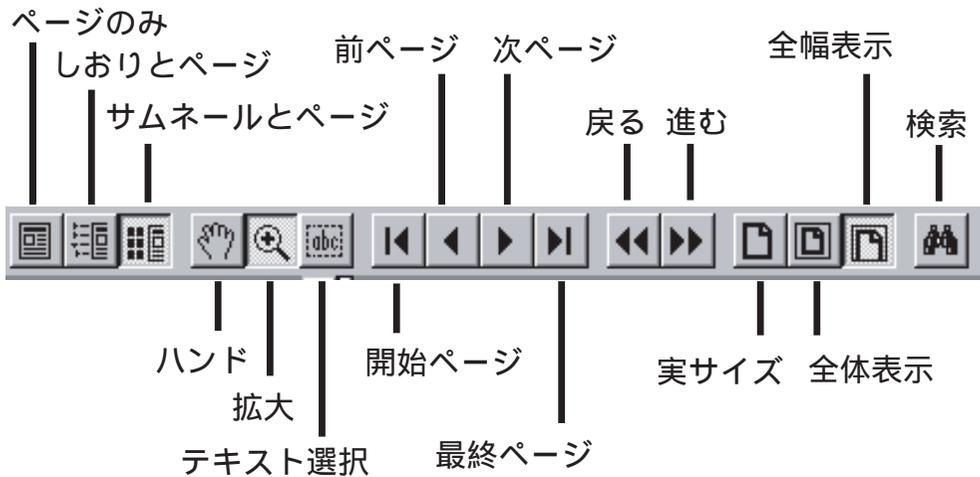
ここでは、オンラインマニュアルを利用するために必要な操作や便利な機能を簡単に紹介します。

 をクリックすると、次のページを表示します。



Acrobat Reader 3.0Jを使用すると、次のような画面が表示されます。ボタンをクリックして、必要な操作を行ってください。





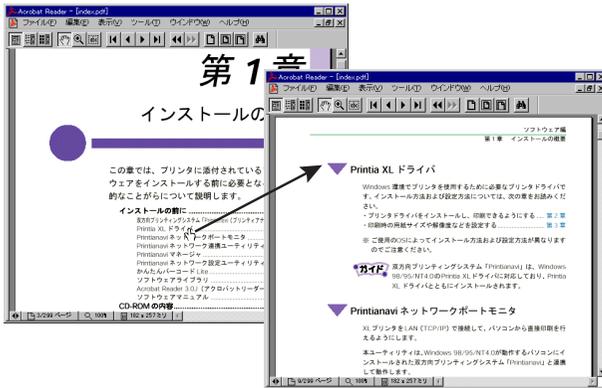
- ページのみ ページだけをウィンドウに表示します。
- しおりとページ ウィンドウの左側にしおりまたはサムネールを表示し
サムネールとページ す。しおりの見出しやサムネールをクリックすると、そのページを表示することができます。
- ハンド 表示方法を「コラム」や「拡大表示」に設定している場合に有効です。このボタンを押すと表示されるカーソルで画面をドラッグすると、表示する位置を変更することができます。
- 拡大 このボタンを選択後、拡大させたい箇所をドラッグして囲んだり、ページ上の任意の場所をクリックしたりすると拡大表示します。同じ操作を繰り返すと、最大800%まで拡大します。
- テキスト選択 ページ上のテキストを選択します。
- 開始ページ 開始ページへ移動します。
- 前ページ 前ページへ移動します。
- 次ページ 次ページへ移動します。
- 最終ページ 最終ページへ移動します。
- 戻る、進む 1つ前の状態に戻したり、それを取り消したりします。
- 実サイズ 100%の倍率で表示します。
- 全体表示 ウィンドウいっぱいにページを表示します。
- 全幅表示 ページの幅いっぱいにウィンドウに表示します。
- 検索 ファイル内の文字を検索します。文字がグラフィックイメージになっている場合、この機能は使用できません。

Acrobat Reader の便利な機能



印刷

オンラインマニュアルを印刷する場合は、〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択し、〔印刷〕ダイアログボックスで印刷部数や印刷する範囲を指定します。



リンク

リンクとは、設定されているページにジャンプする機能です。マウスポインタが \rightarrow に変わる場所をクリックすると、リンク先のページを表示します。



見開き表示

〔用紙方向と用紙サイズ〕をクリックして「2 コラム」を選択すると、ページを見開きで表示します。

1. クリック
2. 「2 コラム」をクリック



しおり

見出しをクリックすると、そのページを表示します。▶が表示されている場合、そこをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

目次

はじめに	(1)
本文中の略語について	(1)
警告表示マークについて	(1)
安全上のご注意	(2)
プリンタ設置および移動時のご注意	(2)
プリンタ使用時のご注意	(6)
プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意	(10)
本書の構成	(11)
本書の用語	(13)
ソフトウェアマニュアルの使いかた	(14)
Acrobat Reader 3.0J の基本操作	(14)
Acrobat Reader の便利な機能	(17)

プリンタ編 1

第 1 章 お使いになる前に	3
製品の確認 (梱包されている製品)	4
本プリンタの特長	5
各部の名称と機能	6
いろいろな印刷のしかた	9
Printia XL ドライバで印刷する	9
エミュレーションモードで印刷する	9
コマンドでエミュレーションモードを切り替える	10
エミュレーションモードを使う上での留意事項	11
オプション品	13
サプライ用品	15
第 2 章 用紙について	17
使用できる用紙	18
使用できない用紙	20
用紙の保管上のご注意	21

第3章 プリンタの設置	23
設置上のお願い	24
プリンタの寸法	25
設置手順	26
第4章 外部との接続	29
パソコンとの接続	30
LAN経由の接続	32
パソコンと接続するときの留意事項	34
電源コードの接続	36
第5章 日常のメンテナンス	39
電源の投入と切断	40
用紙のセット	42
給紙トレイに用紙をセットする	42
給紙カセットに用紙をセットする	45
排紙トレイをセットする	50
プロセスカートリッジの交換	51
プロセスカートリッジを取り外す	54
プロセスカートリッジを取り付ける	55
プロセスカートリッジの取り扱いと保管	58
取り扱い上のご注意	58
保管上のご注意	58
プリンタの清掃	59
プリンタ外部の清掃	59
プリンタ内部の清掃	60
プリンタを長時間使用しないとき	63
プリンタを移動するとき	64
近くに移動する	65
梱包して運搬する	68

第6章 オペレータパネルの操作	69
液晶ディスプレイの表示内容	70
オペレータパネルを操作する	72
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	72
印刷方向と給紙口を一時的に切り替える	72
縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数、両面印刷を 一時的に変更する(メニュー印刷設定モード)	76
プリンタをリセットする	81
印刷を中止する	81
未印刷データを強制的に印刷する	82
第7章 設定値を変える	85
セットアップ項目について	86
メニュー印刷 ~ 設定内容を印刷する	86
テスト印刷 ~ テスト印刷をする	86
エミュレーション設定 ~ 動作モードを切り替える	87
印刷設定 ~ 印刷のときの設定を変える	87
EPモード設定 ~ ESC/Pモードの印刷条件を設定する	91
EGモード設定 ~ ESC/Pageモードの印刷条件を設定する	93
PCモード設定 ~ PC-PR201モードの印刷条件を設定する	94
環境設定 ~ 日常の操作に必要な設定値を変える	97
補助機能設定 ~ 補助機能を設定する	100
登録 ~ 設定値を登録する	105
保守モード ~ 保守モードを設定する	105
設定の変更手順(セットアップの操作方法)	106
基本的な操作	106
選んだ項目に設定する操作	106
数値を設定する操作	108
メニュー印刷やテスト印刷を行う操作	108
HEX ダンプ印刷を行う操作	109
セットアップ項目一覧	110
第8章 こんなときには	119
故障かなと思ったとき	120
紙づまりになったとき	122
紙づまりの取り除きかた	123

印刷品質が低下したとき	132
エラーメッセージが表示されたとき	136
第9章 オプションの取り付け	141
オプション取り付け上のご注意	142
プリンタ RAM モジュールの取り付けかた	142
プリンタ RAM モジュールを取り付ける	143
プリンタ RAM モジュールを取り外す	145
両面ユニットの取り付けかた	146
両面ユニットを取り付ける	147
両面ユニットを取り外す	149
拡張給紙ユニットの取り付けかた	150
拡張給紙ユニットを取り付ける	151
拡張給紙ユニットを取り外す	154
付録	157
プリンタの仕様	158
基本仕様	158
インタフェース仕様	159
用紙関係	160
コマンド (機能コード) 一覧	162
ESC/P モードコマンド一覧表	162
ESC/Page モードコマンド一覧表	164
PC-PR201 モードコマンド一覧表	167
キャラクタコード一覧	169
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	169
ESC/Page モードキャラクタコード一覧表	170
PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表	174
J I S -90 第一水準漢字一覧表	177
J I S -90 第二水準漢字一覧表	180
J I S 漢字コードについてのご注意	183
アフターサービスについて	188

ソフトウェア編 1

第1章 インストールの概要 3

インストールの前に 4

双方向プリンティングシステム

「Printianavi (プリンティアナビ)」 6

Printia XL ドライバ 9

Printianavi ネットワークポートモニタ 9

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ 10

Printianavi マネージャ 10

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ 12

かんたんバーコード Lite 13

ソフトウェアライブラリ 14

Acrobat Reader 3.0J (アクロバットリーダー) 14

ソフトウェアマニュアル 15

CD-ROM の内容 16

Printianavi インストーラ 17

インストールの手順と設定の概要 18

セントロ接続の手順 19

LAN (TCP/IP) 接続の手順 20

セントロ接続の印刷設定 22

プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境設定

(管理者のみ) 23

LAN 接続の印刷設定 24

プリンタ共有サーバとしての設定 26

クライアントからの印刷設定 27

第2章 プリンタドライバのインストール... 29

インストール 30

Windows 98/95 のとき 30

Windows NT4.0 のとき 46

Windows 3.1 のとき 51

プリンタを共有する 54

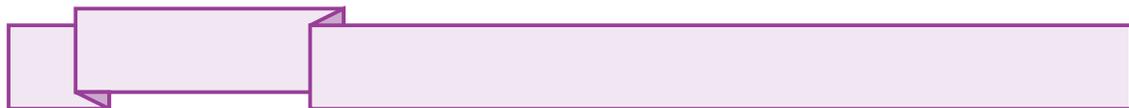
Windows 98/95 のとき 54

Windows NT4.0 のとき 56

印刷先ポートの追加と変更	57
Windows 98/95 のとき	57
Windows NT4.0 のとき	61
Windows 3.1 のとき	64
新しいドライバに置き換えるとき	65
Windows 98/95 のとき	65
Windows NT4.0 のとき	66
Windows 3.1 のとき	66
代替ドライバとネットワークインストール	67
代替ドライバのインストール (Windows NT4.0 のみ) ...	67
ネットワークインストール	70
第3章 プリンタドライバの設定	75
設定画面について	76
Windows 98/95 の設定画面	76
Windows NT4.0 の設定画面	80
Windows 3.1 の設定画面	87
設定の詳細	90
用紙の設定	90
N-up 印刷 (Windows 98/95/NT4.0)	94
プリンタドライバの設定でできる印刷例 (Windows 98/95/NT4.0)	95
きれいに印刷する	99
高速に印刷する	103
両面印刷をする (両面印刷対応プリンタのみ)	105
Printianavi の設定 (Windows 98/95/NT4.0)	107
プリンタドライバの情報を確認する	113
オプション機能を設定する	114
設定項目一覧	117
Windows 98/95 の設定項目一覧	117
Windows NT4.0 の設定項目一覧	123
Windows 3.1 の設定項目一覧	129

付 録	131
XL ドライバディスクの作成	132
NetWare 環境での印刷設定	133
メッセージ一覧	139
プリンター一覧 (Printianavi マネージャ).....	139
プリンタステータス (Printianavi マネージャ、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ、 Printia XL ドライバ).....	141
Printianavi によるメッセージ表示一覧	146
ネットワーク用語の解説	156
Printianavi トラブルシューティング	158
 索 引	 173

プリンタ編



第1章

お使いになる前に

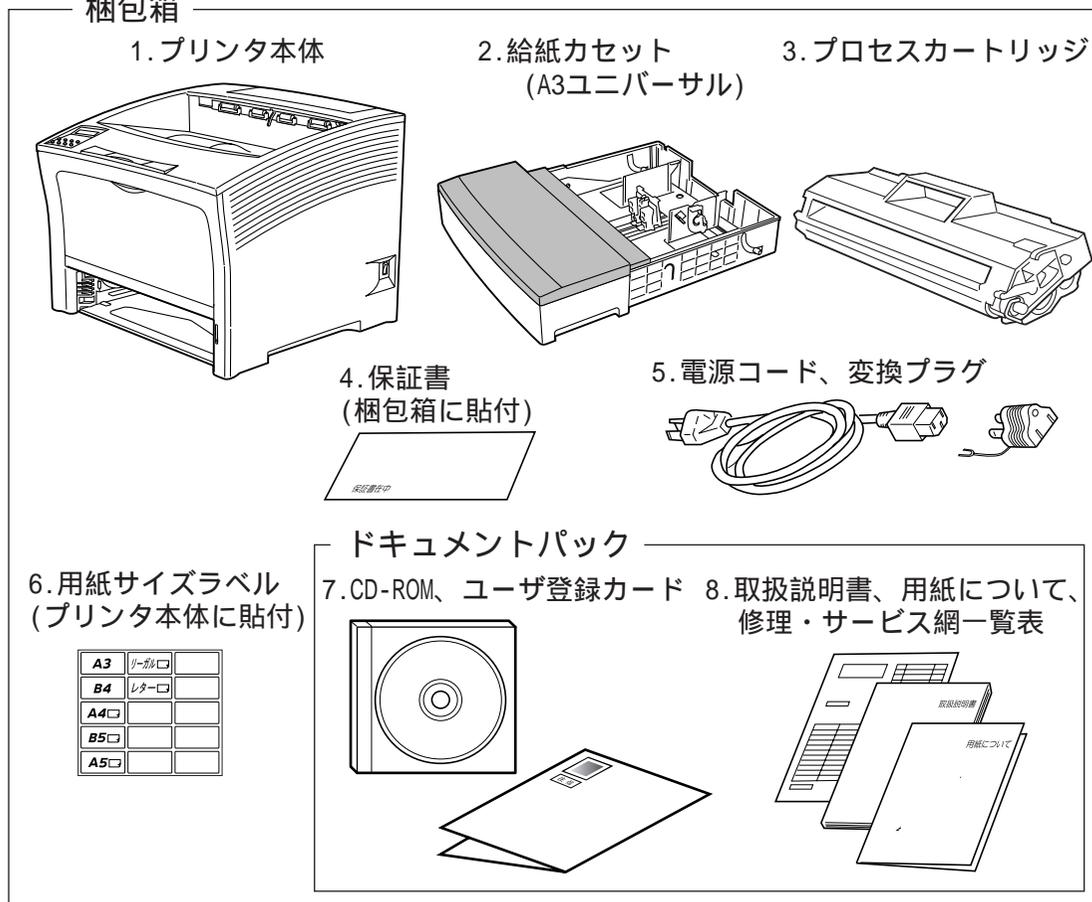
この章では、プリンタの特長や各部の名称と機能、オプション品やサプライ用品など、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

製品の確認（梱包されている製品）.....	4
本プリンタの特長	5
各部の名称と機能	6
いろいろな印刷のしかた	9
Printia XL ドライバで印刷する	9
エミュレーションモードで印刷する	9
コマンドでエミュレーションモードを切り替える	10
エミュレーションモードを使う上での留意事項	11
オプション品	13
サプライ用品	15

製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

梱包箱



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(プリンタケーブル)は添付されていません。パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。(「プリンタケーブルについて」14ページ参照)

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておく便利です。

本プリンタの特長

1

Windows 98/95/3.1 および Windows NT4.0 対応

Printia XL ドライバにより、各社パソコンの Windows 環境のもとで美しくスピーディな印刷が行えます。また Windows 98/95 の Plug & Play に対応しています。

2

双方向プリンティングシステム「Printianavi(プリンティアナビ)」と
プリンタ管理ユーティリティ「Printianavi マネージャ」を

標準添付(Windows NT4.0/Windows 98/95 対応)

プリントサーバとプリンタとの双方向通信機能、およびクライアントとプリントサーバとのメッセージ連携機能により、従来のパソコン用プリンタでは実現できなかったエラーリカバリやプリンタの集中管理等の信頼性に優れたプリンティングシステムを提供します。

3

多彩な動作モード(ESC/P、ESC/Page、PC-PR201)

動作モードを切り替えることによって、次のプリンタの動作をエミュレーションして印刷することができます。

- ・ESC/P モード : セイコーエプソン 24 ドットプリンタ VP-1000 相当
- ・ESC/Page モード : セイコーエプソン ページプリンタ LP-8000S 相当
- ・PC-PR201 モード : 日本電気 PC-PR201 系シリアルプリンタ相当

4

優れた印刷品質

縦横 1 インチ当たり 480/600 ドットの高解像度エンジンと富士通独自の FEIT (Fujitsu Enhanced Image Technology) 機能により、ギザギザの少ない美しい印刷結果を得ることができます。

5

高速印刷

最大 25 枚 / 分(A4)の高速エンジンに、Power PC™ コントローラを搭載し、さらに True Type フォントの高速印刷モードを採用することにより、大幅なスループット向上を実現しています。

6

多彩な給紙機能

拡張給紙ユニット、両面ユニット(いずれもオプション)を取り付けると次のような給紙機能が使用できます。

- ・異なったサイズ of 用紙を 4 種類まで同時にセットすることができます。
- ・標準 700 枚、最大 1,700 枚 of 用紙を一度にセットできます。
- ・両面ユニットを装備することで自動的に両面印刷ができます。

7

ネットワーク対応

10BASE-T および 100BASE-TX 対応の高速 LAN ポートを標準装備しました。Printianavi 対応の専用ネットワークポートモジュールにより、Windows NT4.0/Windows 98/95 パソコンから LAN 経由で直接印刷できます。

またマルチプロトコル機能により IntranetWare/Netware や Windows NT 対応のサーバプリンタとしてご利用になれます。

8

パワーセーブ機能により消費電力を節約

9

トナーセーブ機能によりトナーの消費量を節約

各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

前面

オペレータパネル
操作に必要なスイッチと、メッセージが表示される液晶ディスプレイがあります。

排紙部
印刷された用紙がおもて面を下にして排出されます。

排紙トレイ・排紙止め
B4やA3などの長い用紙に印刷するとき 사용합니다。

給紙トレイ
開いて用紙をセットします。A4の用紙を横にセットした場合は、閉じたままで使用できます。

電源スイッチ
電源を入/切します。

給紙カセット (A3ユニバーサル)
A5 ~ A3サイズまでの用紙をセットします。

用紙残量メータ
給紙カセット内の用紙残量の目安が表示されます。

背面

通風口
プリンタ内部の加熱を防ぐため、熱を逃します。

サイドカバー
両面ユニット(オプション)やプリンタRAMモジュール(オプション)を取り付けるときに外します。

背面カバー
両面ユニット(オプション)を取り付けるときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。

電源コードコネクタ
電源コードを差し込むコネクタです。

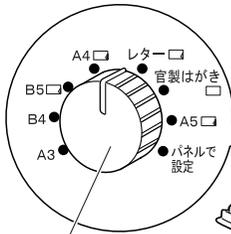
LANケーブルコネクタ
プリンタをLAN経由で接続するコネクタです。

プリンタケーブルコネクタ
パソコンとパラレルインタフェースで接続するためのコネクタです。

■ 内部

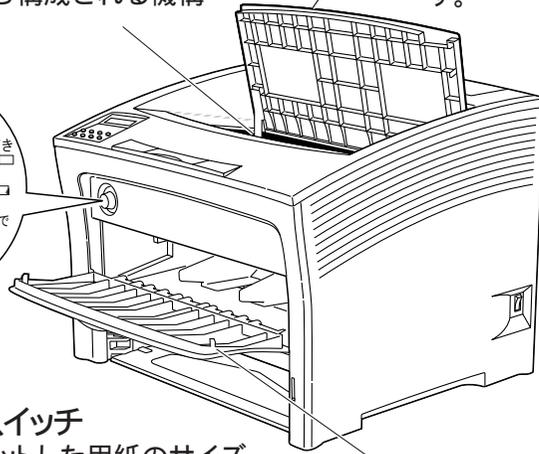
プロセスカートリッジ
 感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成される機構です。

上部カバー
 プロセスカートリッジを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。



給紙トレイ
用紙サイズスイッチ
 給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定するスイッチです。
 『パネルで設定』の位置にするとオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。

給紙トレイ

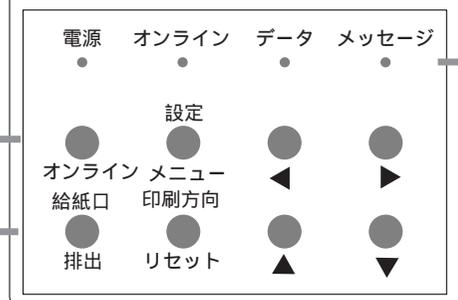


オペレータパネル

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

液晶ディスプレイ

プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。
(1行16文字の2段に表示されます。)



オンラインスイッチ

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。一時的な設定(*)を終了させる機能もあります。

メニュー/設定スイッチ

プリンタの動作条件を設定します。

給紙口スイッチ

給紙口を選択します。

排出スイッチ

プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。

電源ランプ (緑色)

電源の投入/切断状態を知らせます。

点灯: 電源投入
消灯: 電源切断

オンラインランプ (緑色)

プリンタがオンライン状態かオフライン状態かを知らせます。

点灯: オンライン状態
(パソコンからのデータを受け取ることができる状態)
消灯: オフライン状態
(パソコンからのデータを受け取ることができない状態)

データランプ (緑色)

プリンタ内に印刷するデータがあるかどうかを知らせます。

点灯: データが残っている
点滅: データをパソコンから受信中
消灯: データがない

点灯または点滅中に電源を切断すると、そのデータは失われます。

メッセージランプ (オレンジ色)

印刷できない状態にあることを知らせます。

点灯: エラーやアラームが発生し、印刷できない状態
(エラー内容を知らせるメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。メッセージに従って対処してください。詳しくは、「エラーメッセージが表示されたとき」(136ページ)を参照してください。)

消灯: 印刷できる状態

印刷方向スイッチ

印刷方向を選択します。

リセットスイッチ

プリンタを電源投入時の状態にし、未印刷データを消去します。

*: 一時的な設定については、「オペレータパネルを操作する」(72ページ)を参照してください。



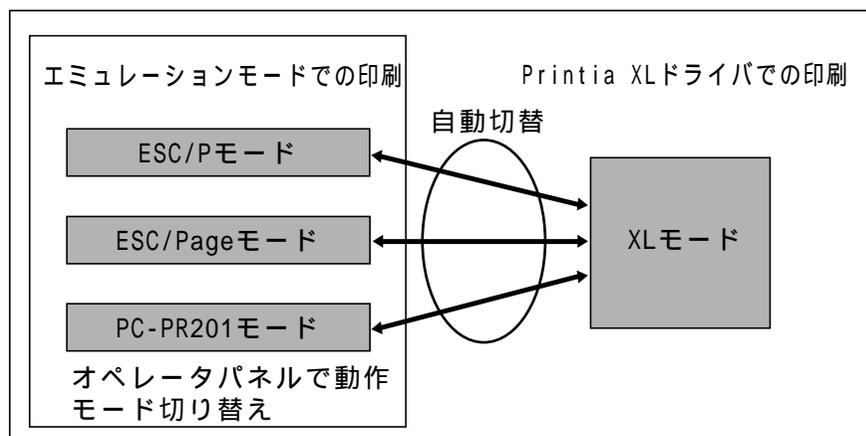
「設定」「▲」「▼」「◀」「▶」の各スイッチについては、「設定の変更手順(セットアップの操作方法)」(106ページ)を参照してください。

いろいろな印刷のしかた

アプリケーションソフトからの印刷のしかたについて説明します。

▼ Printia XL ドライバで印刷する

Windows対応のアプリケーションソフトから印刷する場合、Printia XL ドライバ (FUJITSU XL-6010) を選択します。プリンタの設定は、Windowsのダイアログボックスの設定内容に従います。Windowsからの印刷が終了すると、自動的に電源投入時またはオペレータパネルで選択した元の動作モードに戻り、エミュレーションモードでの印刷が可能になります。



ガイド コマンドで動作モードを切り替えた後に、Printia XL ドライバで印刷すると、切り替える前の動作モードに戻ります。

▼ エミュレーションモードで印刷する

本プリンタは、富士通FMVシリーズや各社AT互換機および日本電気PC-9800シリーズのパソコンと接続して、次のプリンタに対応したアプリケーションソフトから印刷することができます。

- ・ESC/Pモード : セイコーエプソン ドットプリンタ VP-1000 相当
- ・ESC/Pageモード : セイコーエプソン ページプリンタ LP-8000S 相当
- ・PC-PR201モード : 日本電気PC-PR201系シリアルプリンタ相当

動作モード (エミュレーションモード) は、通常、アプリケーションソフトが対応しているモードに合わせて、プリンタのオペレータパネルで切り替えます。オペレータパネルで切り替える方法については、「第7章 設定値を変える」(85ページ)を参照してください。

▼ コマンドでエミュレーションモードを切り替える

ここでは、プリンタ制御コード(コマンド)で動作モードを切り替える方法について説明します。使用するアプリケーションに合わせて、動作モードを自動的に切り替えることができますので、サーバプリンタとして使用する場合などに便利です。IntranetWare や NetWare、Windows NT などのネットワーク OS を使用して、印刷ジョブの前後にプリンタ制御コードを付加する方法については、各ネットワーク OS のマニュアルをお読みください。

■ エミュレーションモードを切り替える

エミュレーションモードを切り替えるには、次のコマンドを発行します。($\times \times_{16}$ は、16 進数表記での値です。)

【形式】

ESC + / + イ + @ + DEL + ESC + DEL + NULL + NULL + SOH + Pa
 $1B_{16} \ 2F_{16} \ B2_{16} \ 40_{16} \ 7F_{16} \ 1B_{16} \ 7F_{16} \ 00_{16} \ 00_{16} \ 01_{16} \ \times \times_{16}$

【解説】

- ・ Pa は 1 バイトの選択パラメータで、切り替えるエミュレーションモードを指定します。各エミュレーションごとの Pa の値は次のとおりです。

ESC/P : Pa = 09_{16}
 ESC/Page : Pa = 06_{16}
 PC-PR201 : Pa = 04_{16}

また、印刷ジョブ終了後に、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード(デフォルトモード)に戻す場合には、次の Pa を使用します。

デフォルトモード : Pa = 05_{16}

- ・ パラメータエラーの場合、コマンドを無視します。
- ・ エミュレーションモードを切り替えるとき、エミュレーションの動作状態は初期化されます。
- ・ 設定されたエミュレーションモードは、オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されます。(「液晶ディスプレイの表示内容」70 ページ)
- ・ コマンドでエミュレーションモードを切り替えた後に、Printia XL ドライバでの印刷を行ったり、オペレータパネルでプリンタをリセットすると、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード(デフォルトモード)に戻ります。(「プリンタをリセットする」81 ページ参照)

切り替えコマンドの使い方

複数のエミュレーションの印刷やPrintia XLドライバの印刷を行う場合、各印刷ジョブの前後でエミュレーションモードを切り替えます。デフォルトモードで印刷を行うアプリケーションソフトの印刷では、エミュレーションモードの切り替えコマンドは必要ありません。

お願い

切り替えコマンドは、本プリンタ以外へは発行しないでください。

エミュレーションモードを使う上での留意事項

エミュレーションモードは、本プリンタに、セイコーエプソンの24ドットマトリクスプリンタVP-1000(ESC/Pモード)およびページプリンタLP-8000S(ESC/Pageモード)、日本電気のPC-PR201系シリアルプリンタ(PC-PR201モード)と同等の動作をさせるものです。ただし、まったく同じ動作をするわけではなく、多少の違いがあります。

次に、各エミュレーションモードを使う場合の留意事項について説明します。

セイコーエプソン VP-1000 との違い

ESC/P エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製のVP-1000と、次の点で違います。

- ・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
- ・用紙方向が縦の場合と横の場合で、印刷可能領域が異なります。印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域は、「用紙関係」(160ページ)をご覧ください。

■ セイコーエプソン LP-8000S との違い

ESC/Page エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製の LP-8000S とは、次の点で違います。

- ・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
- ・WindowsのLP-8000Sプリンタドライバでの80%縮小は、75%縮小で印刷します。
- ・登録、または記憶を行うコマンドは、メモリ容量の違いから、「登録メモリオーバー」エラーになることがあります。

■ PC-PR201 系プリンタとの違い

PC-PR201エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、日本電気製のPC-PR201系シリアルプリンタとは以下の点が違います。

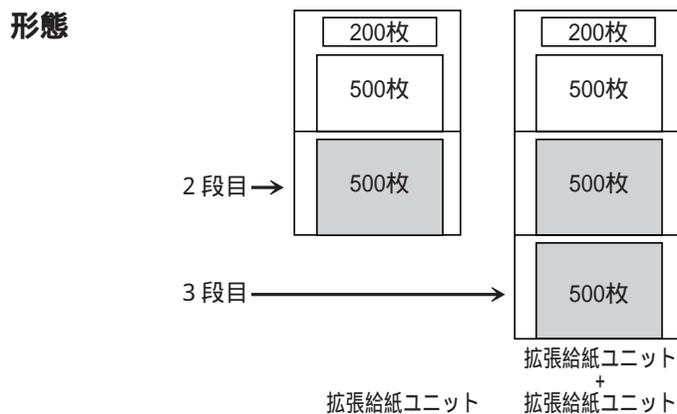
- ・文字パターンの大きさ、デザイン等が多少異なります。
- ・用紙方向が縦の場合と横の場合で印刷可能領域が異なります。印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域は、付録の「プリンタの仕様」の「用紙関係」(160 ページ)をご覧ください。
- ・WindowsのPC-PR201系プリンタドライバや市販のソフトウェアで用紙位置を中央に設定した場合は、印刷位置がずれたり、最後の方の文字が次の行に印刷されたりします。このようなときは、「PCモード設定」の「136/LM設定」を「136桁モード」に設定し、「用紙位置設定」を「中央」に設定してください。(「第7章 設定値を変える」(85 ページ)参照)

オプション品

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

■ 拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF50K1	2 段目、3 段目の給紙ユニットとして使用できます。 (A3ユニバーサル、500枚給紙カセット添付)



■ 両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPK1	両面印刷用のユニットです。

■ プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール-32MB	XL-EM32M4	RAMを32MB搭載したメモリモジュールです。

用途

- ・ビットマップメモリの容量増加により、印刷速度の向上が図れます。特に、600ドット/インチの印刷をする場合は、より効果があります。(例えば、A4用紙に600ドット/インチ印刷をする場合のビットマップメモリ枚数が、メモリ増設なしのときの2ページに対し、8ページになります。)

■ プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

- ・本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。
- ・長さが1.5メートル以下のシールドケーブルをお使いください。

別売りケーブルは以下のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL712
FMR シリーズ デスクトップタイプ	FM60-711
FMR シリーズ CARD タイプ	FM50N711G
FMR シリーズ ノートブックタイプ	FM50N713G
FMR TOWNS シリーズ	FM60-711
GRAN POWER 5000 シリーズ	FMS-CBL711
FM-Server シリーズ	

【NEC】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
PC-9821 シリーズ(ハーフピッチ 36Pin)	XL-CBL981(*1)
PC-9801 シリーズ(ハーフピッチ 36Pin)	

*1: XL-CBL981はプリンタインタフェースとして36ピンハーフピッチコネクタを持つPC-9800シリーズに対応しています。36ピンハーフピッチ以外のコネクタを持つPC-9800シリーズは、NEC製の専用ケーブルをご使用ください。

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL712

サプライ用品

サプライ用品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店へご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商品名	商品番号	備考
普通紙推奨用紙	A 3サイズ	0411650 500枚×3冊で1ケース
	B 4サイズ	0411620
	A 4サイズ(Y)	0411612 500枚×5冊で1ケース
	B 5サイズ(Y)	0411645
	A 5サイズ(Y)	0411635
プロセスカートリッジ LB309	0877110	A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約10,000枚です(印刷の内容により、多少の差があります)。
LB309 給紙カセット (A3ユニバーサル)	0877310	A3～A5サイズで500枚 添付のカセットと同一です。
レーザプリンタ置台	0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法 600(W)×610(D)×440(H)mm

■ 使用済みプロセスカートリッジの回収サービスについて

富士通株式会社では、地球環境保全の立場からリサイクルを推進しております。『プロセスカートリッジ』につきましても環境保全を目的とし、『無償回収サービス』を実施しておりますので、ご協力をお願いします。『無償回収サービス』のご利用にあたっては、初回にユーザ登録が必要です。恐れ入りますが『プロセスカートリッジ』をご購入の販売店にお申し付けいただき、ユーザ登録をお済ませください。なお、ご利用対象は法人企業様に限定させていただいております。

第2章

用紙について

使用する用紙の種類、用紙の保管のしかたなどによって、印刷品質にかなりの差がでます。ここでは、用紙の種類と保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙	18
使用できない用紙	20
用紙の保管上のご注意	21

使用できる用紙

本プリンタでは、PPC用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙の詳細は、「サプライ用品」(15ページ)を参照してください。

お願い

- ・用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。
- ・OHPフィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザープリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本プリンタに適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
給紙 カセット	普通紙 (再生紙)	A 3 タテ	60 ~ 90g/m ² (重量 64g/m ² の用紙の場合)	約 500 枚
		B 4 タテ		
		A 4 ヨコ		
		B 5 ヨコ		
		A 5 ヨコ		
		リーガルタテ レターヨコ		
給紙トレイ	普通紙 (再生紙)	100 × 148 ~ 297 × 420mm	60 ~ 135g/m ²	約 200 枚 (重量 64g/m ² の用紙の場合)
官製はがき		ハガキヨコ	190g/m ²	約 75 枚
OHPフィルム		A4 ヨコ	60 ~ 135g/m ²	約 75 枚
ラベル紙		A4 ヨコ	60 ~ 135g/m ²	約 75 枚

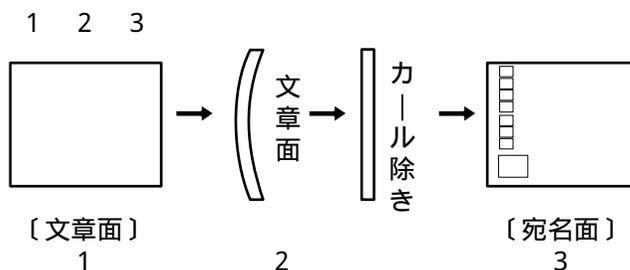
お願い

はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。

■ 官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面 宛名面の順に印刷してください。

宛名面 文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約2mm以内の反りになるように修正してから印刷してください。



■ OHPフィルム

定着時の熱（約190℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

■ ラベル紙

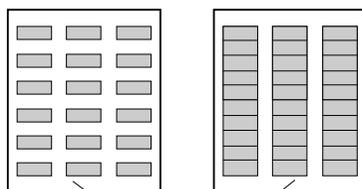
ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約190℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかつたりしますので、使用しないでください。

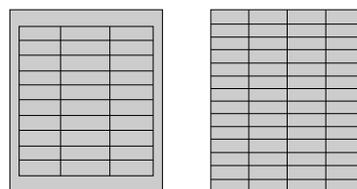
- ・ 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- ・ 湿っている用紙や、濡れている用紙
- ・ 一度印刷された用紙
- ・ 貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- ・ 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・ カールしている用紙
- ・ 静電気で密着している用紙
- ・ 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- ・ 表面を加工、または特殊なコーティングした用紙（感熱紙、カーボン紙など）
- ・ オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- ・ インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190℃以上の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- ・ 190℃以上の熱で溶けたり、変質する用紙
- ・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・ 裁断部のバリが大きい用紙
- ・ 紙粉の多い用紙
- ・ 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザープリンタ用以外のラベル用紙

× 使用できません



つるつるした台紙面

使用できます



全面ラベル紙

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

用紙は次のような場所に保管してください。

- ・ 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- ・ 平らなパレットの上
- ・ 温度 20 、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。

- ・ 床の上に直接置く
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 外壁の内側の近く
- ・ 段差や、曲がりのある場所
- ・ 静電気が発生するところ
- ・ 過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
- ・ 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

- ・ 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- ・ 長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む



長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

第3章

プリンタの設置

この章では、プリンタを設置する際に注意すべきことと、設置の手順について説明します。

設置上のお願い	24
プリンタの寸法	25
設置手順.....	26

設置上のお願ひ

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。

温度:10 ~ 32 湿度:15 ~ 85% (結露がないこと)

温度32 のときは湿度70%以下、湿度が85%のときは温度28 以下でご使用ください。

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

サーバ接続などによりプリンタの24時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策(耐震対策、煙探知機、温度センサーなど)が施された場所に設置してください。

また、防災管理者(警備員、管理人など)が建物内に待機していることも必要です。

プリンタを前後左右に5°以上傾けないでください。

トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・プリンタとラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・プリンタとラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・プリンタとラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

お願ひ

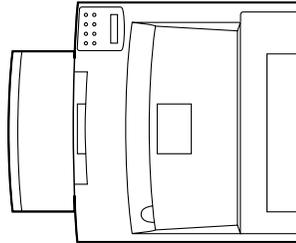
- 超音波加湿器をご使用のお客様へ -

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

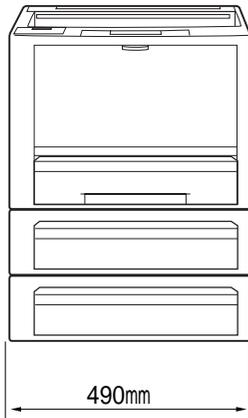
プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

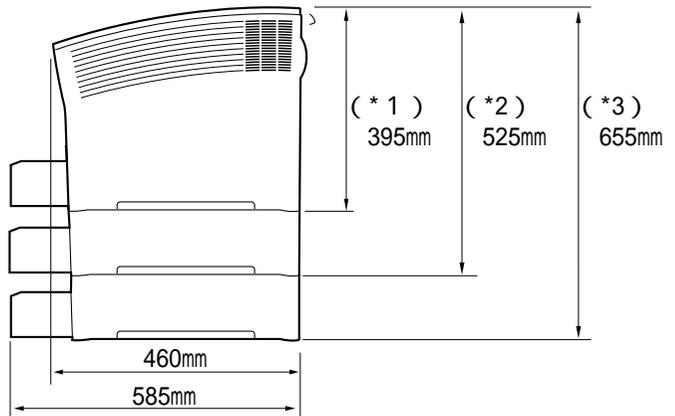
< 上面図 >



< 正面図 >



< 側面図 >



*1:標準構成時

*2:拡張給紙ユニットを1段搭載時

*3:拡張給紙ユニットを2段搭載時



注意

火災 プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。(「安全上のご注意」(2)ページ参照)

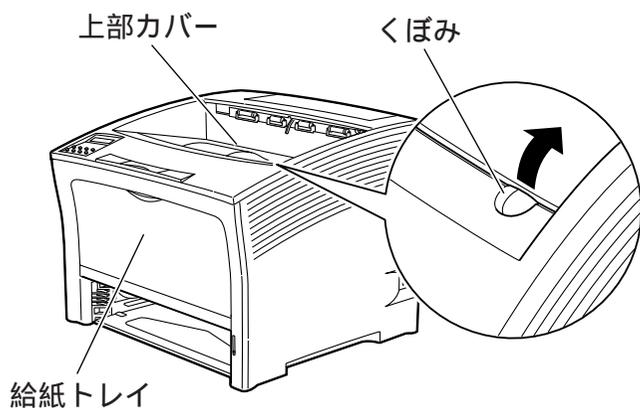
け が 設置する台は、プリンタの足全体が十分にのる大きさのものを準備してください。

設置手順

プリンタは、次の手順で設置してください。

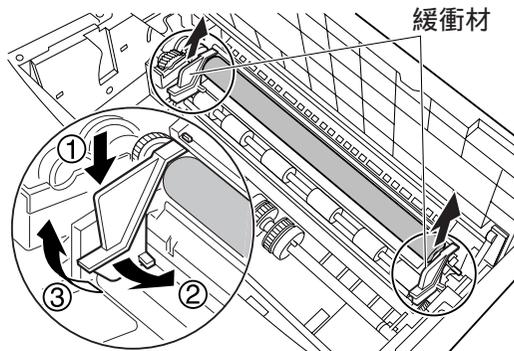
1 製品がすべて揃っていることを確認する

梱包されている製品は、「製品の確認(梱包されている製品)」(4ページ)に記載してあります。

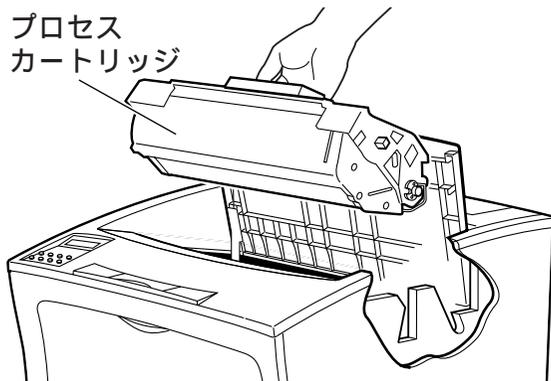


2 くぼみに指を入れ、上部カバーを開け、緩衝材をとる

上部カバーおよび給紙トレイ内部の段ボールを抜き取ります。

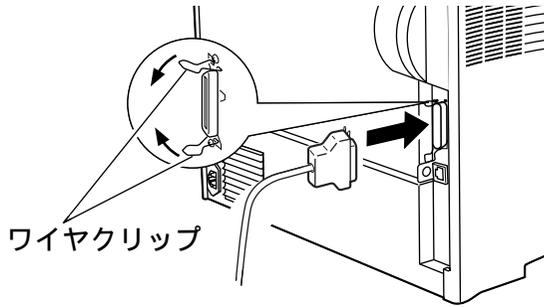


緩衝材(オレンジ色、2か所)は、つまんだ状態で押し、内側にずらして引き抜きます。

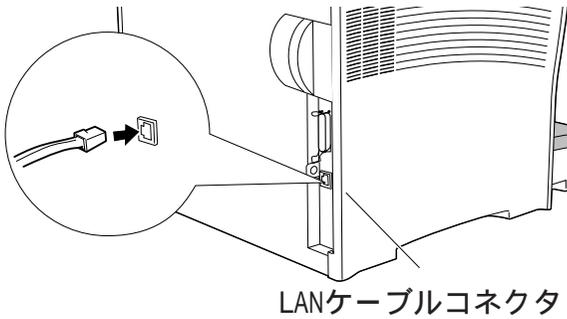


3 プロセスカートリッジを取り付ける

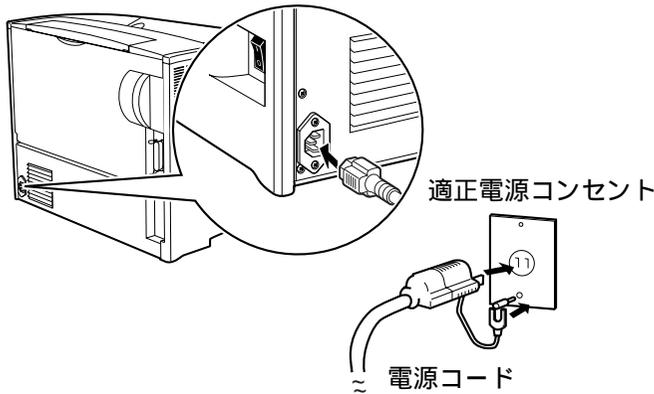
詳しくは、「プロセスカートリッジを取り付ける」(55ページ)に記載してあります。



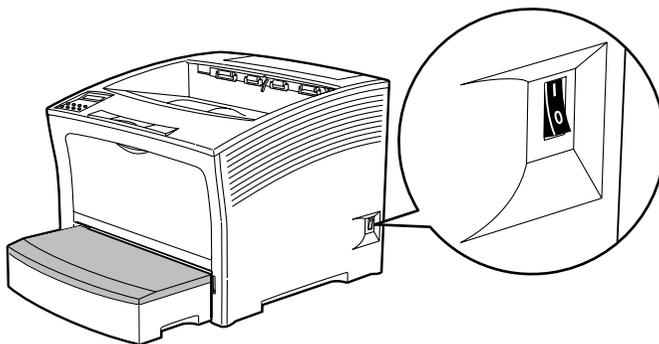
4 パソコンと接続する
プリンタケーブルを使い、パソコンと接続します。
詳しくは、「パソコンとの接続」(30 ページ)に記載してあります。



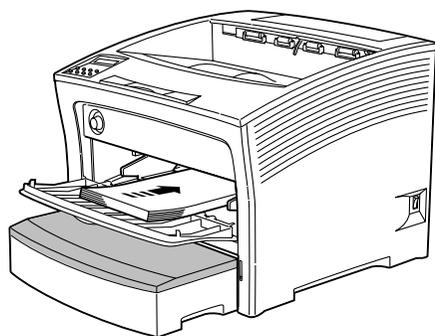
5 LANと接続する
詳しくは、「LAN 経由の接続」(32 ページ)に記載してあります。



6 電源コードを接続する
詳しくは、「電源コードの接続」(36 ページ)に記載してあります。

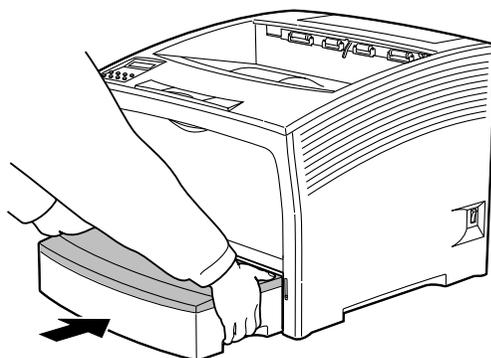


7 プリンタの電源を入れる
詳しくは、「電源の投入と切断」(40 ページ)に記載してあります。



8 用紙をセットする

詳しくは、「用紙のセット」(42ページ)に記載してあります。



第4章

外部との接続

この章では、パソコン、LAN および電源との接続のしかたについて説明します。

パソコンとの接続	30
LAN 経由の接続	32
パソコンと接続するときの留意事項	34
電源コードの接続	36

パソコンとの接続

本プリンタは、セントロニクス準拠の平行インタフェースを標準装備しています。平行インタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

⚠ 警告

感電 プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

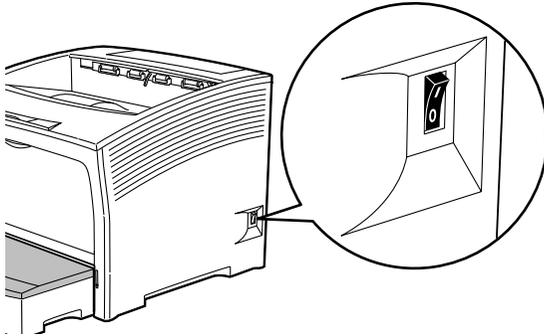
⚠ 注意

故障 ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

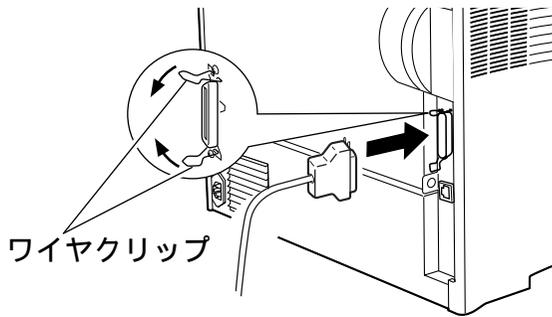
👉 おお願い

- ・プリンタケーブルについては、次の制約があります。
- ・パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
- ・ケーブルの長さは、1.5メートル以下のものをお使いください。
- ・本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。(「プリンタケーブルについて」(14ページ)参照)

プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。



- 1 プリンタとパソコンの電源の切断を確認する
電源スイッチが「0」側に倒れている状態です。



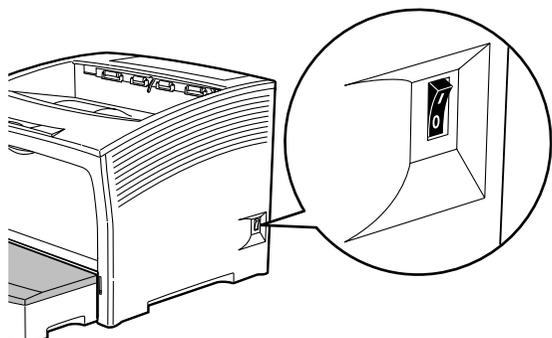
- 2 プリンタケーブルを接続する

プリンタケーブルをプリンタ背面にあるプリンタケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

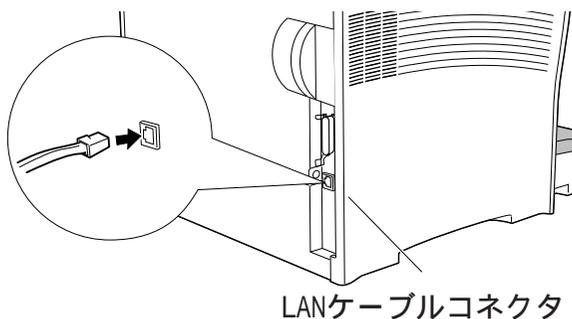
LAN 経由の接続

プリンタをネットワーク経由で接続するときは、XL-6010 とハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリ 5 のツイストペアケーブルをご使用ください。

■ 接続のしかた



- 1 プリンタの電源の切断を確認する
電源スイッチが「」側に倒れている状態です。



- 2 LANケーブルを接続する
LANケーブルを、プリンタ背面にあるLANケーブルコネクタに差し込みます。

LAN に接続するときの注意事項

LANケーブルをハブユニットに接続した場合で、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方のEthernetタイプを同じ規格に設定してください。

本プリンタのEthernetタイプは、「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタのEthernetタイプは、セットアップの「LAN設定」にある「Ethernetタイプ」で変更します。(セットアップについては、「第7章 設定値を変える」(85ページ)参照)

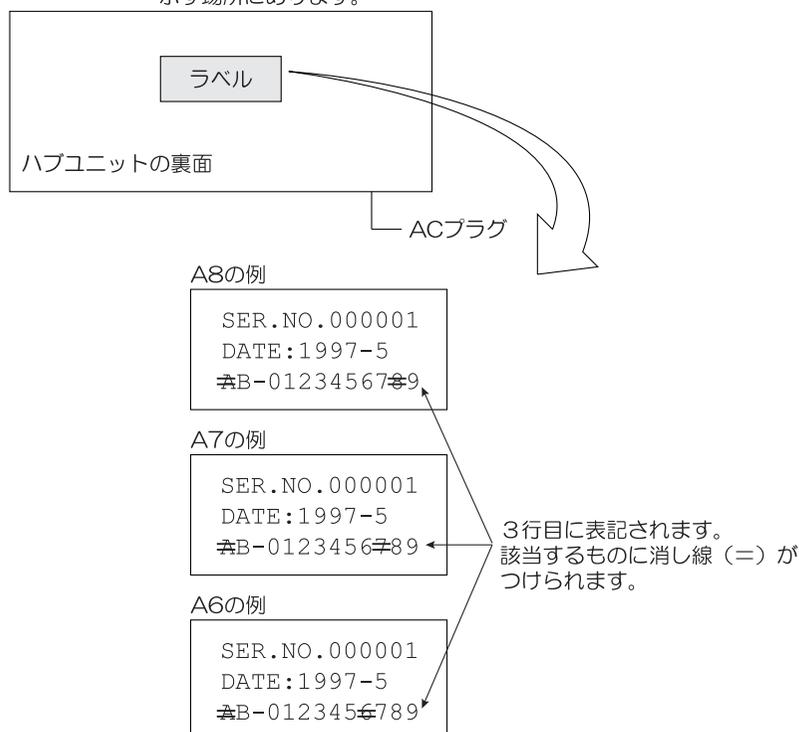
ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。

- ・ケーブル長100mのツイストペアケーブルは使用しないでください。
100mのツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
- ・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターにご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。

ラベルの位置…ハブユニットの裏面の次に示す場所にあります。

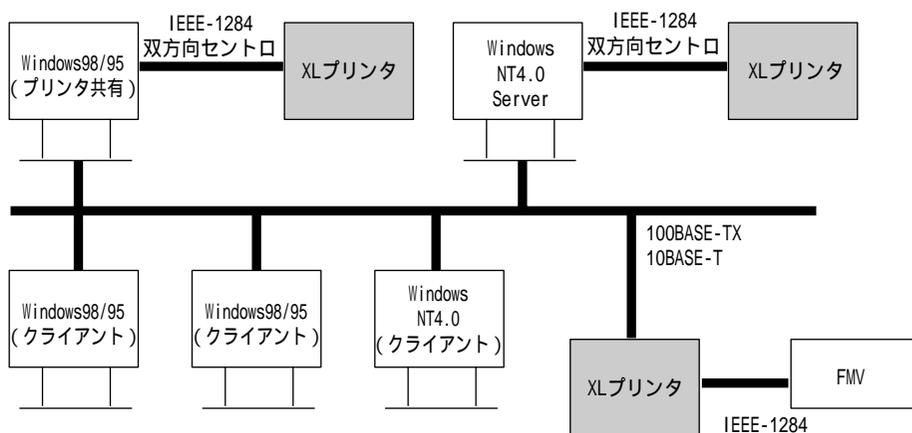


パソコンと接続するときの留意事項

■ 双方向プリンティングシステム「Printianavi」使用時のネットワーク接続形態

本プリンタは、LAN(TCP/IP)で接続したパソコン(サーバおよびクライアント)から使用することができます。さらに、添付の双方向プリンティングシステム「Printianavi」をインストールすることにより、プリンタのエラーメッセージの表示や制御を、クライアントで行うことができます。

また、添付のPrintianaviネットワークポートモニタを使用すると、LAN(TCP/IP)で接続したパソコン(サーバまたはクライアント)から、直接LANに接続したプリンタに印刷することができます。



■ 双方向プリンティングシステム「Printianavi」使用時の留意事項

- ・ Windows 98/95 または Windows NT4.0 が動作するパソコンで使用してください。
- ・ パソコンのプリンタポートにプリンタを接続してPrintianaviを利用する場合、ご使用のパソコンがIEEE-1284準拠の双方向プリンタポートに対応している必要があります。当社のパソコンでは、FMVシリーズやGRANPOWER 5000シリーズが、これに対応しています。
- ・ ネットワークで本機能を使用する場合のインストールや設定については、本書の「ソフトウェア編」を参照してください。

■ パソコンとLANの両方に接続したときの留意事項

本プリンタは、LAN経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう1台のパソコンをパラレルポートに接続することができます。パラレルポートとLANポートの両方にプリンタを接続したときは、次の点にご留意ください。

- ・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- ・片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは使用できません。2つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
- ・Printianaviを利用している場合、一方のパソコンから印刷中のときは、もう一方のパソコンに「プリンタが他で使用のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
一方のパソコンからの印刷が終了すると、もう一方のパソコンからの印刷を自動的に再開します。
- ・PrintianaviおよびPrintianaviネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンからLAN経由で同時印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
- ・片方のポートで未印刷データがある場合、もう一方のポートには切り替わりません。

▶ おお願い

パラレルポートから印刷している間は、プリンタからLANケーブルを抜き差ししないでください。

◆ ガイド

ポートの切り替え時間は、セットアップで変更することができます。「ポート切替時間～ポート切替時間を設定する」(100ページ)参照

電源コードの接続

次の手順で、電源コードを接続します。

本プリンタの電圧定格値は、AC100Vです。

上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。



警告

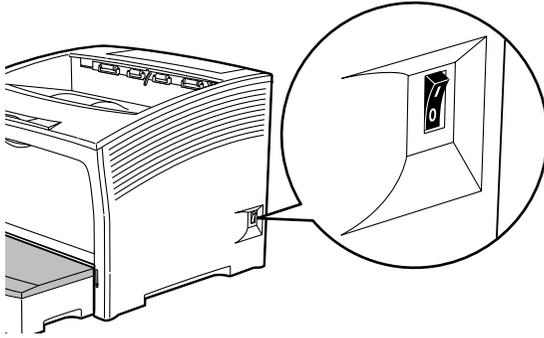
感電 電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチを「」側にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

火災 電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。

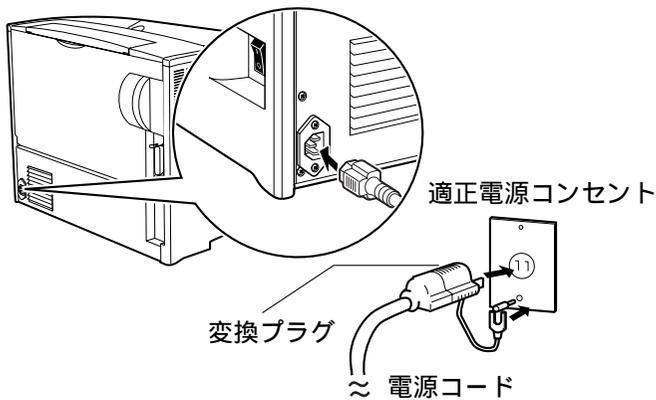
感電 危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（火災や爆発の危険があります）
- ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

1 電源の切断を確認する
電源が切れていることを確認します。(電源スイッチが「」側に倒れている状態です。)



2 電源コードを接続する
電源コードをプリンタ背面にあるコネクタに差し込みます。本プリンタには平行3ピンの電源コードが添付されています。できるだけ3ピンのコンセントをご使用ください。もし、3ピンの電源コンセントがない場合には、添付の変換プラグを使って図に示すように電源コードとアース線を接続してください。



第5章

日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要な操作について説明します。

電源の投入と切断	40
用紙のセット	42
給紙トレイに用紙をセットする	42
給紙カセットに用紙をセットする	45
排紙トレイをセットする	50
プロセスカートリッジの交換	51
プロセスカートリッジを取り外す	54
プロセスカートリッジを取り付ける	55
プロセスカートリッジの取り扱いと保管	58
取り扱い上のご注意	58
保管上のご注意	58
プリンタの清掃	59
プリンタ外部の清掃	59
プリンタ内部の清掃	60
プリンタを長時間使用しないとき	63
プリンタを移動するとき	64
近くに移動する	65
梱包して運搬する	68

電源の投入と切断

プリンタを起動するときは、電源スイッチを入れます。電源スイッチを入れてから、約 60 秒後に印刷ができる状態になります。

1日の終わりや長期間プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切ってください。

お願い

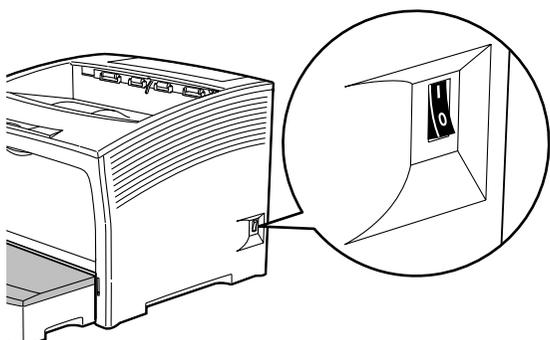
電源を入れる際に、給紙トレイに用紙がセットされている場合は、いったん用紙を取り出して、電源を入れた後にセットし直してください。

ガイド

- ・電源を切ると、プリンタのメモリに蓄積されている印刷データなどの情報が消去されます。
- ・パワーセーブの時間が設定されている場合、電源が入っている状態で一定時間使用しないと、自動的にパワーセーブ状態に切り替わります。

電源を入れる

電源を入れるときは、電源スイッチを「|」側に倒します。



オペレータパネルの「メッセージ」「データ」「オンライン」「電源」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

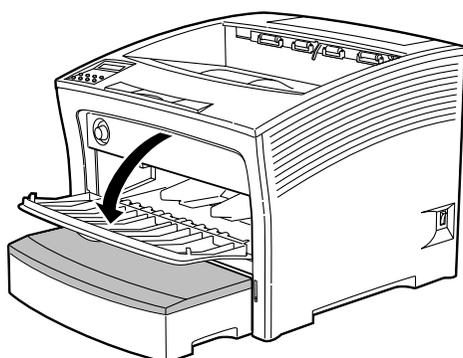
用紙のセット

給紙トレイおよび給紙カセット(A3ユニバーサル・500枚)に用紙をセットする方法について説明します。

給紙トレイおよび給紙カセットにセットできる用紙については、「第2章 用紙について」(17ページ)を参照してください。

給紙トレイに用紙をセットする

次の手順に従って、給紙トレイに用紙を入れます。



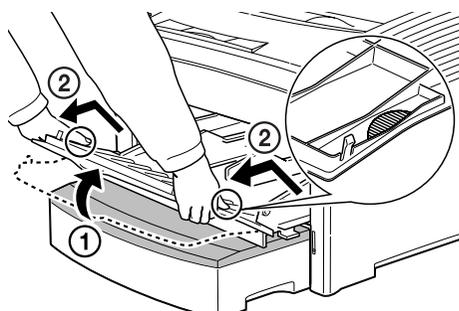
1 給紙トレイを開ける

プリンタ前面の上部中央にあるくぼみに指をかけて、給紙トレイを開けます。

お願い

給紙トレイは約80°の角度に開きます。給紙トレイに必要な以上の力をかけたり、用紙以外の重たいものを載せないでください。

破損の原因となります。

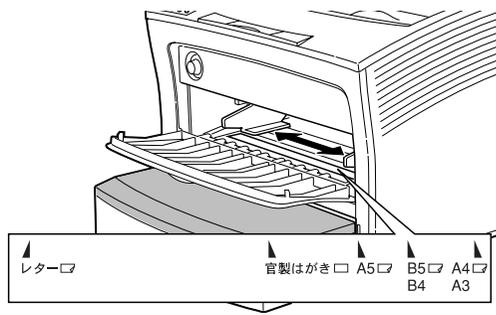


2 ハガキなどの小さなサイズ

の用紙をセットするときはトレイを引き出す

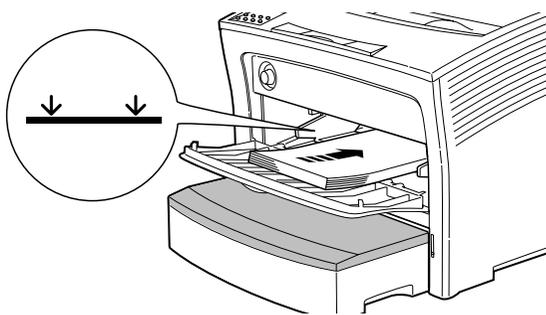
トレイの左右を持って少し傾け()、さらに軽く持ち上げ手前に引き出します()。

3 用紙ガイドを、使用する用紙サイズに合わせて動かす



4 用紙を入れる

用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

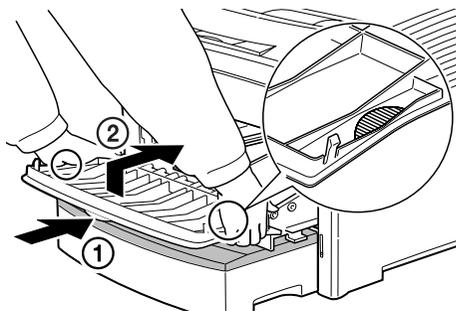


お願い

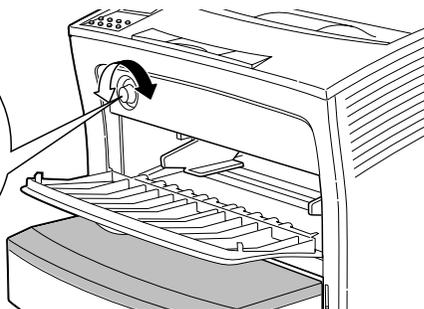
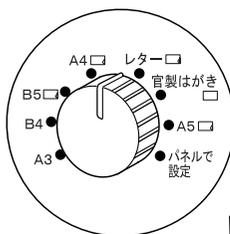
- ・ 給紙トレイは約 80° の角度に開きます。給紙トレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重たいものを載せないでください。破損の原因となります。
- ・ 折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。
- ・ A4、B5、A5、レターサイズの用紙とハガキは、横長にセットしてください。
- ・ 印刷方向については、「用紙関係」(160 ページ)を参照してください。
- ・ 用紙ガイドのラベルにある線がセットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。

ガイド

給紙トレイに収容できる枚数は、約 200 枚 (64g/m² の場合) です。



5 給紙トレイを引き出している場合は、元に戻す給紙トレイの左右を持って突き当たるまで押し込み、さらに軽く持ち上げて押し込み元の位置に戻します。



6 用紙サイズを設定する
給紙トレイにセットした用紙のサイズを、給紙トレイ用紙サイズスイッチで設定します。給紙トレイ用紙サイズスイッチの設定値に該当するサイズがない場合は「パネルで設定」に合わせ、オペレータパネルで設定します。「縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数、両面印刷を一時的に変更する(メニュー印刷設定モード)」(76 ページ参照)

お願い

印刷中は、給紙トレイ用紙サイズスイッチを操作しないでください。プリンタが誤作動する場合があります。

ガイド

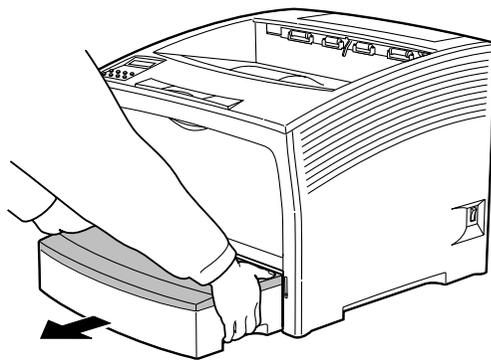
A4横の長さ以下のサイズの用紙をセットした場合は、給紙トレイを閉じて印刷することができます。

給紙カセットに用紙をセットする

給紙カセットに用紙をセットする手順について説明します。

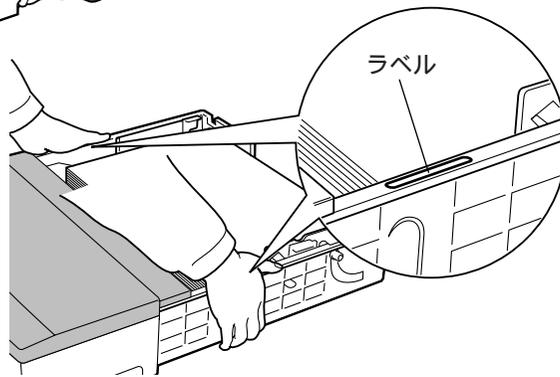
ガイド

- ・拡張給紙ユニット(オプション)が装着されている場合は、給紙カセットを、本体、給紙ユニットのどちらにもセットできます。
- ・異なるサイズ of 用紙を、同時に1つの給紙カセットにセットすることはできません。

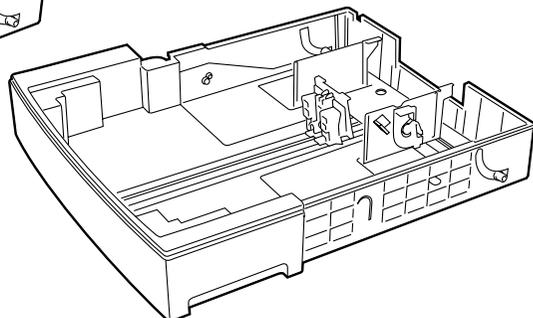
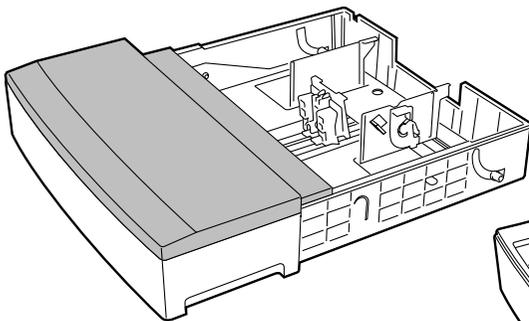


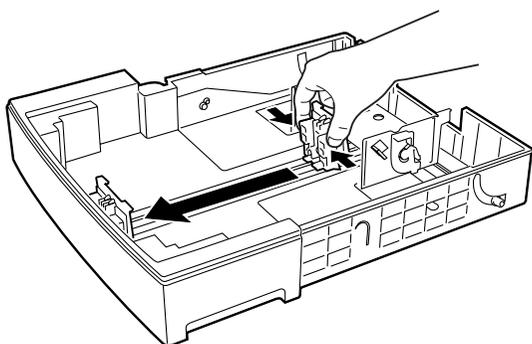
1 給紙カセットをプリンタから抜き、平らな場所に置く

一度止まるまで給紙カセットを手前に引き出し、ラベル部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜きます。



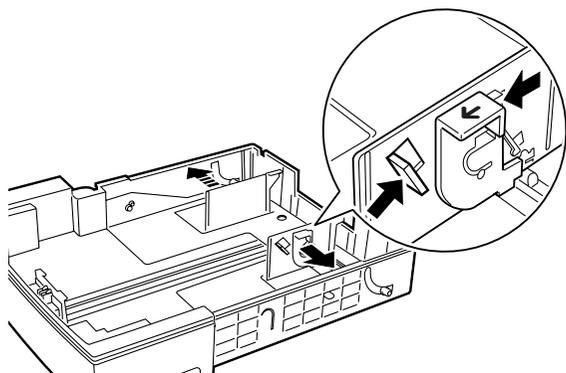
2 給紙カセットのフタを開ける





3 縦ガイドクリップを外側にずらす

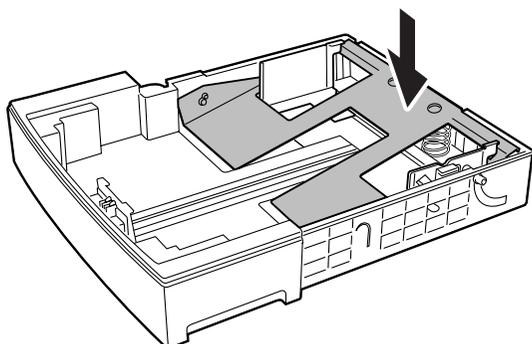
縦ガイドクリップを指でつまみ、軽く持ち上げながら、外側にずらします。



4 横ガイドクリップを外側にずらす

横ガイドクリップを指でつまみながら、外側にずらします。

ガイド 同じサイズ用の紙を補給する場合は、この手順は不要です。

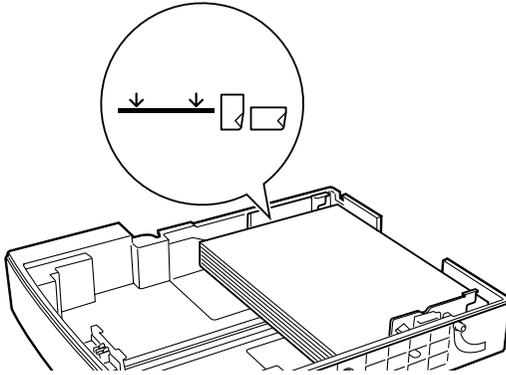


5 給紙カセットの中の金属板をロックする

給紙カセットの中の金属板が上がっている場合は、手で下げて、上に浮き上がらないようにロックします。

6 用紙をセットする

用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、カセットの中央に入れます。

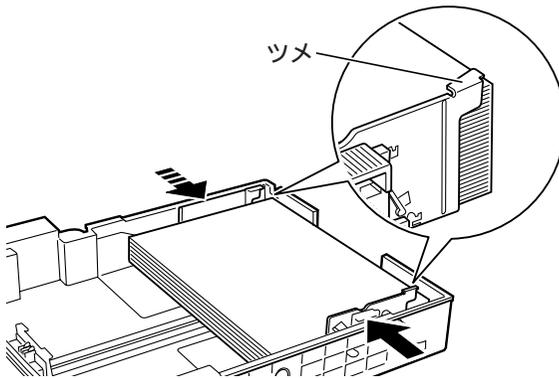


お願い

- ・折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。
- ・A4、B5、A5、レターサイズ of 用紙は「用紙関係」(160ページ)を参照して、横長にセットしてください。
- ・横ガイドのラベルの線がセットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。
- ・用紙が左右のツメの上に載らないようにしてください。

ガイド

給紙カセットに収容できる枚数は、約500枚(64g/m²の場合)です。

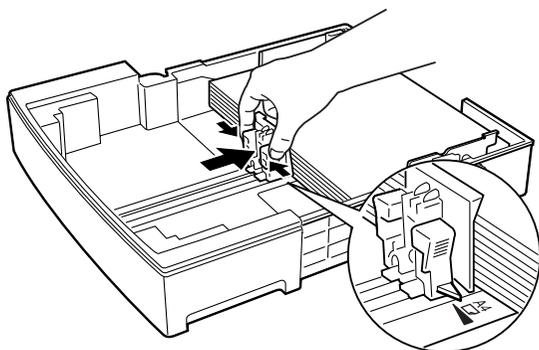


7 横ガイドクリップを用紙の幅に合わせ、用紙の端を揃える

横ガイドクリップを指で押しながらずらし、用紙の幅に合わせます。

お願い

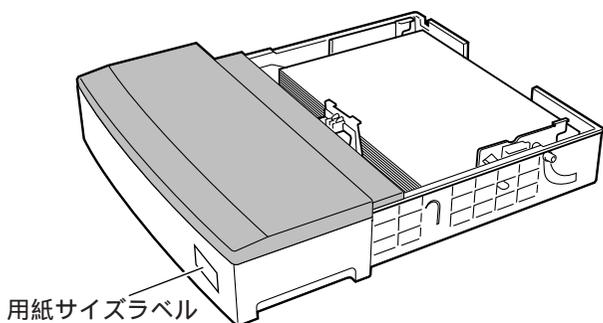
用紙が左右のツメの下にあることを確認してください。



8 用紙の端をそろえ、縦ガイドクリップを用紙サイズ目盛りに合わせる

お願い

- ・用紙の端は縦ガイドクリップのツメの下に入れてください。
- ・縦ガイドクリップのストッパーが目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。



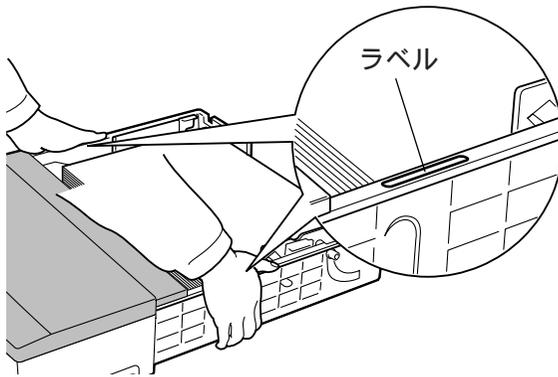
9 給紙カセットのフタを閉める

お願い

ほこりの付着を防ぐため、フタは必ず閉めてください。

ガイド

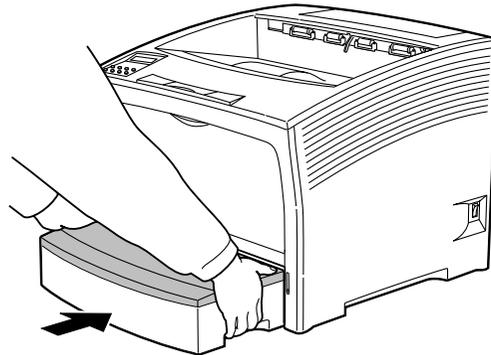
必要に応じ、プリンタに添付されている用紙サイズラベルを貼ります。



10 給紙カセットをプリンタに押し込む

給紙カセットのラベルが貼ってある部分を両手で持ち、プリンタに差し込みます。

給紙カセットを突き当たるまでプリンタに押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

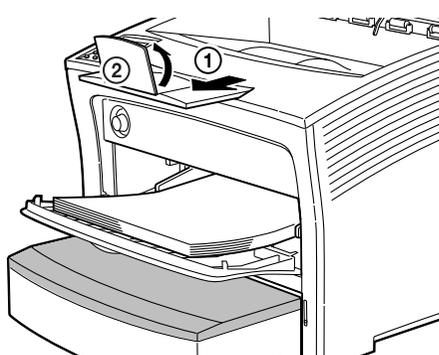


お願い

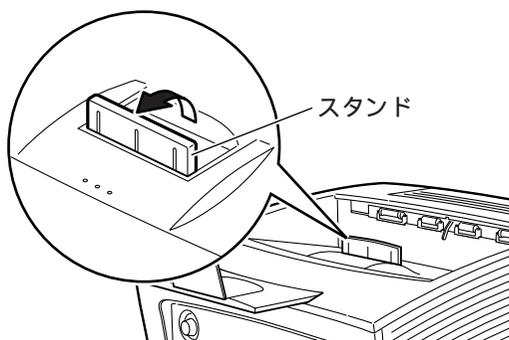
- ・セットされていない給紙カセットがあると、『カセットナシ』と表示されます。必ずすべての給紙カセットをセットしてください。
- ・給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

▼ 排紙トレイをセットする

排紙トレイをセットする手順について説明します。



- 1** B4以上の用紙を排紙する場合は、排紙トレイを引き出し()、排紙止めを立てる()



- 2** 印刷した用紙が排紙部でばらけたり、プリンタから落下するときは、排紙部のスタンドを立てる

◆ ガイド ◆

特にめくれるようなカール癖のある用紙は排紙部でばらけやすいのでスタンドを立ててご使用ください。
また、コシの弱い用紙はスタンドに立てておくと先端が引っかかることがありますので、ご注意ください。

プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ1本あたりの目安として、A4サイズ of 用紙で約10,000枚の印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この表示がでたら、「プロセスカートリッジを取り外す」(54ページ)、「プロセスカートリッジを取り付ける」(55ページ)にしたがって、新しいプロセスカートリッジと交換します。



警告

破 裂 プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのプロセスカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

誤 飲 ・トナーは目や口に入らないように注意してください。プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

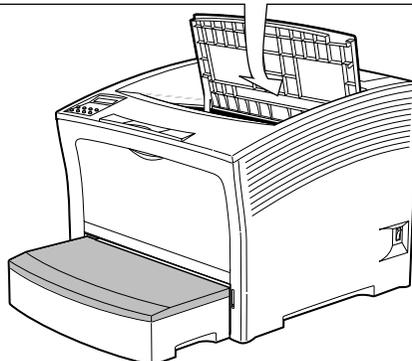
け が 上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。

上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

注意

やけど プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル

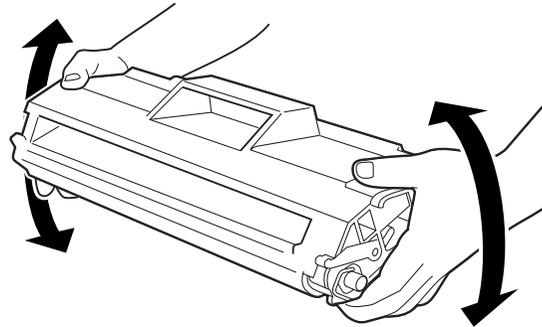


お願い

- ・プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。
 - ・直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも 5 分以上は放置しないでください。
 - ・ドラム保護シャッターは絶対に開けないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
- ・常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。

ガイド

- ・プロセスカートリッジの保管期限は約2年間です。お買い上げ後は2年以内にご使用ください。
- ・プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っているために、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
交換の前にプロセスカートリッジを上下に7～8回振り、トナーの状態を均一にして印刷し直してみてください。



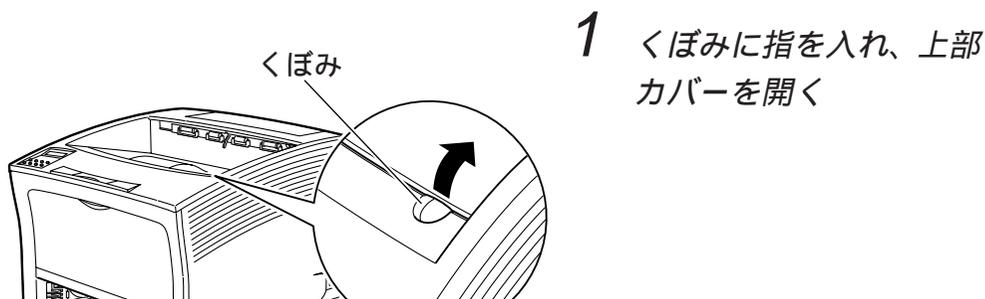
- ・プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
 - ・縦のカスレや部分的なカスレがある場合
プロセスカートリッジを取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき
 - ・不鮮明な印刷状態が発生した場合
適切な用紙に変えて印刷しても改善されないとき

▼ プロセスカートリッジを取り外す

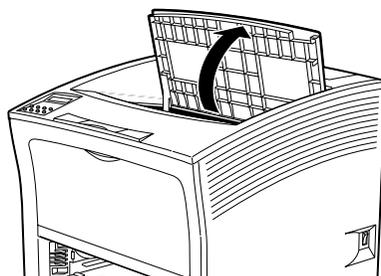
次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り外します。

お願い

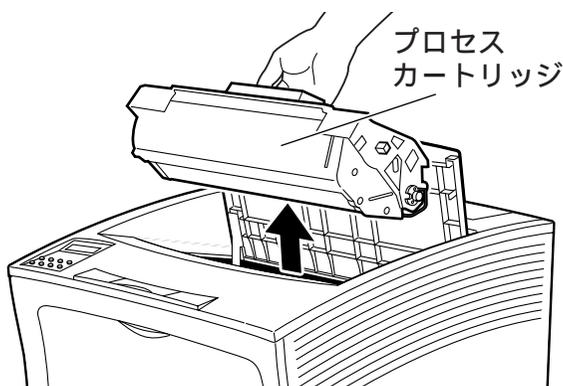
プリンタ内部の部品には手を触れないでください。



1 くぼみに指を入れ、上部カバーを開く



2 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる

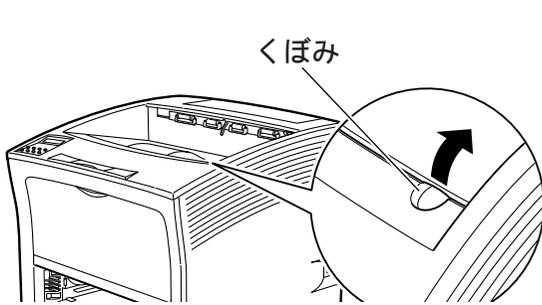


ガイド

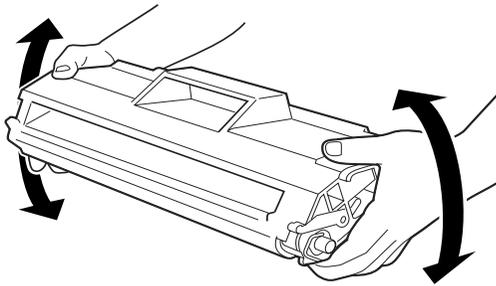
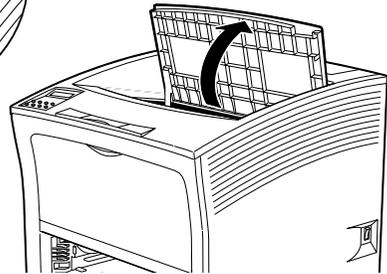
- ・トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- ・使用済みのプロセスカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

▼ プロセスカートリッジを取り付ける

次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り付けます。

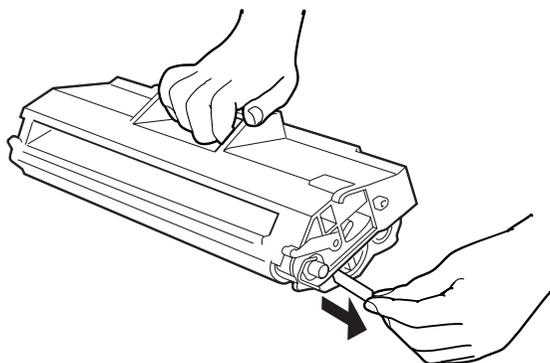


1 くぼみに指を入れ、上部カバーを開く



2 トナーを均一にするため、プロセスカートリッジを振る

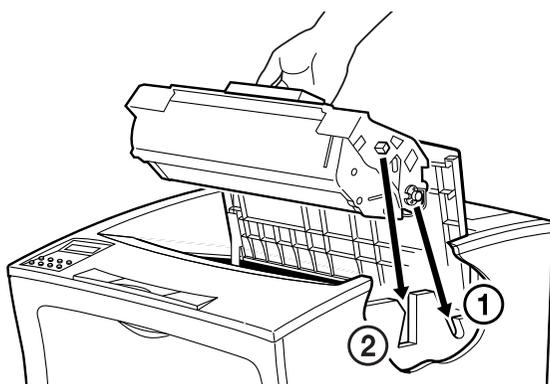
図のように上下に7～8回振ります。トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。



3 トナーシールを引き抜く
 プロセスカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらトナーシールを引き抜きます。

お願い

トナーシールを抜くときには、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
 トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。



4 プロセスカートリッジを挿入する

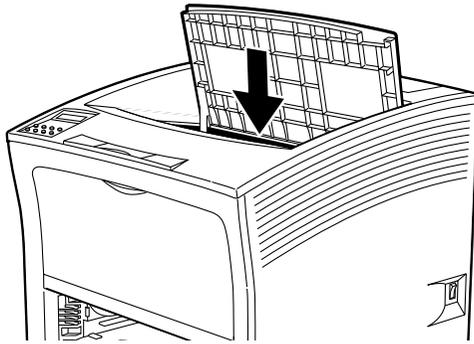
プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プロセスカートリッジの両側にある突起をプリンタ内部の溝に合わせます。
 次に斜めにプリンタ内部に挿入します。

お願い

- ・プリンタ内部の部品には手を触れないでください。
- ・プロセスカートリッジ挿入時は、カートリッジがプリンタ内部に当たらないように静かに入れてください。

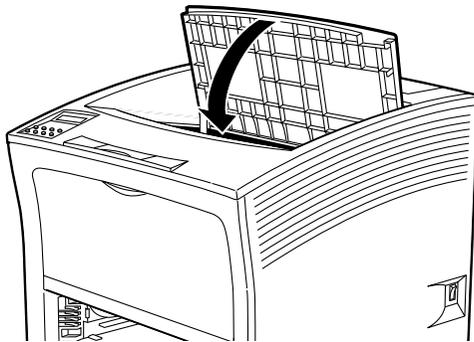
5 プロセカートリッジを 確実にセットする

プロセカートリッジを奥まで押し込み、確実にセットされたことを確認します。



6 上部カバーを確実にロックする

上部カバーを元に戻し、カバー中央を押して確実にロックします。



お願い

上部カバーが確実にロックされたことを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

▼ 取り扱い上のご注意

- プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。
- ・直射日光や強い光(約 1500 ルクス以上)に当てないでください。
 - ・室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを5分以上放置しないでください。
 - ・プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないように梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
 - ・寒いところから暖かいところに移動した場合は、1時間以上室温に慣らしてから使用してください。
 - ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
 - ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
 - ・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。
 - ・ドラムシャッターにより、プロセスカートリッジ内の感光体(ドラム)が光にあたらないように保護されています。ドラムシャッターはむやみに開けないでください。
 - ・感光体(ドラム)表面には絶対に手を触れないでください。

▼ 保管上のご注意

- プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。
- ・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
 - ・直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
温度範囲 0 ~ 35 、 湿度範囲 15 ~ 80%RH
(ただし、結露のないこと)
 - ・高温多湿になる場所には置かないでください。
 - ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
 - ・CRT画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
 - ・幼児の手の届かないところに保管してください。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約1か月に1回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠️ 注意

やけど プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

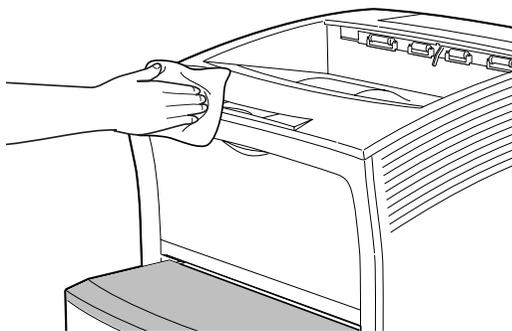
感電 電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

➤ お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。

- ・プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10分位たって内部の温度が下がってから作業してください。
- ・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。
- ・油をさす必要はありません。注油はしないでください。

▼ プリンタ外部の清掃



カバーの表面の汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布で拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で拭きます。

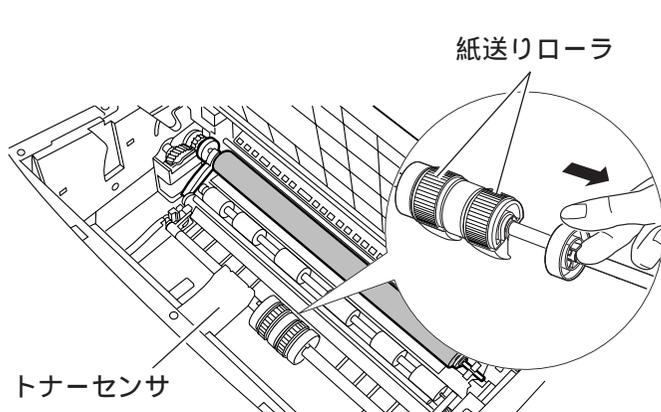
▼ プリンタ内部の清掃

紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

- ・紙片が残っていれば取り除きます。
- ・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

■ 紙送りローラの清掃

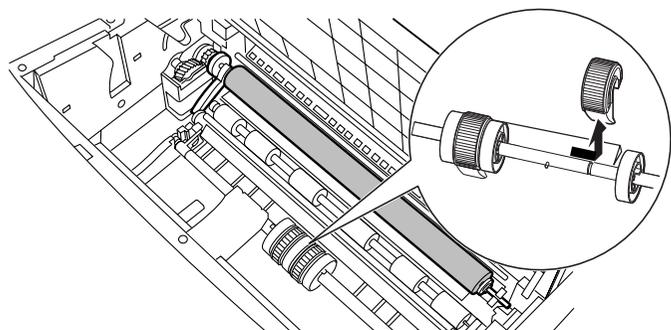
官製プレプリントはがきへ印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。プロセスカートリッジを取り出し、紙送りローラ（半月状のゴムローラ（2個））を清掃してみてください。



- 1 紙送りローラの外側にあるプラスチックのローラのツメを、軸の溝から外しながら外側にずらす

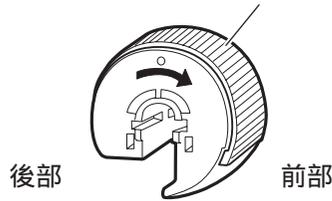
▶ おお願い

トナーセンサ側にあるプラスチックのローラを外側に動かすときは、トナーセンサを軽く持ち上げながら行ってください。



- 2 紙送りローラを外側にずらして、垂直に取り外す

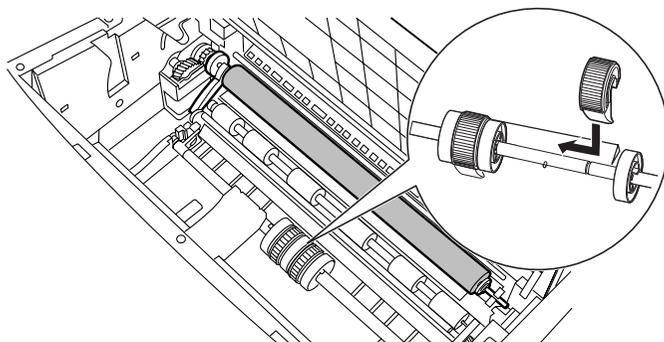
ゴム製の部分を丁寧に拭き取ります



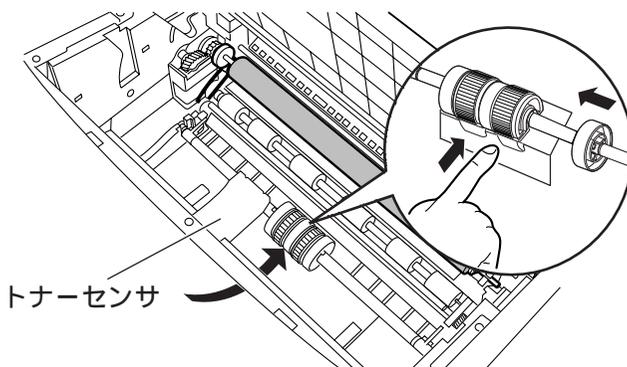
3 紙送りローラのゴムの部分を、水でぬらして硬く絞った柔らかい布で丁寧に拭く

お願い

水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。



4 紙送りローラの矢印を手前に向けて軸にはめ、軸上の突起と紙送りローラの溝をあわせ内側にずらす



5 給紙トレイの給紙口から手を入れ、軸の後ろにあるプレートを押しながら、外側のローラ(プラスチック)を、内側にずらして紙送りローラを固定する

左側の紙送りローラも同じ手順で清掃してください。

ガイド

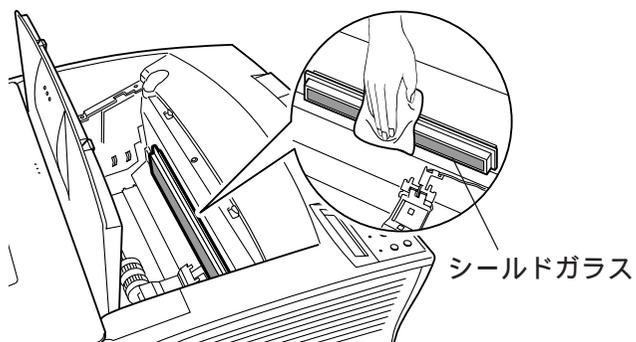
外側のローラのツメが、軸の溝にはまっていることを確認してください。

お願い

左側の紙送りローラを清掃するときは、トナーセンサに力を加えないように注意してください。

■ シールドガラスの清掃

シールドガラスが汚れていると、レーザ光が遮断されて印刷がかすれることがあります。プロセスカートリッジを取り出し、シールドガラスを清掃してみてください。



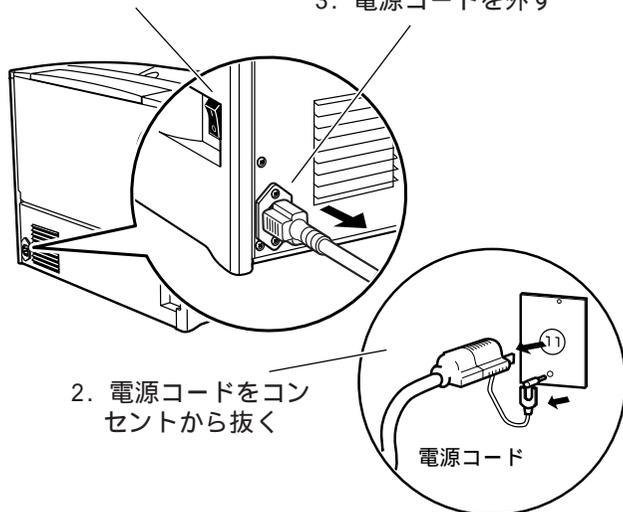
シールドガラスを乾いた
布でいねいに拭く

プリンタを長時間使用しないとき

1週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

1. 電源スイッチを「**0**」側に倒す

3. 電源コードを外す

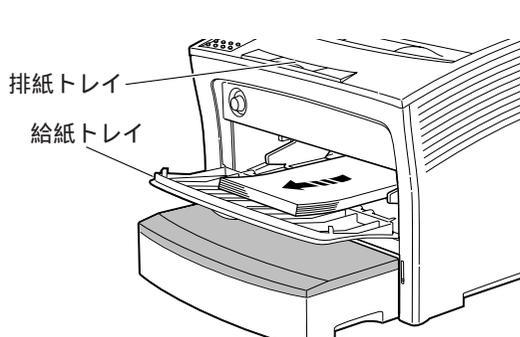


2. 電源コードをコンセントから抜く

電源コード

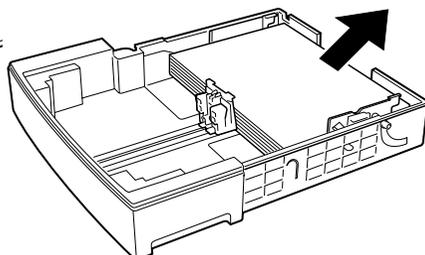
お願い

エラーメッセージが表示されているときは「エラーメッセージが表示されたとき」(136ページ)を参照し、処置をしてから電源を切ってください。



2 用紙を取り出す

給紙トレイおよび給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。



ガイド

用紙の保管については、「第2章 用紙について」(17ページ)を参照してください。

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠注意

け が プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約25kgあります。プリンタを動かす場合は、必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（操作パネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

◆ガイド

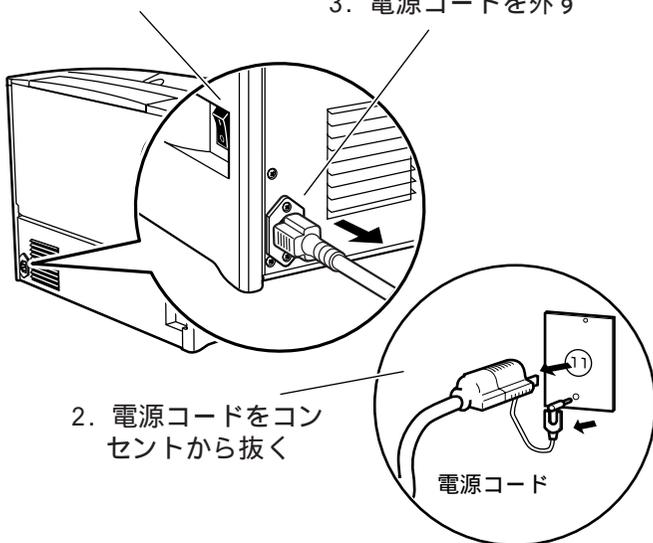
拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくとう便利です。

▼ 近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

1. 電源スイッチを「」側に倒す

3. 電源コードを外す



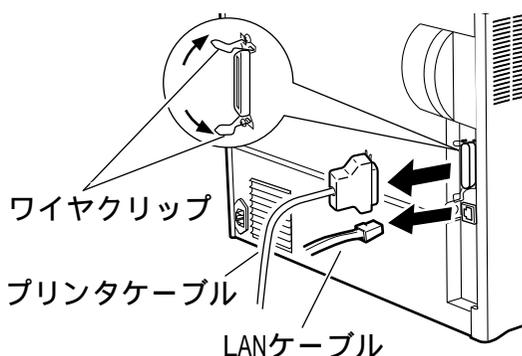
2. 電源コードをコンセントから抜く

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

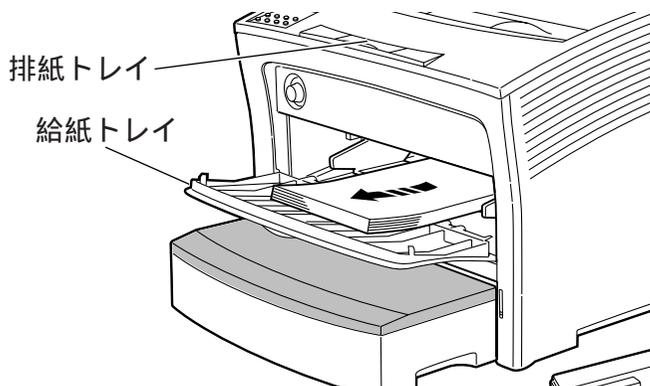
お願い

エラーメッセージが表示されているときは「エラーメッセージが表示されたとき」(136 ページ)を参照し、処置をしてから電源を切ってください。



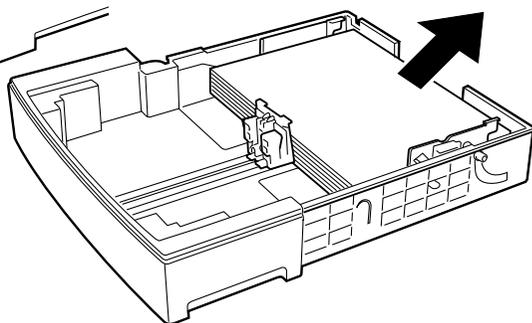
2 プリンタケーブルを抜く

パラレルインタフェースコネクタからプリンタケーブルを外します。また、LANケーブルが接続されている場合、ケーブルを外します。



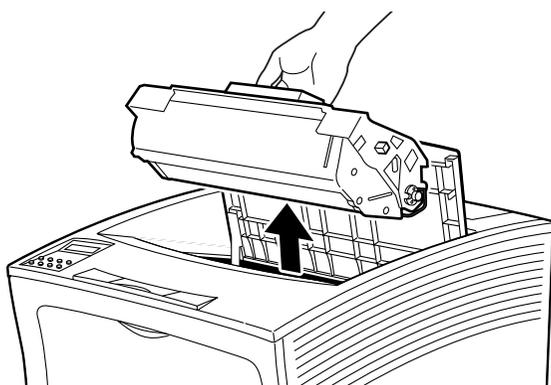
3 用紙を取り出す

用紙を給紙トレイまたは給紙カセットから取り出し、紙などに包みます。給紙トレイと排紙トレイは閉じます。



ガイド

- ・用紙が入っている給紙カセットは重いので、「給紙カセットに用紙をセットする」(45ページ)を参照して、注意してプリンタから抜いてください。
- ・用紙の保管については、「第2章 用紙について」(17ページ)を参照してください。



4 プロセスカートリッジを取り外す

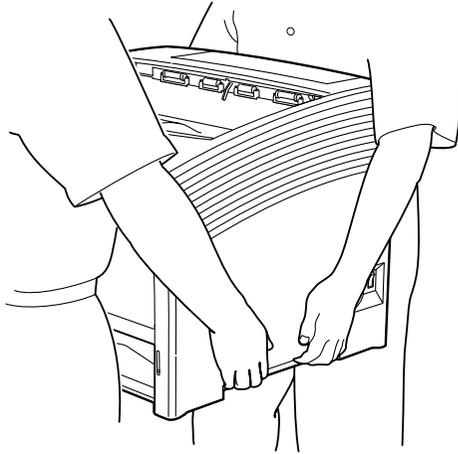
「プロセスカートリッジを取り外す」(54ページ)を参照して、プリンタ内部からプロセスカートリッジを取り外し、上部カバーを閉めます。

お願い

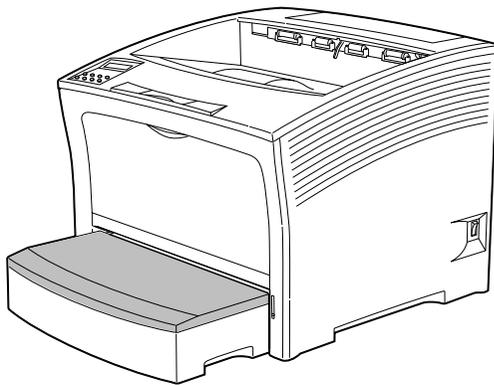
- ・プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。
- ・取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。
- ・取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないように、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。

5 プリンタを移動する

給紙カセットを抜いた状態で、プリンタを2人で持ち、静かに移動します。



6 適切な場所に、プリンタを設置し直す



お願い

設置し直すときの手順については「設置手順」(26ページ)を参照してください。

梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けられている付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

1 付属品を取り外す

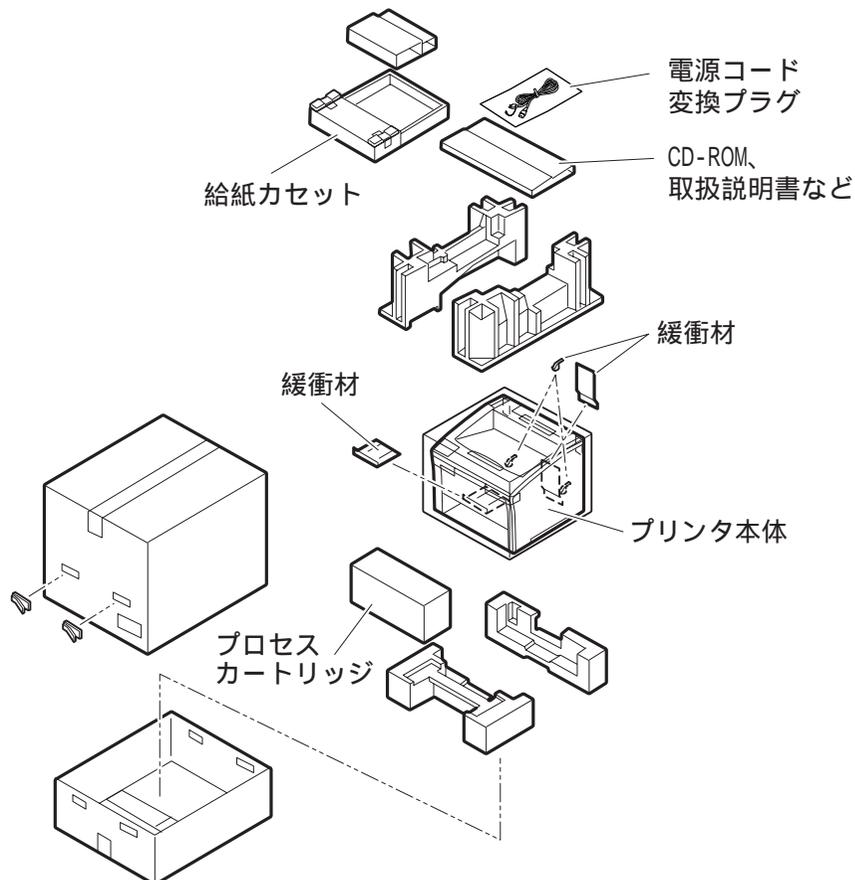
「近くに移動する」の手順1～4(65ページ)に従って、付属品を取り外します。

2 梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。

精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。また、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」(58ページ)も合わせて参照してください。

- ・ 梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
- ・ プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。



第6章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

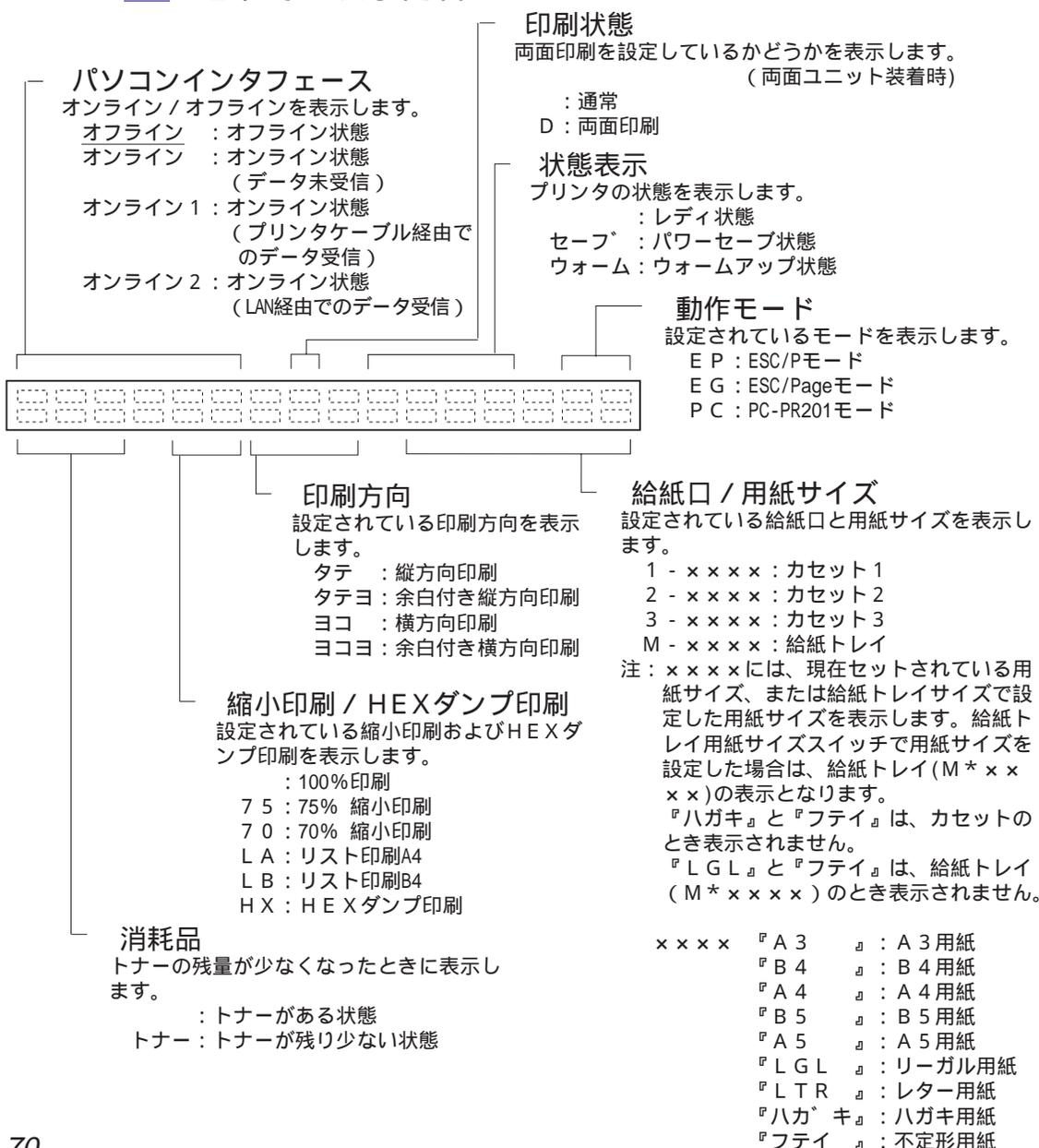
液晶ディスプレイの表示内容	70
オペレータパネルを操作する	72
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	72
印刷方向と給紙口を一時的に切り替える	72
縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数、両面印刷を 一時的に変更する(メニュー印刷設定モード) ..	76
プリンタをリセットする	81
印刷を中止する	81
未印刷データを強制的に印刷する	82

液晶ディスプレイの表示内容

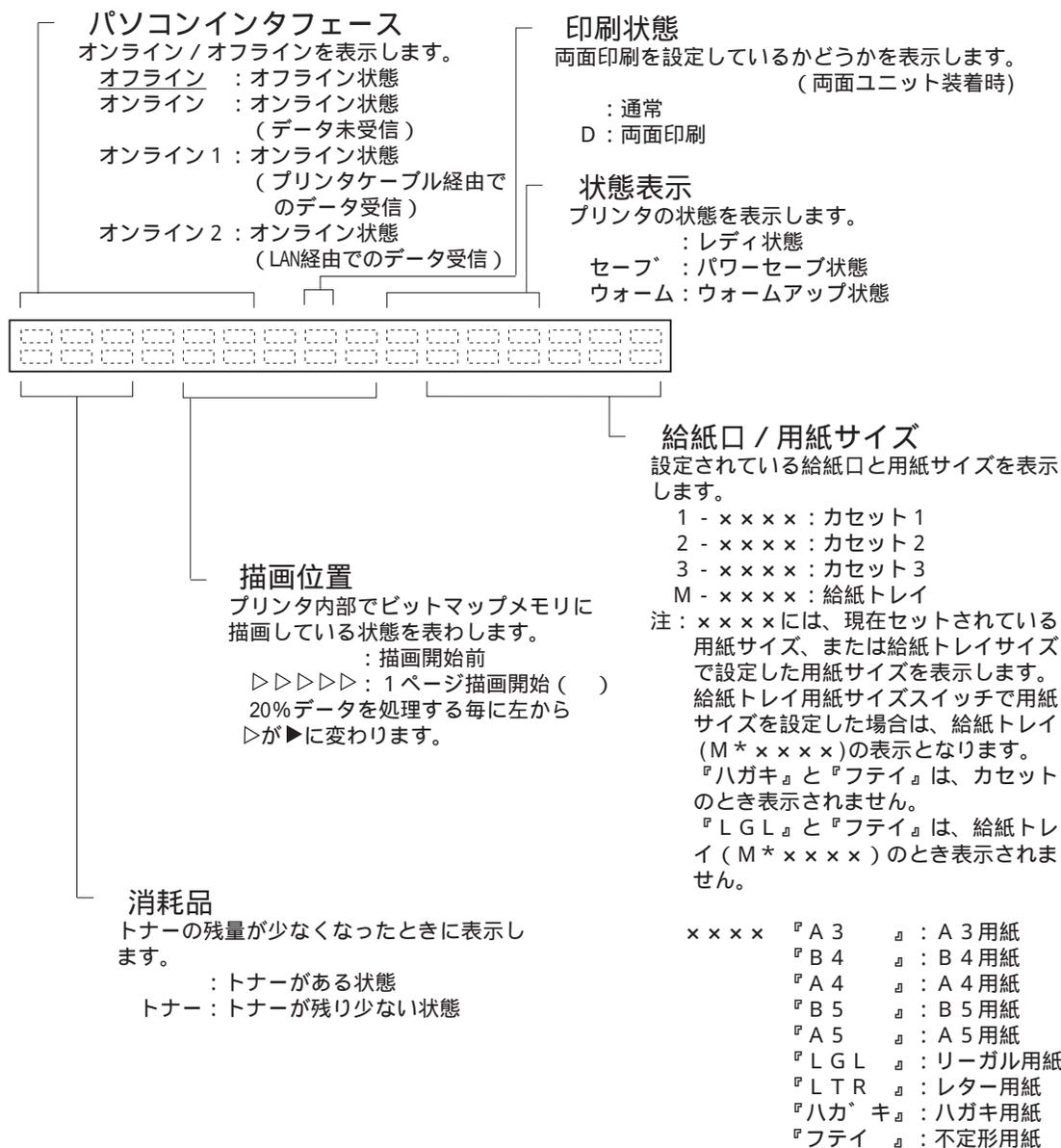
液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、障害が発生したときの内容などを表示するものです。1行16文字で2段に表示されます。通常時とPrintia XLドライバ印刷時とは、表示内容が異なります。

障害が発生すると全行でエラーメッセージを表示します。「エラーメッセージが表示されたとき」(136ページ)を参照してください。

通常時の表示内容



Printia XL ドライバ印刷時の表示内容



Printia XL ドライバ印刷時の縮小印刷、印刷方向、給紙口、用紙サイズは、パソコンで設定した内容に従います。

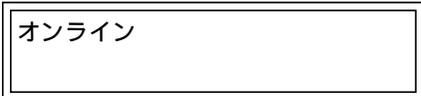
オペレータパネルを操作する

プリンタから印刷する際には、給紙口を切り替えたり、用紙の印刷方向を切り替えたりするためにオペレータパネルを操作します。

オンライン状態とオフライン状態を切り替える

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、オペレータパネルの「オンライン」スイッチによって切り替えます。

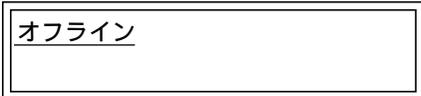
オンライン状態

オンライン

パソコンからデータを受信して印刷動作ができる状態をいいます。

通常、電源を投入するとオンライン状態になり、「オンライン」ランプが点灯します。「オンライン」ランプが消灯しているとき（オフライン状態）に「オンライン」スイッチを押すと、オンライン状態になります。

オフライン状態

オフライン

パソコンからのデータを受信できない状態をいいます。

オンライン状態のときに「オンライン」スイッチを押すと、オフライン状態になります。印刷中に押すと、液晶ディスプレイに『ハイシュツ ショリチュウ』と表示され、印刷後オフライン状態に切り替わります。

印刷方向と給紙口を一時的に切り替える

オンライン状態のときに「給紙口」または「印刷方向」スイッチを押すと、一時的に設定を切り替えることができます。ただし、次の3つの場合は無効です。

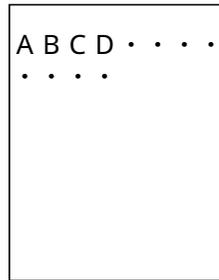
- ・未印刷データがある場合（データランプ点灯中）
- ・オンライン状態でHEX ダンプ印刷設定中
- ・Printia XL ドライバで印刷中（ドライバの設定が優先されます。）

設定中は液晶ディスプレイに『インサツ セッテイ』と表示されます。また、設定中に「オンライン」スイッチを押すと設定を終了し、オンライン状態に戻ります。

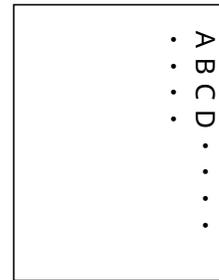
印刷方向を一時的に切り替える

印刷する向きが縦か横か、また余白付きで印刷するか否かを一時的に変更します。設定値は電源を切ると元に戻ります。

「印刷方向 縦」「印刷方向 横」は、それぞれ次のように印刷されます。



印刷方向 縦



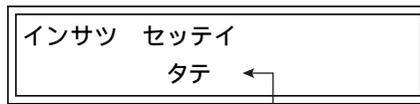
印刷方向 横

▶ 印刷方向の切り替えかた

1 オンライン状態で「印刷方向」スイッチを押し、目的の印刷方向を表示する

オンライン状態

「印刷方向」スイッチ



2行目に設定値が表示される

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の印刷方向が表示されるまで、「印刷方向」スイッチを押します。

選択できる設定値には、次の4種類があります。

設定値	機能
タテ	縦方向で印刷します。
タテヨ	余白付きの縦方向で印刷します。
ヨコ	横方向で印刷します。
ヨコヨ	余白付きの横方向で印刷します。

2 「オンライン」スイッチを押して設定を確定する

「オンライン」スイッチを押すと、表示中の印刷方向に設定されます。

- ・余白なしの場合、上端および左端の余白は、次の値になります。

動作モード	印刷方向 縦		印刷方向 横	
	上端余白	左端余白	上端余白	左端余白
ESC/P モード (注)	8.5 または 22mm	5 mm	8.5 または 22mm	5 mm
ESC/Page モード	5 mm	5 mm	5 mm	5 mm
PC-PR201 モード	5 mm	7.9mm	7.9mm	5 mm

注：ESC/P モードの上端余白（印刷方向の縦／横とも）は、「給紙位置」（111 ページ）の設定値になります。

- ・余白付きの場合、「余白設定」（92、96、97 ページ）で設定した「上端」および「左端」の値に従って印刷されます。余白付きはESC/PおよびPC-PR201 モード時に有効になります。

お願い

プリンタ内に未印刷のデータがあるときは、印刷方向を切り替えることはできません。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。

ガイド

縮小印刷の表示が『L A』、『L B』または『H X』の場合は、印刷方向を切り替えることができません。

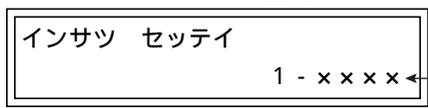
給紙口を一時的に切り替える

用紙を供給する場所を一時的に切り替えます。設定値は電源を切ると元に戻ります。

▶ 給紙口の切り替えかた

- 1 オンライン状態で「給紙口」スイッチを押し、目的の給紙口を表示する

オンライン状態
「給紙口」スイッチ



2行目に設定値が表示される

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の給紙口が表示されるまで、「給紙口」スイッチを押し続けます。

設定値(* 1)	機 能
1 - x x x x	1 段目のカセットから給紙します。
2 - x x x x	拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。 2 段目のカセットから給紙します。
3 - x x x x	拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。 3 段目のカセットから給紙します。
M - x x x x	給紙トレイから給紙します。
M* x x x x	給紙トレイ用紙サイズスイッチで用紙サイズを設定した場合に表示されます。 給紙トレイから給紙します。

(* 1) x x x x には、次の用紙サイズが表示されます。

A 3 : A 3 縦 B 5 : B 5 横 L T R : レター横
 B 4 : B 4 縦 A 5 : A 5 横 ハガキ : ハガキ横
 A 4 : A 4 横 L G L : リーガル縦 フテイ : 不定形用紙

「ハガキ」と「フテイ」は、カセットのとき表示されません。

「L G L」と「フテイ」は、給紙トレイ(M* x x x x)のとき表示されません。

2 「オンライン」スイッチを押して設定を確定する

「オンライン」スイッチを押すと、表示中の給紙口に設定されます。

お願い

プリンタ内に未印刷のデータがあるときは、給紙口を切り替えることはできません。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。

▼ 縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数、両面印刷を一時的に変更する(メニュー印刷設定モード)

メニュー印刷設定モードでは、次の設定ができます。

- ・ 縮小印刷 縮小印刷の種類を、一時的に切り替える
- ・ 給紙トレイサイズ 給紙トレイから印刷する用紙のサイズを、一時的に切り替える
- ・ 不定形サイズ 給紙トレイで不定形用紙を使うときの用紙サイズを、一時的に切り替える
- ・ コピー枚数 印刷部数を一時的に切り替える
- ・ 両面印刷 両面ユニット装着時に両面印刷を行うかどうかを一時的に切り替える
- ・ 綴じしろ方向 両面印刷のときに、用紙の長辺側と短辺側のどちらを綴じしろにするかを一時的に切り替える
- ・ 綴じしろモード 両面印刷のときの表面の綴じしろ位置を一時的に切り替える
- ・ 綴じしろ量 両面印刷のときの綴じしろ量を一時的に切り替える

メニュー印刷設定モードで設定した内容は、プリンタの電源を切ると元の設定に戻ります。



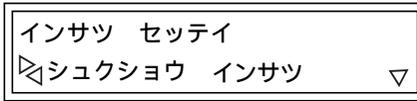
次の場合、メニュー印刷設定モードは無効です。

- ・ 未印刷データがある場合(データランプ点灯中)
- ・ オンライン状態でHEX ダンプ印刷設定中
- ・ Printia XL ドライバで印刷中(ドライバの設定が優先されません。)

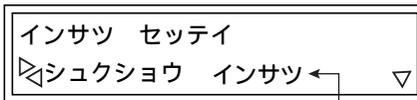
■ メニュー印刷設定モードの操作方法

オンライン状態

「メニュー」スイッチ

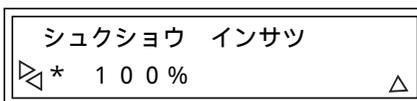


「▶」または「◀」スイッチ

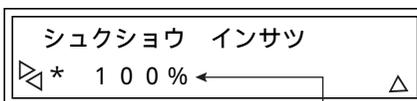


設定項目が切り替わる

「 」スイッチ



「▶」または「◀」スイッチ



設定値が切り替わる

「設定」スイッチ

「オンライン」スイッチ

1 オンライン状態で「メニュー」スイッチを押す
メニュー印刷設定モードに入り、液晶ディスプレイに「インサツ セッテイ」と表示されます。

2 「▶」または「◀」スイッチを押し、目的の項目を表示する

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の設定項目が表示されたら「▼」スイッチを押します。不定形サイズまたは綴じしろ量を設定するときのみ、さらに「▶」または「◀」スイッチを押し、目的の項目を選び、「▼」スイッチを押します。

3 「▶」または「◀」スイッチを押し、目的の設定値を表示する

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の設定値が表示されるまで、「▶」または「◀」スイッチを押します。

4 「設定」スイッチ、「オンライン」スイッチを押し、設定を確定する

メニュー印刷設定モードで設定できる項目と値の一覧を、次の表に示します。

設定項目	設定値	機能
シユクショウ インサツ	100%	縮小せずに印刷します。メニュー印刷設定モードを解除すると、液晶ディスプレイの表示は『 』となります。
	75%	75%に縮小して印刷します。
	70%	70%に縮小して印刷します。
	リストインサツ A4	ストックフォーム用印刷データを75%に縮小し、A4用紙に横方向で印刷します。
	リストインサツ B4	ストックフォーム用印刷データをB4用紙に横方向で印刷します。
キョウシトレイ サイズ*	A 4	A4サイズに設定します。
	B 5	B5サイズに設定します。
	A 5	A5サイズに設定します。
	リーガル	リーガルサイズに設定します。
	レター	レターサイズに設定します。
	ハガキ	ハガキに設定します。
	フテイケイ	不定形用紙に指定します。 不定形用紙のサイズは『フテイケイ サイズ』で設定します。
	A 3 B 4	A3サイズに設定します。 B4サイズに設定します。
フテイケイ サイズ* フテイケイ タテ	x x x mm	不定形用紙の縦と横の長さを指定します。1mmずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。 スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。(はじめはゆっくり、しだいに速くなります。) 不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は次ページの を参照してください。
	フテイケイ ヨコ x x x mm	
コピ - マイスウ	x x マイ	印刷する部数を設定します。初期値は1枚です。1枚ずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。(はじめはゆっくり、しだいに速くなります。) 設定範囲は1枚から99枚です。
リョウメン インサツ	カシヨ	両面印刷を行いません。
	セツテイ	両面印刷を行います。
トジ シロ ホウコウ	チョウハン トジ	両面印刷のときに、長辺側を綴じしろにします。
	タンパン トジ	両面印刷のときに、短辺側を綴じしろにします。

設定項目	設定値	機能
トジ シロ モード	ヒダリ/ウエ トジ	両面印刷のときの、表面の綴じしろ位置を左 / 上にします。
	ミギ / シタ トジ	両面印刷のときの、表面の綴じしろ位置を右 / 下にします。
トジ シロ リウ	横	両面印刷のときの表と裏の綴じしろ量を設定します。1mmずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。
	縦	スイッチを押している時間により、加算減算の速度を加減します。(はじめはゆっくり、しだいに早くなります。) 設定範囲は0 ~ 30mm です。

不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は、次のとおりです。

	縦	横
設定範囲	148 mm ~ 420 mm	100 mm ~ 297 mm
初期値	420 mm (A 3 相当)	297 mm (A 3 相当)



- ・メニュー印刷設定モードのときに「オンライン」スイッチを押すと、メニュー印刷設定モードを終了し、オンライン状態に戻ります。
- ・設定値は電源を切ると元に戻ります。
- ・プリンタ内に未印刷データがあると、設定を切り替えることができない場合があります。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。
- ・縮小印刷の切り替えについて
 - ・ESC/Page モードでは、縮小印刷の「リストインサツ A4」「リストインサツ B4」は表示されません。
 - ・縮小印刷の表示が「リストインサツ A4」「リストインサツ B4」のときは、コマンドでESC/Page モードへ移行することはできません。
 - ・縮小印刷を「リストインサツ A4」「リストインサツ B4」に設定し、プリンタに設定値を登録した場合、セットアップの「エミュレーション設定」をESC/Page モードに切り替えると、縮小印刷は「 」に切り替わります。
- ・コピー枚数(印刷部数)の設定では、COPYコマンドが優先するため、設定した枚数が印刷されない場合があります。
- ・給紙トレイ用紙サイズスイッチを「パネルで設定」にした場合のみ、給紙トレイサイズで設定した値が有効となります。

ガイド

- ・両面印刷は、はがき、不定形用紙では無効となります。
- ・両面印刷のときの綴じしろ方向と綴じしろモードの関係については、「両面印刷と綴じしろ位置」(90ページ)をご覧ください。

お願い

給紙トレイサイズで設定した用紙よりも大きなサイズのデータを印刷すると、印字汚れなどの原因となりますので注意してください。

▼ プリンタをリセットする

プリンタをリセット（初期化）します。
リセットすると未印刷データは消去されます。

ガイド プリンタ内に未印刷データがあるときは、「データ」ランプが点灯しています。このときプリンタをリセットすると、未印刷データは消去されます。

リセット後、動作モード表示（70ページ）にEP、EG、PCのいずれかが表示されていないとき、再度プリンタをリセットしてください。

オンライン状態

「オンライン」スイッチ

オフライン

1 「オンライン」スイッチを押してオフライン状態にする

「リセット」スイッチ

ショキカ シマスカ？

2 「リセット」スイッチを押す

ガイド 初期化しないときは、「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずにオフライン状態に戻ります。

「リセット」スイッチ

ショキカチュウ

3 再度、「リセット」スイッチを押す

▼ 印刷を中止する

印刷を中止する場合は、「オンライン」スイッチを押します。

印刷中

「オンライン」スイッチ

ハイシュツ ショリチュウ

1 「オンライン」スイッチを押す

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

オフライン状態

続いて初期化する場合は、前項の「プリンタをリセットする」の手順2と3の操作を行います。

未印刷データを強制的に印刷する

プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。

本プリンタは、パソコンから1ページ分のデータを受信したとき、または排出コマンドを受信したときに、初めて印刷を実行します。したがって、データを受信しても1ページに満たない状態や排出コマンドを受信していない状態では、データがプリンタ内に残っています。

強制印刷をする

次のようなときに強制印刷をします。

- ・データランプが点灯したままで印刷しないとき
- ・パソコンからのデータ受信を中断し、強制的に印刷させるとき

ガイド データのないとき（データランプ消灯時）は、強制印刷できません。

強制印刷は、以下の手順で行います。

オンライン状態

「オンライン」スイッチ



「排出」スイッチ



1 「オンライン」スイッチを押し、オフライン状態にする

2 「排出」スイッチを押し印刷された用紙が排出され、データランプは点灯から消灯に変わります。

強制印刷を中断する

強制印刷を中断するには、用紙を排出中にもう一度「排出」スイッチを押します。強制印刷を中断し、印刷中の用紙を排出したあとオフライン状態になります。

■ 強制印刷を取り消す

強制印刷を取り消すには、用紙を排出中に「リセット」スイッチを押します。現在印刷中の用紙を排出したあとオフライン状態になり、液晶ディスプレイに『シヨキカシマスカ?』と表示されます。

初期化するときには、再度、「リセット」スイッチを押します。強制印刷は取り消され、初期化されます。

初期化しないときは、「オンライン」スイッチを押します。再び強制印刷が実行されます。

第7章

設定値を変える

本プリンタの持つ機能は、セットアップで変更します。この章では、セットアップで設定できる内容と、設定の操作について説明します。

セットアップ項目について	86
メニュー印刷～設定内容を印刷する	86
テスト印刷～テスト印刷をする	86
エミュレーション設定～動作モードを切り替える	87
印刷設定～印刷のときの設定を変える	87
EPモード設定～ESC/Pモードの印刷条件を設定する ..	91
EGモード設定～ESC/Pageモードの印刷条件を設定する ..	93
PCモード設定～PC-PR201モードの印刷条件を設定する ..	94
環境設定～日常の操作に必要な設定値を変える	97
補助機能設定～補助機能を設定する	100
登録～設定値を登録する	105
保守モード～保守モードを設定する	105
設定の変更手順(セットアップの操作方法)	106
基本的な操作	106
選んだ項目に設定する操作	106
数値を設定する操作	108
メニュー印刷やテスト印刷を行う操作	108
HEX ダンプ印刷を行う操作	109
セットアップ項目一覧	110

セットアップ項目について

プリンタの設定値は、セットアップモードで変更することができます。ここでは、セットアップモードで設定できる各項目について説明します。

▼ メニュー印刷 ~ 設定内容を印刷する

プリンタおよび LAN ポートの現在の設定内容を印刷します。メニュー印刷には「設定の印刷」「LAN の印刷」の 2 種類があります。印刷は現在選択している給紙口の用紙に行います。A4 サイズの用紙を基準とし、A4 より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。

LAN 設定で「TCP/IP」および「NetWare」を「無効」にしたとき、「LAN の印刷」は印刷しません。

次に「設定の印刷」の印刷例を示します。

エミュレーション設定		PC - PR201モード設定	
カレントエミュレーション設定 = ESC/Pモード		1バイト系ゼロ	= 0
印刷設定		2バイト系ゼロ	= 0
印刷方向	= 縦	ANK文字	= 標準
給紙口	= カセット1	漢字書体	= 明朝体
縮小印刷	= 100%	漢字文字サイズ	= 10.5ポ
給紙トレイサイズ	= A4	各国文字	= 日本
	不定形サイズ	136/LM設定	= LM初期設定
縦方向	= 420mm	LM位置設定	= 0/10インチ
横方向	= 297mm	用紙位置設定	= 左
コピー枚数	= 01枚	書き出し桁位置	= 0/10インチ
両面印刷	= 解除	自動CR&LF	= CR&LF
とじしろ方向	= 長辺とじ	印刷指令	= CRのみ
とじしろモード		CRコード	= CRのみ
		グラフィックモード	= ネイティブモード
		コード系	= 8ビット
		縦余白設定	
		縦上端余白	= 5.0mm
		縦左端余白	= 7.9mm

▼ テスト印刷 ~ テスト印刷をする

ANK文字(英数字、記号)や、各種の漢字文字によるテスト印刷を行います。印刷は現在選択している給紙口の用紙に行います。

テスト印刷が終わると、プリンタは初期化(リセット)されます。

エミュレーション設定 ~ 動作モードを切り替える

プリンタの動作モード（エミュレーションモード）を切り替えます。

本プリンタには、次のエミュレーションモードがあります。

- ・ESC/P モード セイコーエプソン VP-1000 相当
- ・ESC/Page モード セイコーエプソン LP-8000S 相当
- ・PC-PR201 モード 日本電気 PC-PR201 系シリアルプリンタ相当

お願い

ESC/P、ESC/Page、PC-PR201 の各エミュレーションモードから Printia XL ドライバへの切り替えは、印刷を実行する際に自動的に行われます。オペレータパネルで設定する必要はありません。

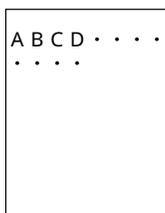
印刷設定 ~ 印刷のときの設定を変える

印刷の際に必要な設定値を変えます。

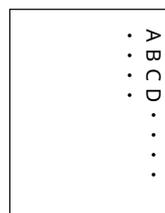
項目の中には、パソコンからのコマンドで設定できるものもあります。両方で設定したときは、後からの設定が有効になります。

印刷方向 ~ 印刷方向を変える

印刷する向きが縦か横か、また余白付きで印刷するかどうかを設定します。



印刷方向 縦



印刷方向 横

ガイド

- ・「L A」、「L B」または「H X」が設定されている場合は、印刷方向を切り替えることはできません。
- ・余白付きの設定は、ESC/P および PC-PR201 モードのとき、有効になります。

■ 給紙口 ~ 給紙口を変える

カセット1、カセット2、カセット3および給紙トレイのどの給紙口から給紙するかを設定します。

ガイド 自動的に用紙の選択をする方法は、「自動給紙」(114ページ)で設定します。

■ 縮小印刷 ~ 縮小印刷を指定する

縮小印刷の種類を設定します。100%、75%、70%、およびストックフォーム用印刷データの縮小印刷について設定できます。

ガイド

- ・ESC/Pageモードでは、ストックフォーム用印刷の設定(リスト印刷)は設定できません。
- ・ESC/Pageモードのときに75%または70%に設定すると、用紙サイズ設定コマンドは無視され、現在の給紙口から印刷されます。

■ 給紙トレイサイズ ~ 給紙トレイの用紙サイズを変える

給紙トレイから印刷するときの用紙のサイズを設定します。

ガイド 給紙トレイ用紙サイズスイッチを「パネルで設定」にした場合のみ、給紙トレイサイズで設定した値が有効になります。

お願い セットした用紙よりも大きなサイズのデータを印刷すると、印字汚れなどの原因となりますので注意してください。

■ 不定形サイズ ~ 不定形用紙のサイズを設定する

給紙トレイで不定形用紙を使うときに、その用紙のサイズを設定します。用紙の縦と横それぞれについて、mm単位の3桁で設定します。

不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は、次のとおりです。

	縦	横
設定範囲	148 mm ~ 420 mm	100 mm ~ 297 mm
初期値	420 mm (A 3相当)	297 mm (A 3相当)

■ コピー枚数 ~ 印刷する部数を設定する

印刷する部数を、1枚～99枚までの範囲で設定します。

ガイド 本設定とCOPYコマンドによる設定では、後からの設定が有効となります。このため、設定した枚数が印刷されない場合があります。

■ 両面印刷 ~ 両面印刷を設定する

両面ユニット装着時に、両面印刷を行うかどうかを設定します。

ガイド はがき、不定形用紙は、両面印刷を設定しても無効です。

■ 綴じしろ方向 ~ 両面印刷の綴じしろ方向を設定する

両面印刷のときに、用紙の長辺側と短辺側のどちらを綴じしろにするかを設定します。

ガイド 両面印刷のときの綴じしろ方向と綴じしろモードの関係については、「両面印刷と綴じしろ位置」(90ページ)をご覧ください。

■ 綴じしろモード

~ 両面印刷の表面の綴じしろ位置を設定する

両面印刷のときの、表面の綴じしろ位置を設定します。

ガイド

- ・本設定により、裏面の綴じしろ位置は、表面と反対側になります。
- ・両面印刷のときの綴じしろ方向と綴じしろモードの関係については「両面印刷と綴じしろ位置」(90ページ)をご覧ください。

■ 綴じしろ量 ~ 両面印刷の綴じしろ量を設定する

両面印刷のときの綴じしろ量を、1mm単位で設定します。綴じしろ量は、0～30mmの範囲で設定できます。

【両面印刷と綴じしろ位置】

(表綴じしろ量：a、裏綴じしろ量：b)

画面印刷		綴じしろ位置			
		印刷方向 縦		印刷方向 横	
		表	裏	表	裏
長辺綴じ	左/上綴じ				
	右/下綴じ				
短辺綴じ	左/上綴じ				
	右/下綴じ				

▼ EP モード設定 ~ ESC/P モードの印刷条件を設定する

プリンタを ESC/P モードで使うときの印刷条件を設定します。

■ 文字コード ~ 文字コード表を指定する

英数カナ文字コード部分のコード表を指定します。

■ 給紙位置 ~ 印刷開始位置を設定する

用紙の印刷開始位置を設定します。

■ 右マージン位置 ~ 右マージンを設定する

用紙の右マージンを設定します。

■ ANK 文字 ~ ANK 文字の書体を設定する

使用する ANK 文字（英数字、記号）の書体を設定します。

■ 漢字書体 ~ 漢字の書体を設定する

使用する漢字の書体を設定します。

■ CR コード ~ CR(復帰コード)の動作を設定する

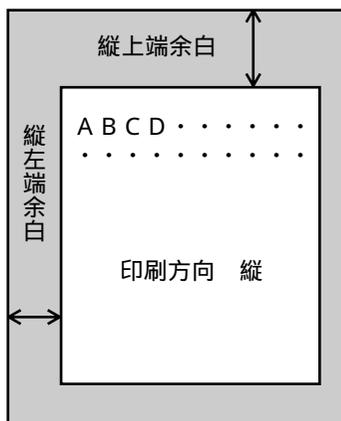
CR(復帰コード)の動作に、改行動作を加えるかどうかを設定します。

■ 縦余白設定 ~ 縦印刷のときの余白を設定する

縦印刷のときの余白を、0.1mm 単位で設定します。

「給紙位置」(111ページ)の設定により、次の範囲で値を設定できます。

給紙位置の設定	上端余白	左端余白
8.5mm	8.5 ~ 50mm	5 ~ 50mm
22mm	22 ~ 50mm	5 ~ 50mm

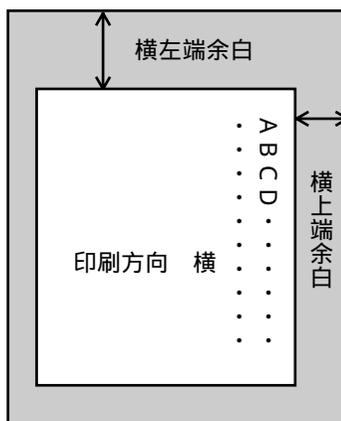


■ 横余白設定 ~ 横印刷のときの余白を設定する

横印刷のときの余白を、0.1mm 単位で設定します。

「給紙位置」(111ページ)の設定により、次の範囲で値を設定できます。

給紙位置の設定	上端余白	左端余白
8.5mm	8.5 ~ 50mm	5 ~ 50mm
22mm	22 ~ 50mm	5 ~ 50mm



EG モード設定 ~ ESC/Page モードの印刷条件を設定する

プリンタを ESC/Page モードで使うときの印刷条件を設定します。

■ 復帰改行 ~ 自動的に復帰改行する

自動復帰改行動作を行うかどうかを設定します。

自動復帰改行とは、印刷データが用紙の右端を超えたときに、自動的に改行し、印刷位置を次の行の先頭に移動することをいいます。

■ 改ページ ~ 自動改ページの動作を設定する

印刷データが用紙の下端を超えたときに、自動的に改ページするかどうかを設定します。

■ CR コード ~ CR (復帰コード) の動作を設定する

CR (復帰コード) の動作に改行動作を加えるかどうかを設定します。

■ LF コード ~ LF (改行コード) の動作を設定する

LF (改行コード) の動作に復帰動作を加えるかどうかを設定します。

■ FF コード ~ FF (改ページコード) の動作を設定する

FF (改ページコード) の動作に復帰動作を加えるかどうかを設定します。

■ エラーコード ~ 未定義文字の処理を設定する

未定義文字を受信したときの動作を設定します。

■ イメージパターン ~ イメージパターンを設定する

イメージデータを補正するかどうかを設定します。イメージデータの印刷品質が悪い場合に補正すると、アプリケーションによっては品質が向上することがあります。

■ メモリオーバー解除

～ メモリオーバーエラーの自動解除を設定する

メモリオーバーエラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除し、印刷処理を続行するかどうかを設定します。

メモリオーバーエラーとは、外字/マクロ/オーバーレイなどを登録するためのメモリが容量不足になることをいいます。

■ 給紙トレイ番号 ~ 給紙トレイ番号を設定する

給紙装置選択コマンドにおいて、拡張設定を行います。



本設定は変更しないでください。

▼ PC モード設定

～ PC-PR201 モードの印刷条件を設定する

プリンタを PC-PR201 モードで使う場合の印刷条件を設定します。

■ 1バイト系ゼロ

～ 1バイト系コードの0(ゼロ)の書体を設定する

1バイト系コード文字(ANK文字)の数字0(ゼロ)に使用する書体を設定します。

■ 2バイト系ゼロ

～ 2バイト系コードの0(ゼロ)の書体を設定する

2バイト系コード文字(かな漢字文字)の数字0(ゼロ)に使用する書体を設定します。

■ ANK文字 ~ ANK文字を設定する

ANK文字に使用する書体を設定します。

■ 漢字書体 ~ 漢字書体を設定する

かな漢字文字の書体を設定します。

■ 漢字文字サイズ ~ 漢字文字サイズを設定する

かな漢字文字のサイズを設定します。

■ 各国文字 ~ 各国文字を設定する

国別文字コードを設定します。

■ 136/LM 設定 ~ 136/LM 設定モードを指定する

印刷位置の設定方法を選択します。

■ LM 位置設定 ~ LM 位置を設定する

用紙の最左端印刷位置を基準として、印刷開始位置までの左マージン量 (LM 位置) を設定します。

本設定は、「136/LM 設定」で「LM 初期設定」を選択したときに有効になります。

■ 用紙位置設定 ~ 用紙位置を設定する

用紙位置を左合わせにするか、中央合わせにするかを設定します。

本設定は、「136/LM 設定」で「136 桁モード」を選択したときに有効になります。

■ 書出し桁位置設定 ~ 書出し桁位置を設定する

用紙位置の微調整が必要なときに、書出し桁位置を左右方向へ1/10インチ単位で設定します。

本設定は、「136/LM 設定」で「136 桁モード」を選択したときに有効になります。

■ 自動CR & LF ~ 自動CR & LFの動作を設定する

印字データが右側の印刷可能範囲を超えたとき、自動的に復帰改行動作をするか、復帰のみの動作をするかを設定します。

■ 印刷指令 ~ 印刷指令を設定する

印刷指令の制御コードをCRコードのみとするか、CRコード+その他とするかを設定します。

■ CRコード ~ CR(復帰コード)の動作を設定する

CRコードを受けたときに改行動作を加えるかどうかを設定します。

■ グラフィックモード ~ グラフィックモードを設定する

グラフィックの横方向のドットピッチを設定します。

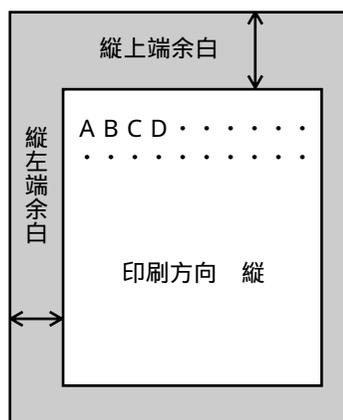
■ コード系 ~ コード系を設定する

使用するコード系を、8ビット系にするか、7ビット系にするかを設定します。

■ 縦余白設定 ~ 縦印刷のときの余白を設定する

縦印刷のときの余白を、0.1mm単位で設定します。

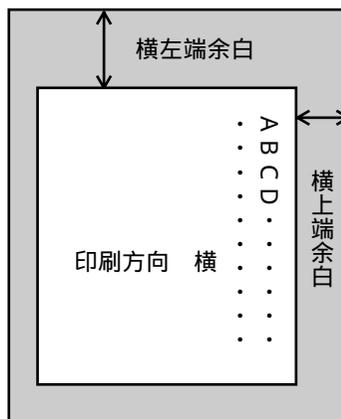
上端余白は5 ~ 50mm、左端余白は7.9 ~ 50mmの範囲で設定できます。



■ 横余白設定 ~ 横印刷のときの余白を設定する

横印刷のときの余白を、0.1mm 単位で設定します。

上端余白は7.9 ~ 50mm、左端余白は5 ~ 50mmの範囲で設定できます。



▼ 環境設定 ~ 日常の操作に必要な設定値を変える

日常操作する際に必要な設定を変更します。項目の中には、パソコンからのコマンドで設定できるものもあります。両方で設定したときは、後からの設定が有効になります。

■ スムージング ~ 印刷結果を滑らかにする

文字や図形のギザギザ(ジャギー)を滑らかにして印刷するかどうかを設定します。

■ トナーセーブ ~ トナーを節約する

印刷時のトナー量を少なくして、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。



トナーセーブを行う設定にしたときは、印刷品質は保証できませんのでご注意ください。

■ 自動給紙 ~ 自動的に給紙する

選択されているカセットの用紙がなくなったときに、他のカセットまたは給紙トレイから給紙するかどうかを設定します。またコマンドで指定した用紙サイズ/給紙口/印刷方向に関して、給紙口の自動選択を行います。

■ ブザー ~ ブザー鳴動を設定する

紙づまりが発生したり、給紙カセット内の用紙がなくなったりなど、アラームが発生したとき、ブザーを鳴らすかどうかを設定します。アラームが発生してもブザーが鳴らないように設定を変えることができます。

■ タッチ音 ~ タッチ音の設定をする

オペレータパネルのスイッチを押すとタッチ音が鳴るようにするか、しないかを設定します。

■ データ保証 ~ 紙づまりのデータを保証する

データ保証をするかどうかを設定します。

データ保証とは、紙づまりが発生したときに、そのデータをもう一度印刷し直す機能をいいます。



データ保証を「解除」すると、紙づまりが発生したときに、そのページが抜けてしまいます。

両面印刷のデータ保証は、「設定」となります。

■ データなし印刷 ~ 印刷データのないページを印刷する

データのないページを印刷(白紙印刷)するかどうかを設定します。

データのないページとは、パソコンから受信したデータが改ページをともなったコマンドのみで、印刷するデータがないページのことをいいます。

■ タイマー監視 ~ タイマー監視印刷を指定する

タイマー監視印刷をするかどうかを設定します。

タイマー監視印刷とは、プリンタがパソコンから最後のデータを受信してから一定時間内に後続のデータが送られなかったとき、今まで受信したデータを自動的に印刷する機能をいいます。

ただし、Printia XL ドライバ印刷時には、本設定は無効となります。

お願い

タイマー監視印刷を指定すると、パソコンの状態や、アプリケーションの動作速度によっては、ページの途中で用紙が排出されてしまうことがあります。このような場合は、タイマー監視印刷を解除するか、設定時間を長くしてください。

■ 給紙トレイ印刷 ~ 用紙サイズの優先を設定する

給紙トレイの用紙サイズについて、コマンドと設定のどちらを優先するかを指定します。

コマンド優先とは、オペレータパネルで指定した用紙サイズと違っていても強制的にパソコンで指定した用紙サイズで印刷する機能です。

また、設定優先とは、オペレータパネルで指定した用紙サイズと違っていている場合には「用紙サイズ不一致」アラームを表示する機能です。



給紙トレイ用紙サイズスイッチで用紙サイズを設定しているときは、設定優先となります。

■ メモリ不足解除 ~ メモリ不足エラーを自動的に解除する

両面印刷時にメモリ不足が発生したときにエラー状態を自動的に解除するかどうかを設定します。

本プリンタは、両面印刷時メモリ不足が発生すると、メッセージを表示し、ブザーを鳴動します。この場合に、何かスイッチ操作が行われるまで処理を停止するか、3秒間メッセージを表示した後に処理を続行するかを設定します。

ただし、Printianavi を利用している場合、自動的に解除されます。

■ 印字濃度調整 ~ 印刷濃度を調整する

印刷時の濃度を0～15の16段階で調整します。
設定値が大きいほど印刷濃度は濃くなります。

▼ 補助機能設定 ~ 補助機能を設定する

プリンタを使用する上での、補助的な機能について設定します。

■ パワーセーブ時間 ~ 消費電力を節約する

パワーセーブを行うかどうかを設定します。また、パワーセーブを行うまでの時間を設定します。

パワーセーブとは、一定時間印刷しなかった場合に、定着器の電源を自動的に切断し、消費電力を節約する機能です。

ガイド プリンタがパワーセーブ状態になると、液晶ディスプレイに『セーブ』と表示されます。パワーセーブ機能によって切断された定着器の電源は、次に印刷するときに自動的に投入されます。定着器の電源が投入されてから実際に印刷が始まるまでは、約60秒かかります。この間、液晶ディスプレイには『ウォーム』と表示されます。

■ ポート切替時間 ~ ポート切替時間を設定する

ポート切替を行うまでの時間を30～3600秒(10秒単位)の範囲で指定します。

ポート切替とは、一定時間印刷しなかった場合に他のポートからの印刷を可能にする機能のことをいいます。

■ トナーセーブ補正 ~ 輪郭を補正する

トナーセーブを設定したときに、データの輪郭部分のドットを強調して印字するかどうかを設定します。

■ HEX ダンプ印刷 ~ ヘキサダンプ形式で印刷する

HEX ダンプ印刷とは、パソコンからプリンタに送られる印刷データを、アルファベットや漢字などの文字ではなく、16進数のデータで印刷する機能です。この機能は、パソコンからのデータがプリンタに正しく転送されているかどうかを確認する場合などに使用します。

HEX ダンプ印刷を行う状態にすると、液晶ディスプレイの表示は、次のようになります。



HEX ダンプ印刷を解除するときは、オフライン状態にして「リセット」スイッチを2回押します。

■ ポート1設定 ~ ポート1のインタフェースタイミングを設定する

プリンタケーブル経由でデータ受信する場合に接続するパラレルポートのインタフェースタイミングを設定します。

バイセントロモード、ACK タイミング、ビジーディレイ、およびINIT受信について設定します。

▶ バイセントロモード

双方向インタフェースを有効にするかどうかを設定します。



バイセントロモードを「解除」する設定にすると、Printianaviの双方向機能、およびWindows 98/95のPlug&Play機能が使えなくなります。

▶ ACK タイミング

ACK 信号のパルス幅を設定します。

ACKのパルス幅は、バイセントロモードとの組み合わせにより次のとおりになります。

バイセントロ			
ACK	モード	設定	解除
タイミング			
高速		1 μ s	2.5 μ s
標準		2.5 μ s	5 μ s

▶ ビジーディレイ

ACK 信号と BUSY 信号の位置関係を設定します。接続するパソコンの仕様に合わせて設定します。

ビジーディレイは、バイセントロモードと ACK タイミングとの組み合わせにより次のとおりになります。

バイセントロ			
ACK	モード	設定	解除
タイミング			
高速		A - B 固定	A - B 固定
標準		A - B 固定	設定値

▶ INIT 受信

INIT 信号を受信したときの初期化を有効にするかどうかを設定します。

LAN 設定 ~ ネットワークを設定する

ネットワークのプロトコル、Ethernet タイプ、TCP/IP について設定します。

ガイド 「LAN設定」内の設定値を変更すると、セットアップモードを終了する際にプリンタをリセット(初期化)します。

▶ プロトコル

TCP/IP および NetWare を有効にするかどうかを設定します。

ガイド NetWare を無効にすると、パソコンからネットワーク設定ユーティリティは使用できません。

▶ Ethernet タイプ

Ethernet のタイプを設定します。

▶ TCP/IP 設定

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびポート番号 1、2 を設定します。

IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイの各項目は、DHCP により自動的に取得するように設定されているため、表示されません。IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイをプリンタから設定する場合は、「DHCP 自動取得」を「解除」してください。

TCP/IP の設定を行っても TCP/IP が正常に動作しない場合があります。このようなときは、メニュー印刷の「LAN の印刷」を行い、「TCP/IP 動作状態コード」を確認してください(次ページ参照)。

TCP/IP 動作状態コードは、次のとおりです。

コード	内容と処置
0	TCP/IP は正常に動作しています。
1	IP アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。 設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IP 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
6	DHCP により取得した IP アドレスが他のホストで使用されています。 いったん、電源を切断し、再び投入してください。

DHCP クライアントの予約について

DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じ IP アドレスを取得できるように DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、電源投入後、オペレータパネルに表示されるファームロード中(下段)のメッセージを参照するか(41 ページ)、またはメニュー印刷を行うと出力されます(86 ページ)。



「プロトコル」の「TCP/IP」を「無効」にした場合、「TCP/IP 設定」は表示されません。

▶ LAN 初期化

『LAN 設定』の内容を工場出荷時の初期値に戻します。

登録 ~ 設定値を登録する

セットアップモードで設定した内容(「LAN設定」(103ページ)を除く)をプリンタに記憶させたり、各設定値を工場出荷時の値に戻したり、または各設定値を読み出したりします。

ガイド 設定値を登録しないと、セットアップで変更した値は電源を切ると元の値に戻ります。

保守モード ~ 保守モードを設定する

保守に必要な表示、およびソフトスイッチの設定を行います。

お願い 保守モードは保守者用の機能です。保守以外の目的には使用しないでください。

設定の変更手順(セットアップの操作方法)

プリンタの設定を変えるときの操作方法について説明します。設定の変更は、セットアップモードで行います。

基本的な操作

セットアップモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示させ、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

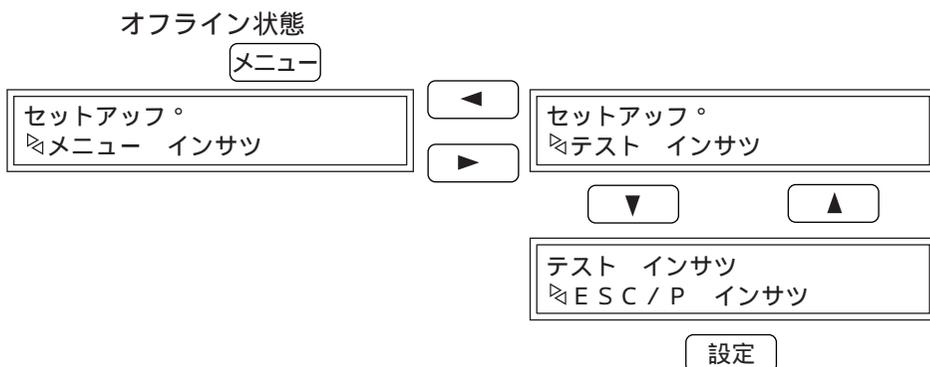
セットアップモードでは、次のスイッチを使用します。

「メニュー」スイッチ セットアップモードに入ります。

「▲」または「▼」スイッチ レベルを移動します。

「▶」または「◀」スイッチ 同じレベル内で項目を切り替えます。

「設定」スイッチ 表示中の値に設定します。



選んだ項目に設定する操作

具体的な操作方法を以下に示します。

表示例は、給紙口を給紙トレイからカセット1に切り替えるときのものです。

オンライン状態

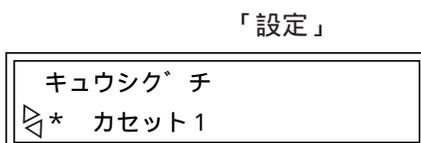
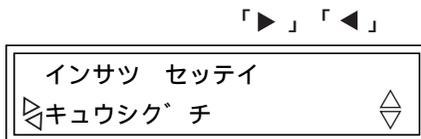
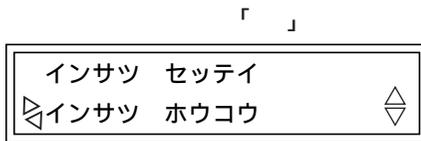
「オンライン」スイッチ

オフライン状態

「メニュー」スイッチ

- 1 オフライン状態で「メニュー」スイッチを押し、セットアップモードにする





2 「▶」または「◀」スイッチで、同じレベル内の項目を切り替える目的の項目が表示されるまで、「▶」または「◀」スイッチを押します。

3 「▼」または「▲」スイッチで、レベルを移動する

「▼」スイッチを押すと、2で選択した項目が上段に、その項目の下にある項目が下段に表示されます。「▲」スイッチを押すと、上のレベルに移動します。

4 2と3の操作を繰り返して、目的の設定値を表示する

5 「設定」スイッチを押して、値を確定する

「設定」スイッチを押すと、設定値の前に「*」が表示され、その値が設定されます。

6 必要に応じて設定を繰り返す

ほかに設定する項目がある場合は、操作を繰り返して設定します。

7 「登録」の「設定登録」を実行し、設定内容を登録する

同様の手順で「登録」の中にある「設定登録」を実行します。これを実行しないとここまで設定した内容は保存されません。

8 「オンライン」スイッチを押して、セットアップモードを終了させる

終了後は、オフライン状態のため、もう一度「オンライン」スイッチを押してオンライン状態に戻します。

▼ 数値を設定する操作

不定形用紙のサイズや余白の設定など、値を数値で指定するときは、次のように操作します。

設定画面を表示

「▶」「◀」「▲」「▼」

フテイケイ	ヨコ
◀ * 297	mm

設定画面を表示し、「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。

スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。(はじめはゆっくり、しだいに速くなります。)

値を増減

「▶」「◀」

フテイケイ	ヨコ
▶ 200	mm

▼ メニュー印刷やテスト印刷を行う操作

「メニュー印刷」および「テスト印刷」では、項目を表示して「設定」スイッチを押すと、すぐに印刷が開始されます。

テスト	インサツ
▶ アウトラインモシ	インサツ

「選んだ項目に設定する操作」の手順1～3と同じ操作で目的の項目を表示して「設定」スイッチを押します。

「設定」

印刷開始

印刷が開始されます。

印刷終了

テスト	インサツ
▶ アウトラインモシ	インサツ

印刷が終わると、「設定」スイッチを押す前の表示に戻ります。



H連続印刷は、「リセット」スイッチを押して終了します。

▼ HEX ダンプ印刷を行う操作

「HEX ダンプ印刷」を表示して「設定」スイッチを押すと、以降、16進数のデータで印刷されます。



「 」



「設定」



オンライン状態

以後、パソコンからのデータは16進数で印刷されます。

HEX ダンプ印刷を解除するときは、オフライン状態にして「リセット」スイッチを2回押します。

「選んだ項目に設定する操作」の手順1～3と同じ操作で「HEX ダンプ印刷」を表示して「設定」スイッチを押します。

セットアップ項目一覧

セットアップモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値の前の「*」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

各項目の設定方法については、「設定の変更手順(セットアップの操作方法)」(106 ページ)を参照してください。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能	
メニュー印刷	設定の印刷				現在のプリンタの設定内容を印刷する。	
	LANの印刷				現在のLANポートの設定内容を印刷する。	
テスト印刷	ESC/P印刷				ESC/Pモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。	
	ESC/Page印刷				ESC/Pageモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。	
	PC-PR201印刷				PC-PR201モードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。	
	アウトライン文字印刷				アウトライン文字 (ANK/漢字) でテスト印刷する。	
	その他の印刷	H連続印刷			H連続印刷	「H」を連続して印刷する。
		黒ベタ印刷			黒ベタ印刷	印刷可能領域をすべて黒で塗りつぶして印刷する。
		白紙印刷			白紙印刷	白紙のまま印刷する。
格子印刷				格子印刷	格子を印刷する。	
エミュレーション設定				* ESC/P	プリンタをESC/Pモードで動作させる。	
				ESC/Page	プリンタをESC/Pageモードで動作させる。	
				PC-PR201	プリンタをPC-PR201モードで動作させる。	
印刷設定	印刷方向			* 縦	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。上端/左端の余白は固定。	
				縦余白	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷する。	
				横	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。上端/左端の余白は固定。	
				横余白	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。横余白設定で設定した余白を付けて印刷する。	

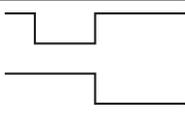
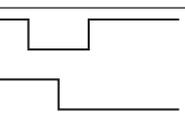
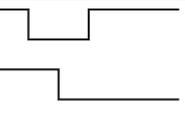
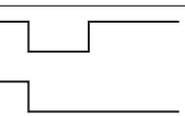
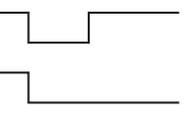
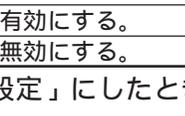
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能		
印刷設定	給紙口			* カセット1	1段目の給紙カセットから給紙する。		
				カセット2	2段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。		
				カセット3	3段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。		
				給紙トレイ	給紙トレイから給紙する。		
	縮小印刷				* 100%	縮小せずに印刷する。	
					75%	75%に縮小して印刷する。	
					70%	70%に縮小して印刷する。	
					リスト印刷A4	ストックフォーム用の印刷データを75%に縮小してA4用紙に横方向で印刷する。	
					リスト印刷B4	ストックフォーム用の印刷データをB4用紙に横方向で印刷する。	
	給紙トレイサイズ				* A4	A4サイズに設定する。	
					B5	B5サイズに設定する。	
					A5	A5サイズに設定する。	
					リーガル	リーガルサイズに設定する。	
					レター	レターサイズに設定する。	
					ハガキ	はがきサイズに設定する。	
					不定形	不定形用紙に設定する。このときの用紙サイズは、『不定形サイズ』で設定する。	
					A3	A3サイズに設定する。	
	不定形サイズ			不定形縦	× × × mm	不定形用紙の縦の長さを指定する。	
				不定形横	× × × mm	不定形用紙の横の長さを指定する。	
	コピー枚数				× × 枚	印刷する部数を設定する。(1~99枚)	
	両面印刷(*1)				* 解除	両面印刷を行わない。(片面印刷)	
					設定	両面印刷を行う。	
	綴じしろ方向(*1)				* 長辺綴じ	長辺側を綴じしろとする。	
					短辺綴じ	短辺側を綴じしろとする。	
	綴じしろモード(*1)				* 左/上綴じ	左側、または上側を綴じる。	
					右/下綴じ	右側、または下側を綴じる。	
	綴じしろ量(*1)			表	× × mm	表面の綴じしろ量を設定する。	
				裏	× × mm	裏面の綴じしろ量を設定する。	
	EPモード設定	文字コード			* カタカナ	カタカナコード表(169ページ)を使用する。	
					グラフィック	拡張グラフィックコード表(169ページ)を使用する。	
		給紙位置				* 8.5mm	印刷開始位置を用紙の上辺から8.5mmに設定する。
						22mm	印刷開始位置を用紙の上辺から22mmに設定する。

* 1 : オプションの両面ユニットを搭載しているときのみ表示されます。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能	
EPモード設定	右マージン位置			* 用紙幅	用紙幅に合わせて右マージンを設定する。右マージンは、使用する用紙サイズの印刷領域の右端まで。	
				136桁	用紙サイズに関係なく136桁(13.6インチ)に設定する。用紙幅が136桁に満たない場合、印刷領域を越えた部分は印刷されない。	
	ANK文字			* ローマン	ANK文字の書体をローマンにする。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
				サンセリフ	ANK文字の書体をサンセリフにする。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
	漢字書体			* 明朝	漢字の書体を明朝体にする。 亜唾娃阿哀愛挨始逢葵茜穉惡握渥	
				ゴシック	漢字の書体をゴシック体にする。 亜唾娃阿哀愛挨始逢葵茜穉惡握渥	
	CRコード			* CRのみ	CR動作(復帰のみ)を行う。	
				CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。	
	縦余白設定		縦上端余白	x x . x mm	縦印刷のときの上端余白を設定する。	
			縦左端余白	x x . x mm	縦印刷のときの左側余白を設定する。	
	横余白設定		横上端余白	x x . x mm	横印刷のときの上端余白を設定する。	
			横左端余白	x x . x mm	横印刷のときの左側余白を設定する。	
	EGモード設定	復帰改行			* 設定	自動復帰改行動作を行う。
					解除	自動復帰改行動作を行わない。
改ページ				* 設定	自動的に改ページする。	
				解除	自動的に改ページしない。	
CRコード				* CRのみ	CR動作(復帰)のみ行う。	
				CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。	
LFコード				* CR&LF	LF動作(改ページ)とCR動作(復帰)を行う。	
				LFのみ	LF動作(改行)のみを行う。	
FFコード			* CR&FF	FF動作(改ページ)とCR動作(復帰)を行う。		
			FFのみ	FF動作(改ページ)のみを行う。		
エラーコード			* 無視	未定義文字を無視する。		
			スペース	未定義文字をスペース(空白)に置き換える。		

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能
EGモード設定	イメージパターン			* 標準	イメージデータを補正しない。
				補正	イメージデータを補正する。
	メモリアーバー解除			* しない	何かスイッチが押されるまで待機する。
				する	何かスイッチが押されるか、メッセージを3秒間表示した後、印刷処理を続行する。
				* 3	通常仕様を設定する。
	給紙トレイ番号			4	拡張仕様1（3段カセットサポート機用）を設定する。
				5	拡張仕様2（4段カセットサポート機用）を設定する。
PCモード設定	1バイトケイゼロ			* 0	0(ゼロ)の書体を「0」にする。
				∅	0(ゼロ)の書体を「∅」にする。
	2バイトケイゼロ			* 0	0(ゼロ)の書体を「0」にする。
				∅	0(ゼロ)の書体を「∅」にする。
	ANK文字			* 標準	標準の書体を使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				イタリック	イタリックを使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				クーリエ	クーリエを使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				ゴシック	ゴシック体を使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	漢字書体			* 明朝	明朝体を使用する。 亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穉惡握渥
				ゴシック	ゴシック体を使用する。 亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穉惡握渥
	漢字文字サイズ			* 10.5ポ	10.5ポイントにする。
				7ポ	7ポイントにする。
				12ポ	12ポイントにする。
	各国文字			* 日本	日本の文字コードを使用する。
				アメリカ	アメリカの文字コードを使用する。
				イギリス	イギリスの文字コードを使用する。
				ドイツ	ドイツの文字コードを使用する。
スウェーデン				スウェーデンの文字コードを使用する。	
136/LM設定			* LM初期設定	「LM位置設定」の設定内容を使用する。	
			136桁モード	最大印字幅を136桁にする。 「用紙位置」「書き出し桁位置」の設定内容を使用する。	

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能	
PCモード設定	LM位置設定			* x x /10インチ	印刷開始位置までの左マージン(LM位置)を設定する。用紙の左端印刷位置を基準とする。	
	用紙位置設定			* 左	用紙位置を左合わせにする。	
				中央	用紙位置を中央揃えにする。	
	書き出し桁位置				* x x x /10インチ	用紙位置を微調整するために、書き出し桁位置を設定する。
	自動CR&LF				* CR&LF	復帰動作と改行動作の両方を行う。
					CRのみ	復帰動作のみを行う。
	印刷指令				* CRのみ	CRコードのみとする。
					CR+その他	CR、LF、VT、FF、US、ESC + a、ESC + bとする。
	CRコード				* CRのみ	CR動作(復帰)のみ行う。
					CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。
	グラフィックモード				* ネイティブモード	標準横方向のドットピッチとする。
					コピーモード	横方向のドットピッチを1/80インチに変換する。8ビットのドット列イメージを印字するときに設定する。
	コード系				* 8ビット	8ビット系のコードを使用する。
					7ビット	7ビット系のコードを使用する。
	縦余白設定	縦上端余白			x x . x mm	縦印刷のときの上端余白を設定する。
縦左端余白				x x . x mm	縦印刷のときの左端余白を設定する。	
横余白設定	横上端余白			x x . x mm	横印刷のときの上端余白を設定する。	
	横左端余白			x x . x mm	横印刷のときの左端余白を設定する。	
環境設定	スムージング			* 設定	滑らかにする。	
				解除	滑らかにしない。	
	トナーセーブ				* 解除	節約しない。
					設定	節約する。
	自動給紙				* 設定	自動給紙を行う。
					解除	自動給紙を行わない。
	ブザー				* 設定	ブザーを鳴らす。
					解除	ブザーを鳴らさない。
	タッチ音				* 設定	タッチ音を鳴らす。
					解除	タッチ音を鳴らさない。
	データ保証				* 設定	データをもう一度印刷する。
					解除	データは印刷し直さない。
データなし印刷				* 解除	印刷しない。ただし、オーバーレイ登録中はデータがないときでも印刷する。	
				設定	印刷する。(白紙印刷)	

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能		
環境設定	タイマー監視			* 解除	タイマー監視印刷を行わない。		
				30秒	監視時間を30秒にする。		
				10秒	監視時間を10秒にする。		
	給紙トレイ印刷 (*2)			* コマンド優先	コマンドで指定した用紙サイズで印刷する。		
				設定優先	オペレータパネルで指定した用紙サイズで印刷する。		
	メモリ不足解除			* しない	メモリ不足が発生した場合、メッセージを表示したままスイッチ操作を待つ。		
する				メモリ不足が発生した場合、スイッチ操作または3秒間のメッセージ表示後、処理を続行する。			
印字濃度調整			× ×	印字濃度を設定する。(16段階)			
補助機能設定	パワーセーブ時間			* 30分	30分		
				60分	60分		
				解除	パワーセーブを行わない。		
				15分	15分		
	ポート切り替え時間			× × × × 秒	他のポートに切り替えるまでの時間を設定する。(30 ~ 3600秒)		
	トナーセーブ補正			* 設定	補正する。		
				解除	補正しない。		
	HEXダンプ印刷			設定	ヘキサダンプ形式で印刷する。		
	ポート1設定	バイセントロモード			* 設定	双方向インタフェースを有効にする。	
					解除	双方向インタフェースを無効にする。	
		ACKタイミング				* 高速	パルス幅を短い値に設定する。
						標準	パルス幅を標準の値に設定する。
ビジーディレイ				* A-B	ACK信号  BUSY信号 		
				A-B-A	ACK信号  BUSY信号 		
				B-A	ACK信号  BUSY信号 		
INIT受信				* 有効	INIT受信を有効にする。		
				無効	INIT受信を無効にする。		

* 2 : 給紙トレイ用紙サイズスイッチを「パネルで設定」にしたときに有効です。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能	
補助機能設定	LAN設定	プロトコル	TCP/IP	* 有効	TCP/IPを有効にする。	
				無効	TCP/IPを無効にする。	
			NetWare	* 有効	NetWareを有効にする。	
				無効	NetWareを無効にする。	
		Ethernetタイプ		* 自動	自動検出して動作する。	
				100MbpsFull	100Mbps(Full)で動作する。	
				100MbpsHalf	100Mbps(Half)で動作する。	
				10Mbps	10Mbpsで動作する。	
		TCP/IP設定	DHCP自動取得	* 設定	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得する。	
				解除	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得しない。	
			IPアドレス (*3)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。	
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。	
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。	
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。	
			サブネットマスク (*3)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。	
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。	
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。	
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。	
			ゲートウェイ (*3)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する	
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する	
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する	
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する	
			ポート番号1	* 9313	印刷を受け付けるときに使用するポート番号を設定する(1~65535)	
			ポート番号2	* 9313	ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定する(1~65535)	
			LAN初期化		設定	LAN設定の内容を、工場出荷時の初期値に戻す

* 3 :「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能
登録				設定呼び出し	プリンタの設定内容を読み出す。
				設定初期化	プリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻す。
				設定登録	セットアップによって設定した内容をプリンタに記憶させる。電源を切っても、設定内容は保持される。
保守モード	印刷枚数			xxxxxxxxページ	
	メモリ容量			xx MB	
	ROM版数			Ver x.x x	
	エンジステータス		STATUS***=xxx		
	NVコード		** = XX		
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチx-x			* OFF ON

第8章

こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるときや、紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。

故障かなと思ったとき	120
紙づまりになったとき	122
紙づまりの取り除きかた	123
印刷品質が低下したとき	132
エラーメッセージが表示されたとき	136

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードの抜け ・停電 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（ 側）されていることを確認してください。
電源を投入してもすぐに切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセントに問題あり ・電圧が違う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 <p>参照：「安全上のご注意」(2ページ) 「電源コードの接続」(36ページ) 「電源の投入と切断」(40ページ)</p>
印刷しない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源未投入 ・プリンタケーブルが抜けている ・オンライン状態でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 <p>参照：「パソコンとの接続」(30ページ) 「電源の投入と切断」(40ページ) 「オンライン状態とオフライン状態を切り替える」(72ページ)</p>
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを確実に押していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチのまん中をしっかりと押してください。 <p>参照：「オペレータパネルを操作する」(72ページ)</p>
異常音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 <p>参照：「用紙のセット」(42ページ) 「紙づまりになったとき」(122ページ)</p>
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 <p>参照：「安全上のご注意」(2ページ) 「用紙について」(17ページ) 「用紙のセット」(42ページ)</p>

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は1枚ずつセットして印刷してください。 参照：「用紙のセット」(42ページ)
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「安全上のご注意」(2ページ) 「用紙について」(17ページ) 「用紙のセット」(42ページ) 「紙づまりになったとき」(122ページ)
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した ・紙づまりが発生している	・電源を切断(側)して、数秒経過後に投入(上側)してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「電源の投入と切断」(40ページ) 「紙づまりになったとき」(122ページ)
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	数枚テスト印刷してください。汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 参照：「設定値を変える」(85ページ) 「プリンタの清掃」(59ページ)
エラーメッセージが表示され、印刷されない		それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「エラーメッセージが表示されたとき」(136ページ)

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミツ` マリ』『カミヲ` トリノゾ` イテクタ` サイ』と表示されます。このとき、すべてのスイッチが無効になります。

次の要領でつまった用紙を取り除いてください。

つまった用紙を取り除いて上部カバーを閉じると、メッセージが消えてオフライン状態になります。「オンライン」スイッチを押してオンライン状態にすると、印刷を再開します。

「環境設定」の中の「データ保証」を「設定」にしていると、紙づまりが発生したページから印刷します。

お願い

- ・つまった用紙を取り除いて上部カバーを閉じてメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- ・紙づまりが発生したら、必ず一度、上部カバーを開閉してください。
- ・用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。

注意

ケガ つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。

- ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
- ・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火災 つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。

なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

■ 紙づまりの主な原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

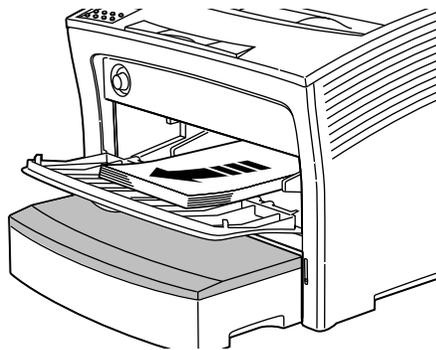
- ・ プリンタを水平に設置する
- ・ 適切な用紙を使用する
- ・ 給紙カセットや給紙トレイに用紙を正しくセットする
- ・ カールしていない用紙を使用する
- ・ 給紙カセットを奥に突きあたるまで押し込む

▼ 紙づまりの取り除きかた

つまった用紙の取り除きかたを、給紙部と用紙搬送部それぞれについて説明します。

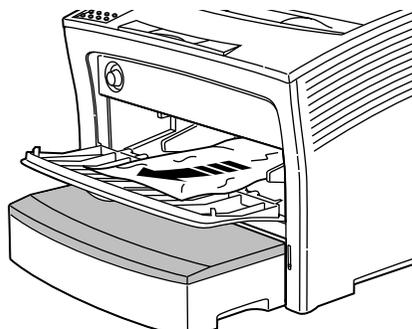
■ 給紙部でつまった用紙の取り除きかた

給紙部でつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください。



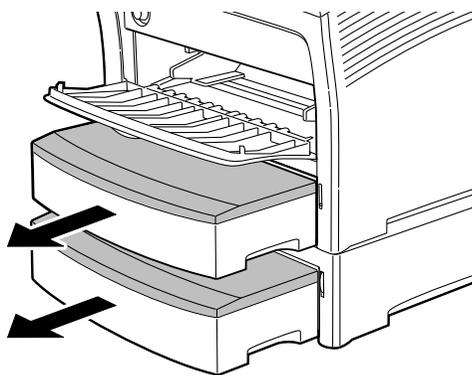
1 給紙トレイにセットされている用紙を取り出す

給紙トレイから給紙していた場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、手順3に進んでください。



2 給紙トレイの奥を点検する

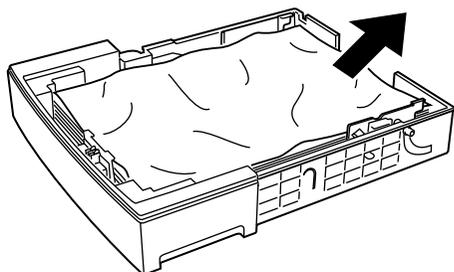
給紙トレイの奥(用紙の差し込み口付近)を点検し、つまった用紙があった場合は、取り除きます。



3 給紙カセットをプリンタから抜く

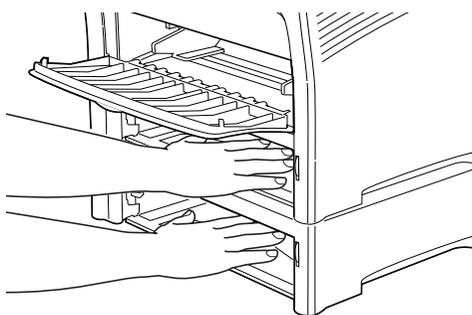
給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、緑色のラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜きます。

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセットを抜きます。



4 シワになっている用紙がある場合は取り除く

給紙カセット内にシワになっている用紙がある場合は、取り除きます。



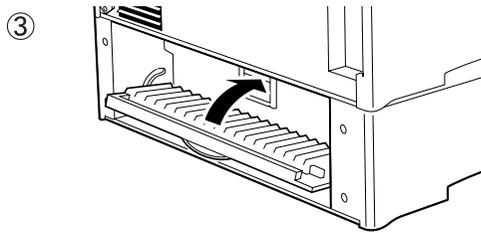
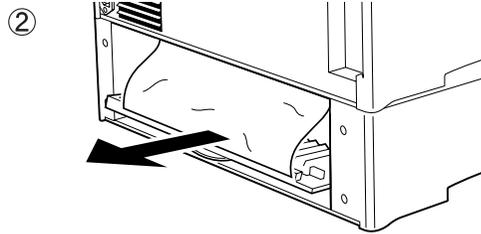
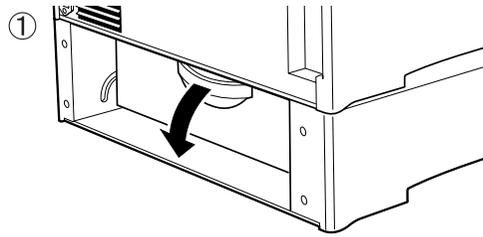
5 給紙カセット差し込み口の奥を点検する

給紙カセット差し込み口の奥を点検し、つまった用紙がある場合は取り除きます。

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセット差し込み口の奥を点検します。

お願い

プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。



6 拡張給紙ユニット背面のカバーを開き点検する

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、背面のカバーを開きます()。つまった用紙があれば取り除き()、カバーを閉じます()。

7 給紙トレイ、給紙カセットに用紙をセットする

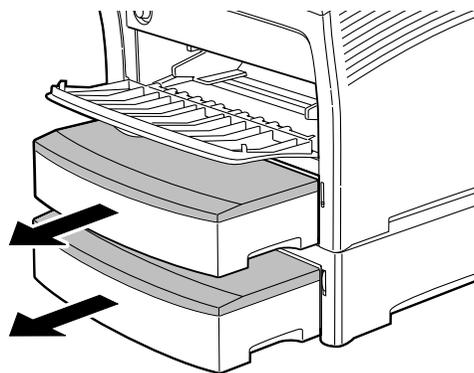
「用紙のセット」(42ページ)を参照し、用紙をセットしてください。



給紙トレイ内での紙づまりの場合も、上部カバーを一度開閉してください。上部カバーを開閉すると、エラーメッセージが消えます。

■ 用紙搬送部でつまった用紙の取り除きかた

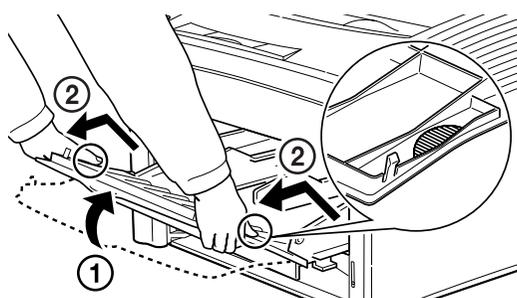
用紙搬送部でつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください。



1 給紙カセットをプリンタから抜く

給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、緑色のラベルの部分を手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜きます。

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセットを抜きます。

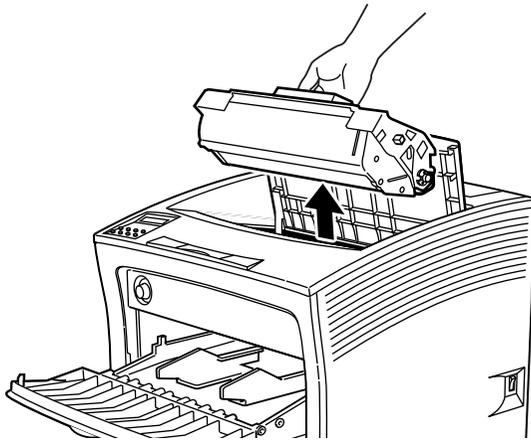


2 給紙トレイを引き出す

給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。

給紙トレイの左右を持って、少し上に傾けます()。

さらに、軽く持ち上げて手前に引き出します()。

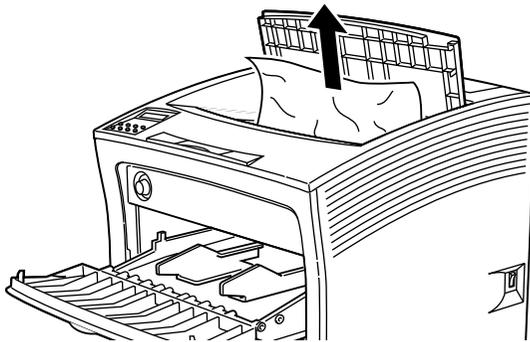


3 プロセскарトリッジを 取り外す

「プロセскарトリッジを取り外す」(54ページ)を参照して、プリンタ内部からプロセскарトリッジを取り出します。

お願い

トナーで床を汚さないように、取り出したプロセскарトリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。



4 プロセскарトリッジを 抜き出した奥を点検する

プロセскарトリッジを抜き出した奥を点検し、つまっている用紙が見えるときには、破らないように矢印の方向にゆっくりと引き抜きます。

警告

誤飲 用紙上の文字は定着していないので、触れるとトナーが手に付きます。用紙を取り除くとき、手や服がトナーで汚れないよう注意してください。

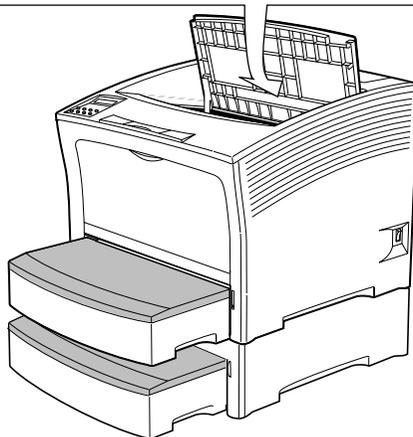
トナーが付いてしまったときは、すぐに水で洗ってください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

注意

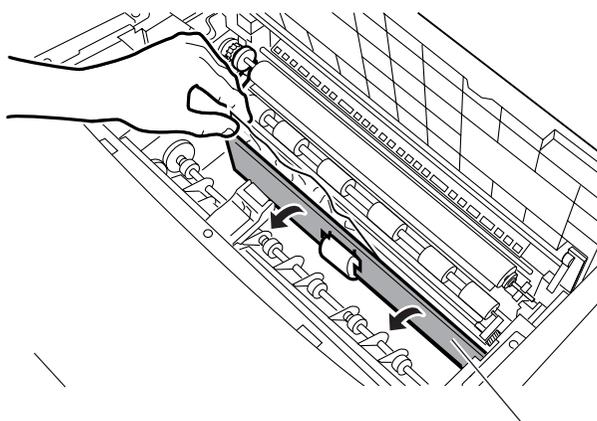
やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル



お願い

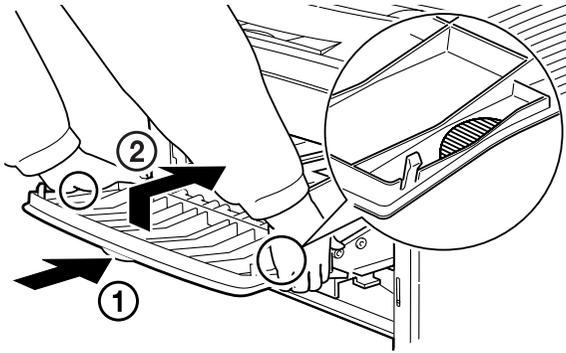
プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。



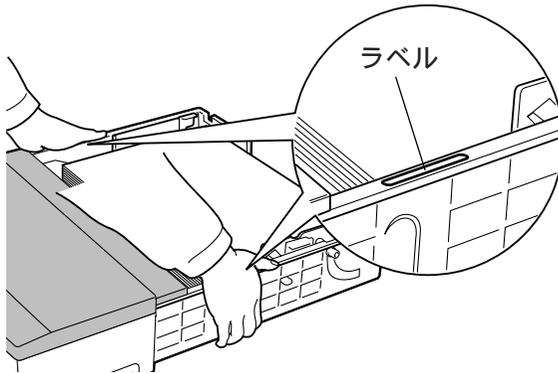
用紙搬送部のカバー

5 用紙搬送部の用紙を取り除く

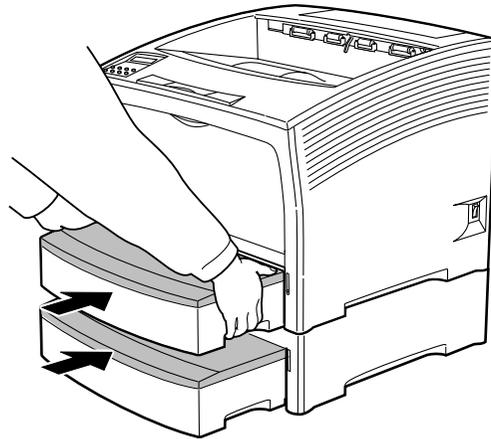
用紙搬送部のカバーを開け、つまっている用紙があったら取り除きます。

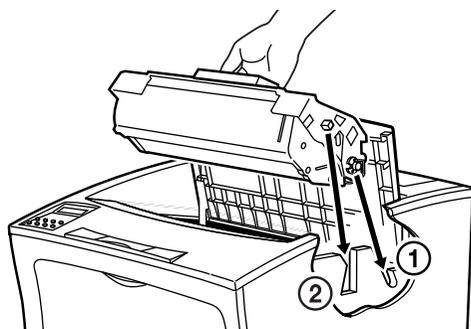


6 給紙トレイを元に戻す
給紙トレイの左右を持って、突き当たるまで押し込みます()。軽く持ち上げさらに押し込み、元の位置に戻します()。



7 給紙カセットをプリンタに押し込む
給紙カセットのラベルが貼ってある部分を両手で持ち、プリンタに差し込みます。給紙カセットを突き当たるまでプリンタに押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。



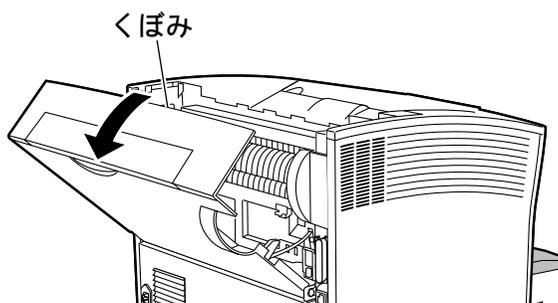


8 プロセスカートリッジを プリンタ内部に戻す

プロセスカートリッジをプリンタ内部に確実にセットし、上部カバーを閉じてしっかりとロックします。(「プロセスカートリッジを取り付ける」(55ページ)参照)

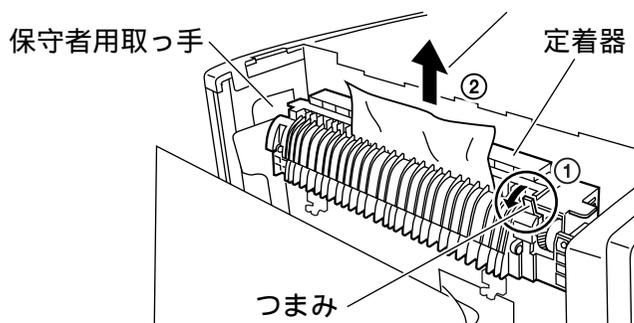
お願い

- ・上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。
- ・次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すれば、汚れはつかなくなります。



9 背面カバーを開き点検する

背面カバー上部のくぼみに手をかけ、手前に引いて背面カバーを開きます。



10 定着器内を確認する

定着器のつまみを手前に引き()、つまった用紙があれば取り除きます()。

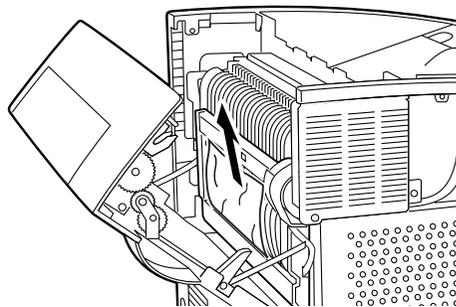
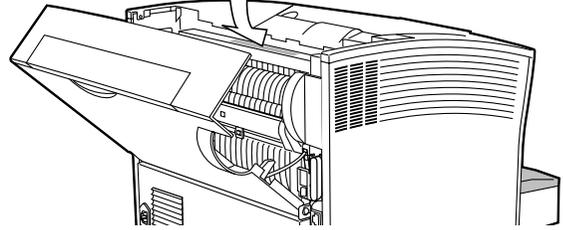
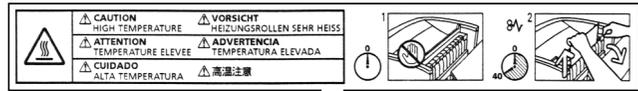
お願い

オレンジ色の取っ手は保守者用のため、手を触れないでください。定着器がプリンタから外れてしまいます。

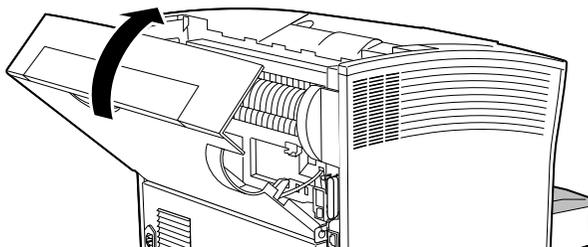
注意

やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル



11 両面ユニットを点検する
オプションの両面ユニットを使用している場合は、両面ユニットを点検します。
両面ユニットにつまった用紙があれば、取り除きます。



12 定着器のつまみを元に戻し、背面カバーを閉じる

お願い

定着器が確実に元に戻っていることと、背面カバーが確実にロックされていることを確認してください。印刷不良が発生することがあります。

印刷品質が低下したとき

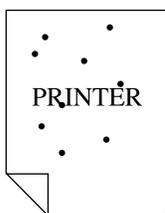
印刷品質が低下したときの処置について説明します。

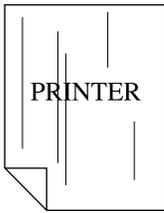
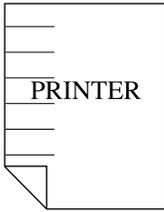
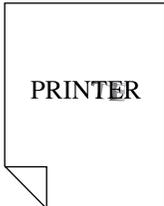
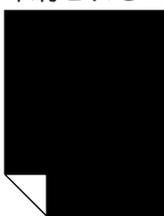
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。

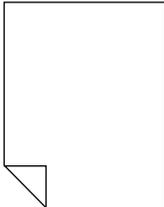
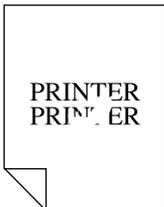
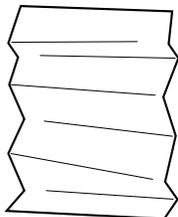


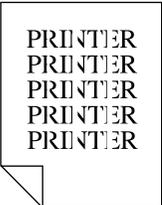
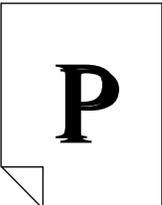
注意

やけど プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。プロセスカートリッジを取り扱うときは、定着器に手を触れないよう十分に注意してください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
	印刷がうすい (かすれる、不鮮明)	印刷濃度の設定が適正でありません。 印刷濃度を調整してください。 参照：「印字濃度調整」(100 ページ)
	シールドガラスが汚れています。	シールドガラスを清掃してください。 参照：「シールドガラスの清掃」 (62 ページ)
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(42 ページ)
	プロセスカートリッジ内にトナーがありません。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (51 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (51 ページ)
	黒点が印刷される	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(17 ページ) 「用紙のセット」(42 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (51 ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
<p>黒線が印刷される</p> 	<p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (51 ページ)</p>
<p>等間隔に汚れる</p> 	<p>プリンタ内の用紙搬送路が汚れています。</p> <p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参照：「設定値を変える」(85 ページ)</p> <p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (51 ページ)</p>
<p>黒く塗りつぶされた部分に白点がある</p> 	<p>使用している用紙が適切ではありません。</p> <p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(17 ページ) 「用紙のセット」(42 ページ)</p> <p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (51 ページ)</p>
<p>指でこするとトナーがかすれる</p> 	<p>用紙が湿気を含んでいます。</p> <p>使用している用紙が適切ではありません。</p>	<p>新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(42 ページ)</p> <p>適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(17 ページ) 「用紙のセット」(42 ページ)</p>
<p>用紙全体が黒く印刷される</p> 	<p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p> <p>プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられます。</p>	<p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 (51 ページ)</p> <p>お買い上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。</p>

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
<p>何も印刷されない</p> 	<p>プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。</p>	<p>トナーシールを引き抜きます。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(51 ページ)</p>
	<p>一度に複数枚の用紙が搬送されています。</p>	<p>用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照：「用紙のセット」(42 ページ)</p>
	<p>プロセスカートリッジにトナーが残っていません。</p>	<p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(51 ページ)</p>
	<p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(51 ページ)</p>
	<p>プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられます。</p>	<p>お買上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。</p>
<p>白抜けが起こる</p> 	<p>シールドガラスが汚れています。</p>	<p>シールドガラスを清掃してください。 参照：「シールドガラスの清掃」(62 ページ)</p>
	<p>用紙が湿気を含んでいます。</p>	<p>新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(42 ページ)</p>
	<p>使用している用紙が適切ではありません。</p>	<p>適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(17 ページ) 「用紙のセット」(42 ページ)</p>
	<p>プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。</p>	<p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(51 ページ)</p>
	<p>用紙のセットが適切ではありません。</p>	<p>用紙を正しくセットしてください。 参照：「用紙のセット」(42 ページ)</p>
<p>用紙にシワがつく</p> 	<p>用紙が湿気を含んでいます。</p>	<p>新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(42 ページ)</p>
	<p>使用している用紙が適切ではありません。</p>	<p>適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(17 ページ) 「用紙のセット」(42 ページ)</p>

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
<p>文字がにじむ</p> 	<p>用紙が湿気を含んでいます。 使用している用紙が適切ではありません。</p>	<p>新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(42 ページ)</p> <p>適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(17 ページ) 「用紙のセット」(42 ページ)</p>
<p>縦長に白抜けする</p> 	<p>プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがたよっています。</p>	<p>いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットし直してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(51 ページ)</p>
<p>不要なトナーがつく</p> 	<p>シールドガラスが汚れています。</p> <p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>シールドガラスを清掃してください。 参照：「シールドガラスの清掃」(62 ページ)</p> <p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(51 ページ)</p>
<p>印刷濃度の設定が適正ではありません。</p> <p>使用している用紙が適切ではありません。</p> <p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>印刷濃度を調整してください。 参照：「印字濃度調整」(100 ページ)</p> <p>適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(17 ページ) 「用紙のセット」(42 ページ)</p> <p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(51 ページ)</p>	<p>印刷濃度を調整してください。 参照：「印字濃度調整」(100 ページ)</p> <p>適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(17 ページ) 「用紙のセット」(42 ページ)</p> <p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(51 ページ)</p>
<p>太い文字に影が出る</p> 	<p>印刷濃度の設定が適正ではありません。</p> <p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<p>印刷濃度を調整してください。 参照：「印字濃度調整」(100 ページ)</p> <p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」(51 ページ)</p>

エラーメッセージが表示されたとき

オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されま
す。

次の表にしたがって処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ヨウシ ナシ ・・・ヲ イレテ クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセット および給紙トレイに用紙がないと表示されます。 給紙カセット×(1、2または3)、または給紙トレ イに、表示されたサイズ of 用紙をセットし、「オン ライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (42 ページ)
ヨウシ ナシ × ・・・ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットに用紙がな いと表示されます。 給紙カセット×(1、2または3)に、表示されたサ イズ of 用紙をセットし、「オンライン」スイッ チを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (42 ページ)
ヨウシ ナシ M ・・・ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイに用紙がない と表示されます。表示されたサイズ of 用紙をセッ トすると、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (42 ページ)
カセット ナシ カセット ヲ イレテ クダサイ	セットされていない給紙カセットがあると表示さ れます。すべての給紙カセットをセットしてくだ さい。	「用紙のセット」 (42 ページ)
カミヅマリ × カミヲ トリノゾイテ クダサイ	紙づまりが発生すると表示されます。つまった用 紙を取り除いてください。上部カバー、背面カバ ーの内部や、給紙カセットの中を確認してくださ い。つまった用紙の取り除きかたは、「紙づまりに なったとき」(122 ページ)を参照してください。 ×はエラーコードです。次の7種類が表示されます。	「紙づまりに なったとき」 (122 ページ)
	エラーコード	確認箇所
	1	カセット1、上部カバー
	2	カセット2、上部カバー、拡張給紙ユニット背面カバー
	3	カセット3、上部カバー、拡張給紙ユニット背面カバー
	M	給紙トレイ、上部カバー
	I	上部カバー、プリンタ内部、背面カバー、排紙部
	E	背面カバー、排紙部
	D	プリンタ内部、背面カバー、 両面ユニット、排紙部

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
カバー オープン	カバーを開けると表示されます。作業が終わった	
カバー ヲ トジテ クダサイ	らカバーを閉じてください。	
ヨウシサイズ フィッチ ・・・ヲ イレテ クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、カセットおよ び給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙 サイズが異なっていると表示されます。給紙カ セット×(1、2または3)、または給紙トレイに、表 示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」 スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」 (42 ページ)
ヨウシサイズ フィッチ × ・・・ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットにセットさ れている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズ が異なっていると表示されます。正しい用紙を セットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷 を開始します。	「用紙のセット」 (42 ページ)
ヨウシサイズ フィッチ M ・・・ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイにセットされ ている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが 異なっていると表示されます。正しい用紙をセット し、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始 します。	「用紙のセット」 (42 ページ)
カートリッジ ナシ EPカートリッジ カクニン	プロセスカートリッジが正しくセットされていな い、または、使用できないプロセスカートリッジ がセットされています。プロセスカートリッジを 確認し、セットし直してください。	「プロセスカート リッジの交換」 (51 ページ) 「プロセスカート リッジの取扱い と保管」 (58 ページ)
ハイシ トレイ フル カミヲ トリノゾイテクダサイ	印刷を開始したときに排出用紙が排紙トレイにた まり過ぎていると表示されます。 排紙トレイの用紙を取り除き「オンライン」スイッ チを押すと、印刷を開始します。	
ヨウシサイズエラー × カセット ヲ カエテ クダサイ	サポートしていない用紙をセットしたときに表示 されます。給紙カセット×(1、2または3)に正し い用紙をセットしてください。	「用紙のセット」 (42 ページ)
ユニット カクニン FUSER ユニット	FUSER ユニットが正しくセットされていない、ま たは使用できないFUSER ユニットがセットされて います。 FUSER ユニットを確認し、セットし直してください。 FUSER ユニット装着の際は、電源を切って行うこ とを推奨します。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ユニット カクニン リョウメシ ユニット	両面ユニットが正しくセットされていない、または使用できない両面ユニットがセットされています。両面ユニットを確認し、セットし直してください。両面ユニット装着の際は、電源を切って行うことを推奨します。	
ユニット カクニン キョウシトレイ ユニット	給紙トレイが正しくセットされていない、または使用できない給紙トレイがセットされています。給紙トレイを確認し、セットし直してください。	
コントローラ イジヨウ 2 RAM1エラー	ROM およびRAM の異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、再び投入します。	-
コントローラ イジヨウ 3 RAM2エラー	それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容を販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	
コントローラ イジヨウ 4 CG-ROM1エラー	『コントローラ イジヨウ 16』発生時は、電源を再投入するとプリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻します。	
コントローラ イジヨウ 5 CG-ROM2エラー	設定値を変更している場合は再度設定してください。	
コントローラ イジヨウ 6 CG-ROM12エラー		
コントローラ イジヨウ 11 LAN ユニットエラー		
コントローラ イジヨウ 12 LANC アクセスエラー		
コントローラ イジヨウ 13 MAC アドレスエラー		
コントローラ イジヨウ 14 ROM チェックサムエラー		
コントローラ イジヨウ 15 Flash-ROM エラー		
コントローラ イジヨウ 16 トウロク ショキカ シマス		
Unexpect Trap		
XXXXXXXXX XX		

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
エンジン イジョウ 1 FUSER イジョウ	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切断し、再び投入します。それでもエラーメッセージが出る場合は、その内容を販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	-
エンジン イジョウ 2 ROS モータ コショウ		
エンジン イジョウ 3 メインモータ コショウ		
エンジン イジョウ 4 ファン アラーム		
エンジン イジョウ 5 メモリ イジョウ		
エンジン イジョウ 6 パリティ エラー		
トウロク メモリ オーバー ゾッコウ カクニン OK?	ESC/Page コマンド受信中に、外字、オーバーレイ、マクロなどを登録するメモリが足りなくなると表示されます。 セットアップモードで、『ESC/Pageモード』の『メモリオーバー解除』が『スル』になっているときは、何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理が続行されます。『シナイ』になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。	-
メモリ フソク カタメン インサツ ゾッコウ	両面印刷を指定して印刷を行う場合、A3、B4、リーガル用紙にプリンタ RAM モジュールを取り付けずに、600DPI両面の印刷を行う则表示されます。 セットアップモードで「環境設定」の「メモリ不足解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理は再開されません。 ただし、Printianavi を利用している場合、「スル」の動作となります。	ソフト編 100

第9章

オプションの取り付け

本プリンタのオプションには、プリンタRAMモジュール、両面ユニットと拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

オプション取り付け上のご注意	142
プリンタRAMモジュールの取り付けかた	142
プリンタRAMモジュールを取り付ける	143
プリンタRAMモジュールを取り外す	145
両面ユニットの取り付けかた	146
両面ユニットを取り付ける	147
両面ユニットを取り外す	149
拡張給紙ユニットの取り付けかた	150
拡張給紙ユニットを取り付ける	151
拡張給紙ユニットを取り外す	154

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。



警告

感電 オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
当社推奨品以外を接続すると、火災や感電または故障の原因となります。



注意

けが オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、ケガの原因または故障の原因となることがあります。

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。



警告

感電 プリンタ RAM モジュールを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「」側に倒れていることを確認してください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。



お願い

静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。

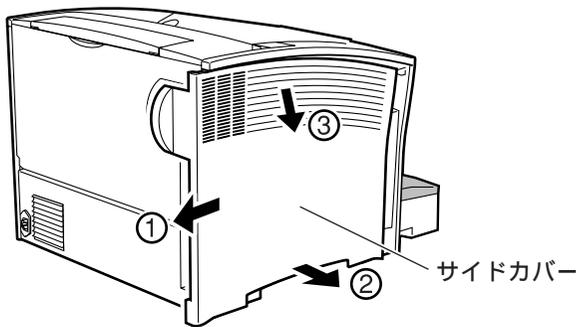
- ・本プリンタに取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- ・モジュールに触れる前に、金属製のもの(ロッカーなど)に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- ・モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

▼ プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

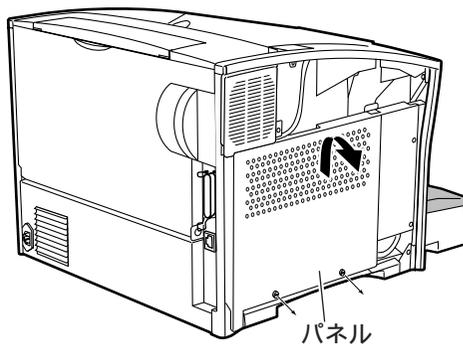
1 電源の切断を確認する

電源が切れていることを確認します。(電源スイッチが「」側に倒れている状態です。)



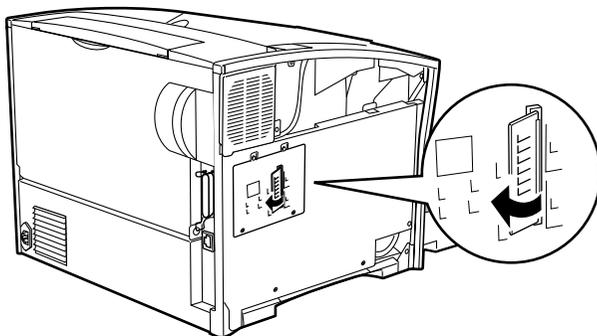
2 サイドカバーを外す

サイドカバーを背面にずらし ()、下方のくぼみ部分を手前に引いて () 下方向に抜きます ()。



3 パネルを外す

パネルのネジ2か所をドライバを使って外し、パネルを上を持ち上げながら上部のツメから外し、パネルを外します。

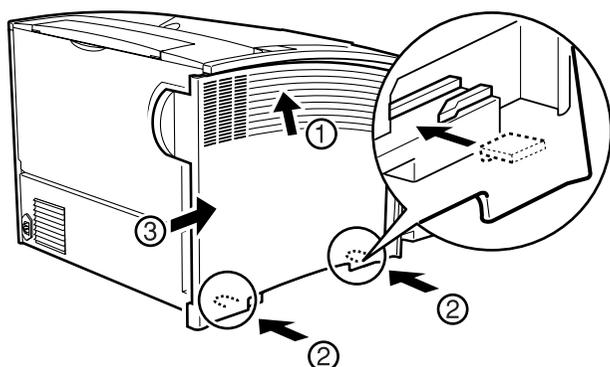
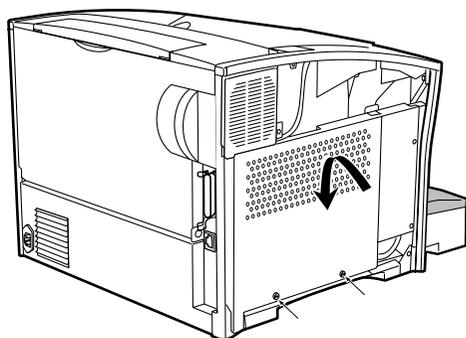


4 プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールの切り欠きとコネクタの突起の位置を合わせてゆっくりと差し込み、カチッと音がするまで奥に押し込みます。

お願い

プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、手を触れないでください。



5 パネルとサイドカバーを元に戻す

パネルをネジ(2本)で固定してから、サイドカバーを取り付けます。

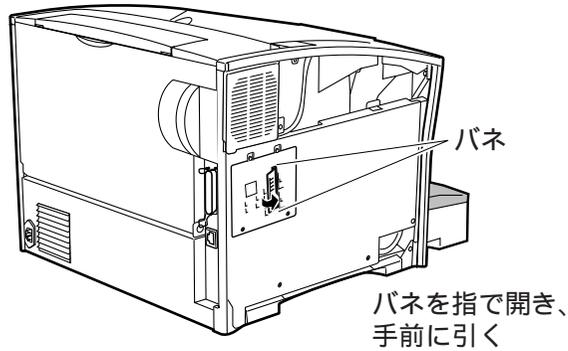
サイドカバーの上部をプリンタの上部に差し込み()、プリンタ下部にあるレールの切れた箇所()にサイドカバーの突起を合わせます()。サイドカバーをプリンタ本体に沿って、前側にスライドさせます()。

ガイド

メモリを増設した時は、電源の投入を行い、オペレータパネルの液晶ディスプレイ上に表示される「メモリ ヨウリョウ」でメモリの総容量が「48MB」になっていることを確認します。

▼ プリンタ RAM モジュールを取り外す

プリンタ RAM モジュールの両側をとめているバネを指で開き、プリンタ RAM モジュールを手前に倒してから引き抜きます。サイドカバーの外しかたや取り付けかたは、「プリンタ RAM モジュールを取り付ける」(143 ページ)を参照してください。



両面ユニットの取り付けかた

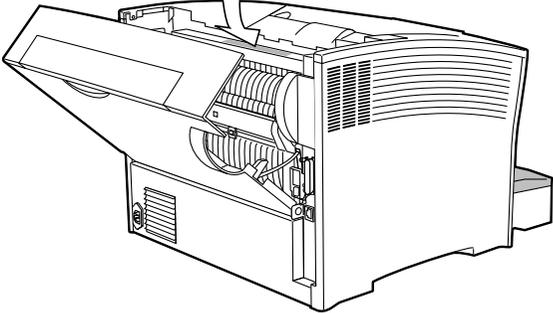
オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、次のサイズ of 用紙を両面印刷できるようになります。

A3、A4 横、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター横

⚠ 警告 感電 両面ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「**0**」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠ 注意 やけど「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル

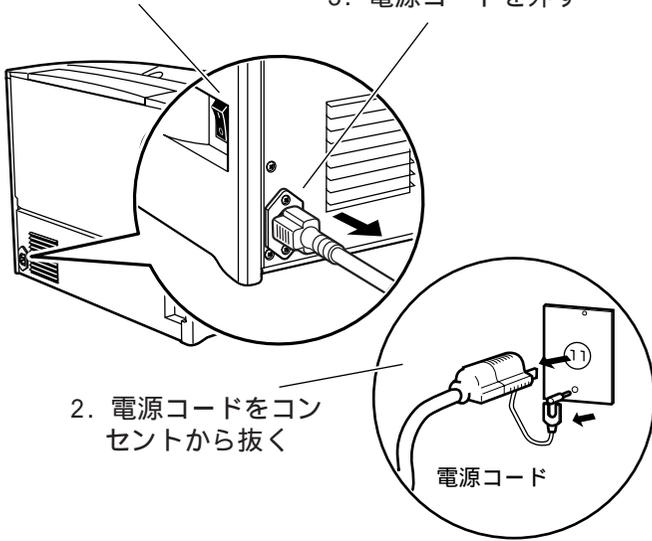



両面ユニットを取り付ける

両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

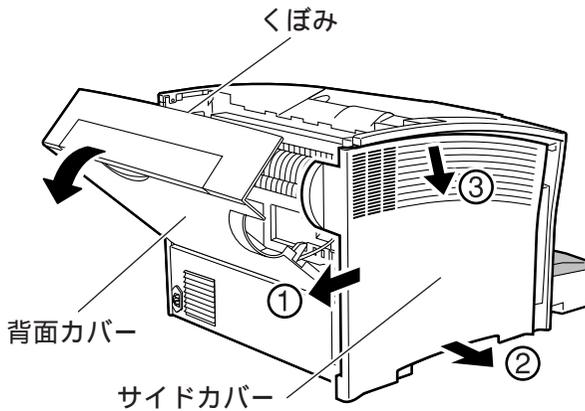
1. 電源スイッチを「」側に倒す

3. 電源コードを外す



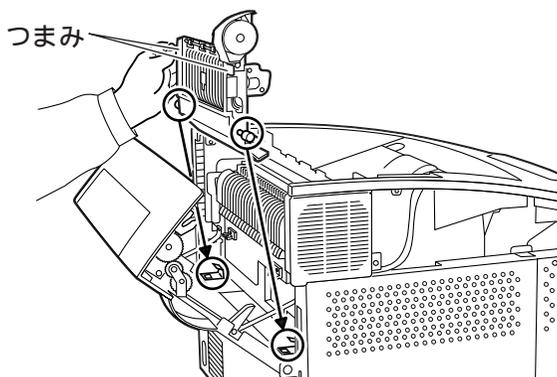
1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。



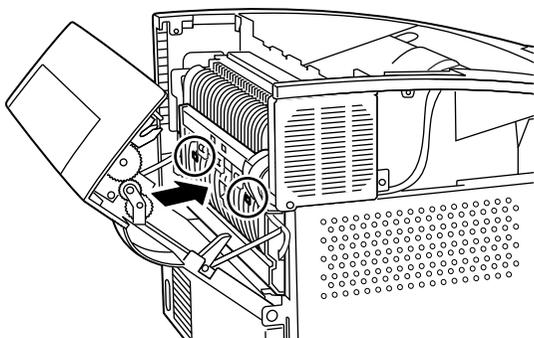
2 背面カバーを開き、サイドカバーを取り外す

プリンタ背面カバーの上部中央にあるくぼみに指をかけて、背面カバーを開きます。サイドカバーを背面にずらし()、下方のくぼみ部分を手前に引いて()下方向に抜きます()。



3 両面ユニットの2本のピンをガイドにのせる

両面ユニットの左右のつまみを持ち、下部にある2本のピンをプリンタのガイドにのせます。

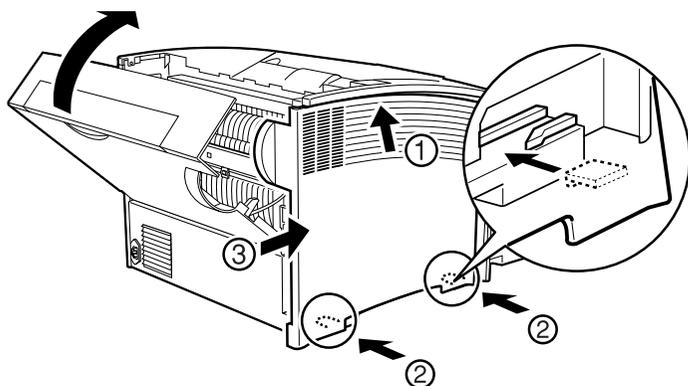


4 両面ユニットを固定する

両面ユニットの左右のつまみを持ち、前方へ押しながらプリンタに固定します。しっかりと固定されていること(2か所)を確認します。

お願い

両面ユニットが確実に取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、動作不良や紙づまりなどの原因となります。



5 サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じる

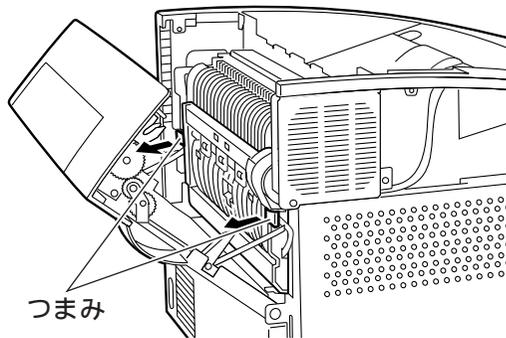
サイドカバーの上部をプリンタの上部に差し込み(1)、プリンタ下部にあるレールの切れた箇所(2)にサイドカバーの突起を合わせます(2)。サイドカバーをプリンタ本体に沿って前側にスライドさせます(3)。背面カバーを閉じます。

両面ユニットを取り外す

両面ユニットは、次の手順で取り外します。

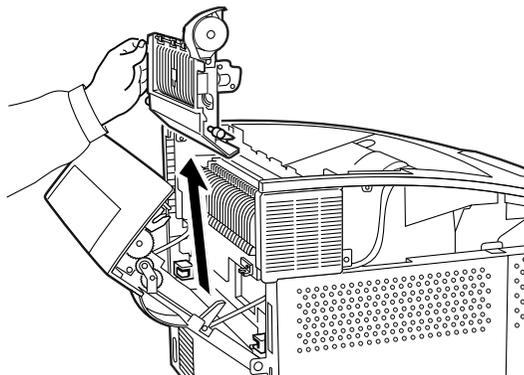
- 1 プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す
背面カバーを開き、サイドカバーを取り外す

両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、プリンタの電源を切り、電源コード、プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。次に背面カバーを開き、サイドカバーを取り外します。



- 2 両面ユニットを取り外す

両面ユニットの左右のつまみを持って手前に引き、プリンタから取り外します。



- 3 両面ユニットを真上に引き上げる

- 4 サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じる

両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じます。

拡張給紙ユニットの取り付けかた

本プリンタには、必要に応じて拡張給紙ユニットを2段まで取り付けることができます。

⚠警告

感電 拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠注意

けが

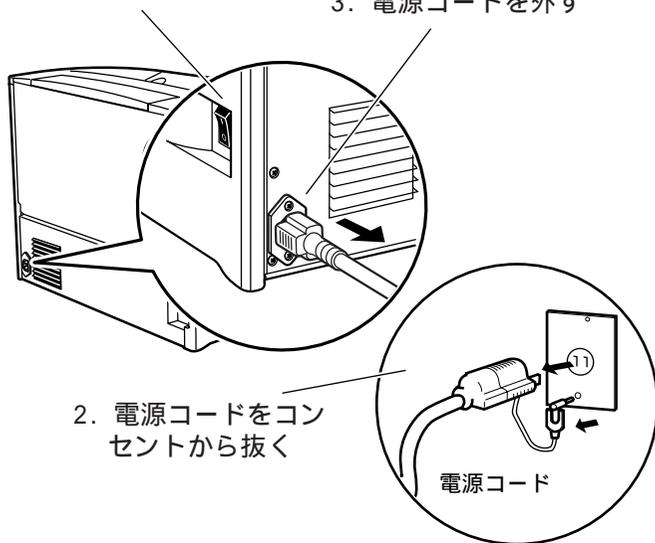
- ・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
- ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。
- ・本プリンタは、オプションや消耗品、用紙がない状態で約25kgあります。プリンタを動かす場合は必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（操作パネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因となることがあります。

▼ 拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

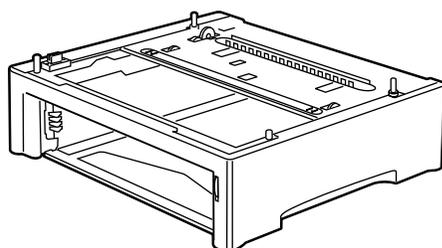
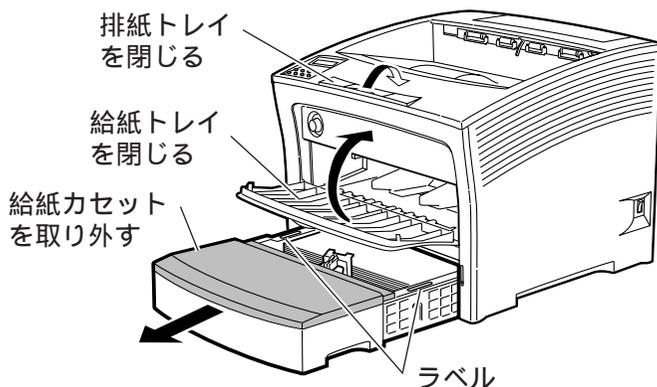
1. 電源スイッチを「」側に倒す

3. 電源コードを外す



2. 電源コードをコンセントから抜く

電源コード



1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。

2 給紙トレイと排紙トレイを閉じ、給紙カセットを取り外す

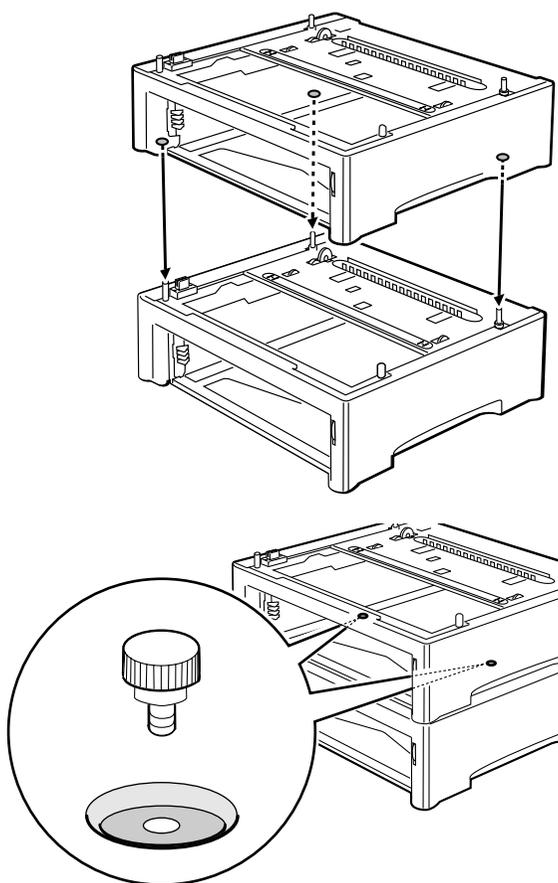
給紙トレイと排紙トレイを閉じます。給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、ラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜きます。

3 拡張給紙ユニットを設置場所に置く

拡張給紙ユニットを梱包箱から取り出し、設置場所に置きます。

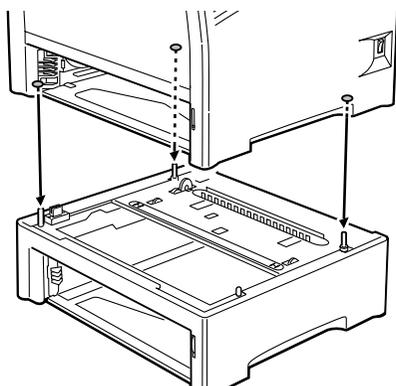
4 拡張給紙ユニットを2段取り付けるときは、あらかじめ2個の拡張給紙ユニットをネジで固定する

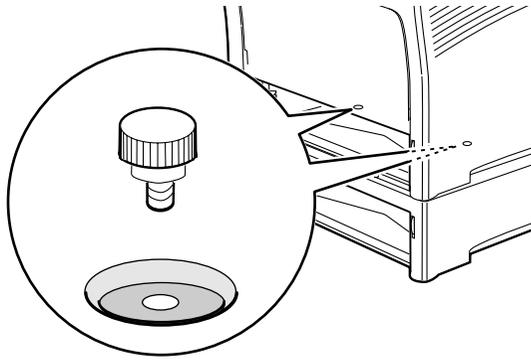
1段目の拡張給紙ユニットを2段目の拡張給紙ユニットに重ねます。このとき、2段目の拡張給紙ユニットの突起(3か所)が1段目の拡張給紙ユニットの底面の穴に納まるように位置を合わせます。1段目の拡張給紙ユニット内部のネジ穴(2か所)に、付属のネジを通して締め拡張給紙ユニットを固定します。



5 プリンタを拡張給紙ユニットに載せる

プリンタを水平に持ち上げ、拡張給紙ユニットの突起(3か所)が、プリンタ底面の穴に入るように、プリンタをゆっくりおろします。





6 ネジで固定する

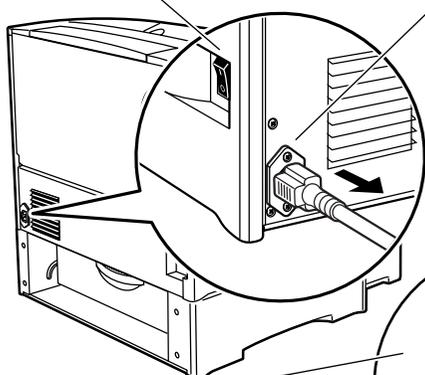
プリンタ本体の給紙ユニット内部のネジ穴に付属のネジ(2本)を通して締め、拡張給紙ユニットを固定します。

▼ 拡張給紙ユニットを取り外す

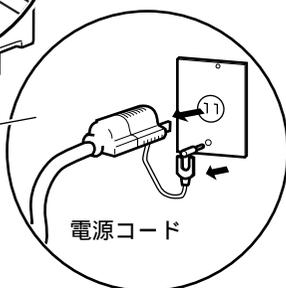
拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

1. 電源スイッチを「」側に倒す

3. 電源コードを外す



2. 電源コードをコンセントから抜く



電源コード

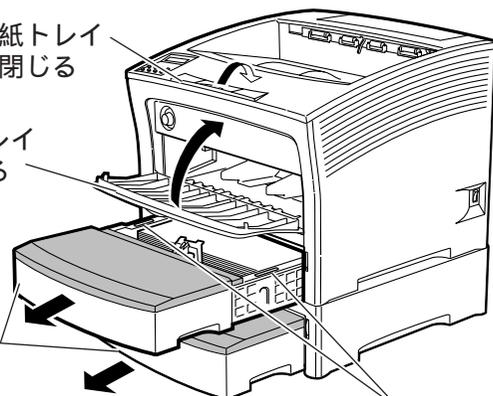
1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。

排紙トレイを閉じる

給紙トレイを閉じる

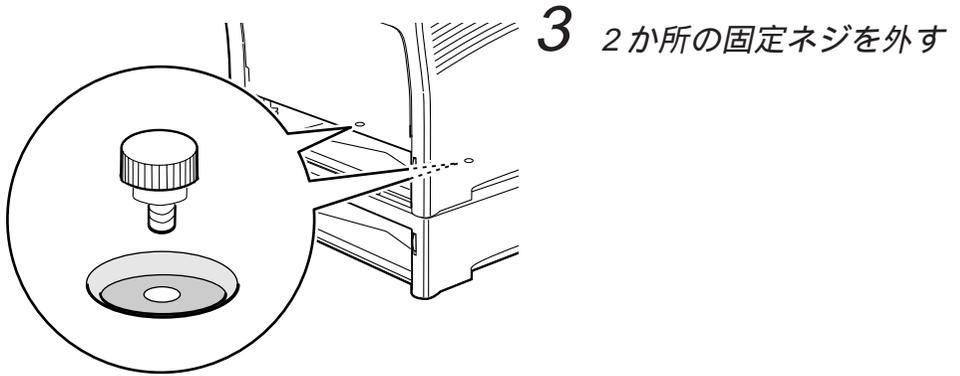
給紙カセットを取り外す



ラベル

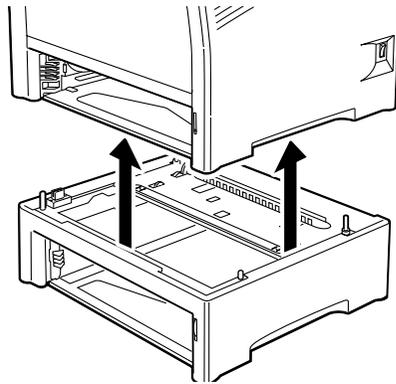
2 給紙トレイと排紙トレイを閉じ、給紙カセットを取り外す

給紙トレイと排紙トレイを閉じます。給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、ラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタおよび拡張給紙ユニットから抜きます。



お願い

取り外した拡張給紙ユニットと付属の固定ネジを、破損または紛失することのないように保管してください。



4 プリンタをまっすぐに持ち上げる

プリンタの左右両側のくぼみを2人でしっかり持ち、プリンタをまっすぐに持ち上げます。

お願い

まっすぐに持ち上げてください。無理に取り外すと、接続用ピンなどの接続部分を損傷することがあります。

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることについて説明します。

プリンタの仕様	158
基本仕様	158
インタフェース仕様	159
用紙関係	160
コマンド（機能コード）一覧	162
ESC/P モードコマンド一覧表	162
ESC/Page モードコマンド一覧表	164
PC-PR201 モードコマンド一覧表	167
キャラクタコード一覧	169
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	169
ESC/Page モードキャラクタコード一覧表	170
PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表	174
J I S ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	177
J I S ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	180
J I S 漢字コードについてのご注意	183
アフターサービスについて	188

プリンタの仕様

▼ 基本仕様

以下に、本プリンタの仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度	連続コピー 最大 25 枚 / 分 (A4 サイズ横送り) 両面印刷時 最大 19 ページ / 分 (A4 サイズ横送り)
エンジン解像度	600DPI/480DPI
スムージング処理	FEIT(Fujitsu Enhanced Image Technology)
用紙サイズ	・給紙カセット : A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター ・給紙トレイ : A3 ~ A5、官製はがき
給紙方式 *1	・給紙カセットによる自動給紙(収容枚数 500 枚、拡張給紙ユニット使用時最大 1,500 枚) ・給紙トレイによる自動給紙 (収容枚数 200 枚 (はがき 75 枚))
排紙方法 *1	フェイスダウンスタッカ (スタック枚数 500 枚)
使用環境条件	温度 10 ~ 32 、湿度 15% ~ 85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz
消費電力	動作時 850 W以下、節電時 23 W
騒音	待機時 35dB(A)、動作時 51dB(A) (フルオプション 55dB(A))
外形寸法	幅 490mm、奥行き 585mm、高さ 395mm (給紙カセット装着時)
重量	約 25kg (消耗品、オプションを除く)
インタフェース	IEEE P1284 双方向パラレルポート 100Base-TX/10Base-T LAN ポート
プリンタシーケンス *2	XL プリンタドライバ、ESC/P、ESC/Page、PC-PR201
文字・書体	明朝体 22 ドット / 28 ドット / 32 ドット / 40 ドット文字 明朝体 / ゴシック体アウトライン文字
耐用期間 *3	5 年(8 時間 / 日)または 60 万枚印刷(A4 サイズ横送り)

* 1 : 収容枚数は 64g/m² にて換算

* 2 : データ処理解像度

- ・XL プリンタドライバ : 600DPI(FEIT : 1200DPI 相当) ・ESC/P : 180DPI(FEIT : 600DPI 相当)
- ・ESC/Page : 300DPI (FEIT : 600DPI 相当) ・PC-PR201 : 240DPI (FEIT : 480DPI 相当)

* 3 : ・耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

- ・累積使用時間は、24 時間運用の場合も同一です。
- ・A4 より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用期間が 60 万枚より短くなります。
- ・耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、お買い上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。なお、交換は有償です。

部 品	交換目安
定着器	10 万ページ
転写ローラ	20 万ページ
給紙トレイフィードローラ	20 万枚

* 片面印刷時 : 1 枚 = 1 ページ

* 両面印刷時 : 1 枚 = 2 ページ

▼ インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、IEEE P1284 の仕様に準拠した双方向
パラレルインタフェースを採用しています。

■ インタフェース仕様とコネクタピン配列

- ・ インタフェースコネクタ

プリンタ側 : 36 極コネクタ(メス) アンフェノール 57-40360 相当品

ケーブル側 : 36 極コネクタ(オス) アンフェノール 57-30360 相当品

- ・ ケーブル

最長 1.5 m 以下のケーブルを使用してください。

(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)

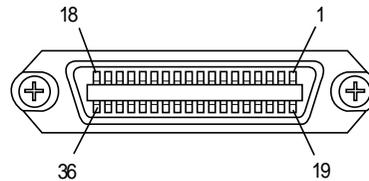
- ・ 信号レベル

LOW : 0.0 V ~ + 0.4 V HIGH : + 2.4 V ~ + 5.0 V

- ・ データ転送方式

8 ビットパラレル

- ・ コネクタピン配列



インタフェースコネクタ(36 ピン)

ピン番号	信号名称	発信元	ピン番号	信号名称	発信元
1	* Strobe	パソコン	19	-RET	-
2	Data 1	パソコン	20	-RET	-
3	Data 2	パソコン	21	-RET	-
4	Data 3	パソコン	22	-RET	-
5	Data 4	パソコン	23	-RET	-
6	Data 5	パソコン	24	-RET	-
7	Data 6	パソコン	25	-RET	-
8	Data 7	パソコン	26	-RET	-
9	Data 8	パソコン	27	-RET	-
10	* Ack	プリンタ	28	-RET	-
11	Busy	プリンタ	29	-RET	-
12	PError	プリンタ	30	-RET	-
13	Select	プリンタ	31	* Init	パソコン
14	* AutoFd	パソコン	32	* Fault	プリンタ
15	-	-	33	-RET	-
16	SG	-	34	-	-
17	FG	-	35	-	-
18	+5VSignal	プリンタ	36	* SelectIn	パソコン

注) “ * ” は、負論理信号であることを示します。

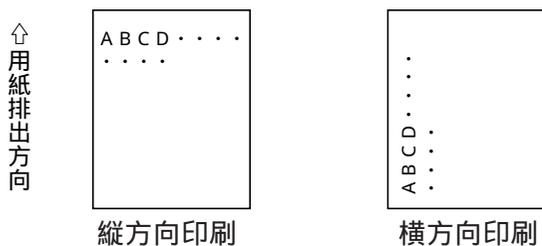
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

用紙関係

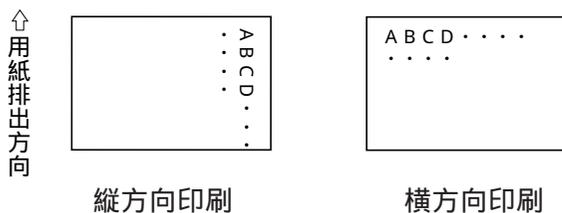
本プリンタは、給紙カセットと給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

印刷方向

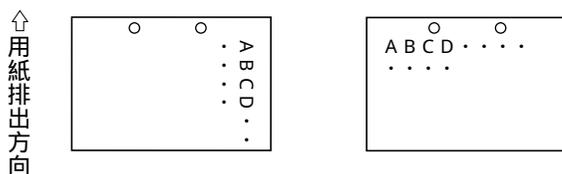
- ・ A3、B4、リーガルサイズの場合



- ・ A4、A5、B5、レター、はがきサイズの場合



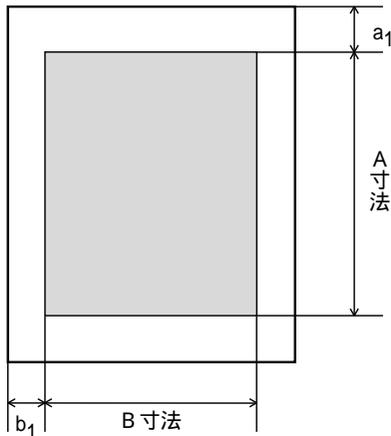
とじ穴のある A 4 サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。



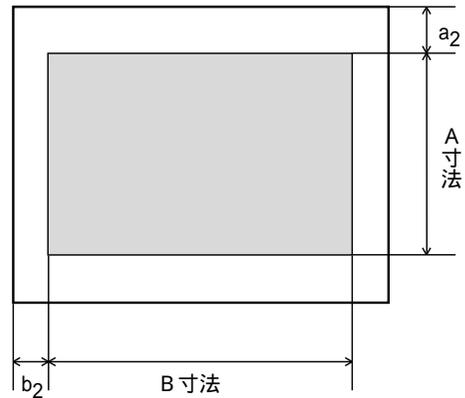
印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

[印刷方向：縦]



[印刷方向：横]



(単位：mm)

▶ Printia XL ドライバおよびESC/Page モード使用時

$a_1=a_2=5\text{mm}$ 、 $b_1=b_2=5\text{mm}$

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

▶ ESC/P モード使用時

$a_1=a_2=8.5\text{mm}$ または 22mm (はがき:10mm)、 $b_1=b_2=5\text{mm}$

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき	
縦方向	A 寸法	8.5mm時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22mm時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90	
横方向	A 寸法	8.5mm時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22mm時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B 寸法	410	345	287	247	200	345	269	138	

▶ PC-PR201 モード使用時

$a_1=5\text{mm}$ 、 $a_2=8\text{mm}$ 、 $b_1=8\text{mm}$ 、 $b_2=5\text{mm}$

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	レター	はがき
縦方向	A 寸法	409	353	287	246	200	270	138
	B 寸法	284	241	197	169	135	203	86
横方向	A 寸法	284	241	197	169	135	203	86
	B 寸法	409	345	287	246	200	270	137

コマンド（機能コード）一覧

以下に使用できるコマンドの一覧を示します。

表中の Pa、P₁、P₂、...、P_n は、パラメータを表します。

表中の D₁、D₂、...、D_n は、データを表します。

表中の sp は、スペース記号を示します。

ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

▶ 書式設定・実行

機能名称	コマンド名	コード名
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC+ C +Pa
	インチ単位ページ長設定	ESC+ C +NUL+Pa
	ミシン目スキップ設定	ESC+ N +Pa
	ミシン目スキップ解除	ESC+ O
	右マージン設定	ESC+ Q +Pa
	左マージン設定	ESC+ L +Pa
改行量設定	1/8 インチ改行量指定	ESC+0
	1/6 インチ改行量指定	ESC+ 2
	n/180 インチ改行量指定	ESC+ 3 +Pa
	n/60 インチ改行量指定	ESC+ A +Pa
タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC+ B +P ₁ +P ₂ +... P _n +NUL
	水平タブ位置設定	ESC+ D +P ₁ +P ₂ +... P _n +NUL
	VFU チャンネル選択	ESC+ / +Pa
	VFU タブ位置設定	ESC+ b +Pa+P ₁ +... P _n +NUL
印字・紙送り	印字復帰	CR
	改行	LF
	改ページ	FF
	n/180インチ順方向紙送り	ESC+ J +Pa
	n/180インチ逆方向紙送り	ESC+ j +Pa
印字位置設定	水平タブ実行	HT
	垂直タブ項実行	VT
	後退	BS
	絶対位置指定	ESC+ \$ +P ₁ +P ₂
	相対位置指定	ESC+ ¥ +P ₁ +P ₂

▶ テキスト処理～ANK 文字

機能名称	コマンド名	コード名
文字セット	12CPI 指定	ESC+M
	10CPI 指定	ESC+ P
	15CPI 指定	ESC+ g
	プロポーショナル指定 / 解除	ESC+ p +Pa
	国際文字選択	ESC+ R +Pa
	スーパー/サブスクリプト指定	ESC+ S +Pa
	スーパー/サブスクリプト解除	ESC+ T
	文字品位選択	ESC+ x +Pa
	書体選択	ESC+ k +Pa
	文字コード表選択	ESC+ t +Pa
	文字定義	ダウンロード文字セット指定 / 解除
ダウンロード文字定義		ESC+ & +NUL+P ₁ +P ₂ + {Pa ₁ +Pb ₁ +Pc ₁ +D ₁ ~ D _n } x n
	文字セットコピー	ESC+ : +NUL+P ₁ +P ₂
文字ピッチ調整	文字間スペース量設定	ESC+sp+Pa
位置揃え選択	位置揃え選択	ESC+ a +Pa
装飾	縮小指定	SI
	縮小指定	ESC+SI
	縮小解除	DC2
	アンダーライン指定 / 解除	ESC+ +Pa
	縦倍拡大指定 / 解除	ESC+ w +Pa

▷ テキスト処理～共通

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	自動解除付き倍幅拡大指定	ESC+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	倍幅拡大指定 / 解除	ESC+ W +Pa
	強調指定	ESC+ E
	強調解除	ESC+ F
	二重印字指定	ESC+ G
	二重印字解除	ESC+ H
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS+DC4
	一括指定	ESC+ ! +Pa
	イタリック指定	ESC+ 4
	イタリック解除	ESC+ 5
	文字スタイル選択	ESC+ q +Pa

▷ テキスト処理～漢字

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	縦書き指定	FS+ J
	横書き指定	FS+ K
	半角縦書き2文字指定	FS+ D
	4倍角指定 / 解除	FS+ W +Pa
	漢字アンダーライン指定 / 解除	FS+ +Pa
	漢字一括指定	FS+ ! +Pa
文字セット	漢字モード指定	FS+ &
	漢字モード解除	FS+ .
	半角文字指定	FS+SI
	半角文字解除	FS+DC2
	1 / 4角文字指定	FS+ r +Pa
	漢字書体選択	FS+ k +Pa
文字定義	外字定義	FS+ 2 +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ D ₇₂
文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	F S +S+P ₁ +P ₂
	半角文字スペース量設定	FS+ T +P ₁ +P ₂
	半角文字スペース量補正	FS+ U
	半角文字スペース量補正解除	FS+ V

▷ イメージ処理

コマンド名	コード名
8ドット単密度ビットイメージ	ESC+ K +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ Dn
8ドット倍密度ビットイメージ	ESC+ L +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ Dn
8ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC+ Y +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ Dn
8ドット4倍密度ビットイメージ	ESC+ Z +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ Dn
ビットイメージ選択	ESC+ * +Pa+P ₁ + P ₂ +D ₁ ~ Dn
ビットイメージ変換	ESC+ ? +P ₁ +P ₂

▷ 補助機能

機能名称	コマンド名	コード名
初期化	初期化	ESC+ @
データ入力制御	データ抹消	CAN
C S F 制御	カットシートフィード制御	ESC+EM+Pa

▷ エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	ESC+z+NUL+NUL
エミュレーション切替え	ESC+/+イ+@ +DEL+ESC+ DEL+NUL+ NUL+SOH+Pa

ESC/Page モードコマンド一覧表

ESC/Page モードコマンドは、下表のとおりです。

▶ 環境設定

コマンド名	コード名
最小単位設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + m + u + E
ドットパターン解像度選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + d + r + E
スクリーンモード指定 / 解除	GS + Pa + s + t + E
スクリーンパターン選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + s + p + E
スクリーンパターン登録	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + s + p + { + E
スクリーンパターン登録数設定	GS + Pa + i + s + E
上書きモード指定 / 解除	GS + Pa + o + w + E
ハードリセット	GS + r + h + E
パラメータリセット	GS + r + p + E
用紙方向選択	GS + Pa + p + o + E
論理原点設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + l + o + E
用紙サイズ設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + p + s + E
給紙装置選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + i + u + E
クリップ領域設定	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + c + a + E
クリップモード指定 / 解除	GS + Pa + c + m + E
トップマージン設定	GS + Pa + t + m + E
トップマージン設定 (行単位)	GS + Pa + t + m + l + E
ボトムマージン設定	GS + Pa + b + m + E
ボトムマージン設定 (行単位)	GS + Pa + b + m + l + E
レフトマージン設定	GS + Pa + l + m + E
レフトマージン設定 (桁単位)	GS + Pa + l + m + c + E
ライトマージン設定	GS + Pa + r + m + E
ライトマージン設定 (桁単位)	GS + Pa + r + m + c + E

▶ 印字位置設定

コマンド名	コード名
復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
後退	BS
水平方向現在位置絶対指定	GS + Pa + X
水平方向現在位置絶対指定 (桁単位)	GS + Pa + x + P
垂直方向現在位置絶対指定	GS + Pa + Y
垂直方向現在位置絶対指定 (行単位)	GS + Pa + y + P
水平方向現在位置相対指定	GS + Pa + H
水平方向現在位置相対指定 (桁単位)	GS + Pa + h + P
垂直方向現在位置相対指定	GS + Pa + V
垂直方向現在位置相対指定 (行単位)	GS + Pa + v + P
プッシュ・ポップスタック数指定	GS + Pa + s + s + P
現在位置プッシュ・ポップ	GS + Pa + p + p + P
現在位置記憶数指定	GS + Pa + i + p + P
現在位置記憶	GS + Pa + m + P
現在位置呼び出し	GS + P ₁ + ; + P ₂ + c + P
現在位置記憶 (番号自動変更)	GS + Pa + a + m + P
現在位置呼び出し (番号自動変更)	GS + P ₁ + ; + P ₂ + a + c + P
改行量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + l + p + P
自動復帰改行選択	GS + Pa + a + l + f + P
自動改ページ選択	GS + Pa + a + f + f + P
CR/LF/FF 動作選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + c + l + f + P
現在位置移動モード選択	GS + Pa + p + m + P
印字ピッチ設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + p + P
文字オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + c + o + P
ビットイメージオフセット量設定	GS + Pa + b + o + P
ビットイメージ描画後現在位置選択	GS + Pa + a + b + P

▷ フォント

コマンド名	コード名
シンボルセット選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + s + s + F
文字スペーシング選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + s + p + F
文字幅設定 (CPI)	GS + Pa + w + c + F
文字幅設定 (最小単位)	GS + Pa + w + m + F
文字高さ設定 (ポイント)	GS + Pa + h + p + F
文字高さ設定 (最小単位)	GS + Pa + h + m + F
書体選択	GS + Pa + t + f + F
文字スタイル選択	GS + Pa + s + t + F
文字線幅選択	GS + Pa + w + e + F
文字回転設定	GS + Pa + r + o + F
文字傾き設定	GS + Pa + s + l + F
フォント属性記憶 / 呼び出し	GS + P ₁ + ; + P ₂ + m + c + F
ダウンロードフォント選択	GS + Pa + d + c + F
ダウンロードフォント削除	GS + Pa + d + d + c + F
シンボルセット登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + d + s + s + { + F
シンボルセット削除	GS + Pa + d + s + s + F
フォントコピー	GS + P ₁ + ; + P ₂ + f + c + { + F
ヘッダー登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + d + h + { + F
1文字登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + s + c + { + F
文字幅テーブル登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + c + w + { + F
フォント属性記憶数設定	GS + Pa + i + a + F
フォント登録数設定	GS + Pa + l + i + a + F
シンボルセット登録数設定	GS + Pa + i + s + s + F

▷ 文字印字

コマンド名	コード名
アンダーライン指定 / 解除	GS + Pa + u + l + C
アンダーライン水平方向 オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + u + h + C
アンダーライン垂直方向 オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + u + v + C
バックグラウンド指定 / 解除	GS + Pa + b + g + C
バックグラウンド水平方向 オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + b + h + C
バックグラウンド垂直方向 オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + b + v + C
コントロールコード キャラクタ印字	GS + Pa + c + p + { + C
縦書きモード指定 / 解除	GS + Pa + v + p + C
組文字指定	GS + Pa + c + c + C

▷ イメージ描画

コマンド名	コード名
網掛け描画	GS + P ₁ + ; + P ₂ + b + g + l
罫線描画	GS + P ₁ + ; + P ₂ + r + u + l
罫線 / アンダーライン パターン選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + r + p + l
罫線 / アンダーライン パターン登録	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + r + p + { + l
罫線 / アンダーライン パターン登録数設定	GS + Pa + i + r + l
ビットイメージ描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + b + i + { + l
ビットイメージ登録	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₅ + b + d + { + l
登録ビットイメージ描画	GS + Pa + d + b + l
ビットイメージ登録数設画	GS + Pa + i + b + l
ビットイメージデータ 圧縮形式選択	GS + Pa + b + c + l
ラスタイメージ描画開始	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + b + r + l
ラスタイメージ描画終了	GS + e + r + l
ラスタイメージ描画 圧縮なし	GS + Pa + r + { + l
ラスタイメージ描画 エンブティ	GS + Pa + u + { + l
ラスタイメージ描画	GS + Pa + e + l

▶ 図形描画

コマンド名	コード名
線描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P _n + l + G
多角形描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P _n + p + G
スプライン曲線描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P _n + s + G
Bezier 曲線描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P _n + b + G
B スプライン曲線描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P _n + b + s + G
矩形描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P ₅ + r + G
円描画	GS + P ₁ +; + P ₂ +; + P ₃ + c + G
円弧描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P ₅ + a + G
扇形描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P ₆ + f + G
楕円描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P ₅ + e + G
楕円弧描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P ₇ + e + a + G
楕円扇形描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P ₈ + e + f + G
ベクタ指定円弧描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P ₇ + a + v + G
ベクタ指定扇形描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P ₈ + f + v + G
ベクタ指定楕円弧描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P ₉ + e + a + v + G
ベクタ指定楕円扇形描画	GS + P ₁ +; + ... +; + P ₁₀ + e + f + v + G
線種選択	GS + P ₁ +; + P ₂ + l + p + G
線種登録	GS + P ₁ +; + ... +; + P _n + d + l + G
線種登録数設定	GS + Pa + i + l + G
線幅設定	GS + P ₁ +; + P ₂ +; + P ₃ + l + w + G
図形描画モード選択	GS + Pa + d + m + G
図形座標モード選択	GS + Pa + s + a + r + G

▶ マクロ

コマンド名	コード名
マクロ登録開始	GS + Pa + b + m + M
マクロ登録終了	GS + e + m + M
マクロ実行	GS + P ₁ +; + P ₂ + s + m + M
フォームオーバーレイ指定 / 解除	GS + P ₁ +; + P ₂ +; + P ₃ + a + m + M
マクロ登録数設定	GS + Pa + i + m + M

▶ その他

コマンド名	コード名
コピー枚数設定	GS + Pa + c + o + O

▶ エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	GS + Pa + p + m + E
エミュレーション切替え	ESC + / + I + @ + DEL + ESC + DEL + NUL + NUL + SOH + Pa

PC-PR201 モードコマンド一覧表

PC-PR201 モードコマンドは、下表のとおりです。

▶ 書式設定・実行

コマンド名	コード名
右マージン設定	ESC + / + Pa
左マージン設定	ESC + L + Pa
1/6 インチ改行ピッチ指定	ESC + A
1/8 インチ改行ピッチ指定	ESC + B
n/120 インチ改行ピッチ指定	ESC + T + Pa
VFU セットの開始指定	GS
VFU セットの終了指定	RS
簡易 VFU 指定	ESC + v + P ₁ + , + P ₂ + , + ... + P _n + .
水平タブ位置設定	ESC + (+ P ₁ + , + ... + P _n + .
水平タブ部分クリア指定	ESC +) + P ₁ + , + ... + P _n + .
水平タブ全クリア指定	ESC + 2
印字復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
順方向改行指定	ESC + f
逆方向改行指定	ESC + r
水平タブ実行	HT
垂直タブ実行	VT
チャンネル制御、改行量制御	US + Pa
ドットスペース指定	ESC + Pa
ドットアドレッシング指定	ESC + F + Pa
キャラクターリピート指定	ESC + R + P ₁ + P ₂
コピーモード指定	ESC + D
ネイティブモード指定	ESC + M

▶ テキスト処理

コマンド名	コード名
CGグラフィックモード指定	ESC + #
カタカナモード指定	ESC + \$
ひらがなモード指定	ESC + &
エリートモード指定	ESC + E
パイカモード指定	ESC + H
プロポーションモード指定	ESC + P
コンデンスモード指定	ESC + Q
ドラフトモード指定	ESC + d + Pa
HSパイカモードの切り替え指定	ESC + n + Pa
スクリプト文字モード指定	ESC + s + Pa
1バイト文字フォント選択指定	FS + 0 + 6 + F + P ₁ + P ₂ + P ₃ + P ₄ + P ₅

コマンド名	コード名
1バイト文字のダウンロード	ESC + l + P ₁ + P ₂ + P ₃ + P ₄ + D _n
登録文字印字指定	ESC + l + +
プリンタ内蔵文字印字指定	ESC + l + -
登録文字クリア指定	ESC + l + 0
横拡大解除	SI (8ビットコード)
印字モード切替え	SI (7ビットコード)
横拡大指定	SO (8ビットコード)
カタカナモード指定	SO (7ビットコード)
横拡大指定	DC2
横拡大解除指定	DC4
強調文字印刷開始指定	ESC + !
強調文字印刷解除指定	ESC + "
縦横拡大率指定	ESC + e + P ₁ + P ₂
縮小文字組文字印刷指定	FS + P
文字修飾指定	FS + c + P ₁ + , + P ₂ + , + P ₃ + ... + P _n + .
文字の拡大率、縮小率指定	FS + m + P ₁ + / + P ₂ + , + P ₃ + / + P ₄ + , + P ₅ + .
固定ドットスペース指定	FS + w + P ₁ + , + P ₂ + .
漢字横印刷指定	ESC + K
ゴシック体漢字	ESC + O + Pa
ROMカートリッジ指定	
半角縦印刷指定	ESC + h + Pa
半角組文字縦印刷指定	ESC + q
漢字縦印刷指定	ESC + t
外字のロード終了	EOT
外字(16×16ドット)のロード	ESC + * + P ₁ + P ₂ + D ₁ + ... + D ₃₂ + EOT
外字(24×24ドット)のロード	ESC + + + P ₁ + P ₂ + D ₁ + ... + D ₇₂ + EOT
文字サイズ指定	FS + 0 + 4 + S + P ₁ + P ₂ + P ₃
漢字文字幅、ポイント指定	FS + A FS + B
漢字文字幅、ポイント指定	FS + C FS + D
漢字文字幅、ポイント指定	FS + F FS + G
文字幅指定	FS + p + P ₁ + , + P ₂ + / + P ₃ + .

▶ イメージ処理

コマンド名	コード名
16ビットグラフィックイメージ	ESC + I + Pa + Dn
24ビットグラフィックイメージ	ESC + J + Pa + Dn
8ビットグラフィックイメージ	ESC + S + Pa + Dn
24ビットドット列リピート	ESC + U + Pa + Dn
8ビットドット列リピート	ESC + V + Pa + Dn
16ビットドット列リピート	ESC + W + Pa + Dn

▶ ライン処理

コマンド名	コード名
ライン付加指定	ESC + X
ライン付加モード解除指定	ESC + Y
ラインモード指定	ESC + _ + Pa
付加ライン線種指定	FS + 0 + 4 + L + P ₁ + P ₂ + P ₃

▶ 補助機能

コマンド名	コード名
初期化	ESC + c + 1
片方向印字指定	ESC + >
両方向印字指定	ESC +]
データ抹消	CAN
全吸入全排出指定	ESC + a
全排出指定	ESC + b
カラー指定	ESC + C + n
ホッパ選択	FS + f + P ₁ + P ₂ + P ₃ + .
用紙サイズ指定	FS + f + P ₁ + P ₂ + P ₃ + .

▶ エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
エミュレーション切替え	ESC + / + I + @ + DEL + ESC + DEL + NUL + NUL + SOH + Pa

キャラクタコード一覧

各エミュレーションモードでのキャラクタコード(ANKコード)の一覧を以下にまとめます。なお、キャラクタコードはすべて16進形式です。

ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

カタカナコード

上下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	'	p	—	上	—	タ	ミ	ニ	×		
1		!	1	A	Q	a	q	—	下	—	チ	ム	ロ	円		
2	DC2	"	2	B	R	b	r	—		「	イ	ツ	メ	キ	年	
3		#	3	C	S	c	s	—		」	ウ	テ	モ	コ	月	
4	DC4	\$	4	D	T	d	t	—		、	エ	ト	ヤ	▲	日	
5		%	5	E	U	e	u	—		—	オ	ナ	ユ	▲	時	
6		&	6	F	V	f	v	—		ヲ	カ	ニ	ヨ	▼	分	
7		'	7	G	W	g	w	—		ァ	キ	ヌ	ラ	▼	秒	
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	—		ィ	ク	ネ	リ	◆	千
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	—		ヶ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF	*	:	J	Z	j	z	—		レ	コ	ハ	レ	◆	区	
B	VT	ESC	+	:	K	[{	—		「	サ	ヒ	ロ	♣	町	
C	FF	FS	,	<	L	¥		—		「	ヤ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR	-	=	M]	}	—			」	ユ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO	.	>	N	^	~	—			」	ョ	セ	ホ	、	／	華
F	SI	/	?	O	_	o	—			」	ッ	ソ	マ	、	＼	

拡張グラフィックコード

上下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	˘	p	Ç	É	â	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	α	≡
1		!	1	A	Q	ü	æ	í	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	β	±
2	DC2	"	2	B	R	é	Æ	ó	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	Γ	>
3		#	3	C	S	â	ó	ú	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	π	≤
4	DC4	\$	4	D	T	ä	ö	ñ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	Σ	í
5	8	%	5	E	U	ä	ö	ñ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	σ	∫
6		&	6	F	V	â	ó	ú	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	μ	÷
7		'	7	G	W	ç	û	ç	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	τ	≈
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	è	ÿ	ç	ˆ	ˆ	ˆ	Φ	*
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	è	ÿ	ç	ˆ	ˆ	ˆ	θ	*
A	LF	*	:	J	Z	j	z	è	ÿ	ç	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	Ω	*
B	VT	ESC	+	:	K	[{	ÿ	ç	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥		ÿ	ç	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	∞	π
D	CR	-	=	M]	}	ÿ	ç	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	φ	ρ
E	SO	.	>	N	^	~	ÿ	ç	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ε	■
F	SI	/	?	O	_	o	ÿ	ç	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	∫	SP

国際文字コード

コード16進	23	24	40	58	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	l	\]	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ
フランス	#	\$	â	ç	s	ˆ	ˆ	ˆ	é	ù	è	ˆ
ドイツ	#	\$	s	Å	Ü	U	ˆ	ˆ	ä	ö	ü	ß
イギリス	#	\$	@	[\]	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ
フィンランド	#	\$	@	Æ	Ø	Å	ˆ	ˆ	æ	ø	å	ˆ
スウェーデン	#	¤	É	Å	Ü	Å	U	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	\$	@	\	é	ˆ	ˆ	ˆ	ù	ä	ò	è
スペインI	Pt	\$	@	i	Ñ	ó	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ñ	ˆ
日本	#	\$	@	[¥]	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	U	é	æ	ø	å	ü
フィンランドII	#	\$	É	Æ	Ø	Å	U	é	æ	ø	å	ü
スペインII	#	\$	á	i	Ñ	ó	é	é	í	ñ	ó	ú
デンマーク	#	\$	á	i	Ñ	ó	é	é	í	ñ	ó	ú

国際文字コード

コード16進	23	24	40	58	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	l	\]	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ
フランス	#	\$	â	ç	s	ˆ	ˆ	ˆ	é	ù	è	ˆ
ドイツ	#	\$	s	Å	Ü	U	ˆ	ˆ	ä	ö	ü	ß
イギリス	#	\$	@	[\]	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ
フィンランド	#	\$	@	Æ	Ø	Å	ˆ	ˆ	æ	ø	å	ˆ
スウェーデン	#	¤	É	Å	Ü	Å	U	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	\$	@	\	é	ˆ	ˆ	ˆ	ù	ä	ò	è
スペインI	Pt	\$	@	i	Ñ	ó	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ñ	ˆ
日本	#	\$	@	[¥]	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	U	é	æ	ø	å	ü
フィンランドII	#	\$	É	Æ	Ø	Å	U	é	æ	ø	å	ü
スペインII	#	\$	á	i	Ñ	ó	é	é	í	ñ	ó	ú
デンマーク	#	\$	á	i	Ñ	ó	é	é	í	ñ	ó	ú

ESC/Page モードキャラクタコード一覧表

ESC/Page モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

グラフィックセット

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	"	'	0	@	P	'	p	Ç	É	á	¸	±	α	=		
1	'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	¸	±	β	±		
2	"	™	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	¸	±	Γ	∇		
3		#	3	C	S	c	s	á	ô	ú			π	≤		
4		\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ			Σ	↑		
5	§	%	5	E	U	e	u	ä	ö	ñ			σ			
6	¶	&	6	F	V	f	v	á	û	ä			μ	+		
7	©	'	7	G	W	g	w	ü	ò	¸			τ	℞		
8	®	(8	H	X	h	x	é	ÿ	¸			Φ	°		
9)	9	I	Y	i	y	ü	¸				θ	•		
A	¢	*	:	J	Z	j	z	é	¸				Ω	·		
B		+	:	K	[k	{	ÿ	¸			■	δ	√		
C	°	.	<	L	\	l	!	£	¸			■	∞	n		
D		=	.	M]	m	}	¥	¸			■	φ	?		
E	=	.	>	N	^	n	~	À	Pt	≤		⊕	■	■		
F	†	/	?	O	_	o		Á	f	≥		±	■	□		

キャラクタセット

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	"	'	0	@	P	'	p	Ç	É	á	°	ij			α	
1	'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	¸	ce			β	
2	"	™	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	¸	'			Γ	
3		#	3	C	S	c	s	á	ô	ú	∅	?			π	
4		\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	φ	¸			Σ	
5	§	%	5	E	U	e	u	ä	ö	ñ	°				σ	
6	¶	&	6	F	V	f	v	á	û	ä	¶				μ	
7	©	'	7	G	W	g	w	ü	ò	¸	s				τ	
8	®	(8	H	X	h	x	é	ÿ	¸	μ				Φ	
9)	9	I	Y	i	y	ü	¸	¸					θ	
A	¢	*	:	J	Z	j	z	é	¸	¸	°				Ω	
B		+	:	K	[k	{	ÿ	¸	¸	—				δ	
C	°	.	<	L	\	l	!	£	¸	¸	Fr				∞	
D		=	.	M]	m	}	¥	¸	¸	%				φ	
E	=	.	>	N	^	n	~	À	Pt	≤	¸				ç	
F	†	/	?	O	_	o		Á	f	≥	¸				□	

国際文字コード

コード 16進	23	24	40	58	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	¸	\	!	£	¸				~
フランス	#	\$	á	¸	¶	¸	¸	¸	é	ú	è	°
ドイツ	#	\$	¸	À	U		¸	¸	ä	ö	ü	β
イギリス	£	\$	@	¸	\	!	£	¸				~
テブナ I	#	\$	@	Æ	∅	Á	¸	¸	æ	ø	á	~
テブナII	#	¸	É	À	U	Á	¸	¸	æ	ø	á	ü
イタリア	#	\$	@	¸	\	é	¸	¸	ú	á	ó	è
スペインI	Pt	\$	@	i	Ñ	ó	¸	¸	¸	ñ		~
日本	#	\$	@	¸	Y	¸	¸	¸				~
ノルウェー	#	¸	É	Æ	∅	Á	¸	¸	æ	ø	á	ü
テブナ II	#	\$	É	Æ	∅	Á	¸	¸	æ	ø	á	ü
スペインII	#	\$	á	i	Ñ	ó	é	¸	¸	ñ	ó	ü
テブナII	#	\$	á	i	Ñ	ó	é	¸	¸	ñ	ó	ü

国際文字コード

コード 16進	23	24	40	58	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[\]	¸	¸	¸	¸		~
フランス	#	\$	á	¸	¶	¸	¸	¸	é	ú	è	°
ドイツ	#	\$	¸	À	U	U	¸	¸	ä	ö	ü	β
イギリス	£	\$	@	[\]	¸	¸				~
テブナ I	#	\$	@	Æ	∅	Á	¸	¸	æ	ø	á	~
テブナII	#	¸	É	À	U	Á	¸	¸	æ	ø	á	ü
イタリア	#	\$	@	¸	\	é	¸	¸	ú	á	ó	è
スペインI	Pt	\$	@	i	Ñ	ó	¸	¸	¸	ñ		~
日本	#	\$	@	¸	Y	¸	¸	¸				~
ノルウェー	#	¸	É	Æ	∅	Á	¸	¸	æ	ø	á	ü
テブナ II	#	\$	É	Æ	∅	Á	¸	¸	æ	ø	á	ü
スペインII	#	\$	á	i	Ñ	ó	é	¸	¸	ñ	ó	ü
テブナII	#	\$	á	i	Ñ	ó	é	¸	¸	ñ	ó	ü

Nordic(コードページ 865)

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶		0	@	P	'	p	Ç	É	á	:	¸	±	α	≡	
1	◀	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	:	¸	±	β	≡	
2	◉	¡	2	B	R	b	r	é	ë	ó	¸	¸	¸	Γ	Π	∞
3	♥	!!	#	3	C	S	c	s	á	ò	ú			¸	π	∞
4	◆	!\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ				¸	Σ	Γ
5	♣	!%	5	E	U	e	u	ä	ö	ñ				¸	σ	∫
6	♠	!&	6	F	V	f	v	á	ò	ú				¸	μ	+
7	♣	!'	7	G	W	g	w	ý	ú	¸				¸	τ	∞
8	◻	↑	(8	H	X	h	x	é	ÿ	¸	¸	¸	+	Φ	°
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	ë	Û				¸	θ	·
A	■	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ù				¸	Ω	·
B	♠	←	+	:	K	[k	{	ÿ	ø				¸	δ	√
C	♀	¸	<	L	\	l		í	£	¸	¸	¸	¸	∞	n	
D	♪	↔	=	M]	m	}	ì	Ø	í	¸	¸	¸	±	φ	γ
E	♩	▲	.	>	N	^	n	˘	Å	Π	<	¸	¸	¸	∞	■
F	※	▼	/	?	O	_	o	ˆ	Å	ƒ	>	¸	¸	¸	∞	∩

Portuguese(コードページ 860)

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶		0	@	P	'	p	Ç	É	á	:	¸	±	α	≡	
1	◀	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	:	¸	±	β	≡	
2	◉	¡	2	B	R	b	r	é	ë	ó	¸	¸	¸	Γ	Π	∞
3	♥	!!	#	3	C	S	c	s	á	ò	ú			¸	π	∞
4	◆	!\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ				¸	Σ	Γ
5	♣	!%	5	E	U	e	u	ä	ö	ñ				¸	σ	∫
6	♠	!&	6	F	V	f	v	á	ò	ú				¸	μ	+
7	♣	!'	7	G	W	g	w	ý	ú	¸				¸	τ	∞
8	◻	↑	(8	H	X	h	x	é	ÿ	¸	¸	¸	+	Φ	°
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	ë	Û				¸	θ	·
A	■	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ù				¸	Ω	·
B	♠	←	+	:	K	[k	{	ÿ	ø				¸	δ	√
C	♀	¸	<	L	\	l		í	£	¸	¸	¸	¸	∞	n	
D	♪	↔	=	M]	m	}	ì	Ø	í	¸	¸	¸	±	φ	γ
E	♩	▲	.	>	N	^	n	˘	Å	Π	<	¸	¸	¸	∞	■
F	※	▼	/	?	O	_	o	ˆ	Å	ƒ	>	¸	¸	¸	∞	∩

Multilingual(コードページ 850)

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶		0	@	P	'	p	Ç	É	á	:	¸	±	α	≡	
1	◀	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	:	¸	±	β	≡	
2	◉	¡	2	B	R	b	r	é	ë	ó	¸	¸	¸	Γ	Π	∞
3	♥	!!	#	3	C	S	c	s	á	ò	ú			¸	π	∞
4	◆	!\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ				¸	Σ	Γ
5	♣	!%	5	E	U	e	u	ä	ö	ñ				¸	σ	∫
6	♠	!&	6	F	V	f	v	á	ò	ú				¸	μ	+
7	♣	!'	7	G	W	g	w	ý	ú	¸				¸	τ	∞
8	◻	↑	(8	H	X	h	x	é	ÿ	¸	¸	¸	+	Φ	°
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	ë	Û				¸	θ	·
A	■	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ù				¸	Ω	·
B	♠	←	+	:	K	[k	{	ÿ	ø				¸	δ	√
C	♀	¸	<	L	\	l		í	£	¸	¸	¸	¸	∞	n	
D	♪	↔	=	M]	m	}	ì	Ø	í	¸	¸	¸	±	φ	γ
E	♩	▲	.	>	N	^	n	˘	Å	Π	<	¸	¸	¸	∞	■
F	※	▼	/	?	O	_	o	ˆ	Å	ƒ	>	¸	¸	¸	∞	∩

Canadian-French
(コードページ 863)

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶		0	@	P	'	p	Ç	É	á	:	¸	±	α	≡	
1	◀	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	:	¸	±	β	≡	
2	◉	¡	2	B	R	b	r	é	ë	ó	¸	¸	¸	Γ	Π	∞
3	♥	!!	#	3	C	S	c	s	á	ò	ú			¸	π	∞
4	◆	!\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ				¸	Σ	Γ
5	♣	!%	5	E	U	e	u	ä	ö	ñ				¸	σ	∫
6	♠	!&	6	F	V	f	v	á	ò	ú				¸	μ	+
7	♣	!'	7	G	W	g	w	ý	ú	¸				¸	τ	∞
8	◻	↑	(8	H	X	h	x	é	ÿ	¸	¸	¸	+	Φ	°
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	ë	Û				¸	θ	·
A	■	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ù				¸	Ω	·
B	♠	←	+	:	K	[k	{	ÿ	ø				¸	δ	√
C	♀	¸	<	L	\	l		í	£	¸	¸	¸	¸	∞	n	
D	♪	↔	=	M]	m	}	ì	Ø	í	¸	¸	¸	±	φ	γ
E	♩	▲	.	>	N	^	n	˘	Å	Π	<	¸	¸	¸	∞	■
F	※	▼	/	?	O	_	o	ˆ	Å	ƒ	>	¸	¸	¸	∞	∩

ECMA 94-1

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	'	p				°	Á	Ñ	á	õ	
1		!	1	A	Q	a	q			i	í	Á	Ñ	á	ñ	
2		"	2	B	R	b	r			é	é	Á	Ó	á	ò	
3		#	3	C	S	c	s			£	£	Á	Ó	á	ó	
4		\$	4	D	T	d	t			¥	¥	Á	Ó	á	ó	
5		%	5	E	U	e	u			¥	¥	Á	Ó	á	õ	
6		&	6	F	V	f	v			¥	¥	Á	Ó	á	õ	
7		'	7	G	W	g	w			¥	¥	Á	Ó	á	õ	
8		(8	H	X	h	x			¥	¥	Á	Ó	á	õ	
9)	9	I	Y	i	y			¥	¥	Á	Ó	á	õ	
A		*	:	J	Z	j	z			¥	¥	Á	Ó	á	õ	
B		+	:	K	[k	{			¥	¥	Á	Ó	á	õ	
C		,	<	L	\	l				¥	¥	Á	Ó	á	õ	
D		-	=	M]	m	}			¥	¥	Á	Ó	á	õ	
E		.	>	N	^	n	~			¥	¥	Á	Ó	á	õ	
F		/	?	O	_	o				¥	¥	Á	Ó	á	õ	

US English(コードページ 437)

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	'	p		Ç	É	á		Ł	±	α	≡
1		◊	◊	! 1	A	Q	a	q	ü	æ	í		ı	ı	ı	ı
2		•	•	" 2	B	R	b	r	ó	œ	ó		ı	ı	ı	ı
3		♥	♥	!# 3	C	S	c	s	â	ô	ú		ı	ı	ı	ı
4		♦	♦	\$ 4	D	T	d	t	ä	ö	ñ		ı	ı	ı	ı
5		♣	♣	% 5	E	U	e	u	ä	ö	ñ		ı	ı	ı	ı
6		♠	♠	& 6	F	V	f	v	á	ú	a		ı	ı	ı	ı
7		●	●	' 7	G	W	g	w	ü	ö	ı		ı	ı	ı	ı
8		◻	◻	^ (8	H	X	h	x	ê	ÿ	ó		ı	ı	ı	ı
9		○	○) 9	I	Y	i	y	ë	Û			ı	ı	ı	ı
A		◼	◼	* : J	Z	j	z		è	Û			ı	ı	ı	ı
B		♠	♠	+ : K	[k	{		ı	ı	ı		ı	ı	ı	ı
C		♀	♀	, < L	\	l			ı	ı	ı		ı	ı	ı	ı
D		♂	♂	- = M]	m	}		ı	ı	ı		ı	ı	ı	ı
E		♂	♂	. > N	^	n	~		ı	ı	ı		ı	ı	ı	ı
F		♂	♂	/ ? O	_	o			ı	ı	ı		ı	ı	ı	ı

カタカナ グラフィックセット

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	'	p		一	一	一	一	一	一	一	一
1		!	1	A	Q	a	q		一	一	一	一	一	一	一	一
2		"	2	B	R	b	r		一	一	一	一	一	一	一	一
3		#	3	C	S	c	s		一	一	一	一	一	一	一	一
4		\$	4	D	T	d	t		一	一	一	一	一	一	一	一
5		%	5	E	U	e	u		一	一	一	一	一	一	一	一
6		&	6	F	V	f	v		一	一	一	一	一	一	一	一
7		'	7	G	W	g	w		一	一	一	一	一	一	一	一
8		(8	H	X	h	x		一	一	一	一	一	一	一	一
9)	9	I	Y	i	y		一	一	一	一	一	一	一	一
A		*	:	J	Z	j	z		一	一	一	一	一	一	一	一
B		+	:	K	[k	{		一	一	一	一	一	一	一	一
C		,	<	L	\	l			一	一	一	一	一	一	一	一
D		-	=	M]	m	}		一	一	一	一	一	一	一	一
E		.	>	N	^	n	~		一	一	一	一	一	一	一	一
F		/	?	O	_	o			一	一	一	一	一	一	一	一

ひらがな グラフィックセット

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	'	p		一	一	一	一	一	一	一	一
1		!	1	A	Q	a	q		一	一	一	一	一	一	一	一
2		"	2	B	R	b	r		一	一	一	一	一	一	一	一
3		#	3	C	S	c	s		一	一	一	一	一	一	一	一
4		\$	4	D	T	d	t		一	一	一	一	一	一	一	一
5		%	5	E	U	e	u		一	一	一	一	一	一	一	一
6		&	6	F	V	f	v		一	一	一	一	一	一	一	一
7		'	7	G	W	g	w		一	一	一	一	一	一	一	一
8		(8	H	X	h	x		一	一	一	一	一	一	一	一
9)	9	I	Y	i	y		一	一	一	一	一	一	一	一
A		*	:	J	Z	j	z		一	一	一	一	一	一	一	一
B		+	:	K	[k	{		一	一	一	一	一	一	一	一
C		,	<	L	\	l			一	一	一	一	一	一	一	一
D		-	=	M]	m	}		一	一	一	一	一	一	一	一
E		.	>	N	^	n	~		一	一	一	一	一	一	一	一
F		/	?	O	_	o			一	一	一	一	一	一	一	一

■ カタカナセット

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	'	p					一	タ	ミ	
1		!	1	A	Q	a	q			。		ア	チ	ム		
2		"	2	B	R	b	r			「		イ	ツ	メ		
3		#	3	C	S	c	s			」		ウ	テ	モ		
4		\$	4	D	T	d	t			、		エ	ト	ヤ		
5		%	5	E	U	e	u			。		オ	ナ	ユ		
6		&	6	F	V	f	v			ヲ		カ	ニ	ヨ		
7		'	7	G	W	g	w			ッ		キ	ヌ	ラ		
8		(8	H	X	h	x			イ		ク	ネ	リ		
9)	9	I	Y	i	y			ウ		ケ	ノ	ル		
A		*	:	J	Z	j	z			エ		コ	ハ	レ		
B		+	:	K	[k	{			オ		サ	ヒ	ロ		
C		.	<	L	¥	l	!			ヤ		シ	フ	ワ		
D		-	=	M]	m	}			ユ		ス	ヘ	ン		
E		.	>	N	^	n	~			ヨ		セ	ホ	ッ		
F		/	?	O	_	o				ッ		ソ	マ	ッ		

■ ひらがなセット

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	'	p					一	た	み	
1		!	1	A	Q	a	q			。		あ	ち	む		
2		"	2	B	R	b	r			「		い	つ	め		
3		#	3	C	S	c	s			」		う	て	も		
4		\$	4	D	T	d	t			、		え	と	や		
5		%	5	E	U	e	u			。		お	な	ゆ		
6		&	6	F	V	f	v			ヲ		を	か	よ		
7		'	7	G	W	g	w			ッ		あ	き	ぬ		
8		(8	H	X	h	x			イ		い	く	ね		
9)	9	I	Y	i	y			ウ		う	け	の		
A		*	:	J	Z	j	z			エ		え	こ	ほ		
B		+	:	K	[k	{			オ		お	さ	ひ		
C		.	<	L	¥	l	!			ヤ		や	し	ふ		
D		-	=	M]	m	}			ユ		ゆ	す	へ		
E		.	>	N	^	n	~			ヨ		よ	せ	ほ		
F		/	?	O	_	o				ッ		っ	そ	ま		

PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表

PC-PR201 モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

8ビット カタカナモード

8ビット ひらがなモード

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F		
0			SP	0	@	P	'	p	_	—	—	—	タ	ミ	ニ	×		
1			!	1	A	Q	a	q	_	—	。	ア	チ	ム	ト	円		
2		DC2	"	2	B	R	b	r	_	—	「	イ	ツ	メ	エ	年		
3			#	3	C	S	c	s	_	—	」	ウ	テ	モ	コ	月		
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	_	—	、	エ	ト	ヤ	▲	H		
5			%	5	E	U	e	u	_	—	。	オ	ナ	ユ	▲	時		
6			&	6	F	V	f	v	_	—	■	ヲ	カ	ニ	ヨ	▼	分	
7			'	7	G	W	g	w	_	—	■	丨	ア	キ	ヌ	ラ	▼	秒
8		CAN	(8	H	X	h	x	_	—	丨	—	イ	ク	ネ	リ	▲	
9	HT)	9	I	Y	i	y	_	—	丨	—	ウ	ケ	ノ	ル	▼	
A	LF		*	:	J	Z	j	z	_	—	丨	—	エ	コ	ハ	レ	▼	
B	VT	ESC	+	:	K	[k	{	_	—	丨	—	—	オ	サ	ヒ	ロ	▼
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	!	_	—	丨	—	—	ヤ	シ	フ	ワ	●
D	CR	GS	-	=	M]	m	}	_	—	■	—	—	ユ	ス	ヘ	ン	○
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	_	—	■	—	—	ヨ	セ	ホ	°	/
F	SI	US	/	?	O	_	o	~	_	—	+	ノ	ツ	ソ	マ	°	\	

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F		
0			SP	0	@	P	'	p	_	—	—	—	一	た	み	ニ	×	
1			!	1	A	Q	a	q	_	—	。	あ	ち	む	ト	円		
2		DC2	"	2	B	R	b	r	_	—	「	い	つ	め	エ	年		
3			#	3	C	S	c	s	_	—	」	う	て	も	コ	月		
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	_	—	、	え	と	や	▲	日		
5			%	5	E	U	e	u	_	—	。	お	な	ゆ	▲	時		
6			&	6	F	V	f	v	_	—	■	丨	を	か	に	よ	▼	
7			'	7	G	W	g	w	_	—	■	丨	あ	き	ぬ	ら	▼	
8		CAN	(8	H	X	h	x	_	—	丨	—	—	い	く	ね	り	▲
9	HT)	9	I	Y	i	y	_	—	丨	—	—	う	け	の	る	▼
A	LF		*	:	J	Z	j	z	_	—	丨	—	—	え	こ	は	れ	▼
B	VT	ESC	+	:	K	[k	{	_	—	丨	—	—	お	き	ひ	ろ	▼
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	!	_	—	■	—	—	や	し	ふ	わ	●
D	CR	GS	-	=	M]	m	}	_	—	■	—	—	ゆ	ず	へ	ん	○
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	_	—	■	—	—	よ	せ	ほ	°	/
F	SI	US	/	?	O	_	o	~	_	—	丨	—	—	っ	そ	ま	°	\

国際文字コード

コード 16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	:	/	:	—	—	—	—	—	—
イギリス	£	\$	@	:	/	:	—	—	—	—	—	—
ドイツ	#	\$	§	Å	Ü	U	—	—	ä	ö	ü	ß
スペイン	#	¤	¢	Å	Ü	À	U	é	ä	ö	á	ü
日本	#	\$	@	:	¥	:	—	—	—	—	—	—

国際文字コード

コード 16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[/]	—	—	—	—	—	—
イギリス	£	\$	@	[/]	—	—	—	—	—	—
ドイツ	#	\$	§	Å	Ü	U	—	—	ä	ö	ü	ß
スペイン	#	¤	¢	Å	Ü	À	U	é	ä	ö	á	ü
日本	#	\$	@	[¥]	—	—	—	—	—	—



<30>₁₆ のコードは、ゼロ文字設定により“0”または“∅”になります。

7ビット 英数モード

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	0	@	P	'	p
1			!	1	A	Q	a	q
2		DC2	"	2	B	R	b	r
3			#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5			%	5	E	U	e	u
6			&	6	F	V	f	v
7			'	7	G	W	g	w
8		CAN	(8	H	X	h	x
9	HT)	9	I	Y	i	y
A	LF		*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	

7ビット カタカナモード

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	ー	ク	ミ	'	p
1			。	ア	チ	ム	a	q
2		DC2	「	イ	ツ	メ	b	r
3			」	ウ	テ	モ	c	s
4	EOT	DC4	、	エ	ト	ヤ	d	t
5			.	オ	ナ	ユ	e	u
6			ヲ	カ	ニ	ヨ	f	v
7			ッ	キ	ヌ	ラ	g	w
8		CAN	イ	ク	ネ	リ	h	x
9	HT		ウ	ケ	ノ	ル	i	y
A	LF		エ	コ	ハ	レ	j	z
B	VT	ESC	オ	サ	ヒ	ロ	k	{
C	FF	FS	ヤ	シ	フ	ワ	l	
D	CR	GS	ユ	ス	ヘ	ン	m	}
E	SO	RS	ヨ	セ	ホ	°	n	~
F	SI	US	ッ	ソ	マ	°	o	

国際文字コード

コード 16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	_	:	;	'	~
イギリス	£	\$	@	[\]	^	_	:	;	'	~
ドイツ	#	\$	§	×	ü	ü	^	_	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	£	×	ü	ä	U	é	ä	ö	á	ü
日本	#	\$	@	[¥]	^	_	:	;	'	~

国際文字コード

コード 16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	_	:	;	'	~
イギリス	£	\$	@	[\]	^	_	:	;	'	~
ドイツ	#	\$	§	×	ü	ü	^	_	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	£	×	ü	ä	U	é	ä	ö	á	ü
日本	#	\$	@	[¥]	^	_	:	;	'	~



7ビット英数モードの<30>₁₆のコードは、ゼロ文字設定により“0”または“∅”になります。

7ビット ひらがなモード

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	一	た	み	'	p
1			。	あ	ち	む	a	q
2		DC2	「	い	つ	め	b	r
3			」	う	て	も	c	s
4	EOT	DC4	、	え	と	や	d	t
5			。	お	な	ゆ	e	u
6			を	か	に	よ	f	v
7			あ	き	ぬ	ら	g	w
8		CAN	い	く	ね	り	h	x
9	HT		う	け	の	る	i	y
A	LF		え	こ	は	れ	j	z
B	VT	ESC	お	さ	ひ	ろ	k	{
C	FF	FS	や	し	ふ	わ	l	
D	CR	GS	ゆ	す	へ	ん	m	}
E	SO	RS	よ	せ	ほ	ゝ	n	~
F	SI	US	っ	そ	ま	。	o	

7ビット グラフィックモード

上 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			—	±	=	×	'	p
1			—	⊥	≠	円	a	q
2		DC2	—	⊥	≠	年	b	r
3			—	⊥	≠	月	c	s
4	EOT	DC4	■		▲	日	d	t
5			■	—	▲	時	e	u
6			■		▲	分	f	v
7			■		▲	秒	g	w
8		CAN		┌	◆		h	x
9	HT			┐	♥		i	y
A	LF			└	◆		j	z
B	VT	ESC	■	┐	♣		k	{
C	FF	FS	■	┐	●		l	
D	CR	GS	■	┐	○		m	}
E	SO	RS	■	┐	/		n	~
F	SI	US	+	┐	\		o	

国際文字コード

コード 16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	_	:	;	'	~
イギリス	£	\$	@	[\]	^	_	:	;	'	~
ドイツ	#	\$	§	Å	Ü	ü	~	ä	ö	ü	ß	
フランス	#	¤	€	Å	Ü	Ä	U	é	ä	ö	á	ü
日本	#	\$	@	[¥]	^	_	:	;	'	~

国際文字コード

コード 16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	_	:	;	'	~
イギリス	£	\$	@	[\]	^	_	:	;	'	~
ドイツ	#	\$	§	Å	Ü	ü	~	ä	ö	ü	ß	
フランス	#	¤	€	Å	Ü	Ä	U	é	ä	ö	á	ü
日本	#	\$	@	[¥]	^	_	:	;	'	~

点\$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F																				
区	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63																				
\$																																																				
20:0																																																				
21:1	＼	～			…	…	‘	”	()	[]	[]	{ }	< >	《 》	「 」	『 』	【 】	+	-	±	×																															
22:2	U	∩																				∧	∨	→	⇒	⇔	▽	ヨ																								
23:3																																																				
24:4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	び	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	ぼ	ぼ	ま	み																					
25:5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	ビ	ビ	ビ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ベ	ホ	ボ	ボ	マ	ミ																					
26:6																																																				
27:7	Ю	Я																				α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	з	и	й	к	л	м	н
28:8																																																				
29:9																																																				
2A:10																																																				
2B:11																																																				
2C:12																																																				
2D:13	ミリ																キロ																																			
2E:14																																																				
2F:15																																																				
30:16	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困	夷	委	威	尉	惟	意	愈	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃																				
31:17	雲	在	餌	加	宮	嬰	影	映	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駟	悅	異	越	闖	維	緯	胃																				
32:18	伽	在	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	赫	禾	稼	液	花	益	茄	荷	悅	越	闖	維	緯	胃																				
33:19	垣	在	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	赫	禾	稼	液	花	益	茄	荷	悅	越	闖	維	緯	胃																				
34:20	汗	漢	潤	澆	環	甘	監	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	赫	禾	稼	液	花	益	茄	荷	悅	越	闖	維	緯	胃																				
35:21	祇	義	蟻	誼	議	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠	鞠																			
36:22	鏡	響	響	驚	仰	疑	堯	曉	携	敬	孤	己	絞	妻	刺	稿	再	仔	伺	屢	鳳	照	症	辛	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇																			
37:23	契	形	限	甲	皇	債	催	再	仔	伺	屢	鳳	照	症	辛	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇																			
38:24	言	診	限	甲	皇	債	催	再	仔	伺	屢	鳳	照	症	辛	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇																			
39:25	浩	港	溝	座	暫	殘	仕	仔	伺	屢	鳳	照	症	辛	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇																			
3A:26	姿	餐	質	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇	蘇																			
3B:27	酸	疾	柔	樟	神	誓	狙	太	胆	沈	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																														
3C:28	疾	柔	樟	神	誓	狙	太	胆	沈	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																															
3D:29	柔	樟	神	誓	狙	太	胆	沈	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																
3E:30	樟	神	誓	狙	太	胆	沈	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																	
3F:31	神	誓	狙	太	胆	沈	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																		
40:32	誓	狙	太	胆	沈	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																			
41:33	狙	太	胆	沈	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																				
42:34	太	胆	沈	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																					
43:35	胆	沈	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																						
44:36	沈	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																							
45:37	点	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																								
46:38	得	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																									
47:39	農	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																										
48:40	叛	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																											
49:41	廟	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																												
4A:42	弊	4A:42	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																													
4B:43	4B:43	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																															
4C:44	4C:44	4D:45	4E:46	4F:47																																																
4D:45	4D:45	4E:46	4F:47																																																	
4E:46	4E:46	4F:47																																																		
4F:47	4F:47																																																			

JIS⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覽表

点\$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	
区	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
\$																																	
50:48	弋	𠂔	𠂕	𠂖	𠂗	𠂘	𠂙	𠂚	𠂛	𠂜	𠂝	𠂞	𠂟	𠂠	𠂡	𠂢	𠂣	𠂤	𠂥	𠂦	𠂧	𠂨	𠂩	𠂪	𠂫	𠂬	𠂭	𠂮	𠂯	𠂰	𠂱	𠂲	
51:49	𠂳	𠂴	𠂵	𠂶	𠂷	𠂸	𠂹	𠂺	𠂻	𠂼	𠂽	𠂾	𠂿	𠃀	𠃁	𠃂	𠃃	𠃄	𠃅	𠃆	𠃇	𠃈	𠃉	𠃊	𠃋	𠃌	𠃍	𠃎	𠃏	𠃐	𠃑	𠃒	
52:50	𠃓	𠃔	𠃕	𠃖	𠃗	𠃘	𠃙	𠃚	𠃛	𠃜	𠃝	𠃞	𠃟	𠃠	𠃡	𠃢	𠃣	𠃤	𠃥	𠃦	𠃧	𠃨	𠃩	𠃪	𠃫	𠃬	𠃭	𠃮	𠃯	𠃰	𠃱	𠃲	
53:51	𠃳	𠃴	𠃵	𠃶	𠃷	𠃸	𠃹	𠃺	𠃻	𠃼	𠃽	𠃾	𠃿	𠄀	𠄁	𠄂	𠄃	𠄄	𠄅	𠄆	𠄇	𠄈	𠄉	𠄊	𠄋	𠄌	𠄍	𠄎	𠄏	𠄐	𠄑	𠄒	
54:52	𠄓	𠄔	𠄕	𠄖	𠄗	𠄘	𠄙	𠄚	𠄛	𠄜	𠄝	𠄞	𠄟	𠄠	𠄡	𠄢	𠄣	𠄤	𠄥	𠄦	𠄧	𠄨	𠄩	𠄪	𠄫	𠄬	𠄭	𠄮	𠄯	𠄰	𠄱	𠄲	
55:53	𠄳	𠄴	𠄵	𠄶	𠄷	𠄸	𠄹	𠄺	𠄻	𠄼	𠄽	𠄾	𠄿	𠅀	𠅁	𠅂	𠅃	𠅄	𠅅	𠅆	𠅇	𠅈	𠅉	𠅊	𠅋	𠅌	𠅍	𠅎	𠅏	𠅐	𠅑	𠅒	
56:54	𠅓	𠅔	𠅕	𠅖	𠅗	𠅘	𠅙	𠅚	𠅛	𠅜	𠅝	𠅞	𠅟	𠅠	𠅡	𠅢	𠅣	𠅤	𠅥	𠅦	𠅧	𠅨	𠅩	𠅪	𠅫	𠅬	𠅭	𠅮	𠅯	𠅰	𠅱	𠅲	
57:55	𠅳	𠅴	𠅵	𠅶	𠅷	𠅸	𠅹	𠅺	𠅻	𠅼	𠅽	𠅾	𠅿	𠆀	𠆁	𠆂	𠆃	𠆄	𠆅	𠆆	𠆇	𠆈	𠆉	𠆊	𠆋	𠆌	𠆍	𠆎	𠆏	𠆐	𠆑	𠆒	
58:56	𠆓	𠆔	𠆕	𠆖	𠆗	𠆘	𠆙	𠆚	𠆛	𠆜	𠆝	𠆞	𠆟	𠆠	𠆡	𠆢	𠆣	𠆤	𠆥	𠆦	𠆧	𠆨	𠆩	𠆪	𠆫	𠆬	𠆭	𠆮	𠆯	𠆰	𠆱	𠆲	
59:57	𠆳	𠆴	𠆵	𠆶	𠆷	𠆸	𠆹	𠆺	𠆻	𠆼	𠆽	𠆾	𠆿	𠇀	𠇁	𠇂	𠇃	𠇄	𠇅	𠇆	𠇇	𠇈	𠇉	𠇊	𠇋	𠇌	𠇍	𠇎	𠇏	𠇐	𠇑	𠇒	
5A:58	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
5B:59	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
5C:60	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
5D:61	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
5E:62	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
5F:63	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
60:64	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
61:65	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
62:66	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
63:67	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
64:68	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
65:69	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
66:70	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
67:71	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
68:72	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
69:73	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
6A:74	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
6B:75	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
6C:76	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
6D:77	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
6E:78	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
6F:79	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
70:80	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
71:81	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
72:82	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
73:83	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
74:84	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
75:85	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	
76:86	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚																									

点\$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区\$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
70:80	婁	霑	霏	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖	霖
71:81	饑	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒
72:82	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	
73:83	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	
74:84																																
75:85																																
76:86																																
77:87																																
78:88																																
79:89																																
7A:90																																
7B:91																																
7C:92																																
7D:93																																
7E:94																																

点\$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
区\$	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
70:80	鞋	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
71:81	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾
72:82	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
73:83	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹	徹
74:84																															
75:85																															
76:86																															
77:87																															
78:88																															
79:89																															
7A:90																															
7B:91																															
7C:92																															
7D:93																															
7E:94																															

▶ 半角漢字

点\$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
002X	SP	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
003X	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	<	=	>	?	0
004X	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	0
005X	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[¥]	m	n
006X		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
007X	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					※
008X	SP	。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ
009X	ー	あ	い	う	え	お	を	か	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ
00AX	※	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ッ
00BX	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	ヲ	カ	キ	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00CX	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	カ	ニ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00DX	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ナ	ニ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00EX	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00FX	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	は	ろ	わ	ん		

注 1) 「 」の部分は、半角の空白印字になります。

注 2) <0030>₁₆ のコードは、ゼロ文字設定により “ 0 ” または “ ∅ ” になります。

▶ JIS の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

コード (区点)	JIS	PCPR									
3724	靴	靴	4042	逝	逝	3D6D	渚	渚	622B	皓	皓
3937	昂	昂	444E	塚	塚	3F69	翠	翠	514B	晃	晃
3E3F	梢	梢	4951	頻	頻	4072	栓	栓	5B4A	枳	枳
432A	棚	棚	4D5A	遙	遙	4275	濯	濯	5C53	楛	楛
463E	鴉	鴉	4E4B	遼	遼	4276	琢	琢	6646	翔	翔
4B22	泡	泡	327D	拐	拐	4661	那	那	5B74	梲	梲
3646	堯	堯	3365	喝	喝	4862	扉	扉	6076	瑶	瑶
3745	慧	慧	336C	褐	褐	4B6A	楨	楨	6C62	赳	赳
3755	荊	荊	3764	隙	隙	4B7A	繭	繭	6D6C	迪	迪
3942	溝	溝	3779	嫌	嫌	4C7E	癒	癒			
3C57	遮	遮	3A63	冚	冚	5B2E	菴	菴			

JIS C6234-1983 の字体との違い

このプリンタが印刷する漢字は、JIS X0208-1983 (情報交換用漢字符号系：旧 JIS C6226-1983) に準拠していますが、JIS X9052-1983 (ドットプリンタ用 24 ドット字形：旧 JIS C6234-1983) は採用していません。したがって、パソコン本体の表示画面の文字および記号などと必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS X9052-1983 の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

JIS コード	(区点)	カタ	JIS	JIS コード	(区点)	カタ	JIS	JIS コード	(区点)	カタ	JIS
3022	(1602)	啞	唾	3979	(2589)	甌	甌	4578	(3788)	禱	禱
303B	(1627)	飴	飴	3A67	(2671)	榭	榭	4642	(3834)	瀆	瀆
306E	(1678)	溢	溢	3A74	(2684)	柵	柵	4654	(3852)	滯	滯
3135	(1721)	爵	爵	3B2A	(2710)	鯖	鯖	466A	(3874)	楢	楢
3139	(1725)	厩	厩	3B2C	(2712)	鎊	鎊	4729	(3909)	襦	襦
313D	(1729)	噂	噂	3B39	(2725)	珊	珊	4739	(3925)	囊	囊
3142	(1734)	餌	餌	3C48	(2840)	屢	屢	482E	(4014)	潑	潑
316B	(1775)	焰	焰	3D2B	(2911)	繡	繡	4830	(4016)	醜	醜
322A	(1810)	鷗	鷗	3D36	(2922)	酋	酋	4B4B	(4343)	頰	頰
327A	(1890)	恢	恢	3E55	(3053)	蔣	蔣	4B70	(4380)	鱒	鱒
336B	(1975)	葛	葛	3E5F	(3063)	醬	醬	4C4D	(4445)	麵	麵
337A	(1990)	嚙	嚙	3F2A	(3110)	蝕	蝕	4C5F	(4463)	餅	餅
3442	(2034)	潤	潤	4066	(3270)	蟬	蟬	4D32	(4518)	猷	猷
3540	(2132)	祇	祇	4139	(3325)	噌	噌	4D69	(4573)	萊	萊
3622	(2202)	俠	俠	4169	(3373)	瘦	瘦	4E7B	(4691)	煉	煉
362A	(2210)	卿	卿	424D	(3445)	驛	驛	4F31	(4717)	榔	榔
366D	(2277)	軀	軀	4263	(3467)	黛	黛	4F39	(4725)	蠟	蠟
367B	(2291)	櫛	櫛	432E	(3514)	樽	樽	5622	(5402)	屏	屏
3737	(2323)	祁	祁	433D	(3529)	箏	箏	5960	(5764)	捩	捩
3771	(2381)	倦	倦	444F	(3647)	摑	摑	5A39	(5825)	攢	攢
377E	(2394)	捲	捲	4522	(3702)	鄭	鄭	6546	(6938)	綬	綬
3834	(2420)	齷	齷	4536	(3722)	墳	墳				
396D	(2577)	麴	麴	453F	(3731)	顛	顛				

アフターサービスについて

- ・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後6年です。ご了承ください。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・操作、機能について不明な点や修理については、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターにご相談ください。詳細は添付の修理サービス網一覧をご覧ください。

ソフトウェア編



第1章

インストールの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアをインストールする前に必要となる基本的なことから説明します。

インストールの前に	4
双方向プリンティングシステム「Printianavi (プリンティアナビ)」...	6
Printia XL ドライバ	9
Printianavi ネットワークポートモニタ	9
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ	10
Printianavi マネージャ	10
Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ	12
かんたんバーコード Lite	13
ソフトウェアライブラリ	14
Acrobat Reader 3.0J (アクロバットリーダー)...	14
ソフトウェアマニュアル	15
CD-ROM の内容	16
Printianavi インストーラ	17
インストールの手順と設定の概要	18
セントロ接続の手順	19
LAN (TCP/IP) 接続の手順	20
セントロ接続の印刷設定	22
プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境設定 (管理者のみ)	23
LAN 接続の印刷設定	24
プリンタ共有サーバとしての設定	26
クライアントからの印刷設定	27

インストールの前に

本書では、次のプリンタについて説明します。

- ・XL-6010

なお、特定のプリンタを指す場合は、次のように呼び分けます。

呼び方	対象プリンタ
XL プリンタまたは本プリンタ	XL-6010
NetWare 対応 XL プリンタ	XL-6010
用紙種類指定対応プリンタ	XL-6010
両面印刷対応プリンタ	XL-6010
旧 Printianavi 対応プリンタ	XL-5810/5510/5300A/5300シリーズ

また、本書中の画面例などで「XL-XXXX」と表示された箇所は、XL-6010 と読み替えてください。

本プリンタには、「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM が同梱されています。この中には、次のソフトウェアが入っています。

- ・Printia XL ドライバ(双方向プリンティングシステム「Printianavi」を含む)
- ・Printianavi ネットワークポートモニタ
(IP アドレス設定ユーティリティを含む)
- ・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ
- ・Printianavi マネージャ
- ・Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ (注 1)
- ・かんたんバーコード Lite
- ・Adobe Acrobat Reader 3.0J
- ・ソフトウェアマニュアル

注 1) ネットワーク設定ユーティリティは、NetWare 環境専用です。
TCP/IP環境で使用しているXLプリンタではお使いになれません
のでご注意ください。



- ・Printia XLドライバ以外のソフトウェアは、Printianaviインストーラでインストールすることができます。(「Printianaviインストーラ」(17ページ)参照)
Printia XLドライバのインストール方法については、第2章および第3章をご覧ください。
- ・同一ネットワーク上で本プリンタと旧Printianavi対応プリンタを混在運用する場合は、付録の「Printianaviトラブルシューティング」の「旧バージョン・レベルとの混在運用について」をお読みください。
- ・お使いのパソコンのプリンタフォルダに、すでにXL-5810/5510/5710/5310のいずれかが登録されている場合は、付録の「Printianaviトラブルシューティング」の「新しいバージョン/レベルのメッセージが表示される」および「古いバージョン/レベルのメッセージが表示される」をお読みください。

以降で、各ソフトウェアの概要について説明します。

▼ 双方向プリンティングシステム 「Printianavi (プリンティアナビ)」

プリンタの印刷ジョブの処理状況、プリンタステータスの監視、印刷再開や印刷打ち切りなどを、印刷を実行したパソコンから制御するソフトウェアです。Printia XL ドライバの一部としてインストールされます。

Printianavi は、Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンに、プリンタケーブル (セントロ) または LAN 経由でプリンタを接続したときに使用できます。

「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM の中にある次のソフトウェアは、Printianavi と連携して使用します。

- ・ Printianavi マネージャ
- ・ Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ
- ・ Printianavi ネットワークポートモニタ

上記のソフトウェアのどれが必要となるかは、プリンタの共有方法や接続形態、クライアント側とサーバ側などで異なります。

次の表、および「インストールの手順と設定の概要」(18 ページ)を参照してください。

プリンタの共有方法	共有しない	LAN 直接	サーバ接続プリンタを共有	
プリンタの接続形態	パラレル接続	LAN 接続	パラレル接続	LAN 接続
Printia XL ドライバ	○	○		
Printianavi マネージャ				
ネットワーク連携ユーティリティ	-	-		
ネットワークポートモニタ	-	○	-	○
TCP/IP プロトコル (注)	-	○		

- : クライアント / サーバ双方のパソコンでインストールが必要
- : プリンタを接続するパソコン (サーバ) でインストールが必要
- : 必要に応じてインストールする

注) ご使用の OS (Windows 98/95/NT4.0) が提供するネットワークプロトコルを利用します。

Printianavi の特長

パソコンとXLプリンタの双方向通信により、Printianaviは次の機能を実現しました。

▶ ネットワークプリンタ管理

Printianaviマネージャを使用すると、プリンタフォルダに登録されているXLプリンタを一覧で表示、各プリンタの状態や印刷待ちジョブ数を確認できます。

さらに、各プリンタの詳細情報を表示したり、ネットワーク設定を変更するなど、オフィス内でネットワーク接続されたXLプリンタを、机上のパソコンで集中管理できます。

▶ 高速転送

- ・エラー発生や空きメモリ量などのプリンタ状態を確認しながら、効率よく印刷ジョブを転送します。

- ・100Mbpsの高速ネットワーク(100BASE-TX)に対応したプリンタLANインタフェースと、セントロポート(IEEE1284準拠)に標準で対応します。

▶ 優れた操作性

- ・印刷開始前に、用紙サイズや用紙残量などのプリンタステータスや、エラー内容をプリンタの設定画面で確認できます。サーバ共有プリンタのステータス表示にも対応しました。

- ・印刷を実行したパソコンに、印刷中の文書名や印刷処理の状況などのステータスや、印刷完了、エラーメッセージを表示します。(メッセージウィンドウ)

ステータスウィンドウには、プリンタの状態に対応したプリンタ情報ビットマップや状態アイコンを表示、エラー発生などをグラフィカルに通知します。

- ・ステータスウィンドウやエラーメッセージウィンドウから、印刷打ち切り操作を簡単に行えます。

▶ 高信頼印刷

- ・プリンタで紙づまりなどのエラー状態を解除すると、エラーが発生したページから印刷を自動的に再開します。この機能により、印刷抜けを防止します。

- ・Windows NT4.0をプリントサーバにした運用形態では、紙づまりや応答なし等のエラー発生時に、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定できます。

- ・プリンタの電源オフやケーブル抜けなどのネットワーク異常を監視します。エラーとなった印刷処理を自動的に打ち切り、文字化けなどの印刷トラブルの発生を事前に防止します。

■ プリンタ LAN ポートの機能概要

XL プリンタ内蔵のプリンタ LAN ポートは、100Mbps の高速ネットワーク (100BASE-TX) や 10BASE-T に接続できます。ネットワークプロトコルとして、TCP/IP を標準サポートしています。

Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンに Printianavi ネットワークポートモジュールをインストールすると、Printianavi と連携して、TCP/IP 接続の XL プリンタに直接印刷することができます。これにより、プリントサーバを設置しない形態でもプリンタを共有することができます。

XL プリンタは、プリンタの IP アドレス割り当て機能として DHCP をサポートしているので、ネットワークで動作している DHCP サーバから、プリンタの IP アドレスを集中管理することができます。

また、XL プリンタは、業界標準のネットワーク管理プロトコル SNMP をサポートし、SNMP の管理情報として、MIB- II、ホストリソース MIB の一部、およびプリンタ MIB に対応しています。これにより、弊社のシステム管理ソフトウェア SystemWalker/CentricMGR や、市販の SNMP マネージャを使用して、TCP/IP 接続された XL プリンタの機器構成や装置状態などをシステム管理ソフトウェアに表示したり、ネットワーク機器としてルータやパソコン装置と同様に集中管理することが可能です。

TCP/IP は、Windows NT の LPR 印刷にも対応しています。

さらに NetWare 対応 XL プリンタは、プリントサーバモードおよびリモートプリンタモードに対応しており、NetWare サーバ連携のプリンタ共有が可能です。ただし、NetWare 4.xJ の NDS モードには対応していません。バインダリモードで接続してください。

なお、LPR 印刷や NetWare 印刷は、双方向プリンティングシステム「Printianavi」には対応していませんのでご注意ください。

▼ Printia XL ドライバ

Windows 環境でプリンタを使用するために必要なプリンタドライバです。インストール方法および設定方法については、次の章をお読みください。

- ・プリンタドライバをインストールし、印刷できるようにする 第2章
- ・印刷時の用紙サイズや解像度などを設定する 第3章

ご使用のOSによってインストール方法および設定方法が異なりますのでご注意ください。



双方向プリンティングシステム「Printianavi」は、Windows 98/95/NT4.0のPrintia XLドライバに対応しており、Printia XLドライバとともにインストールされます。

▼ Printianavi ネットワークポートモニタ

XLプリンタをLAN(TCP/IP)で接続して、パソコンから直接印刷を行えるようにします。

本ユーティリティは、Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。

また、本ユーティリティとともにインストールされる「IPアドレス設定ユーティリティ」は、DHCPを利用して、XLプリンタに一時的にIPアドレスを設定します。

本ソフトウェアのインストール方法や環境設定の詳細については、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

▼ Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

LAN (TCP/IP) 上のサーバに接続したプリンタの状態表示や印刷制御を、印刷を実行したクライアント側で行えるようにします。

このユーティリティは、Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。

本ユーティリティは、プリントサーバとクライアント双方にインストールし、クライアント側でメッセージ操作環境の設定、および到着通知パネルの起動を行う必要があります。

インストール方法や環境設定、起動方法については、CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

▼ Printianavi マネージャ

ローカルプリンタやネットワークプリンタ、サーバの共有プリンタの情報参照や環境設定などのプリンタ管理を、パソコンから行えるようにします。

このソフトウェアは、Windows プリントスプーラおよびWindows 98/95/NT4.0が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。

インストール方法や設定、起動方法については、CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

▶ 制限事項

- ・本ソフトウェアは、XLプリンタ専用です。他のプリンタの情報参照や環境設定は行えません。
- ・情報参照や環境設定を行うプリンタは、すべて本ソフトウェアを起動するパソコンから印刷可能な設定になっている必要があります。Printianavi対応のPrintia XLプリンタドライバを必ずインストールしてください。
ただし、次のようなプリンタは、情報を取得できないため、エラー表示となります。
 - ・NetWare環境で使用している（TCP/IP環境との共有も含む）プリンタ
 - ・Printianaviネットワーク連携ユーティリティが正常に起動していないサーバの共有プリンタ

■ 主な機能

▶ エンドユーザー機能

XLプリンタを使用する際に必要な情報を提供します。プリンタの空き状況や、セットされている用紙サイズ等を手元のパソコンで事前に確認できるため、効率のよい印刷が可能となります。

- ・プリンター一覧表示

Windows上に定義されたXLプリンタの状態および印刷待ちジョブ数を一覧で表示します。これにより空きプリンタを一目で確認できます。

- ・状態表示

プリンター一覧表示で選択したプリンタの状態やセットされている用紙をグラフィカルに表示します。これにより印刷目的に応じたプリンタの選択が可能となります。

▶ 管理者機能

ネットワーク環境の参照や設定等、プリンタ管理者用の機能を提供します。従来はプリンタの設置場所でオペレータパネルによる操作が必要でしたが、本機能により複数プリンタの操作を手元のパソコンから、分かりやすいユーザインタフェースを通じて行うことが可能となりました。なお、本機能はPrintianaviマネージャに管理者機能を追加した場合のみ使用することができます。

- ・ネットワーク情報表示、設定

XLプリンタのネットワーク環境の表示、およびその設定機能を提供します。

▼ Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ

NetWare 環境でプリンタを LAN (IPX/SPX) に接続して利用するために必要なプリンタの設定を、Windows 98/95 が動作する NetWare クライアントから行えるようにします。

このユーティリティは、ネットワーク管理者用です。一般ユーザの方はインストールする必要はありません。

インストール方法や設定の詳細については、CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

▶ 動作環境

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティは、次の環境で使用できません。

- ・Windows 98/95 および Novell NetWare (Workstation Shell 4.0 and above [VLM])
- ・Windows 98/95 および Novell NetWare Client 32

▶ 制限事項

- ・本ユーティリティは、NetWare 対応 XL プリンタ専用です。NetWare に対応していないプリンタでは使用できません。また、NetWare 環境でお使いになるには、プリンタの NetWare プロトコルが「有効」に設定されている必要があります。
- ・マイクロソフト製の NetWare 互換のクライアントサービス (NetWare ネットワーククライアント) をインストールした環境では、互換クライアントがサポートしない関数を使用するため、正常に動作しません。
- ・NetWare ファイルサーバの存在しないネットワークでは、使用しないでください。また、ルータ等を使用している場合、そのルータの仕様によっては正常に動作できない場合があります。
- ・本プリンタのプリンタドライバ (Printia XL ドライバ) を必ずインストールしてください。Printia XL ドライバをインストールしていない環境で Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを起動すると、「ライブラリファイル “ fjxlcom.dll ” が見つかりません」のエラーが発生します。この状態では Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンタ状態表示が動作しません。

- ・プリンタの設定を変更するには、設定変更権限が必要です。
設定を変更する場合には SUPERVISOR でログインし、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを起動してください。
- ・Printianavi ネットワーク設定ユーティリティや、Printianavi マネージャ、プリンタのパネル操作で、プリンタの NetWare プロトコルを「無効」に設定すると、本プリンタは、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンター一覧に表示されなくなります。
Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンター一覧にプリンタを表示して、設定等を行いたい場合には、プリンタのパネル操作で、プリンタの NetWare プロトコルを「有効」に設定してください。
- ・NetWare 4.xJ の NDS モードには対応していません。
バインダリモードでお使いください。

▼ かんたんバーコード Lite

OLE連携可能なアプリケーションソフトにバーコードを貼り付け、バーコードの表示・印刷を行えるようにします。MS-Word や MS-Excel、OASYS for Windows、一太郎など、OLE 連携に対応したアプリケーションソフトは多数あります。

本ソフトウェアがサポートするバーコードの種類は、次の4種類です。

- ・JAN 標準
- ・JAN 短縮
- ・NW-7
- ・カスタムバーコード

本ソフトウェアのインストール方法や使用方法の詳細については、CD-ROMの「Barcode」フォルダに収められたPDF形式のオンラインマニュアル（Manual.pdf）、およびテキストファイル（Readme.txt）をご覧ください。

▼ ソフトウェアライブラリ

Printia LASER XL シリーズのプリンタドライバを提供します。
本ライブラリをご使用になるためには、Web ブラウザが必要です。
プリンタドライバの使用方法は、Webブラウザに表示される説明をご覧ください。また、CD-ROMの「Update」フォルダに収められたテキストファイル（Readme.txt）もあわせてお読みください。

▼ Acrobat Reader 3.0J（アクロバットリーダー）

PDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。本ソフトウェアは、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。

CD-ROMに収められたPDF形式のソフトウェアマニュアルを使用するには、まずAcrobat Reader（3.0Jまたはそれ以降）をパソコンにインストールする必要があります。

お使いのパソコンにAcrobat Readerがインストールされていない場合は、CD-ROMからAcrobat Reader 3.0Jをインストールしてください。

■ Acrobat Reader 3.0J のインストール

Acrobat Reader 3.0Jは、Windows 98/95/NT4.0が動作するパソコンにインストールできます。

「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットすると、Printianavi インストーラが自動的に起動します。〔Acrobat Reader〕をクリックするとAdobe Acrobat Reader 3.0J インストーラが起動しますので、画面の指示に従って操作してください。

Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROMの「Acrobat」フォルダにあるAdobe Acrobat Reader 3.0J インストーラ（ファイル名:Acro30j.exe）をエクスプローラから起動してください。同フォルダ内にインストール時の注意事項などが記載されたReadme.txtが収められていますので合わせてご覧ください。

▼ ソフトウェアマニュアル

「Printia LASERプリンタユーティリティ V3.1」CD-ROMに収められているソフトウェアに関する使用方法や注意事項を記載したマニュアルです。本書と合わせてご活用ください。

ソフトウェアマニュアルは、PDF形式のファイルで提供しています。PDF形式のファイルは、Adobe Acrobat Reader（3.0Jまたはそれ以降）を使用して、画面に表示したり、印刷したりすることができます。

■ ソフトウェアマニュアルの使い方

ソフトウェアマニュアルを画面に表示するには、次の2つの方法があります。

あらかじめ、Adobe Acrobat Reader（3.0Jまたはそれ以降）をインストールしておいてください。

- ・「Printia LASERプリンタユーティリティ V3.1」CD-ROMの「Manual」フォルダ内にあるIndex.pdfをダブルクリックする
- ・CD-ROMをセットすると自動的に起動するPrintianaviインストーラの〔ソフトウェアマニュアル〕をクリックする

CD-ROM の内容

プリンタに添付されている「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM に収められている主なファイルは、次のとおりです。

¥	Acrobat	Adobe Acrobat Reader用フォルダ
	└─ Acro30j.exe	・ Acrobat Reader 3.0Jインストーラ
	Barcode	かんたんバーコードLite用フォルダ
	└─ Setup.exe	・ かんたんバーコードLiteインストーラ
	└─ Manual.pdf	・ かんたんバーコードLiteソフトウェアマニュアル
	Fjxladmn	Printianaviマネージャ用フォルダ
	└─ Setup.exe	・ Printianaviマネージャインストーラ
	Fjxlv31	Printia XLドライバディスク V3.1用フォルダ
	└─ Win31	・ Windows 3.1用プリンタドライバ
	└─ Win9x	・ Windows 98/95用プリンタドライバ
	└─ Winnt40	・ Windows NT4.0用プリンタドライバ
	Manual	ソフトウェアマニュアル用フォルダ
	└─ Index.pdf	・ ソフトウェアマニュアル(PDF形式)
	Mib	SNMP/MIB定義ファイル用フォルダ
	└─ Readme.txt	・ 説明ファイル
	Naviport	Printianaviネットワークポートモニタ用フォルダ
	└─ Setup.exe	・ ネットワークポートモニタインストーラ
	Update	各種アップデート情報ファイル用フォルダ
	└─ Readme.txt	・ 説明ファイル
	└─ Index.htm	・ アップデート情報ハイパーテキストページ
	└─ Archive	・ アップデートファイル用フォルダ(自己解凍圧縮形式)
	Workit	Printianaviネットワーク連携ユーティリティ用フォルダ
	└─ Win95	・ Windows 98/95対応ユーティリティ用フォルダ
	└─ Winnt	・ Windows NT4.0対応ユーティリティ用フォルダ
	└─ Win95 └─ Setup.exe	・ Windows 98/95用インストーラ
	└─ Winnt └─ Setup.exe	・ Windows NT4.0用インストーラ
	Wxlsetup	Printianaviネットワーク設定ユーティリティ用フォルダ
	└─ Install.exe	・ ネットワーク設定ユーティリティインストーラ
	Setup.exe	Printianaviインストーラ

Printianavi インストーラ

「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM に収められている次のソフトウェアを、インストールします。

- ・ネットワークポートモニタ
- ・ネットワーク連携ユーティリティ
- ・Printianavi マネージャ
- ・ネットワーク設定ユーティリティ（注1）
- ・かんたんバーコード Lite
- ・Adobe Acrobat Reader 3.0J

Printianavi インストーラは、Windows 98/95/NT4.0 が動作するパソコンで使用できます。CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、Printianavi インストーラが自動的に起動します。

注1) ネットワーク設定ユーティリティは、NetWare 対応 XL プリンタ専用です。NetWare に対応していないプリンタでは使用できません。

また、NetWare 環境でお使いになるには、プリンタの NetWare プロトコルが「有効」に設定されている必要があります。



- ・インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある Setup.exe をダブルクリックしてください。
- ・Windows NT4.0 が動作するパソコンにネットワークポートモニタをインストールするときは、管理者グループのメンバーでログオンしてから行ってください。

また、本インストーラからは、ソフトウェアライブラリや、ソフトウェアマニュアルの表示を行うことができます。

インストールの手順と設定の概要

インストールの手順や必要なソフトウェアは、プリンタの共有方法や接続形態、クライアント側とサーバ側などで異なります。

ここでは、接続形態（プリンタをプリンタケーブルで接続するのか、LANケーブルで接続するのか）別に、それぞれサーバで共有しない場合と共有する場合でのインストール手順（NetWare環境以外）および留意事項について説明します。（NetWare環境でのインストール手順については、付録の「NetWare環境での印刷設定」を参照してください。）

なお、以降の説明の中で、手順中の【 】は、次の意味を示します。

【必須】.....印刷を行うために必要な設定です。

【Printianavi】.....Printianavi機能を使用する際に必要な設定です。

【任意】.....より便利にお使いいただくための設定です。



お使いの環境がNetWareであっても、ネットワークでTCP/IPプロトコルが使用できるときは、NetWareサーバを介さずにクライアントから直接本プリンタに印刷することができます。

設定方法については、「LAN(TCP/IP)接続の手順」(20ページ)を参照してください。

▼ セントロ接続の手順

■ サーバで共有しないとき

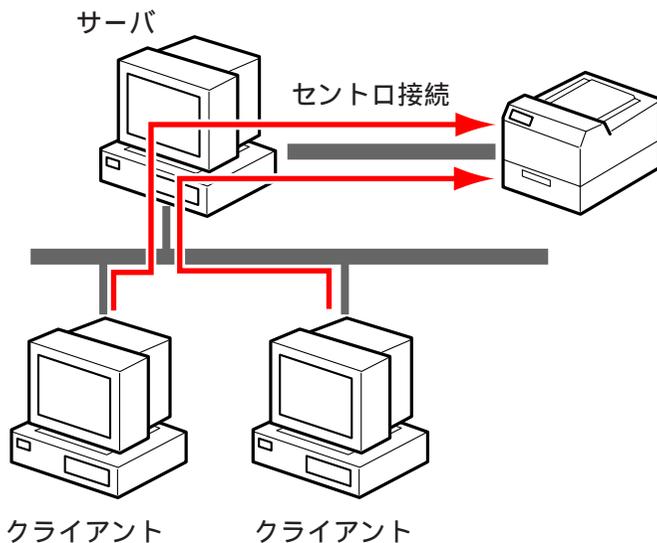
パソコンとプリンタをプリンタケーブルで接続し、他のパソコンとはプリンタを共有しません。



- 1 印刷を行うパソコンで「セントロ接続の印刷設定」(22 ページ)を行う

■ サーバで共有するとき

サーバとプリンタをプリンタケーブルで接続し、クライアントからはサーバ経由で印刷します。



- 1 サーバ側で「セントロ接続の印刷設定」(22 ページ)を行う
- 2 サーバ側で「プリンタ共有サーバとしての設定」(26 ページ)を行う
- 3 各クライアントで「クライアントからの印刷設定」(27 ページ)を行う

LAN (TCP/IP) 接続の手順

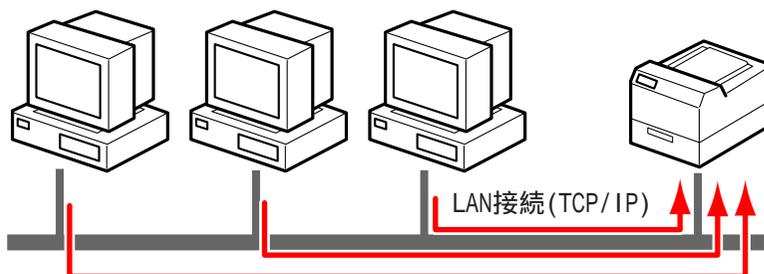
お願い

LAN 接続したプリンタに直接印刷するには、以下の環境が必要です。

- ・TCP/IP プロトコルが使用できること
- ・OS が Windows 98/95/NT4.0 のいずれかであること

■ サーバで共有しないとき

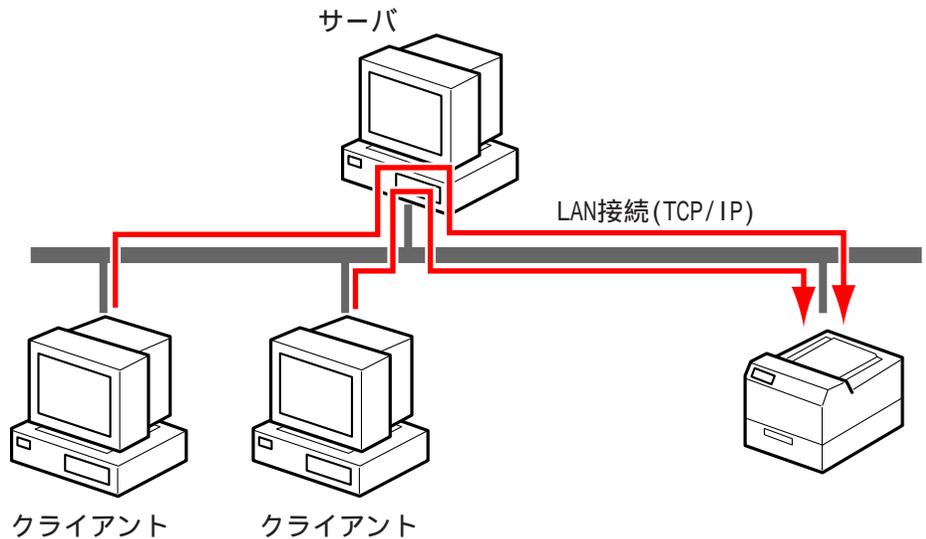
パソコンとプリンタはLANで接続、サーバを経由しないで各パソコンから直接印刷します。



- 1 管理者のパソコンまたはプリンタで「プリンタLANポートのTCP/IP 動作環境設定」(23 ページ) を行う
- 2 各パソコンで「LAN 接続の印刷設定」(24 ページ) を行う

■ サーバで共有するとき

サーバとプリンタを LAN で接続し、クライアントからはサーバ経由で印刷します。



- 1 管理者のパソコンまたはプリンタで「プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境設定」(23 ページ) を行う
- 2 サーバ側で「LAN 接続の印刷設定」(24 ページ) を行う
- 3 サーバ側で「プリンタ共有サーバとしての設定」(26 ページ) を行う
- 4 各クライアントで「クライアントからの印刷設定」(27 ページ) を行う

▼ セントロ接続の印刷設定

セントロ接続のときの印刷設定は、次の手順で行います。

1 【必須】プリンタドライバをインストールする

詳細は、「第2章 プリンタドライバのインストール」(29ページ)を参照してください。

印刷先のポートは、ローカルポート(通常はLPT1)を選択します。



OSがWindows 98/95の場合は、「Plug & Playによるインストール」(35ページ)でもインストールできます。

2 【Printianavi】Printianavi機能を使えるようにする

OSがWindows 98/95/NT4.0のときに使用できる機能です。

[Printianavi]ダイアログで「Printianaviを有効にする」をチェックし、メッセージの表示方法を指定します。

詳細は、「第3章 プリンタドライバの設定」(75ページ)を参照してください。

3 【任意】必要に応じてPrintianaviマネージャをインストールする

OSがWindows 98/95/NT4.0のときに使用できる機能です。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第6章 Printianaviマネージャ」を参照してください。

▼ プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境設定 (管理者のみ)

プリンタを LAN (TCP/IP) に直接接続するには、プリンタにアドレス (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) およびポート番号の割り当てが必要です。

ただし、ポート番号 (BPP ポート番号) は、通常は初期値「9313」のままとし、変更は不要です。

プリンタにアドレスを設定する方法は、次の5つの方法があります。

▶ DHCP によるアドレスの自動取得

ネットワーク内に DHCP サーバがあり、プリンタにアドレスを自動で割り当てられる場合に設定できます。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「DHCPによるアドレス自動取得」を参照してください。

▶ IP アドレス設定ユーティリティによる設定 (Windows 98/95/NT 4.0 のときのみ)

管理者のパソコンからプリンタにアドレスを割り当てる方法です。

プリンタのパネル操作よりも簡単に行えます。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「IPアドレス設定ユーティリティによる設定」を参照してください。

▶ プリンタのパネル操作によるアドレス設定

プリンタ側でアドレスの設定を行います。

詳細は、プリンタ編の説明を参照してください。

▶ ネットワーク設定ユーティリティによる設定

NetWare 環境で使用しているプリンタの設定をネットワーク設定ユーティリティで行っている場合は、TCP/IP の設定の追加・変更も行うことができます。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第7章 Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ」を参照してください。

▶ Printianavi マネージャによる設定 (Windows 98/95/NT4.0 のときのみ)

LAN接続されているプリンタのTCP/IP設定を変更する場合や、プリンタをセントロ接続からLAN接続に変更する場合は、Printianavi マネージャの管理者機能を使用してTCP/IPの設定の追加・変更を行うことができます。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第6章 Printianavi マネージャ」を参照してください。

LAN 接続の印刷設定

LAN 接続のときの印刷設定は、次の手順で行います。

▶ 準備

- ・設定を行うパソコンにTCP/IPプロトコルおよびMicrosoftクライアントサービス (Windows 98/95) を組み込む必要があります。
- ・Windows NT4.0 で設定を行う場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

▶ 手順1

Printianaviネットワークポートモニタをインストールしていないとき

1 【必須】Printianavi ネットワークポートモニタをインストールし、印刷先のポートを作成する

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」を参照してください。

2 【必須】プリンタドライバをインストールする

詳細は、「第2章 プリンタドライバのインストール」(29ページ)を参照してください。

印刷先は1で作成したポートを選択します。

3 【任意】必要に応じてPrintianavi マネージャをインストールする

OSがWindows 98/95/NT4.0のときに使用できる機能です。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第6章 Printianavi マネージャ」を参照してください。

▶ 手順2

Printianavi ネットワークポートモニタをインストール済みのとき
IP アドレス設定ユーティリティでポートの作成を行っていないとき
2 台以上の LAN 接続プリンタに直接印刷するとき

1 【必須】仮の印刷先ポートを指定してプリンタドライバをインストールする

詳細は、「第2章 プリンタドライバのインストール」(29 ページ)を参照してください。

印刷先は適当なポート(ローカルポート:LPT1 など)を選択してください。

お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているため、テストページ等の印刷は行わないでください。

2 【必須】印刷先ポートの追加と変更を行う

詳細は、「印刷先ポートの追加と変更」(57、61 ページ)と「LAN 接続プリンタに印刷するとき」(59、62 ページ)を参照してください。

3 【任意】必要に応じて Printianavi マネージャをインストールする

OS が Windows 98/95/NT4.0 のときに使用できる機能です。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第6章 Printianavi マネージャ」を参照してください。

▼ プリンタ共有サーバとしての設定

プリンタを共有するときのサーバの印刷設定は、次の手順で行います。

1 【必須】プリンタを共有するサーバの設定をする

詳細は、「プリンタを共有する」(54ページ)を参照してください。

2 【Printianavi】Printianavi機能をクライアント側で使用できるように設定する

Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールし、サーバの設定を行います。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第5章 Printianaviネットワーク連携ユーティリティ」の「サーバ側の設定」を参照してください。

プリンタを共有するサーバおよびクライアントのOSがWindows 98/95/NT4.0でTCP/IPプロトコルで接続されていることが必要です。

ガイド Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールしない場合や、クライアント側でPrintianavi機能が使用できない場合は、メッセージの表示や印刷打ち切り作業などを、すべてサーバ側で行います。また、サーバ側でPrintianaviを有効にしていない(できない)場合は、クライアント側でPrintianavi機能は使用できません。

3 【任意】代替ドライバをインストールする

サーバのOSがWindows NT4.0で、クライアントのOSがWindows 98/95/NT4.0の場合は、代替ドライバをインストールすることができます。

詳細は、「代替ドライバのインストール」(67ページ)を参照してください。

▼ クライアントからの印刷設定

クライアントからの印刷設定は次の手順で行います。

▶ 手順

1 【必須】クライアントに仮の印刷先ポートを指定してプリンタドライバをインストールする

詳細は、「第2章 プリンタドライバのインストール」(29ページ)を参照してください。

印刷先のポートは、適当なポート(ローカルポート:LPT1など)を選択してください。

▶ お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているのでテストページ等の印刷は行わないでください。

◆ ガイド

プリンタを共有するサーバ(Windows NT4.0)にクライアントOSの代替ドライバがインストールされている場合は、ネットワークインストールでインストールすることができます。

詳細は、「ネットワークインストール」(70ページ)を参照してください。この場合は2の印刷先ポートの変更は不要です。

2 【必須】印刷先ポートの変更を行う(ネットワークインストールした場合を除く)

詳細は、「印刷先ポートの追加と変更」(57、61ページ)と「サーバ経由で印刷するとき」(58、62ページ)(Windows 3.1は「Windows 3.1のとき」(64ページ))を参照してください。

3 【Printianavi】Printianavi機能をクライアント側で使用できるように設定する

次の動作環境であることが必要です。

- ・ プリンタを共有するサーバおよびクライアントの OS が Windows 98/95/NT4.0 で TCP/IP プロトコルで接続されていること
- ・ プリンタを共有するサーバに Printianavi ネットワーク連携ユーティリティがインストールされ、サーバ側の設定がされていること

プリンタドライバの設定画面〔Printianavi〕ダイアログで「Printianaviを有効にする」をチェックし、メッセージの表示方法を指定します。詳細は、「第3章 プリンタドライバの設定」(75 ページ)を参照してください。

その後、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをインストールし、クライアントの設定を行います。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」の「クライアント側の設定」を参照してください。

4 【任意】必要に応じて Printianavi マネージャをインストールする

OS が Windows 98/95/NT4.0 のときに使用できる機能です。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第6章 Printianavi マネージャ」を参照してください。

第2章

プリンタドライバのインストール

この章では、パソコンにプリンタドライバ (Printia XL ドライバ) をインストールし、印刷できるようにするまでの操作について説明します。

インストール	30
Windows 98/95 のとき	30
Windows NT4.0 のとき	46
Windows 3.1 のとき	51
プリンタを共有する	54
Windows 98/95 のとき	54
Windows NT4.0 のとき	56
印刷先ポートの追加と変更	57
Windows 98/95 のとき	57
Windows NT4.0 のとき	61
Windows 3.1 のとき	64
新しいドライバに置き換えるとき	65
Windows 98/95 のとき	65
Windows NT4.0 のとき	66
Windows 3.1 のとき	66
代替ドライバとネットワークインストール	67
代替ドライバのインストール (Windows NT4.0 のみ)	67
ネットワークインストール	70

インストール

ご使用のOSによってインストール方法が異なります。それぞれの手順に従ってください。

また、CD-ROMがないパソコンにインストールする場合は、プリンタドライバのフロッピーディスクを作成してください。詳細は、付録の「XLドライバディスクの作成」を参照してください。）

▼ Windows 98/95 のとき

ここでは、Windows 98/95 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順は通常のインストールとPlug & Playで異なります。それぞれの手順に従ってください。

■ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のCD-ROMを準備してください。



ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 98/95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

画面の例はWindows 98のもので、また、「XL-XXXX」と表示している箇所は、インストールを行うプリンタ名に読み替えてください。



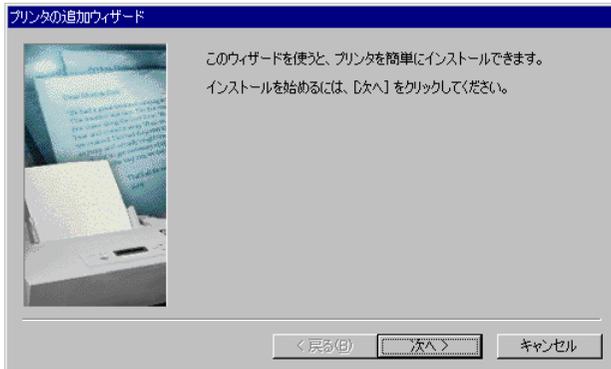
お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROM内の「WIN9X.TXT」をお読みください。
- ・Windows 3.1で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せずWindows 98/95にアップグレードしている場合は、Windows 98/95の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

1 Windows 98/95を起動する

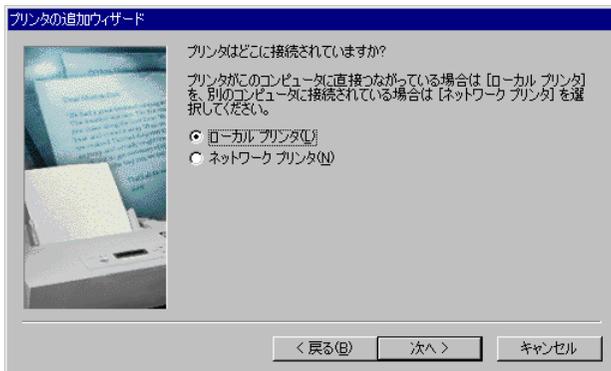
2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

3 〔次へ〕をクリックする



4 ローカルプリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ、表示されます。



ガイド

・スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。

・〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

「代替ドライバとネットワークインストール」（67ページ）を参照してください。

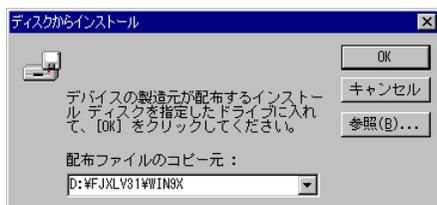


5 [ディスク使用]をクリックする

6 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

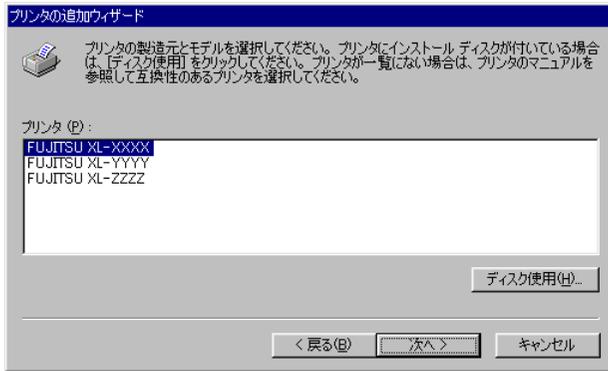
ガイド CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



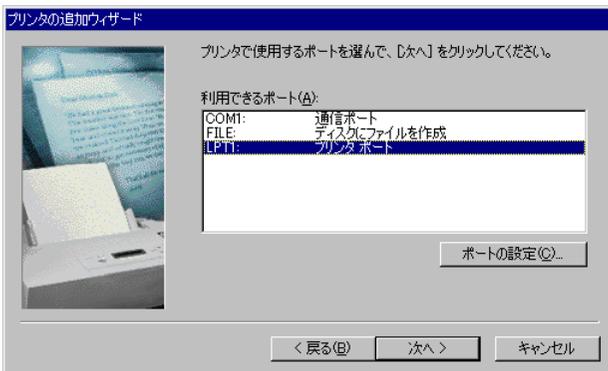
7 配布ファイルのコピー元: に「D:¥FJXLV31¥WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXLV31¥WIN9X」を選択する (CD-ROMドライブがD:のとき)

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

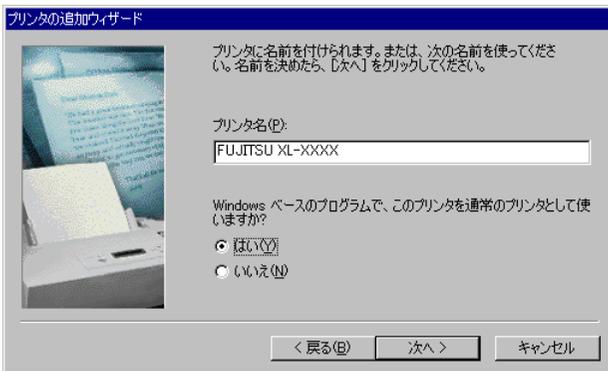
ガイド フロッピーディスクを使用する場合は、配付ファイルのコピー元: に「A:¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)



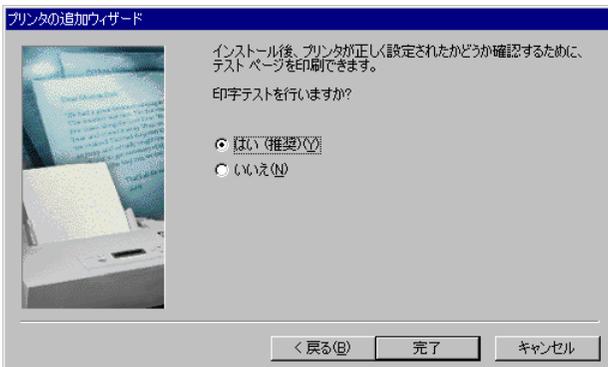
8 プリンタを選択して、
〔次へ〕をクリックする
実際の画面では、インストール
可能なプリンタ名がリストアッ
プされます。



9 使用するポートを選択し
て〔次へ〕をクリックす
る
使用するポートがまだ作成され
ていない場合は、仮のポートと
してローカルポート(LPT1)な
どを選択してください。

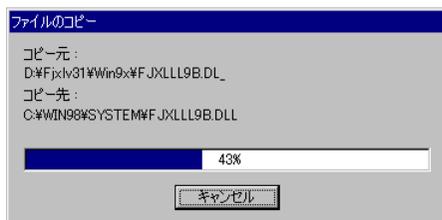


10 本プリンタに名前を付
け、「通常のプリンタ」に
設定する場合は、〔はい〕
を選択し、〔次へ〕をク
リックする
他にインストールされているプ
リンタがない場合は、自動的に
「通常のプリンタ」に設定され
ます。

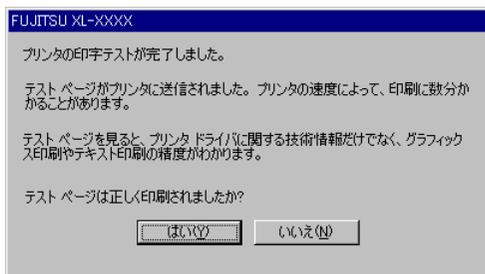


11 テストページを印刷する
か、しないか選択して
〔完了〕をクリックする
手順9で仮のポートを選択した
場合は、〔いいえ〕を選択してく
ださい。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「テストページを印刷しますか？」で“はい(推奨)”を選択した場合は以下の操作を行います。



12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

テストページ印刷中はPrintianaviのステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

■ Plug & Play によるインストール

プリンタドライバの Plug & Play によるインストールは、次の手順で行います。

添付の CD-ROM を準備してください。

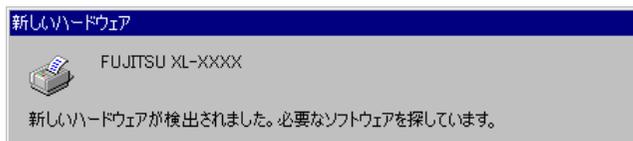


ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98/95 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。(「XL-XXXX」と表示している箇所は、インストールを行うプリンタ名に読み替えてください。)
また、Plug & Play でプリンタが検出されない場合は、通常のインストールでプリンタドライバをインストールしてください。



- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「FJXLV31」フォルダにある「WIN9X.TXT」をお読みください。
- ・Windows 3.1 で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows 98/95 にアップグレードしている場合は、Windows 98/95 の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

▶ Windows 98 のとき



パソコン起動時に「FUJITSU XL-XXXX 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」(XL-XXXX はプリンタ名)と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバのインストールをしてください。



Plug & Playはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。



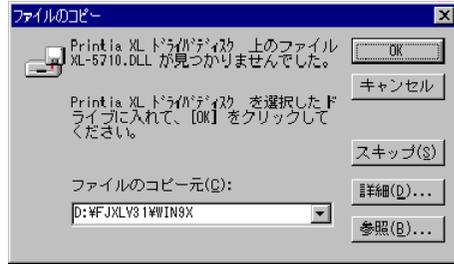
次の画面が表示されている場合は、[次へ]をクリックして4に進みます。



左の画面が表示されている場合は、[OK] をクリックして2に進みます。

2 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

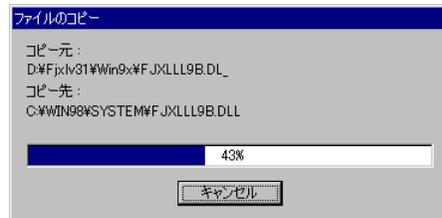


3 ファイルのコピー元 に「D:¥FJXLV31¥WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXLV31¥WIN9X」を選択し、〔OK〕をクリックする(CD-ROMドライブがD:のとき)

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



ガイド フロッピーディスクを使用する場合は、ファイルのコピー元： に「A:¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)



ファイルのコピーが開始されます。

ファイルのコピーが終わると、インストールは自動的に終了します。



4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して〔次へ〕をクリックする

5 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



6 「CD-ROM ドライブ」と「検索場所の指定」をチェックして、検索場所を「D:¥FJXLV31¥WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXLV31¥WIN9X」を選択し(CD-ROMドライブがD:のとき)〔OK〕をクリックする

検索場所の指定が終わったら、〔次へ〕をクリックします。

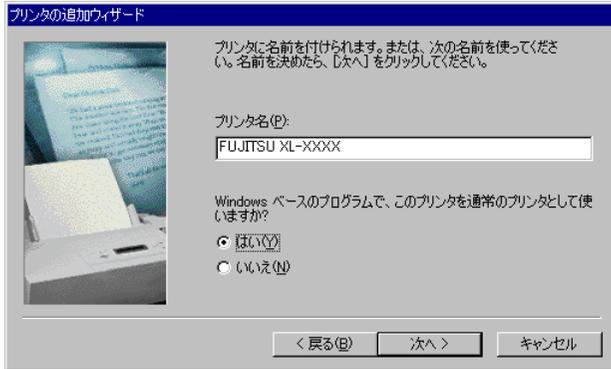


フロッピーディスクを使用する場合は、「フロッピーディスクドライブ」と「検索場所の指定」をチェックして、検索場所を「A:¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)



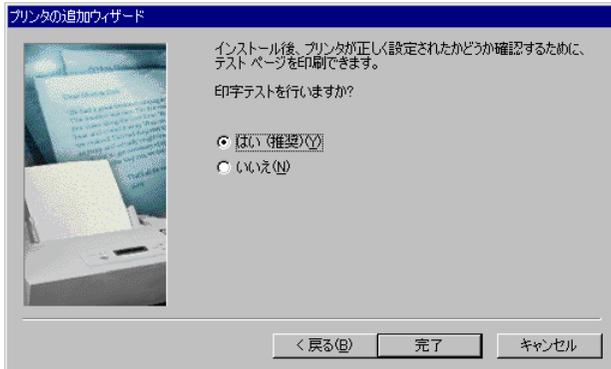
7 ドライバのある場所 : が「D:¥FJXLV31¥WIN9X ¥FJXLV8.INF」と表示されていることを確認して、〔次へ〕をクリックする(CD-ROMドライブがD:のとき)

フロッピーディスクを使用する場合は、「A:¥WIN9X¥FJXLV8.INF」と表示されていることを確認して、〔次へ〕をクリックします。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)

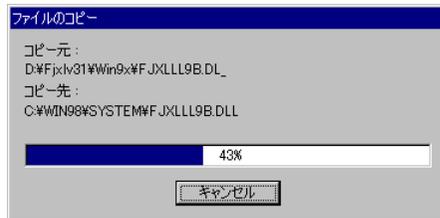


8 本プリンタに名前を付け、「通常のプリンタ」に設定する場合は、「はい」を選択し、「次へ」をクリックする

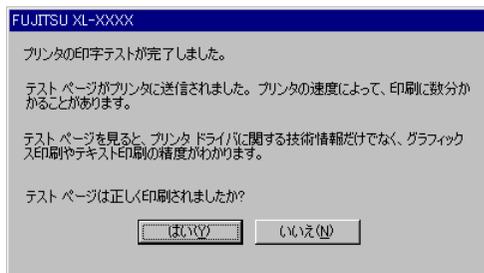
ガイド 他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。



9 テストページを印刷するか、しないか選択して「完了」をクリックする



ファイルのコピーが開始されます。



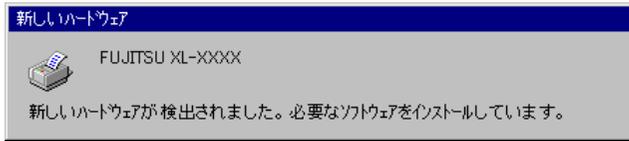
テストページを印刷しますか?」で「はい(推奨)」を選択した場合は、テストページが正しく印刷されたことを確認して「はい」をクリックします。

テストページ印刷中はPrintianaviのステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。



10 「完了」をクリックして、インストールを終了する

▶ Windows 95 のとき

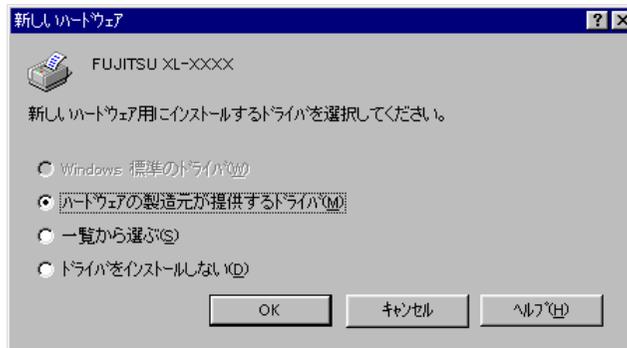


1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 95 を起動する

パソコン起動時に「FUJITSU XL-XXXX新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」(XL-XXXXはプリンタ名)と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバのインストールをしてください。

ガイド Plug & Playはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

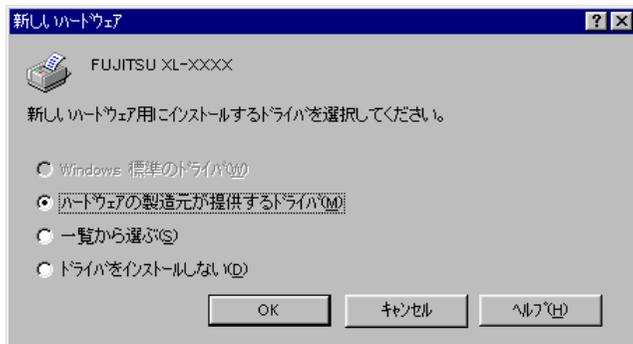
次の画面が表示されている場合は2に進みます。



次の画面が表示されている場合は5に進みます。



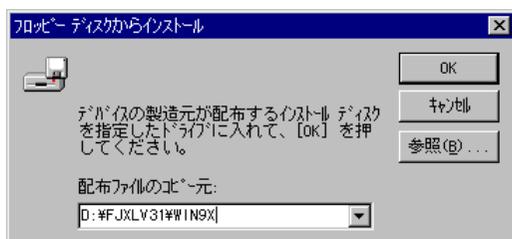
ガイド 一度インストールしたドライバを削除した後で再インストールしたときは、この画面は表示されません。



2 “ハードウェアの製造元が提供するドライバ”をクリックして〔OK〕をクリックする

3 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROMから作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



4 配布ファイルのコピー元: に「D:¥FJXLV31 ¥WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXLV31 ¥WIN9X」を選択する (CD-ROMドライブがD: のとき)

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

10へ進んでください。



フロッピーディスクを使用する場合は、配付ファイルのコピー元: に「A:¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)



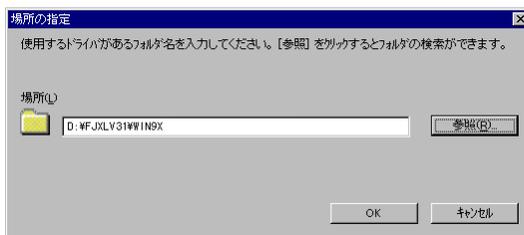
5 [次へ] をクリックする

6 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



7 [場所の指定] をクリックする



8 場所 に「D:¥FJXLV31 ¥WIN9X」と入力する、または [参照] をクリックして「D:¥FJXLV31 ¥WIN9X」を選択する (CD-ROM ドライブが D: のとき)

入力が終わったら [OK] をクリックします。



ガイド フロッピーディスクを使用する場合は、 配付ファイルのコピー元： に「A:¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブが A: のとき)



9 [完了] をクリックする
左のようなダイアログボックス
が表示されたら、[完了] をク
リックします。

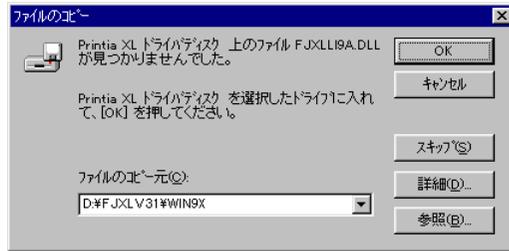


10 本プリンタに名前を付
け、「通常のプリンタ」に
設定する場合は、[はい]
を選択し、[次へ] をク
リックする

他にインストールされているプ
リンタがない場合は、自動的に
「通常のプリンタ」に設定され
ます。



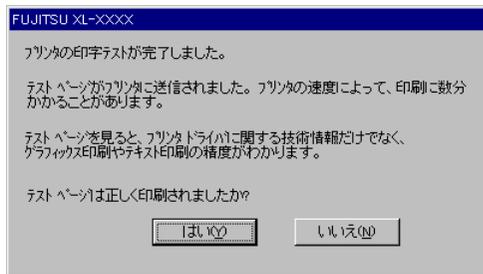
11 テストページを印刷する
か、しないか選択して
[完了] をクリックする
「ディスクの挿入」ダイアログ
ボックスが表示されたら、[OK]
をクリックします。



12 ファイルのコピー元に「D:\\$FJXLV31\\$WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\\$FJXLV31\\$WIN9X」を選択する（CD-ROMドライブがD:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

「テストページを印刷しますか？」で「はい(推奨)」を選択した場合は、以下の操作を行います。



13 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

テストページ印刷中はPrintianaviのステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

Windows NT4.0 のとき

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のCD-ROM を準備してください。

ガイド ご使用のパソコンにインストールされているWindows NT4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。また、「XL-XXXX」と表示している箇所は、インストールを行うプリンタ名に読み替えてください。

お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「FJXLV31」フォルダにある「WINNT40.TXT」をお読みください。
- ・Windows NT3.51で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せずWindows NT4.0にアップグレードしている場合はWindows NT4.0の〔プリンタ〕フォルダからプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする

2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックする



3 Windowsの〔プリンタ〕フォルダのプリンタの追加をダブルクリックする



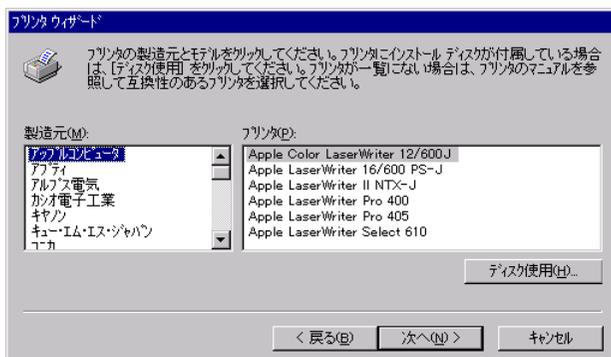
4 「このコンピュータ」を選択して「次へ」をクリックする

ガイド 「ネットワークプリンタサーバ」を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。詳細は、「代替ドライバとネットワークインストール」(67 ページ)を参照してください。



5 プリンタを接続したポートを指定して「次へ」をクリックする

「利用可能なポート」から、プリンタを接続したポートを選択します。また、ポートを作成していない場合は、仮のポートを選択してください。ただし、この場合は正しいポートを設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。

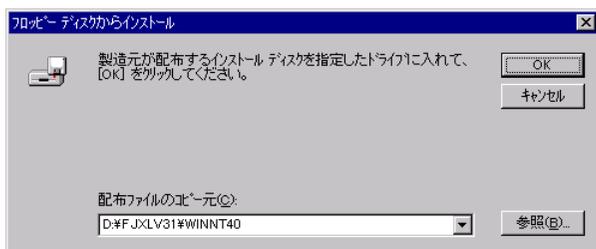


6 「ディスク使用」をクリックする

7 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

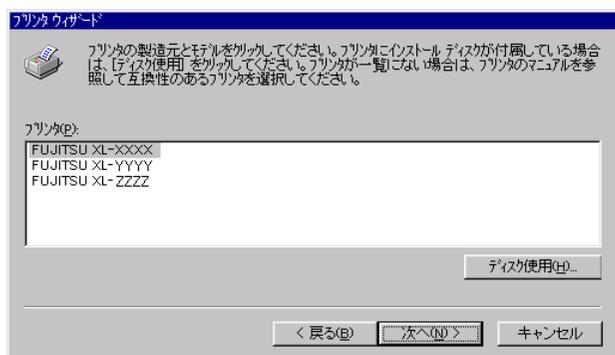
ガイド CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



8 配布ファイルのコピー元: に「D:\FJXLV31\FWINNT40」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLV31\FWINNT40」を選択し、〔開く〕をクリックする（CD-ROMドライブがD:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ガイド フロッピーディスクを使用する場合は、 配付ファイルのコピー元: に「A:\FWINNT40」と指定します。（フロッピーディスクドライブがA:のとき）



9 該当するプリンタをクリックして、〔次へ〕をクリックする

実際の画面では、インストール可能なプリンタ名がリストアップされます。



10 本プリンタに名前を付け、「通常のプリンタ」に設定する場合は、「はい」を選択し、「次へ」をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に「通常のプリンタ」に設定されます。



11 「共有しない」を選択し、「次へ」をクリックする
プリンタを共有するかどうかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できません。ここでは、「共有しない」を選択します。

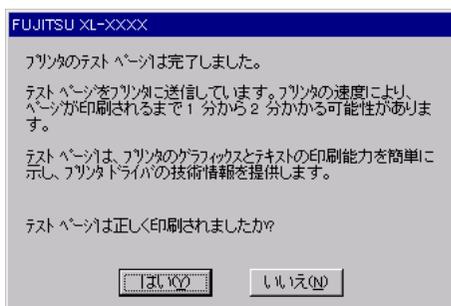


12 テストページを印刷するか、しないか選択して「完了」をクリックする
手順5で仮のポートを選択した場合やLPRポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「テストページを印刷しますか？」で“はい(推奨)”を選択した場合には以下の操作を行います。



13 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

テストページ印刷中は Printianavi のステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

Windows 3.1 のとき

ここでは、Windows 3.1 をご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows 3.1のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。また、「XL-XXXX」と表示している箇所は、インストールを行うプリンタ名に読み替えてください。



インストールの前に、メモ帳等によりCD-ROMのFJXLV31フォルダにある¥WIN31.TXTをお読みください。

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

1 Windows 3.1 を起動する

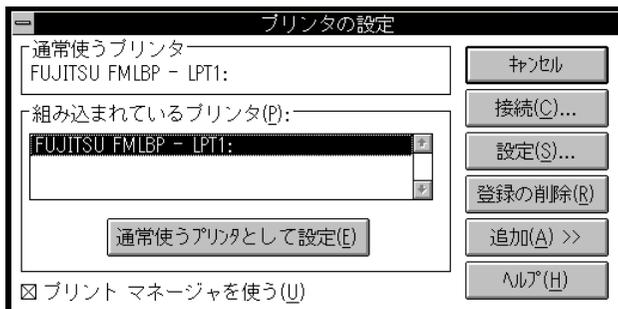
2 [メイン] グループ中の
コントロールパネル
をダブルクリックする



3 コントロールパネル
中の プリンタ をダブル
クリックするか、または
{ 設定 }メニューの{ プ
リンタ .. } を選択する



4 [プリンタの設定] ダイ
アログボックスの [追
加] をクリックする

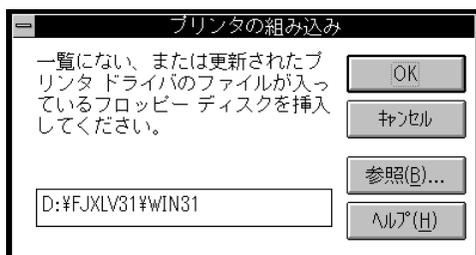




5 [組み込むプリンタの選択:]リストボックス中の「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を選択し、[組み込み...]をクリックする

6 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROMから作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

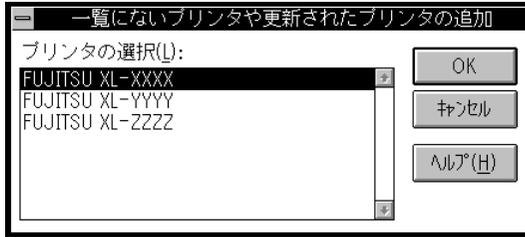


7 [プリンタの組み込み]ダイアログボックスのテキストボックスに、「D:¥FJXLV31 ¥WIN31」と入力する(CD-ROMドライブがD:のとき)

入力が終わったら[OK]をクリックします。



フロッピーディスクを使用する場合は、 配付ファイルのコピー元： に「A:¥WIN31」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)

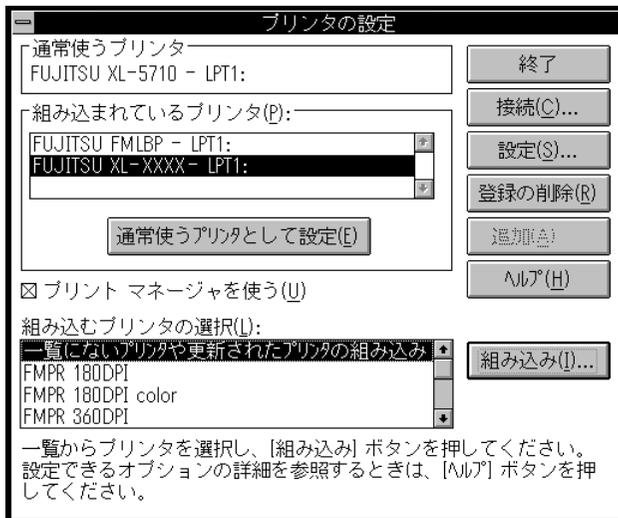


8 [プリンタの選択:] リストボックスの中から、該当するプリンタをクリックして、[OK] をクリックする

[組み込まれているプリンタ:] に、選択したプリンタ名が表示されます。



実際の [プリンタの選択:] リストボックス画面には、インストール可能なプリンタ名が表示されます。



9 プリンタ名をクリックし、[通常使うプリンタとして設定] をクリックする

選択したプリンタが [通常使うプリンタ] に表示され、ドライバが有効になります。

10 [プリンタの設定] ダイアログボックスの [終了] をクリックし、インストールを終了する

プリンタを共有する

ここでは、プリンタドライバをインストールしたパソコン(サーバ)から印刷可能なプリンタを、他のパソコン(クライアント)からも印刷できるようにする(サーバ経由で印刷する)ために必要なサーバ側の設定について説明します。



Printianavi 機能をクライアントから使用できるようにするためには、この他に Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストールおよび設定が必要です。Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストールおよび設定方法については、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。

Windows 98/95 のとき

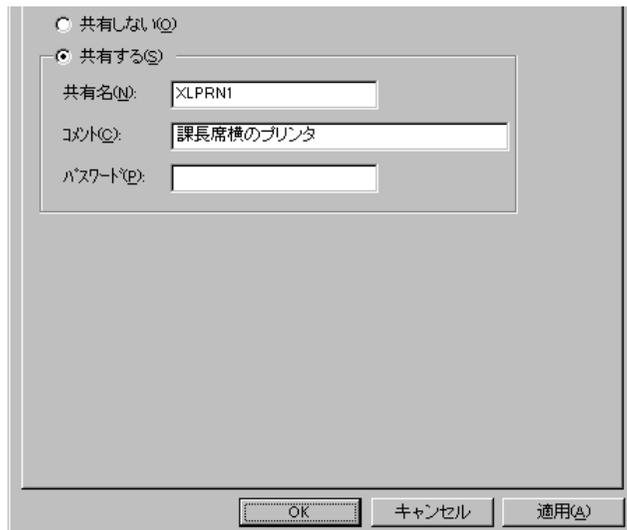
■ 設定の前に

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定することが必要です。

- 1 [スタート]から[設定][コントロールパネル]の順に選択し、[ネットワーク]をクリックする
- 2 [ファイル]メニューから、[開く]を選択する
- 3 [ファイルとプリンタの共有]をクリックし、[プリンタを共有できるようにする]を選択する

設定方法

- 1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
- 2 [ファイル]メニューから、[共有]を選択する
- 3 [共有する]を選択し、共有名と必要に応じてコメント、パスワードを入力する



- 共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。
- コメント プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。
- パスワード 他のユーザがこの共有プリンタに接続するときを使うパスワードを指定します。
パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、[OK]をクリックしてください。

Windows NT4.0 のとき

設定方法

- 1 [スタート] から [設定] [プリンタ] の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする
- 2 [ファイル] メニューから、[共有] を選択する
- 3 [共有する] を選択し、共有名を入力する



共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

入力が終わったら、[OK] をクリックしてください。

印刷先ポートの追加と変更

プリンタの接続方法を変更するときには、印刷先のポートを変更する必要があります。また、プリンタがLAN (TCP/IP) に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

ここでは、プリンタの印刷先ポートの追加および変更方法を説明します。

Windows 98/95 のとき

1 [スタート] から、[設定][プリンタ] の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



2 [ファイル] メニューから、[プロパティ] を選択し、[詳細] タブをクリックする

3 [印刷先のポート] のをクリックして、一覧を表示する

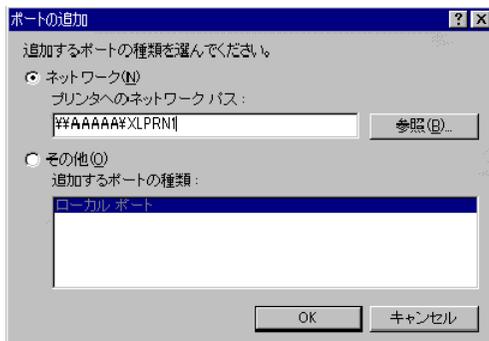
新しい印刷先に指定するポートが一覧にある場合は、選択して [OK] をクリックしてください。一覧にない場合は、手順 4 に進んでください

4 [ポートの追加] をクリックする

以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

▶ サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



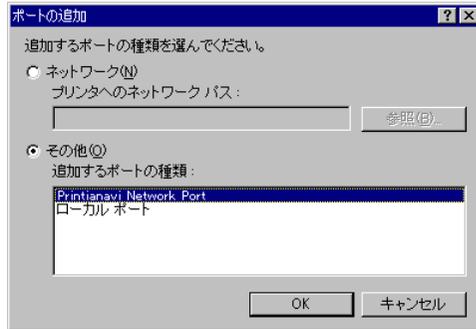
「ネットワーク」を選択後、[参照] をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力して[OK] をクリックする

入力形式は「¥¥ サーバのネットワークコンピュータ名 ¥ プリンタの共有名」です。

ガイド NetWare で印刷する場合の入力形式は、「¥¥ ファイルサーバ名 ¥ プリントキュー名」です。

▶ LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用してLAN (TCP/IP) に接続されたプリンタに直接印刷するときの設定です。



1 「その他」を選択後、「追加するポートの種類」で「Printianavi Network Port」を選択して〔OK〕をクリックする



「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianaviネットワークポートモニタのインストールを先に行ってください。Printianaviネットワークポートモニタのインストールおよび設定方法については、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。



2 ポート名とプリンタのIPアドレスまたはホスト名を入力する

ポート名 半角の英数字で8文字以内で指定してください。

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 IPアドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。



- ・〔ポートの設定〕についてのさらに詳しい説明は、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。
- ・プリンタLANカードXL-LN100で接続されたプリンタの場合は、〔追加するポートの種類〕で「XL-LN100」を選択してください。(設定の詳細はXL-LN100のマニュアルを参照してください。)

〔詳細〕ダイアログの〔印刷先のポート〕に新しく追加したポートが表示されていることを確認して、〔OK〕をクリックしてください。

Windows NT4.0 のとき

管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作をします。

- 1 「スタート」から「設定」[プリンタ]の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



- 2 「ファイル」メニューから、「プロパティ」を選択し、「ポート」タブをクリックする

- 3 「印刷するポート」の一覧から、新しい印刷ポートを選択する

一覧にある場合は、ポートの横をチェックして「OK」をクリックしてください。

一覧にない場合は、手順4に進んでください

- 4 「ポートの追加」をクリックする

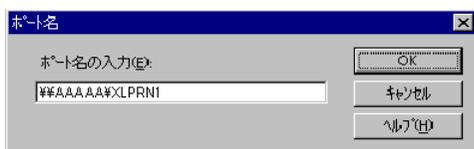
プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

▶ サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



1 [利用可能なプリンタポート]から「Local Port」を選択して[新しいポート]をクリックする



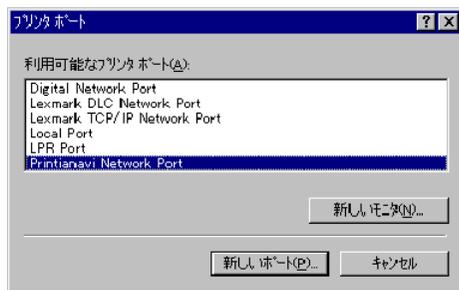
2 ネットワークパスを入力して[OK]をクリックする

入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

ガイド NetWareで印刷する場合の入力形式は、「¥¥ファイルサーバ名¥プリントキュー名」です。

▶ LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモジタを使用してLAN(TCP/IP)に接続されたプリンタに直接印刷するときは次のように設定します。



1 [利用可能なプリンタポート]から「Printianavi Network Port」を選択して[新しいポート]をクリックする

ガイド 「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモジタのインストールを先に行ってください。Printianavi ネットワークポートモジタのインストールおよび設定方法については、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。



2 ポート名とプリンタのIP アドレスまたはホスト名 を入力する

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

ポート名 半角の英数字で8文字以内で指定してください。

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 IPアドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。



- ・〔ポートの設定〕についてのさらに詳しい説明は、CD-ROMに収められたソフトウェアマニュアルを参照してください。
- ・プリンタLANカードXL-LN100で接続されたプリンタの場合は、〔利用可能なポートの種類〕で「XL-LN100」を選択してください。(設定の詳細はXL-LN100のマニュアルを参照してください)

〔ポート〕ダイアログの〔印刷するポート〕に新しく追加したポートが表示かつチェックされていることを確認して、〔OK〕をクリックしてください。

▼ Windows 3.1 のとき

- 1 [メイン]グループ中の **コントロールパネル** をダブルクリックする
- 2 **コントロールパネル** 中の **プリンタ** をダブルクリックする
- 3 [プリンタの設定]ダイアログボックスの〔組み込まれているプリンタ〕で接続先を変更するプリンタを選択し、〔接続〕をクリックする
- 4 [プリンタの接続]ダイアログボックスの〔接続先〕リストから新しいポートを選択する、またはネットワークに接続する場合は〔ネットワーク〕をクリックして接続先を指定する

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。



Windows 98/95/NT4.0では、通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。

- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。‘XXXX’が新しく通常使うプリンタに設定されます。」(XXXXはプリンタ名)
- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

Windows 98/95 のとき

- 1 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く
- 2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する



- 3 〔はい〕をクリックする
この後に、「このプリンタだけが使っていたファイルがいくつかあります。これらのファイルはもう必要ありません。削除しますか?」というメッセージが表示された場合は、〔はい〕をクリックします。

- 4 Windows 98/95 を再起動する
古いプリンタドライバを削除したら、Windows 98/95を再起動します。
- 5 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」(30ページ)の手順でインストールする
- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 98/95を再起動する

Windows NT4.0 のとき

管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作をします。

- 1 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタフォルダ〕を開く
- 2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する
- 3 〔はい〕をクリックする



- 4 Windows NT4.0 を再起動する
古いプリンタドライバを削除したら、Windows NT4.0を再起動します。
- 5 新しいプリンタドライバを、「インストール」の「Windows NT4.0 のとき」(46 ページ)の手順でインストールする
- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows NT4.0 を再起動する

Windows 3.1 のとき

- 1 コントロールパネルの〔プリンタ〕をダブルクリックする
〔プリンタの設定〕ダイアログボックスが表示されます。
- 2 〔プリンタの設定〕ダイアログボックスで、〔組み込まれているプリンタ〕から該当するプリンタをクリックし、〔登録の削除〕をクリックする
「FUJITSU XL-XXXXプリンタを削除しますか?」というダイアログボックスが表示されます。削除する場合は〔はい〕を、キャンセルする場合は〔いいえ〕をクリックします。

代替ドライバとネットワークインストール

プリンタを共有するサーバ (Windows NT4.0) に代替ドライバをインストールしておく、クライアントのプリンタドライバのインストールが簡潔に行えるようになります。

例えば、Windows NT4.0 上の共有プリンタを Windows 98/95 のパソコンから利用したい場合に、Windows NT4.0 のパソコンにあらかじめ Windows 98/95 用のプリンタドライバを代替ドライバとしてインストールしておけば、Windows 98/95 のパソコンにプリンタドライバをインストールする際に添付の CD-ROM や作成したプリンタドライバのフロッピーディスクが不要となります。



代替ドライバをインストールできるサーバは、Windows NT4.0 のみです。

▼ 代替ドライバのインストール (Windows NT4.0 のみ)

代替ドライバのインストールは、次の手順で行います。

添付の CD-ROM を準備してください。

ここでは、Windows NT4.0 上の共有プリンタに、Windows 98/95 の代替ドライバをインストールするときの手順を説明します。プリンタドライバのバージョンアップにより新しい代替ドライバに置き換える場合も同様です。

- 1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 マイコンピユータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタフォルダ〕を開く
- 3 代替ドライバをインストールするプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する



4 [代替ドライバ] リストからクライアントのOSを選択する

クリックした部分が反転表示されます。

ガイド Windows 98 の代替ドライバをインストールするときも、[Windows 95] を選択します。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

5 [OK] をクリックする

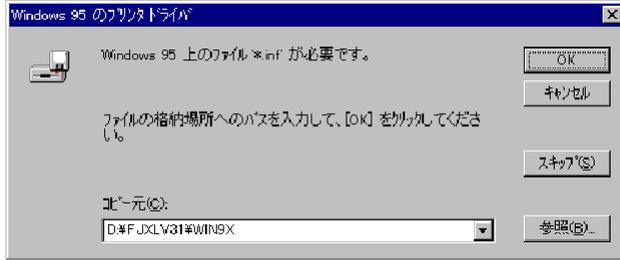
6 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクがある場合は、フロッピーディスクドライブにセットします。

セットしたら、[OK] をクリックします。



ガイド CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動したときは、[終了] を選択して画面を閉じてください。



7 コピー元： に「D：
¥FJXLV31¥WIN9X」と
入力する、または〔参照〕
をクリックして「D：
¥FJXLV31¥WIN9X」を
選択する（CD-ROMドラ
イブがD：のとき）

入力が終わったら〔OK〕をク
リックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバ
のインストールは終了です。



フロッピーディスクを使用する場合は、コピー元： に「A：
¥WIN9X」と指定します。（フロッピーディスクドライブがA：
のとき）

▼ ネットワークインストール

プリンタドライバのネットワークインストールは、次の手順で行います。

ガイド [スタート] から [プログラム] [エクスプローラ] の順に選択し、[ネットワークコンピュータ] からサーバに接続されたプリンタをダブルクリックしてインストールする方法もあります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い ネットワークインストールを行う前に、サーバにクライアントのOSのプリンタドライバを代替インストールしてください。

■ Windows 98/95 のとき

ガイド ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98/95 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

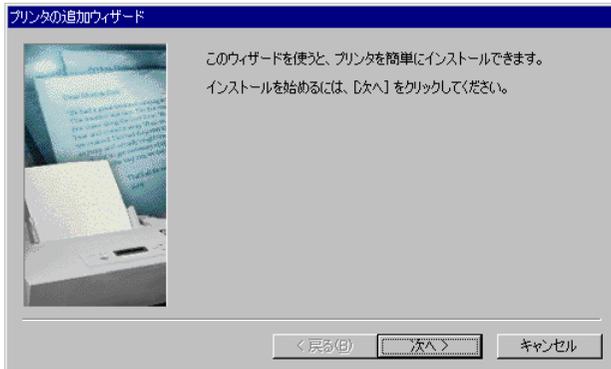
- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「WIN9X.TXT」をお読みください。
- ・Windows 3.1 で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows 98/95 にアップグレードしている場合は、Windows 98/95 の [プリンタ] フォルダから本プリンタを選択し、[ファイル] メニューの [削除] をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

1 Windows 98/95を起動する

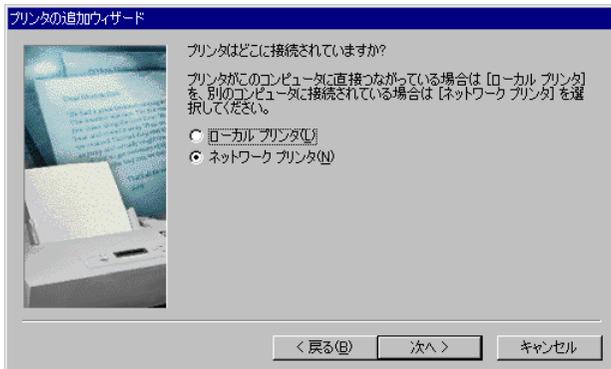
2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



3 〔次へ〕をクリックする



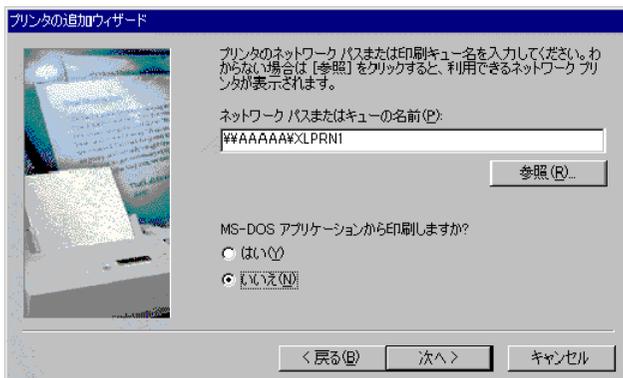
4 ネットワークプリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



この画面はパソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。

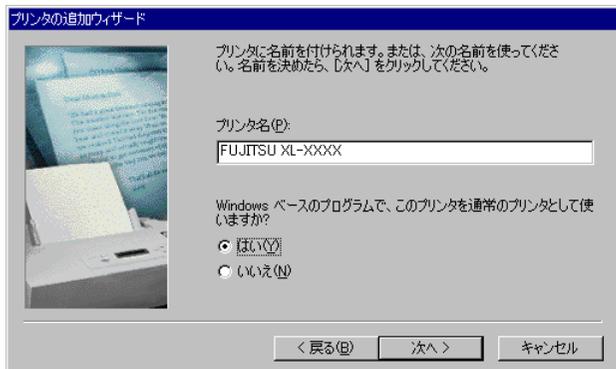
表示されないときは、〔キャンセル〕をクリックしてインストールを中断し、ネットワークの設定を確認してください。

5 〔参照〕をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力する

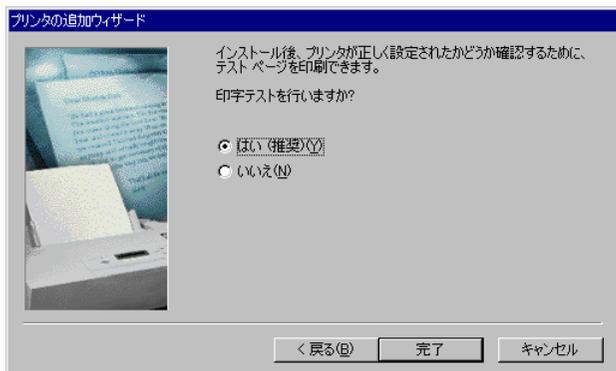


入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

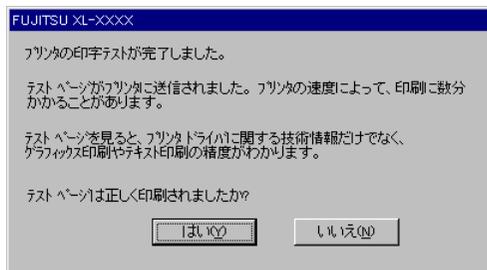
入力が終わったら〔次へ〕をクリックします。



6 本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする



7 テストページを印刷するか、しないか選択して〔完了〕をクリックする



テストページを印刷しますか?」で「はい(推奨)」を選択した場合は、テストページが正しく印刷されたことを確認して〔はい〕をクリックします。テストページ印刷中はPrintianaviのステータスが表示されます。表示は、印刷が終了すると自動的に終了します。

Windows NT4.0 のとき

ガイド 管理者権限でログオンしても、ネットワークインストールしたプリンタは同じパソコンにログオンした他のユーザからは使用できませんので、ユーザごとにインストールする必要があります。

- 1 Windows NT4.0 を起動する
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックする
- 3 〔プリンタ〕フォルダの プリンタの追加 をダブルクリックする



- 4 〔ネットワークプリンタサーバ〕を選択して〔次へ〕をクリックする



- 5 〔共有プリンタ〕リストから接続する共有プリンタを選択する、または〔プリンタ〕にネットワークパスを入力する
入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。
入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



6 本プリンタを「通常使うプリンタ」に設定する場合は「はい」を選択し、「次へ」をクリックする



7 「完了」をクリックする

第3章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバ（Printia XL ドライバ）の設定項目および設定方法について説明します。

設定画面について	76
Windows 98/95 の設定画面	76
Windows NT4.0 の設定画面	80
Windows 3.1 の設定画面	87
設定の詳細	90
用紙の設定	90
N-up 印刷 (Windows 98/95/NT4.0)	94
プリンタドライバの設定でできる印刷例 (Windows 98/95/NT4.0)	95
きれいに印刷する	99
高速に印刷する	103
両面印刷をする (両面印刷対応プリンタのみ) ..	105
Printianavi の設定 (Windows 98/95/NT4.0) ..	107
プリンタドライバの情報を確認する	113
オプション機能を設定する	114
設定項目一覧	117
Windows 98/95 の設定項目一覧	117
Windows NT4.0 の設定項目一覧	123
Windows 3.1 の設定項目一覧	129

設定画面について

ここでは、プリントドライバの設定画面について説明します。

Windows 98/95 の設定画面

Windows 98/95 でのプリントドライバの設定は、「プリンタのプロパティ」で行います。

プリンタのプロパティを表示するには、次の2つの方法があります。表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定(プリントドライバの設定を含む)を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

アプリケーションソフトからの設定画面 (プリンタ設定のプロパティ)



アプリケーションソフトから印刷を実行するときに表示できる設定画面です。

用紙サイズや解像度などを印刷時に設定できます。

▶ ダイアログの種類

- 〔用紙〕ダイアログ 用紙サイズや用紙方向、給紙口などを設定します。
- 〔レイアウト〕ダイアログ N-up 印刷に関する設定を行います。
- 〔両面印刷〕ダイアログ 両面印刷に関する設定を行います。
(両面印刷対応プリンタのみ)
- 〔グラフィックス〕ダイアログ ... 解像度やディザパターンなどを設定します。
- 〔印刷オプション〕ダイアログ ... その他、印刷に関する設定を行います。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ 〔スタート〕からの設定画面（プリンタのプロパティ）



プリンタドライバやポートの選択、Printianavi機能の設定が行えます。また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。

アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

▶ ダイアログの種類

〔全般〕(または〔情報〕) ダイアログ.... プリンタのコメントの入力やテストページの印刷などを行います。

〔詳細〕 ダイアログ ポートに関する設定やドライバの選択を行います。

〔共有〕 ダイアログ プリンタを他のパソコンと共有するかどうかを設定します。(ネットワークの設定でプリンタを共有できる設定にしていな
いときは、表示されません。)

〔用紙〕 ダイアログ 用紙サイズや用紙方向、給紙口などを設定します。

〔レイアウト〕 ダイアログ N-up 印刷に関する設定を行います。

〔グラフィックス〕 ダイアログ 解像度やディザパターンなどを設定します。

- 〔両面印刷〕ダイアログ 両面印刷に関する設定を行います。
(両面印刷対応プリンタのみ)
- 〔Printianavi〕ダイアログ Printianavi に関する設定を行います。
- 〔印刷オプション〕ダイアログ その他、印刷に関する設定を行います。
- 〔装置オプション〕ダイアログ プリンタに搭載されているメモリに関する設定を行います。
- 〔ドライバ情報〕ダイアログ ドライバに関する情報を表示します。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

2 プリンタのプロパティを表示する

次の3つの方法があります。

- ・ 該当するプリンタのアイコンをクリックして反転させ、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択します。
- ・ 該当するプリンタのアイコン上で右クリックし、表示されるメニューから〔プロパティ〕を選択します。
- ・ 該当するプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリンタスプーラを開き、〔プリンタ〕メニューから〔プロパティ〕を選択します。

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

Windows NT4.0 の設定画面

Windows NT4.0でのプリンタドライバの設定は、次の4つのプロパティで行います。

プロパティによって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



- ・一般ユーザは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。
また、サーバ共有のプリンタのすべての設定値をクライアントから変更するには、サーバとクライアントの両方で管理者権限が必要です。
- ・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

アプリケーションソフトからの設定画面 (プリンタ設定のプロパティ)



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

▶ ダイアログの種類

- 〔用紙〕ダイアログ 用紙サイズや用紙方向、給紙口などを設定します。
- 〔レイアウト〕ダイアログ N-up 印刷に関する設定を行います。
- 〔両面印刷〕ダイアログ 両面印刷に関する設定を行います。
(両面印刷対応プリンタのみ)
- 〔グラフィックス〕ダイアログ ... 解像度やハーフトーンカラーの調整などを設定します。
- 〔印刷オプション〕ダイアログ ... その他、印刷に関する設定を行います。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
 - 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
 - 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
- 〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
- 〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
- 〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ [スタート]からの設定画面 (ドキュメントの既定値プロパティ)



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

▶ ダイアログの種類

- [用紙] ダイアログ 用紙サイズや用紙方向、給紙口などを設定します。
- [レイアウト] ダイアログ N-up 印刷に関する設定を行います。
- [両面印刷] ダイアログ 両面印刷に関する設定を行います。
(両面印刷対応プリンタのみ)
- [グラフィックス] ダイアログ... 解像度やハーフトーンカラーの調整などを設定します。
- [印刷オプション] ダイアログ... その他、印刷に関する設定を行います。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

1 [スタート] から、[設定][プリンタ] の順に選択する

2 ドキュメントの既定値プロパティを表示する

次の3つの方法があります。

- ・ 該当するプリンタのアイコンをクリックして反転させ、[ファイル]メニューから[ドキュメントの既定値]を選択します。
- ・ 該当するプリンタのアイコン上で右クリックし、表示されるメニューから[ドキュメントの既定値]を選択します。
- ・ 該当するプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリンタスプーラを開き、[プリンタ]メニューから[ドキュメントの既定値]を選択します。

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

[OK]をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

[キャンセル]をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

[標準に戻す]のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択、Printianavi 機能の設定が行えます。

▶ ダイアログの種類

- 〔全般〕ダイアログ プリンタのコメントの入力やドライバの選択、テストページの印刷などを行います。
- 〔ポート〕ダイアログ ポートに関する設定を行います。
- 〔スケジュール〕ダイアログ .. プリンタの利用時間やスプールに関して設定します。
- 〔共有〕ダイアログ プリンタを他のパソコンと共有するかどうかを設定します。
- 〔セキュリティ〕ダイアログ .. プリンタのアクセス権などに関して設定します。
- 〔装置オプション〕ダイアログ ... ハーフトーンの設定およびプリンタに搭載されているメモリに関する設定を行います。
- 〔Printianavi〕ダイアログ Printianavi に関する設定を行います。
- 〔ドライバ情報〕ダイアログ .. ドライバに関する情報を表示します。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

1 [スタート] から、[設定][プリンタ] の順に選択する

2 プリンタのプロパティを表示する

次の3つの方法があります。

- ・該当するプリンタのアイコンをクリックして反転させ、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。
- ・該当するプリンタのアイコン上で右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。
- ・該当するプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリンタスプーラを開き、[プリンタ]メニューから[プロパティ]を選択します。

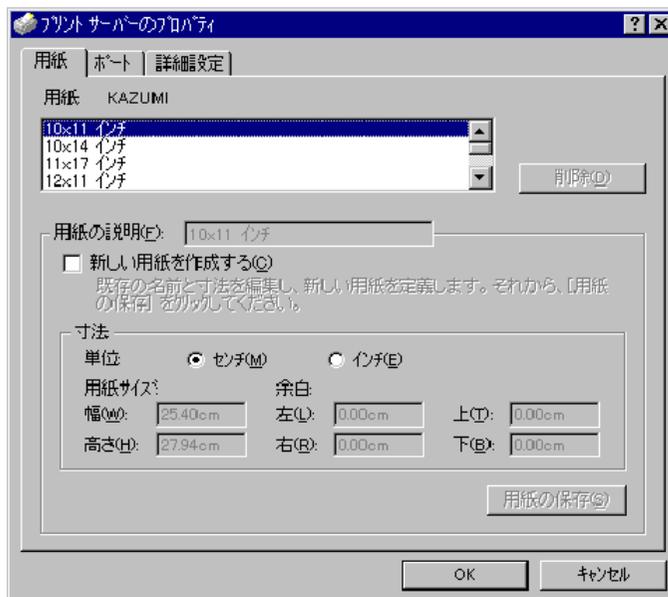
3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

[OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

[標準に戻す] のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ プリントサーバーのプロパティ



用紙サイズの定義やポートの設定、スプーラに関する情報を設定します。

▶ ダイアログの種類

〔用紙〕ダイアログ 用紙サイズを定義します。

〔ポート〕ダイアログ ポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕ダイアログ スプーラのイベントなどに関する設定を行います。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

2 プリントサーバーのプロパティを表示する

次の2つの方法があります。

- ・〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択します。
- ・〔プリンタ〕フォルダの中のプリンタのアイコン以外の場所で右クリックし、表示されるメニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択します。

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

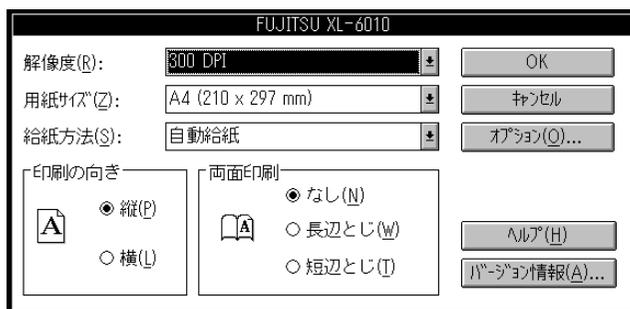
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

Windows 3.1 の設定画面

Windows 3.1 での本プリンタドライバの設定は、次の3つのダイアログボックスで行います。

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログボックス



解像度や用紙に関する設定を行うダイアログボックスです。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

1 〔コントロールパネル〕中の〔プリンタ〕をダブルクリックするか、〔設定〕メニューの〔プリンタ...〕を選択する
〔プリンタの設定〕ダイアログボックスが表示されます。

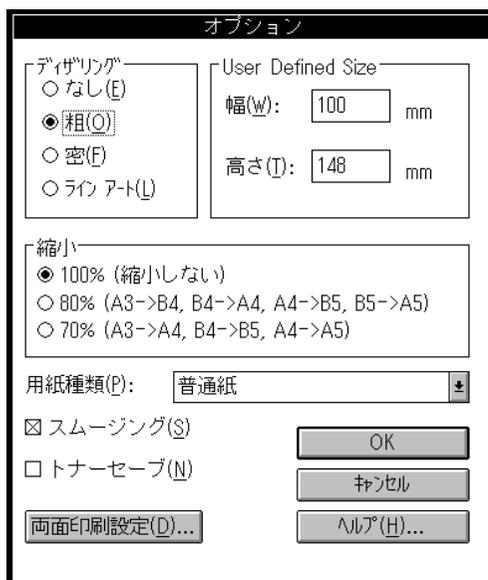
2 〔プリンタの設定〕ダイアログボックスで、〔組み込まれているプリンタ:〕から、本プリンタをクリックし、〔設定...〕をクリックする

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログボックスが表示されます。

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してダイアログを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでダイアログを終了します。

■〔オプション〕ダイアログ



縮小印刷やトナーセーブなど、プリンタ固有の機能の設定を行います。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

1 [FUJITSU XL-xxxx]プリンタのダイアログボックスで、〔オプション〕をクリックする

〔オプション〕ダイアログが表示されます。

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してダイアログを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでダイアログを終了します。

■ 「両面印刷設定」ダイアログ (両面印刷対応プリンタのみ)



両面印刷に関する設定を行います。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

1 「オプション」ダイアログボックスで、「両面印刷設定」をクリックする

「両面印刷設定」ダイアログが表示されます。

「OK」をクリックすると、変更した設定を保存してダイアログを終了します。

「キャンセル」をクリックすると、変更した設定を保存しないでダイアログを終了します。

設定の詳細

ここでは、プリンタドライバのおもな設定について機能および内容別に説明します。

▼ 用紙の設定

印刷する用紙のサイズや向き、拡大 / 縮小印刷は、次の画面で設定します。

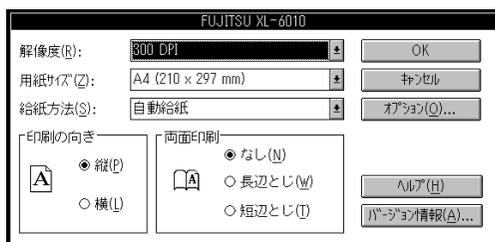
Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔用紙〕ダイアログ

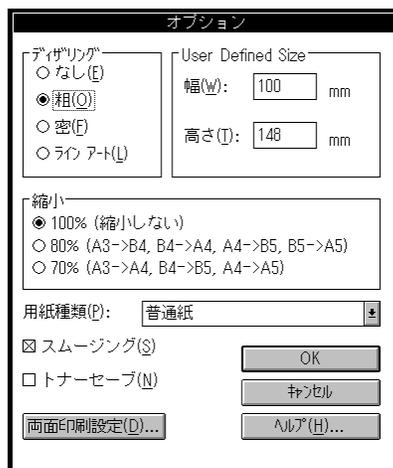


Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



〔オプション〕ダイアログ



▶ 用紙サイズ

印刷する用紙サイズを指定します。



・不定形やはがきサイズの用紙に印刷するときは、〔給紙方法〕を「手差し」にし、「ユーザ定義サイズ」(Windows 3.1の場合は「User Defined Size」)または「はがき」を選択します。

・Windows 98/95/NT4.0 のとき

「ユーザ定義サイズ」を選択すると、用紙サイズを入力するダイアログボックスが表示されます。不定形用紙のサイズを入力して、〔OK〕をクリックしてください。このとき、〔給紙方法〕は「手差し」に、両面印刷(両面印刷対応プリンタの場合)は「なし」に限定されます。また、〔出力用紙の選択〕および〔N-up印刷〕の設定は無効になります。

ただし、Windows NT4.0でユーザ定義サイズに定型サイズと同じサイズを指定したときは、その定型サイズと同様の設定が可能です。

「はがき」を選択すると、〔給紙方法〕は「手差し」に、〔用紙種類〕は「厚紙」に、〔両面印刷〕(両面印刷対応プリンタの場合)は「なし」に限定されます。

・Windows 3.1 のとき

〔給紙方法〕の「手差し」を選択すると、「User Defined Size」または「はがき」が選択可能になります。「User Defined Size」を選択したときは、〔オプション〕をクリックして、〔User Defined Size〕で不定形用紙のサイズを入力し、〔OK〕をクリックしてください。(幅100～297mm、長さ148～420mmの範囲で大きさを指定できます。)このとき、〔両面印刷〕(両面印刷対応プリンタの場合)は「なし」に限定されます。

「はがき」を選択すると、〔用紙種類〕は「厚紙」に、〔両面印刷〕(両面印刷対応プリンタの場合)は「なし」に限定されます。

・「出力用紙の選択」を「現在の用紙(100%)」以外に指定しているときや、〔レイアウト〕ダイアログでN-up印刷を指定しているときは、プリンタドライバで拡大/縮小する前の用紙サイズを指定します。この場合、実際の出力用紙と異なることがあります。(Windows 98/95/NT4.0)

▶ 出力用紙の選択 (Windows 98/95/NT4.0)

出力する用紙を選択します。

「固定」を指定した場合、用紙サイズと出力用紙の大きさから、拡大 / 縮小率を自動的に設定します。この比率は、〔イメージサイズの調整〕で変更することができます。

▶ イメージサイズの調整 (Windows 98/95/NT4.0)

用紙に展開されたイメージの拡大 / 縮小率を、- 50 ~ + 50% の範囲で設定します。この値を変更しても出力する用紙に影響はありません。調整値を + 方向に変更した場合、出力する用紙の印刷可能領域 (用紙の内側 5mm の範囲) をはみだすことがあります。印刷可能領域からはみだしたイメージは印刷されないのをご注意ください。

▶ 縮小 (Windows 3.1)

縮小印刷について指定します。



縮小印刷は、次の用紙サイズのときに行われます。

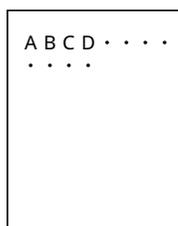
80% 縮小A3、B4、A4 または B5 用紙

70% 縮小A3、B4 または A4 用紙

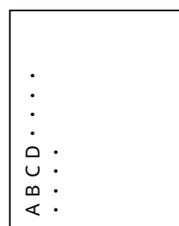
上記以外の用紙 (A5、はがき、リーガル、レター、不定形用紙 (User Defined Size) および 70% 縮小指定時の B5 用紙) を指定したときは縮小印刷を行いません。用紙サイズを確認の上、印刷してください。

▶ 用紙方向

用紙の長い方の辺に対して、印刷する向きを指定します。



用紙方向 縦
(ポートレート)



用紙方向 横
(ランドスケープ)

▶ 用紙種類（用紙種類指定対応プリンタのみ）

用紙の種類を指定します。

- 普通紙 厚みが、60 ~ 90g/ m²の範囲内の用紙をお使いください。
給紙カセットおよび給紙トレイに用紙をセットできます。
- 厚紙 厚みが、90 ~ 135g/ m²の範囲内の用紙をお使いください。
印刷面を上にして、給紙トレイに用紙をセットしてください。
- OHP フィルム ページプリンタ用のOHPフィルムをお使いください。
印刷面を上にして、給紙トレイに用紙をセットしてください。

Windows98/95/NT4.0では、「厚紙」「OHP フィルム」を指定すると、〔給紙方法〕は「手差し」に、〔両面印刷〕（両面印刷対応プリンタの場合）は「なし」に限定されます。

Windows3.1では、〔給紙方法〕が「手差し」に設定されたときのみ「厚紙」「OHP フィルム」を指定できます。また、「厚紙」「OHP フィルム」のときは〔両面印刷〕（両面印刷対応プリンタの場合）は「なし」に限定されます。

▶ 給紙方法

給紙方法を指定します。

お願い

- ・ はがきに印刷するときは、「手差し」を選択して、給紙トレイから給紙してください。
- ・ 不定形の用紙に印刷するときは、「手差し」を選択してから「ユーザ定義サイズ」(Windows 3.1の場合は「User Defined Size」)で用紙サイズを指定し、給紙トレイから給紙してください。

▶ 部数（Windows 98/95/NT4.0）

印刷する部数を、1 ~ 999 部の範囲で指定します。



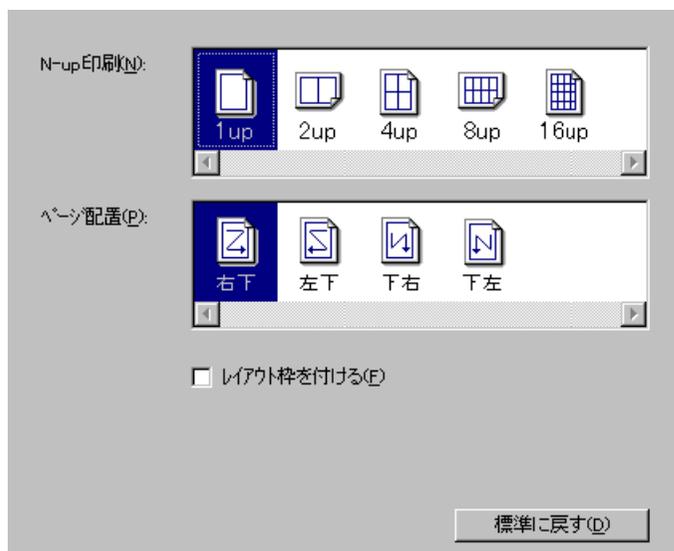
用紙の設定とN-up印刷の組み合わせで可能な設定例は、「プリンタドライバの設定」でできる印刷例（95 ページ）を参照してください。（Windows 98/95/NT4.0）

▼ N-up 印刷 (Windows 98/95/NT4.0)

N-up印刷は、1枚の用紙に複数のページを配置して印刷する機能です。N-up印刷を行うには、次の設定を行います。

Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔レイアウト〕ダイアログ



▶ N-up 印刷

N-up印刷は、1枚の用紙に複数のページを配置して印刷する機能です。N-up印刷を行うときは、1up ~ 16upの中から1枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

▶ ページ配置

N-up印刷を行うときに、1枚の用紙上のページの配置のしかたを指定します。

▶ レイアウト枠を付ける

通常の1ページに相当する部分に枠を付けるかどうかを設定します。レイアウト枠を付ける場合は、チェックします。

ガイド

- ・アプリケーションによっては、「N-up 印刷」や「出力用紙の選択」を使用して印刷結果を拡大 / 縮小した場合、まれに期待どおりに印刷されないことがあります。このようなときには、「イメージサイズの調整」で調整してください。
- ・解像度の違いによってN-up印刷で印刷されるページの位置が異なる（ページ間の余白が異なる）場合があります。
- ・N-up 印刷と用紙の設定の組み合わせで可能な設定例は、次の「プリンタドライバの設定でできる印刷例」を参照してください。

▼ プリンタドライバの設定でできる印刷例 (Windows 98/95/NT4.0)

ここでは、用紙サイズ選択、拡大 / 縮小、N-up (複数ページを1枚の用紙に印刷する)の機能を、アプリケーションソフトの機能を使用せずに実現する例を示します。

ガイド

これらの機能をサポートするアプリケーションでは、アプリケーション側の設定が優先される場合や、組み合わせられる場合があります。

■ データにあわせた用紙サイズで印刷する (標準の印刷)

例

- ・A4 サイズに収まるように作成したデータは、A4 サイズの用紙に印刷
- ・B4 サイズに収まるように作成したデータは、B4 サイズの用紙に印刷

このようなときは、〔用紙〕ダイアログで次の設定をします。

用紙サイズ 印刷する用紙サイズを選択します。

出力用紙の選択 「現在の用紙 (100%)」を選択します。

■ 印刷する用紙サイズを固定する

例

- ・ A4サイズに収まるように作成したデータは、A4サイズの用紙に収まるように印刷
- ・ B4サイズに収まるように作成したデータは、縮小してA4サイズの用紙に収まるように印刷
- ・ A5サイズに収まるように作成したデータは、拡大してA4サイズの用紙に収まるように印刷

このようなときは、〔用紙〕ダイアログで次の設定をします。

用紙サイズ 拡大 / 縮小前の用紙サイズを選択します。
出力用紙の選択 「A4 固定」を選択します。
イメージサイズの調整 拡大/縮小した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

■ データを決まった拡大率または縮小率で印刷する

例1

- ・ A4サイズに収まるように作成したデータを、125%拡大してB4サイズの用紙に印刷
- ・ B4サイズに収まるように作成したデータを、125%拡大してA3サイズの用紙に収まるように印刷

このようなときは、〔用紙〕ダイアログで次の設定をします。

用紙サイズ 拡大前の用紙サイズを選択します。
出力用紙の選択 「自動 125% 拡大」を選択します。
イメージサイズの調整 拡大/縮小した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

例2

- ・A4 サイズに収まるように作成したデータを、80% 縮小して B5 サイズの用紙に印刷
- ・B4 サイズに収まるように作成したデータを、80% 縮小して A4 サイズの用紙に収まるように印刷

このようなときは、〔用紙〕ダイアログで次の設定をします。

用紙サイズ 縮小前の用紙サイズを選択します。
出力用紙の選択 「自動 80% 縮小」を選択します。
イメージサイズの調整 拡大または縮小した印刷結果がうまく収まっていないときに調整してください。



〔用紙〕ダイアログの左上に、用紙サイズと印刷用紙の関係が表示されます。（「A4 B4」と表示されているときは、A4 サイズのデータを B4 に拡大し、B4 サイズの用紙に印刷します。）

印刷結果の拡大 / 縮小した結果が、印刷可能な用紙サイズにならないときは、自動的に印刷可能な用紙サイズの範囲内に設定します。この場合、拡大 / 縮小率も変更されます。

複数ページのデータを 1 ページ内に印刷する

例1

A4 サイズに収まるように作成した 24 ページのデータを、A4 サイズの用紙 1 枚に 4 ページ分ずつ、合計 6 枚に収まるように縮小し、左上 右上 左下 右下の配置で印刷

このようなときは、〔レイアウト〕ダイアログで次の設定をします。

N-up 印刷 「4 up」を選択します。
ページ配置 「右下」を選択します。
レイアウト枠をつける 通常の 1 ページ分に相当する部分に枠をつける場合は、チェックします。

また、〔用紙〕ダイアログで、次の設定を行います。

用紙サイズ A4 サイズを選択します。

例2

A5サイズに収まるように作成した6ページのデータを、A4サイズ of 用紙1枚に2ページ分ずつ、合計3枚に収まるようにし、右 左の配置で印刷

このようなときは、〔レイアウト〕ダイアログで次の設定をします。

N-up 印刷 「2 up」を選択します。

ページ配置 「左下」を選択します。

レイアウト枠をつける 通常の1ページ分に相当する部分に枠をつける場合は、チェックします。

また、〔用紙〕ダイアログで、次の設定を行います。

用紙サイズ A5サイズを選択します。

出力用紙の選択 「A4 固定」を選択します。

イメージサイズの調整 印刷結果がうまく収まっていないときに調整してください。

きれいに印刷する

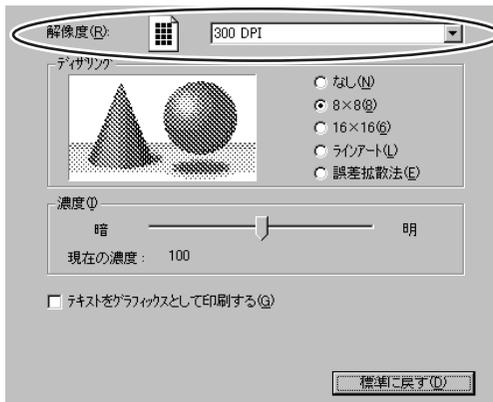
文字やグラフィックをきれいに印刷するための設定について説明します。

解像度

グラフィックは解像度を上げると鮮明に印刷できます。
解像度は、次の画面で設定します。

Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



いずれの画面でも、プリンタの解像度を、1インチあたりのドット数で指定します。

値の大きい方が細かいドットで印刷できますが、印刷に時間がかかることがあります。



解像度が600dpiの場合、印刷する用紙サイズや方法によってはプリンタRAMモジュールの増設が必要ですのでご注意ください。

プリンタRAMモジュールの増設が必要な場合
A3、B4、リーガル用紙に600dpiで両面印刷するとき。

増設なしに印刷を行ったときの動作と対処 (Printianavi 有効時)
自動的に片面印刷で続行します。

増設なしに印刷を行ったときの動作と対処 (Printianavi 無効時)
プリンタの液晶画面にメモリ不足のメッセージが表示されます。
プリンタの何かのスイッチを押すと片面印刷で印刷を続行します。
また、プリンタのセットアップモードの環境設定で、「メモリ不足解除」を「スル」に設定している場合は3秒経過すると自動的に片面印刷で印刷を続行します。

再度印刷するときは
解像度の設定を300dpiに変更するか、A4サイズの用紙に収まるように縮小設定にして印刷し直してください。

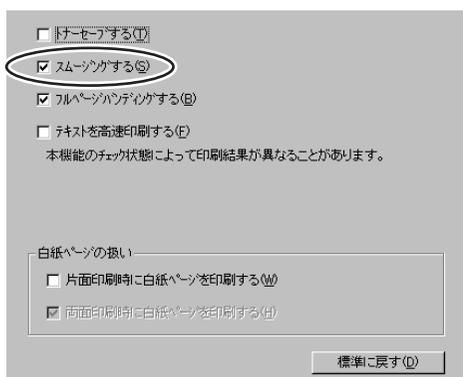
■ スムージング

文字や図形のギザギザ(ジャギー)をなめらかに印刷するかどうかを設定できます。

スムージングは、次の画面で設定します。

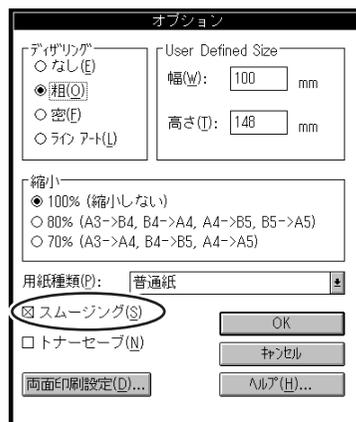
Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔印刷オプション〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔オプション〕ダイアログ



スムージングするときは、チェックします。

ガイド 600dpiで写真などをグラフィック印刷する場合、スムージングをしない設定の方がきれいな印刷結果を得られる場合があります。

■ ディザリング、濃度、ハーフトーンカラー

以下の設定で、必要に応じてカラーのデータをモノクロで印刷したときの階調や濃度の調整を行うことができます。(通常は変更する必要はありません。)

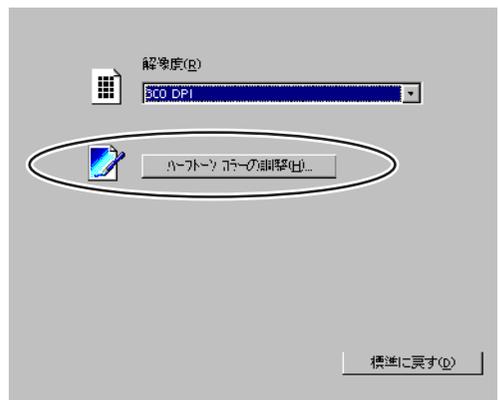
Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



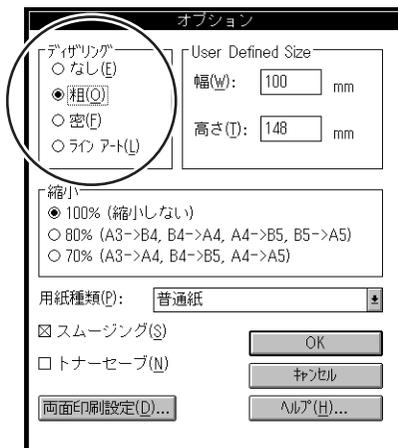
Windows NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔オプション〕ダイアログ



▶ **ディザリング (Windows 98/95/3.1)**

グラフィックスを印刷するときに、カラーの部分をもノクロのディザパターンに置き換えて階調をつけます。

▶ **濃度 (Windows 98/95)**

グラフィックスを印刷する濃度を指定します。

▶ **ハーフトーンカラーの調整 (Windows NT4.0)**

ハーフトーンの階調を設定します。



Windows NT4.0 のとき、プリンタが使用するハーフトーン
の選択は、〔装置オプション〕ダイアログで行います。

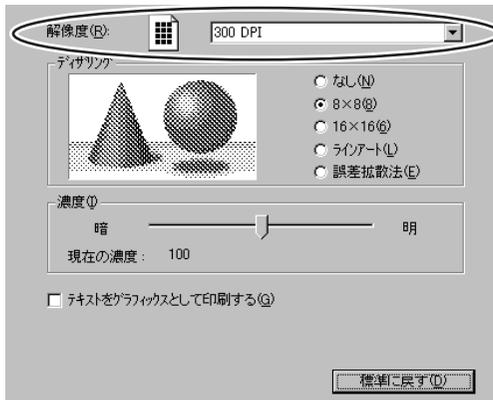
▼ 高速に印刷する

印刷を速くしたい場合は、次の設定を行います。

■ 解像度

解像度を下げると、印刷が速くなります。
解像度は、次の画面で設定します。

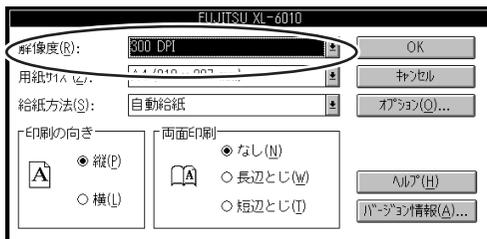
Windows 98/95 のとき 〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows NT4.0 のとき 〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき 〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



プリンタの解像度を、1インチあたりのドット数で指定します。
値が小さい方が高速に印刷できますが、写真などのデータはドットが粗
くなります。

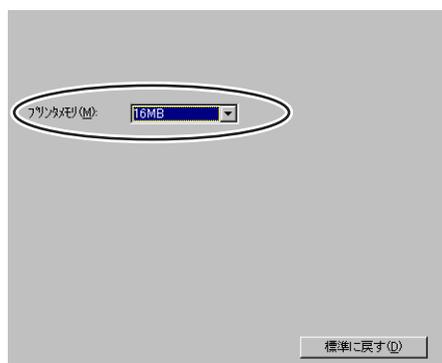
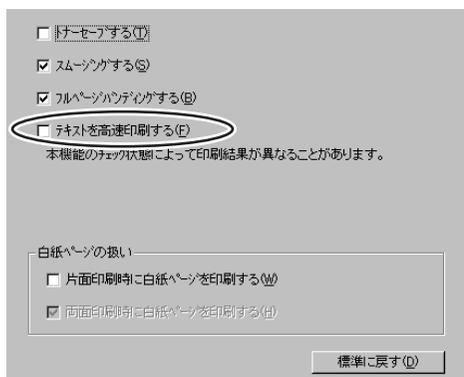
■ テキストを高速印刷する / プリントメモリ (Windows 98/95/NT4.0)

Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔印刷オプション〕ダイアログ

〔装置オプション〕ダイアログ

(画面の例は Windows 98/95 の場合)



文書中で使用されている文字をプリンタに登録することによって、文字データを高速印字します。

テキストを高速印刷するときは、〔装置オプション〕ダイアログでプリントメモリの設定を行ってから、〔印刷オプション〕ダイアログで「テキストを高速印刷する」をチェックします。

ガイド

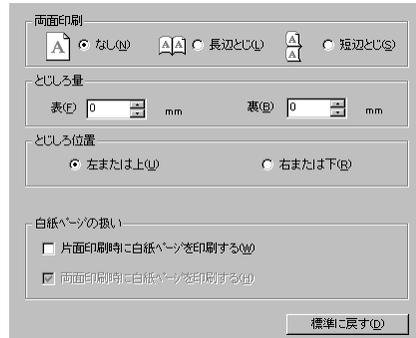
- ・「テキストを高速印刷する」機能は、フルページバンディングのときのみ有効です。「フルページバンディングする」をチェックしてから「テキストを高速印刷する」をチェックしてください。
- ・「テキストを高速印刷する」を設定したときに特に効果があるのは、同一文字が何度も使用されていて、文字以外のデータが少ないデータです。
印刷するデータによっては、期待された効果がでないことや、グラフィックスと文字が重なっている部分の印刷結果が異なることがあります。このようなときは、チェックをはずして使用してください。
- ・「テキストを高速印刷する」をチェックすると、〔グラフィックス〕ダイアログの「テキストをグラフィックスとして印刷する」設定は無効になります。(Windows 98/95 のみ)

▶ 両面印刷をする（両面印刷対応プリンタのみ）

両面印刷対応プリンタで両面印刷を行うには、次の設定を行います。

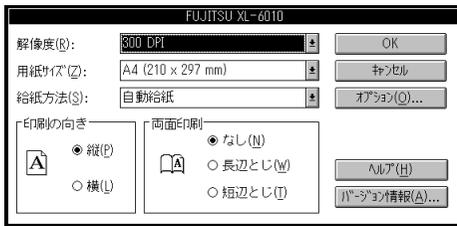
Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔両面印刷〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



〔両面印刷設定〕ダイアログ



▶ 両面印刷

片面印刷か、両面印刷かを設定します。また、両面印刷を長い辺でとじるか短い辺でとじるかを設定します。

なし 片面印刷をします。

長辺とじ 用紙の長い辺でとじるように両面印刷します。

短辺とじ 用紙の短い辺でとじるように両面印刷します。



- ・〔用紙サイズ〕で「ユーザ定義サイズ」(Windows3.1の場合は「User Defined Size」)または「はがき」を選択しているときは、両面印刷は行えません。〔用紙サイズ〕を「ユーザ定義サイズ」および「はがき」以外に設定してから両面印刷の設定をしてください。
ただし、Windows NT4.0で「ユーザ定義サイズ」に「はがき」以外の定型サイズと同じサイズを指定したときは、両面印刷の設定が可能です。
- ・XL-6010でA3、B4、リーガルの用紙に600dpiで両面印刷を行うには、プリンタRAMモジュールの増設が必要です。詳細は、「きれいに印刷する」のガイド(100ページ)を参照してください。

▶ とじしろ量

両面印刷時のとじしろ量を、0～30mmの範囲で、用紙の裏と表を別々に設定します。

▶ とじしろ位置

両面印刷時のとじしろ位置を設定します。

▶ 白紙ページの扱い (Windows 98/95/NT4.0 のみ)

印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷(出力)するかどうかを設定します。

白紙のページを印刷するときは、チェックします。

片面、両面それぞれの場合について設定できます。



- ・〔レイアウト〕ダイアログで「レイアウト枠を付ける」をチェックした場合は、この設定は無効です。
- ・〔印刷オプション〕ダイアログでも設定できます。

▶ 白紙ページ印刷 (Windows 3.1 のみ)

両面印刷時に印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷(出力)するかどうかを設定します。

白紙のページを印刷するときは、チェックします。

Printianavi の設定 (Windows 98/95/NT4.0)

印刷中のプリンタの状態を見たり、エラー時のメッセージの表示方法などを設定したりするには、Printianavi の設定を行います。

Windows 98/95/NT4.0

〔Printianavi〕ダイアログ

Printianavi を有効にする(E)

用紙ダイアログにプリンタ状態を表示する(N)

印刷中のステータスを表示する(I)

初期表示モード

ポップアップ(P)

エラー時ポップアップ(E)

最小化(Q)

印刷終了時にメッセージを通知する(O)

エラー時にメッセージを通知する(M)

TCP/IPを使用する(U)

メッセージ通知先

このコンピュータ(C)

ホスト名またはIPアドレスを指定(S)

ネットワークで共有しているプリンタでPrintianaviを有効にする場合は、プリントサーバおよびクライアントのパソコン双方にネットワーク連携ユーティリティが必要です。

標準に戻す(R)

▶ Printianavi を有効にする

Printianavi を有効にするかどうかを設定します。Printianavi を有効にするときは、チェックします。

▶ 用紙ダイアログにプリンタ状態を表示する

〔用紙〕ダイアログにプリンタの状態と〔ステータス表示〕を表示するかどうかを設定します。

〔用紙〕ダイアログにプリンタ状態を表示するときは、チェックします。



プリントサーバとプリンタがWAN経由で接続されているときにクライアントで〔用紙〕ダイアログを開くと、サーバとプリンタ間で通信するために、課金される場合があります。その場合は、ここのチェックをはずしてください。

▶ 印刷中のステータスを表示する

印刷中のステータスを表示するかどうかを指定します。印刷中のステータスを表示するときはチェックし、表示方法を選択します。表示されるアイコンやメッセージの詳細は、付録の「メッセージ一覧」を参照してください。

ステータスの表示方法には、次の2つがあります。

ポップアップ表示



表示をやめるときは、〔OK〕をクリックします。

印刷を中断するときには、〔印刷中止〕をクリックします。

また、最小化ボタン()をクリックすると、アイコン表示になります。

アイコン表示



プリンタのアイコンが表示されているときにマウスカーソルをアイコン上に移動すると、簡単な状態情報を表示します。

表示中にアイコンをダブルクリックすると、ポップアップ表示になります。

また、アイコンを右クリックし、表示されるメニューを選ぶと、次の操作ができます。

元のサイズに戻す ダイアログ表示になります。

印刷中止 印刷を中止します。

ステータス表示の終了 表示を終了します。

▶ 初期表示モード

ポップアップ表示とアイコン表示の切り替え方を設定します。

- ポップアップ 印刷中のステータスを、常にポップアップ表示します。
- エラー時ポップアップ 印刷中のステータスを、通常はタスクトレイにアイコン表示し、エラー発生時のみポップアップ表示します。
- 最小化 印刷中のステータスを、常にタスクトレイにアイコン表示します。

▶ 印刷終了のメッセージ通知

印刷終了のメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、チェックします。

印刷終了のメッセージ例

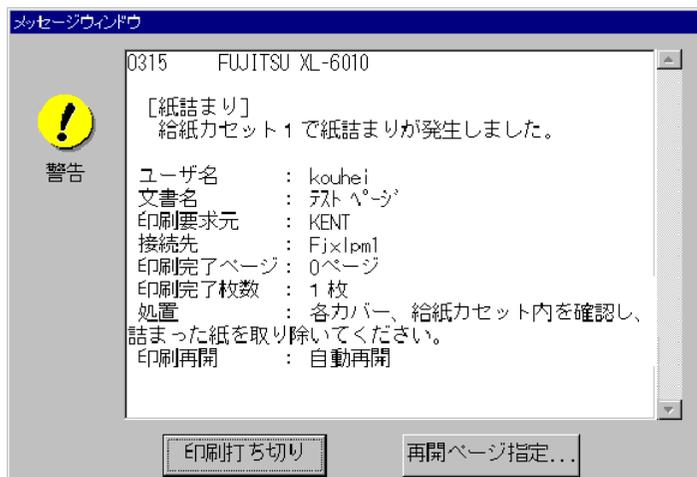


表示を終了するには、[OK] をクリックします。

▶ エラー時のメッセージ通知

印刷時にエラーが発生した場合にステータス表示とは別にエラーメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、チェックします。

エラー時のメッセージ通知例



印刷を中断するときは、〔印刷打ち切り〕をクリックします。
〔再開ページ指定〕をクリックすると、エラー解除後に何ページ目から印刷し直すかを指定することができます。(再開ページ指定が可能なエラーの場合のみ表示されます。)

ガイド

エラー時のメッセージ通知には、「警告」(リカバリ可能なエラー)と「停止」(リカバリ不可能なエラー)の2種類があります。これらはメッセージウィンドウの左側にアイコンと文字で表示されます。また、次のエラーは〔エラー時のメッセージ通知〕の設定に関係なくエラーメッセージを通知します。

「停止」エラー : 必ず通知します。

「警告」エラー : Printianavi ネットワーク連携ユーティリティでサーバ共有のプリンタに対して Printianavi 機能を使用している場合は通知します。

▶ TCP/IP を使用する

通信(メッセージの通知)にTCP/IPを使用するかどうかを指定します。LAN(TCP/IP)で接続されたプリンタ、またはサーバの共有プリンタで印刷するときはチェックします。

チェックすると、Printianaviが通知するメッセージをどのパソコンで表示するかを指定することができます。

通常は、「このコンピュータ」を選択します。現在設定操作をしているパソコン以外に表示させたい場合は、「ホスト名またはIPアドレスを指定」に、表示先のホスト名またはIPアドレスを指定します。

▶ ステータス表示

Printianavi が有効で、双方向通信が可能な場合は、「用紙」ダイアログの左下にプリンタのビットマップが表示されます。さらに、「ステータス表示」をクリックすると、プリンタの状態を示すステータスウィンドウが表示されます。この表示は印刷中だけでなく、いつでも見ることができます。

Windows 98/95/NT4.0

「用紙」ダイアログ



ガイド

- ・サーバ共有のプリンタのステータスを表示するには、Printianavi 連携ユーティリティをクライアントとサーバの両方にインストールしてください。
- ・「用紙」ダイアログのプリンタのビットマップおよび「ステータス表示」は、機種によっては表示されません。

ステータスウィンドウで表示される内容は、次のとおりです。



プリンタ名 プリンタにつけた名前 (〔全般〕または〔情報〕ダイアログに表示される名前) を表示します。

プリンタモデル名 /
ファームウェアバージョン プリンタ本体のモデル名とファームウェアのバージョンを表示します。

プリンタメモリ プリンタに搭載されているメモリ容量を表示します。

プリンタ情報ビットマップ プリンタモデルや給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

オプション情報 プリンタに装着されているオプションの情報を表示します。

ステータスアイコン プリンタの状態をアイコンで表示します。

プリンタ状態 プリンタの状態を文字で表示します。

エラー詳細 プリンタ状態の詳細やトナーの残りが少ないなどの警告、エラーの対処方法を表示します。

給紙情報 / 印刷枚数 給紙カセット情報、総印刷枚数、および電源投入後の印刷枚数を表示します。

ステータスウィンドウを閉じるには、〔OK〕をクリックします。

表示されるメッセージやアイコンの詳細については、付録の「メッセージ一覧」を参照してください。



ステータスウィンドウで「給紙トレイ」と表示される給紙口は、〔用紙〕ダイアログの「給紙方法」の「手差し」と対応しています。

▼ プリンタドライバの情報を確認する

プリンタドライバの情報を確認するには、次の2つの方法があります。

▶ バージョン情報

プリンタドライバの情報は、次の画面で〔バージョン情報〕をクリックすると確認できます。

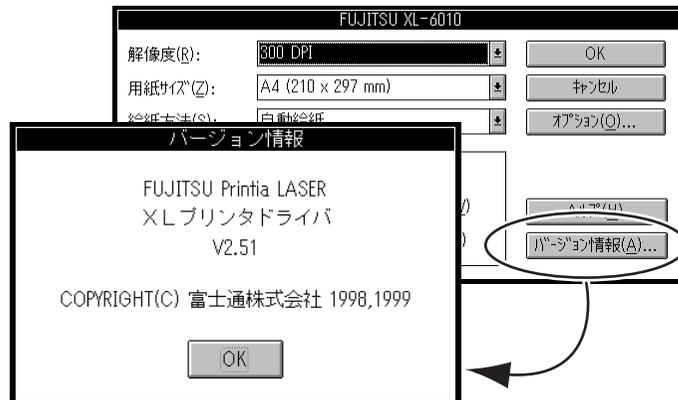
Windows 98/95/NT4.0 のとき

〔用紙〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ



▶ フルページバンディングする (Windows 98/95/NT4.0)

用紙サイズ1枚分のイメージデータを展開するメモリを、パソコン側に確保して印刷するかどうかを設定します。

フルページバンディングするときは、チェックします。

◆ ガイド

- ・一部のアプリケーションで正しく印刷できない場合にチェックすると、正しく印刷される場合があります。
- ・「フルページバンディングする」のチェックをはずすと、「テキストを高速印刷する」機能は無効になります。
- ・メモリ搭載量が少ないパソコンをご使用の場合、「フルページバンディングする」がチェックされていると、印刷開始までに時間がかかる場合があります。

▶ 白紙ページの扱い (Windows 98/95/NT4.0)

印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷(出力)するかどうかを設定します。

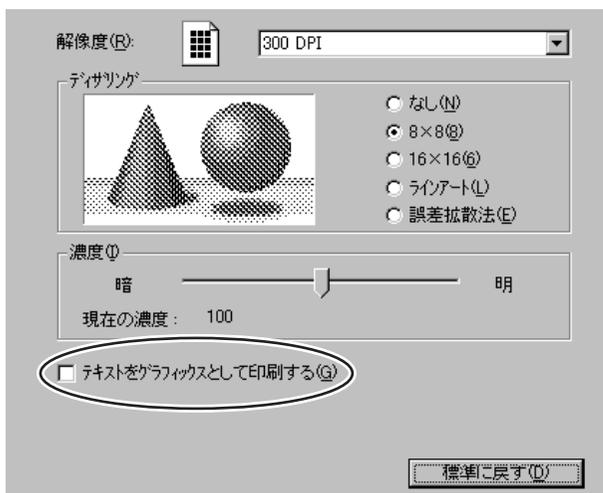
白紙のページを印刷するときは、チェックします。

両面印刷対応プリンタの場合、片面、両面のそれぞれの場合について設定できます。

◆ ガイド

- ・〔レイアウト〕ダイアログで「レイアウト枠を付ける」をチェックした場合は、この設定は無効です。
- ・両面印刷対応プリンタの場合、〔両面印刷〕ダイアログでも設定できます。

▶ **テキストをグラフィックスとして印刷する(Windows 98/95)**
〔グラフィックス〕ダイアログ



文字データをグラフィックスとして扱います。

テキストをグラフィックスとして印刷するときは、チェックします。

ガイド 〔印刷オプション〕ダイアログで「テキストを高速印刷する」を
チェックした場合は、この設定は無効です。

設定項目一覧

▼ Windows 98/95 の設定項目一覧

設定項目	設定内容	説明	備考
全般	コメント	プリンタに関するコメントを入力する	
(情報)(*1)	区切りページ なし (*2)	印刷する文書を区切るページを挿入しない	
	簡易ページ	文字だけの区切りページを挿入する	
	標準ページ	グラフィックスの入っている区切りページを挿入する	
	印字テスト	テストページを印刷する	
詳細(*1)	印刷先のポート	プリンタが接続されているポート、またはネットワークプリンタのパスを表示する	「印刷先ポートの追加と変更」参照
	ポートの追加	ポートを追加する	
	ポートの削除	ポートを削除する(*3)	
	印刷に使用するドライバ	プリンタの種類を表示する	
	ドライバの追加	プリンタドライバを更新または変更する	
	プリンタポートの割り当て	ネットワークドライブにポートを割り当てる	
	プリンタポートの解除	ネットワークドライブに割り当てられているポートを解除する	
	タイムアウト設定 未選択時	プリンタがオンラインになるまで待つ時間を秒単位で指定する	
	送信の再試行時 (*4)	プリンタで印刷の準備ができるまで待つ時間を秒単位で指定する	

*1：アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*2：区切りページを使用できるのは、自分のパソコンにプリンタが直接接続されている場合だけです。

また、B5よりも小さい用紙を使用すると、周囲の一部が欠けて印刷されません。

*3：設定中のプリンタドライバや他のプリンタで使用しているポートは削除できません。

なお、ポート削除後に同じ名前のポートを作成する場合は、パソコンを再起動してください。

*4：大きいサイズのデータを印刷するときに問題が起こる場合は、この値を大きくしてください。

設定項目	設定内容	説明	備考	
詳細(*1)	スプールの設定	アプリケーションからプリンタに印刷データを送る方法を指定する		
	印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う	ドキュメントの最終ページがスプールされるまで待ってから印刷を開始するか、ドキュメントの先頭ページがスプールされたら、すぐに印刷を開始するかを選択する		
	プリンタに直接印刷データを送る	ドキュメントをスプールせずに直接プリンタにデータを送る		
	このプリンタ機能をサポートする	パソコンとプリンタの間で情報をやりとりできるようにする(*5)		
	このプリンタ機能をサポートしない	パソコンとプリンタの間で情報をやりとりの双方向通信しない		
	ポートの設定	プリンタポートの設定を変更する		
共有(*1) (*6)	共有しない	プリンタを共有しない	「プリンタを共有する」参照	
	共有する	共有名		プリンタを共有するときの名前を指定する
	パスワード	コメント		プリンタに関するコメントを入力する
		パスワード	プリンタを共有するときのパスワードを指定する	

*1：アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*5：Printianaviを使用するときは、双方向通信機能をサポートする設定にしてください。

*6：ネットワークの設定でプリンタを共有にしたときにのみ設定できません。

設定項目	設定内容	説明	備考	
用紙 (*1)	用紙サイズ	A3(297 x 420mm)	A3 サイズの用紙に印刷する	「用紙の設定」参照
		A4(210 x 297mm)	A4 サイズの用紙に印刷する	
		A5(148 x 210mm)	A5 サイズの用紙に印刷する	
		B4(257 x 364mm)	B4 サイズの用紙に印刷する	
		B5(182 x 257mm)	B5 サイズの用紙に印刷する	
		Letter(8.5 x 11インチ)	レターサイズの用紙に印刷する	
		Legal(8.5 x 14インチ)	リーガルサイズの用紙に印刷する	
		はがき(100 x 148mm)	はがきに印刷する	
		ユーザ定義サイズ	不定形の用紙に印刷する 幅：100 ~ 297mm 長さ：148 ~ 420mm	
出力用紙の選択 (*7)	A3 固定	用紙サイズの指定に関わらず A3 用紙に印刷する		
	A4 固定	用紙サイズの指定に関わらず A4 用紙に印刷する		
	A5 固定	用紙サイズの指定に関わらず A5 用紙に印刷する		
	B4 固定	用紙サイズの指定に関わらず B4 用紙に印刷する		
	B5 固定	用紙サイズの指定に関わらず B5 用紙に印刷する		
	Letter 固定	用紙サイズの指定に関わらずレター用紙に印刷する		
	Legal 固定	用紙サイズの指定に関わらずリーガル用紙に印刷する		
	自動 145% 拡大	145% 拡大して印刷する (A5 A4、B5 B4、A4 A3、 B4 A3、Legal A3、Letter A3)		
	自動 125% 拡大	125% 拡大して印刷する (A5 B5、B5 A4、A4 B4、 B4 A3、Legal A3、Letter B4)		
	現在の用紙(100%)	拡大・縮小せず、用紙サイズで指定した用紙に印刷する		
	自動 94% 縮小	94% 縮小して印刷する (Letter A4、A4 Letter)		
	自動 80% 縮小	80% 縮小して印刷する (A3 B4、B4 A4、A4 B5、 B5 A5、Legal A4、Letter B5)		
自動 70% 縮小	70% 縮小して印刷する (A3 A4、B4 B5、A4 A5、 Legal B5、Letter A5)			
イメージサイズの調整	- 50% ~ + 50%	イメージの拡大・縮小率を % で設定する		
用紙方向	縦	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する (ポートレート)		
	横	用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する (ランドスケープ)		

*1：アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*7：用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」のとき、本設定は無効です。

設定項目	設定内容		説明	備考	
用紙 (*1)	用紙種類 (*10)	普通紙	普通紙に印刷する	「用紙の設定」参照	
		厚紙	厚紙に印刷する		
		OHP フィルム	OHP フィルムに印刷する		
	給紙方法 (*11)	自動給紙	指定の用紙サイズと一致した用紙が入っている給紙口を自動的に選択して印刷する		
		手差し	給紙トレイから給紙する		
		給紙カセット1	1 段目の給紙カセットから給紙する		
		給紙カセット2	2 段目の給紙カセットから給紙する		
		給紙カセット3	3 段目の給紙カセットから給紙する		
	部数	1 ~ 999	印刷部数を指定する		
	ステータス表示		双方向通信が可能なときに、プリンタの状態を表示する		「Printianavi の設定」参照
バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する	「プリンタドライバの情報を確認する」参照		
レイアウト	N-up印刷 (*7)	1up	通常の印刷を行う	「N-up 印刷」参照	
		2up	1 枚の用紙に 2 ページ分のデータを印刷する		
		4up	1 枚の用紙に 4 ページ分のデータを印刷する		
		8up	1 枚の用紙に 8 ページ分のデータを印刷する		
		16up	1 枚の用紙に 16 ページ分のデータを印刷する		
	ページ配置	右下	用紙の左上から右下にページを配置する		
		左下	用紙の右上から左下にページを配置する		
		下右	用紙の左上から右下にページを配置する		
		下左	用紙の右上から左下にページを配置する		
	レイアウト 枠を付ける		N-up 印刷のときに、ページごとに枠を付ける		
両面印刷 (*8)	両面印刷	なし	片面で印刷する	「両面印刷をする」参照	
		長辺とじ	用紙の長い辺でとじるように両面印刷する		
		短辺とじ	用紙の短い辺でとじるように両面印刷する		
	とじしろ量	表	両面印刷時の表面ページのとじしろ量を、mm 単位で設定する(0 ~ 30mm)		
		裏	両面印刷時の裏面ページのとじしろ量を、mm 単位で設定する(0 ~ 30mm)		
	とじしろ位置	左または上 右または下	両面印刷時のとじしろ位置を、左または上に設定する 両面印刷時のとじしろ位置を、右または下に設定する		

*1 : アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*7 : 用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」のとき、本設定は無効です。

*8 : 両面印刷対応プリンタのみ、設定が可能です。

*10 : 用紙サイズが「はがき」のときは、「厚紙」に限定されます。
(用紙種類指定対応プリンタのみ設定が可能です。)

*11 : 用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」または「はがき」のときは、「手差し」に限定されます。

設定項目	設定内容	説明	備考		
両面印刷 (*8)	白紙ページの扱い	片面印刷時に白紙ページを印刷する 白紙ページを印刷する	「両面印刷をする」参照		
		両面印刷時に白紙ページを印刷する 白紙ページを印刷する			
グラフィックス	解像度	300DPI	300DPIで印刷する	「高速に印刷する」参照	
		600DPI	600DPIで印刷する	「きれいに印刷する」参照	
	ディザリング	なし	ディザパターンによる階調づけをしない 8 × 8	8 × 8 ドットのパターンで階調をつける	
		16 × 16	16 × 16 ドットのパターンで階調をつける		
	ラインアート	黒・白・グレイの間にはっきりとした境界線があるイメージを印刷する			
	誤差拡散法	輪郭のない写真や絵を印刷する			
	濃度	暗～明	グラフィックスを印刷する濃度を指定する (0～200%)		
	テキストをグラフィックスとして印刷する		文字データをグラフィックスとして扱う	「オプション機能を設定する」参照	
Printianavi (*1)	Printianaviを有効にする		Printianaviを有効にする	「Printianaviの設定」参照	
	用紙ダイアログにプリンタ状態を表示する		用紙ダイアログの左下のプリンタ状態およびステータス表示ボタンを表示する		
	印刷中のステータスを表示する		印刷中のステータスを表示する		
	初期表示モード	ポップアップ		ポップアップウィンドウで表示する	
		エラー時		エラー時のみポップアップウィンドウで表示する	
		最小化		アイコンで表示する(タスクバーに登録)	
	印刷終了時にメッセージを通知する		印刷終了のメッセージを通知する		
	エラー時にメッセージを通知する		エラー時のメッセージを通知する		
TCP/IPを使用する		通信(メッセージの通知)にTCP/IPを使用する			

*1：アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

*8：両面印刷対応プリンタのみ、設定が可能です。

設定項目	設定内容	説明	備考
Printianavi (*1)	メッセージ通知先 このコンピュータ ホスト名または IPアドレスを指定	現在設定を行っているパソコンに通知する 特定のパソコンに通知する	「Printianavi の設定」参照
印刷オプション	トナーセーブする	トナーの消費量を節約する	「オプション機能を設定する」参照
	スムージングする	文字や図形のギザギザ（ジャギー）を滑らかに印刷する	「きれいに印刷する」参照
	フルページバンディングする	パソコン側でイメージデータを展開するメモリを確保して印刷する	「オプション機能を設定する」参照
	テキストを高速印刷する	文字をプリンタに登録することによりテキストデータを高速に印刷する	「高速に印刷する」参照
	白紙ページの扱い	片面印刷時に 白紙ページを印刷する 両面印刷時に 白紙ページを印刷する	片面印刷のときに白紙のページを印刷する 両面印刷のときに白紙のページを印刷する
装置オプション (*1)	プリンタメモリ	プリンタに搭載されているメモリの量（MB）を指定する	「高速に印刷する」参照
ドライバ情報		プリンタドライバの情報を表示する	「プリンタドライバの情報を確認する」参照

*1：アプリケーションソフトからは設定できない場合があります。

Windows NT4.0 の設定項目一覧

アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティ ドキュメントの既定値プロパティ

設定項目	設定内容	説明	備考	
用紙	用紙サイズ	A3	A3 サイズの用紙に印刷する	「用紙の設定」参照
		A4	A4 サイズの用紙に印刷する	
		A5	A5 サイズの用紙に印刷する	
		B4(JIS)	B4 サイズの用紙に印刷する	
		B5(JIS)	B5 サイズの用紙に印刷する	
		Legal	リーガルサイズの用紙に印刷する	
		Letter	レターサイズの用紙に印刷する	
		はがき	はがきに印刷する	
		ユーザ定義サイズ	不定形の用紙に印刷する 幅：100 ~ 297mm 長さ：148 ~ 420mm	
		出力用紙の選択 (*1)	A3 固定	
A4 固定	用紙サイズの指定に関わらず A4 用紙に印刷する			
A5 固定	用紙サイズの指定に関わらず A5 用紙に印刷する			
B4 固定	用紙サイズの指定に関わらず B4 用紙に印刷する			
B5 固定	用紙サイズの指定に関わらず B5 用紙に印刷する			
Letter 固定	用紙サイズの指定に関わらずレター用紙に印刷する			
Legal 固定	用紙サイズの指定に関わらずリーガル用紙に印刷する			
自動 145% 拡大	145% 拡大して印刷する A5 A4、B5 B4、A4 A3、 B4 A3、Legal A3、Letter A3)			
自動 125% 拡大	125% 拡大して印刷する (A5 B5、B5 A4、A4 B4、 B4 A3、Legal A3、Letter B4)			
現在の用紙(100%)	拡大・縮小せず、用紙サイズで指定した用紙に印刷する			
自動 94% 縮小	94% 縮小して印刷する (Letter A4、A4 Letter)			
自動 80% 縮小	80% 縮小して印刷する (A3 B4、B4 A4、A4 B5、 B5 A5、Legal A4、Letter B5)			
自動 70% 縮小	70% 縮小して印刷する (A3 A4、B4 B5、A4 A5、 Legal B5、Letter A5)			

*1：用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」のとき、本設定は無効です。
(「ユーザ定義サイズ」で設定された用紙サイズが、定型サイズと一致する場合は有効です。)

設定項目	設定内容	説明	備考	
用紙	イメージサイズの調整	- 50% ~ + 50%	イメージの拡大・縮小率を % で設定する	「用紙の設定」参照
	用紙方向	縦	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する（ポートレート）	
		横	用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する（ランドスケープ）	
	用紙種類 (*4)	普通紙	普通紙に印刷する	
		厚紙	厚紙に印刷する	
		OHP フィルム	OHP フィルムに印刷する	
	給紙方法 (*5)	自動給紙	指定の用紙サイズと一致した用紙が入っている給紙口を自動的に選択して印刷する	
		手差し	給紙トレイから給紙する	
		給紙カセット1	1 段目の給紙カセットから給紙する	
		給紙カセット2	2 段目の給紙カセットから給紙する	
		給紙カセット3	3 段目の給紙カセットから給紙する	
	部数	1 ~ 999	印刷部数を指定する	
	ステータス表示		双方向通信が可能なときに、プリンタの状態を表示する	「Printianavi の設定」参照
バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する	「プリンタドライバの情報を確認する」参照	
レイアウト	N-up 印刷 (*1)	1up	通常の印刷を行う	「N-up 印刷」参照
		2up	1 枚の用紙に 2 ページ分のデータを印刷する	
		4up	1 枚の用紙に 4 ページ分のデータを印刷する	
		8up	1 枚の用紙に 8 ページ分のデータを印刷する	
		16up	1 枚の用紙に 16 ページ分のデータを印刷する	
	ページ配置	右下	用紙の左上から右下にページを配置する	
		左下	用紙の右上から左下にページを配置する	
		下右	用紙の左上から右下にページを配置する	
		下左	用紙の右上から左下にページを配置する	
	レイアウト 枠を付ける		N-up 印刷のときに、ページごとに枠を付ける	

*1：用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」のとき、本設定は無効です。（「ユーザ定義サイズ」で設定された用紙サイズが、定型サイズと一致する場合は有効です。）

*4：用紙サイズが「はがき」（「ユーザ定義サイズ」で「はがき」と同じサイズを指定したときを含む）のときは、「厚紙」に限定されます。（用紙種類指定対応プリンタのみ、設定が可能です。）

*5：用紙サイズが「ユーザ定義サイズ」または「はがき」のときは、「手差し」に限定されます。（「ユーザ定義サイズ」で設定された用紙サイズが、「はがき」以外の定型サイズと一致する場合は他の給紙方法の設定が可能です。）

設定項目	設定内容		説明	備考	
両面印刷 (*2)	両面印刷	なし	片面で印刷する	「両面印刷をする」 参照	
		長辺とじ	用紙の長い辺でとじるように両面印刷する		
		短辺とじ	用紙の短い辺でとじるように両面印刷する		
	とじしろ量	表	両面印刷時の表面ページのとじしろ量を、mm単位で設定する(0～30mm)		
		裏	両面印刷時の裏面ページのとじしろ量を、mm単位で設定する(0～30mm)		
	とじしろ位置	左または上	両面印刷時のとじしろ位置を、左または上に設定する		
		右または下	両面印刷時のとじしろ位置を、右または下に設定する		
白紙ページの扱い	片面印刷時に白紙ページを印刷する	片面印刷時に白紙ページを印刷する			
	両面印刷時に白紙ページを印刷する	両面印刷時に白紙ページを印刷する			
グラフィックス	解像度	300DPI	300DPIで印刷する	「高速に印刷する」 参照	
		600DPI	600DPIで印刷する	「きれいに印刷する」参照	
	ハーフトーンカラーの調整		ハーフトーンの階調を設定する		
印刷オプション	トナーセーブする		トナーの消費量を節約する	「オプション機能を設定する」参照	
	スムージングする		文字や図形のギザギザ(ジャギー)を滑らかに印刷する	「きれいに印刷する」参照	
	フルページバンディングする		パソコン側でイメージデータを展開するメモリを確保して印刷する	「オプション機能を設定する」参照	
	テキストを高速印刷する		文字をプリンタに登録することによりテキストデータを高速に印刷する	「高速に印刷する」参照	
	白紙ページの扱い	片面印刷時に白紙ページを印刷する	片面印刷のときに白紙のページを印刷する		「オプション機能を設定する」参照
両面印刷時に白紙ページを印刷する		両面印刷のときに白紙のページを印刷する			

*2：両面印刷対応プリンタのみ、設定が可能です。

■ プリンタのプロパティ

設定項目	設定内容	説明	備考
全般	コメント	プリンタに関するコメントを入力する	
	場所	プリンタの設置場所を入力する	
	ドライバ	使用しているプリンタドライバを表示する	
	新しいドライバ	プリンタドライバを追加または変更する	
	区切りページ	区切りページを指定する(*1)	
	プリントプロセッサ	プリントプロセッサとスプールデータの種類を指定する	
	テストページの印刷	テストページを印刷する	
ポート	印刷するポート	プリンタが接続されているポート、またはネットワークプリンタのパスを表示する	「印刷先ポートの追加と変更」参照
	ポートの追加	ポートを追加する	
	ポートの削除	ポートを削除する	
	ポートの構成	ポートの設定を変更する	
	双方向サポートを有効にする	パソコンとプリンタの間で情報をやりとりできるようにする(*2)	
	プリンタプールを有効にする	プリンタプールを利用できるようにする	
	スケジュール	利用可能時間	常に 開始 / 終了
優先順位		1 ~ 99	ドキュメントの規定の優先度を指定する
印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う		全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る	ドキュメントの最終ページがスプールされるまで待ってから印刷を開始する
		すぐに印刷データをプリンタに送る	ドキュメントの先頭ページがスプールされたら、すぐに印刷を開始する
プリンタに直接印刷データを送る			ドキュメントをスプールせずに直接プリンタにデータを送る

1 : 本プリンタは、Windows NT4.0の区切りページファイル(.sep)の印刷をサポートしていません。

*2 : Printianaviを使用するときは、双方向サポートを有効にしてください。

設定項目	設定内容	説明	備考	
スケジュール	一致しない ドキュメント を保留する(*3)	設定がプリンタと一致しないドキュメントを保留する		
	スプールされた ドキュメントを 最初に印刷 する	スプールが完了したドキュメントから印刷を開始する		
	印刷後ドキュメント を残す	印刷が終了したあともスプールを削除しない		
共有	共有しない	プリンタを共有しない	「プリンタを共有する」参照	
	共有する 共有名	プリンタを共有するときの名前を指定する		
	代替ドライバ	異なる OS で使用するドライバをインストールする	「代替ドライバのインストール」参照	
セキュリティ	アクセス権	プリンタのアクセス権を設定する		
	監査	プリンタの使用状況を監査する		
	所有権	プリンタの所有権を表示または取得する		
装置オプション	ハーフ-トーンアップ	プリンタが使用するハーフトーンを設定する		
	プリンタメモリ	プリンタに搭載されているメモリの量 (MB) を指定する	「高速に印刷する」参照	
Printianavi	Printianavi を有効にする	Printianavi を有効にする	「Printianavi の設定」参照	
	用紙ダイアログに プリンタ状態 を表示する	用紙ダイアログの左下のプリンタ状態およびステータス表示ボタンを表示する		
	印刷中のステータスを表示する	印刷中のステータスを表示する		
	初期表示モード	ポップアップ	ポップアップウィンドウで表示する	
		エラー時ポップアップ	エラー時のみポップアップウィンドウで表示する	
		最小化	アイコンで表示する(タスクバーに登録)	
	印刷終了時に メッセージを 通知する	印刷終了のメッセージを通知する		
	エラー時に メッセージを 通知する	エラー時のメッセージを通知する		
	TCP/IP を 使用する	通信 (メッセージの通知) に TCP/IP を使用する		
	メッセージ通知先	このコンピュータ ホスト名または IPアドレスを指定	現在設定を行っているパソコンに通知する 特定のパソコンに通知する	
ドライバ情報		プリンタドライバの情報を表示する	「プリンタドライバの情報を確認する」参照	

*3 : 本プリンタでは、この設定は無効です。

■ プリントサーバーのプロパティ

設定項目	設定内容	説明	備考
用紙	用紙	サーバで使用可能な用紙の種類を表示する	
	用紙の説明	新しい用紙を新しく用紙を作成する場合にチェックする作成する	
	寸法	用紙のサイズを指定する	
ポート	このサーバー上のポート	このサーバ上にあるポートを表示する	
	ポートの追加	ポートを追加する	
	ポートの削除	ポートを削除する	
	ポートの構成	ポートの設定を変更する	
詳細設定	スプールフォルダ	スプールファイルを格納するフォルダを指定する	
	スプーラのエラーイベントのログを収集する	印刷関連のエラーをシステムログに書き込む	
	スプーラの警告イベントのログを収集する	印刷関連の警告をシステムログに書き込む	
	スプーラの情報イベントのログを収集する	印刷関連の情報をシステムログに書き込む	
	リモートドキュメントエラーが発生したら音を鳴らす	エラーが発生したときに警告音を鳴らす	
	リモートドキュメントの印刷が終了したら通知する	印刷の完了をクライアントに通知する	

Windows 3.1 の設定項目一覧

設定項目	設定内容	説明	備考
解像度	300DPI	300DPI で印刷する	「高速に印刷する」参照
	600DPI	600DPI で印刷する	「きれいに印刷する」参照
用紙サイズ	A3(297 x 420mm)	A3 サイズの用紙に印刷する	「用紙の設定」参照
	A4(210 x 297mm)	A4 サイズの用紙に印刷する	
	A5(148 x 210mm)	A5 サイズの用紙に印刷する	
	B4(257 x 364mm)	B4 サイズの用紙に印刷する	
	B5(182 x 257mm)	B5 サイズの用紙に印刷する	
	Letter(8.5 x 11インチ)	レターサイズの用紙に印刷する	
	Legal(8.5 x 14インチ)	リーガルサイズの用紙に印刷する	
	はがき(100 x 148mm) (*1)	はがきに印刷する	
User Defined Size (*1)	不定形の用紙に印刷する 幅：100 ~ 297mm 長さ：148 ~ 420mm		
給紙方法	給紙カセット1	1 段目の給紙カセットから給紙する	
	給紙カセット2	2 段目の給紙カセットから給紙する	
	給紙カセット3	3 段目の給紙カセットから給紙する	
	自動給紙	指定の用紙サイズと一致した用紙が入っている給紙口を自動的に選択して印刷する	
	手差し	給紙トレイから給紙する	
印刷の向き	縦	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する（ポートレイト）	
	横	用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する（ランドスケープ）	
両面印刷 (*2)	なし	片面で印刷する	「両面印刷をする」参照
	長辺とじ	用紙の長い辺でとじるように両面印刷する	
	短辺とじ	用紙の短い辺でとじるように両面印刷する	

*1：給紙方法で手差しを選択したときのみ、設定が可能です。

*2：両面印刷対応プリンタのみ、設定が可能です。

設定項目	設定内容	説明	備考	
オプション	ディザリング	なし	ディザパターンによる階調づけをしない	「きれいに印刷する」参照
		粗	粗いパターンで階調をつける	
		密	細かいパターンで階調をつける	
		ラインアート	黒・白・グレイの間にはっきりとした境界線があるイメージを印刷する	
User Defined Size	幅	不定形の用紙の幅を mm 単位で設定する (100 ~ 297mm)	「用紙の設定」参照	
	高さ	不定形の用紙の高さ (長さ) を mm 単位で設定する (148 ~ 420mm)		
縮小	100%(縮小しない)	縮小せずに印刷する		
	80%(A3 B4, B4 A4, A4 B5, B5 A5)	80% 縮小して印刷する		
	70%(A3 A4, B4 B5, A4 A5)	70% 縮小して印刷する		
用紙種類 (*3)	普通紙	普通紙に印刷する		
	厚紙	厚紙に印刷する		
	OHP フィルム	OHP フィルムに印刷する		
スムージング		文字や図形のギザギザ (ジャギー) を滑らかに印刷する	「きれいに印刷する」参照	
トナーセーブ		トナーの消費量を節約する	「オプション機能を設定する」参照	
両面印刷設定 (*2)	とじしろ量	表	両面印刷時の表面ページのとじしろ量を、mm 単位で設定する (0 ~ 30mm)	「両面印刷をする」参照
		裏	両面印刷時の裏面ページのとじしろ量を、mm 単位で設定する (0 ~ 30mm)	
	とじしろ位置	左または上	両面印刷時のとじしろ位置を、左または上に設定する	
		右または下	両面印刷時のとじしろ位置を、右または下に設定する	
	白紙ページ印刷		両面印刷時に白紙ページを印刷する	

*2 : 両面印刷対応プリンタのみ、設定が可能です。

*3 : 用紙種類指定対応プリンタで、給紙方法を「手差し」にしたときのみ、設定が可能です。(用紙サイズが「はがき」のときは、「厚紙」に限定されます。)

付 録

Printianavi から通知されるエラーメッセージとステータスの一覧、および問題が発生した場合の対処方法（トラブルシューティング）について示します。

XL ドライバディスクの作成	132
NetWare 環境での印刷設定	133
メッセージ一覧	139
プリンター一覧 (Printianavi マネージャ).....	139
プリンタステータス (Printianavi マネージャ、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ、 Printia XL ドライバ).....	141
Printianavi によるメッセージ表示一覧	146
ネットワーク用語の解説	156
Printianavi トラブルシューティング	158

XL ドライバディスクの作成

ドライバディスクを作成するときは、次の手順で行ってください。

■ 準 備

次のものを用意してください。

- ・フォーマット済みのフロッピーディスク（2HD 1.44MB）...2枚
- ・圧縮データダウンロード用ディレクトリ（C:¥Temp など）
- ・CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」

また、ドライバディスクを作成するパソコンに、Webブラウザがあらかじめインストールされている必要があります。

Webブラウザがお使いになれない場合は、CD-ROMに収められているファイルを手作業でコピーしてください。方法についての詳細は、CD-ROMの「Update」フォルダに収められたテキストファイル（Readme.txt）をお読みください。

■ 手 順



1 CD-ROMをセットする
インストーラが自動的に起動します。

2 [ソフトウェアライブラリ]をクリックする

Webブラウザが起動し、ソフトウェアライブラリの画面が表示されます。

[プリンタドライバ]から作成するプリンタドライバをクリックし、画面の説明に従ってください。

NetWare 環境での印刷設定

ここでは、NetWare 環境から印刷するための手順の概要を説明します。詳細については、プリンタ添付の CD-ROM に収められているソフトウェアマニュアルをお読みください。

お願い

NetWare 環境でご使用になれるのは、NetWare 対応 XL プリンタのみです。

NetWare 機能をサポートしていないプリンタは、NetWare 環境ではご使用になれませんのでご注意ください。

準備

NetWare 環境の印刷設定を行うためには、以下の環境が必要です。

- ・Windows 98/95 および Novell NetWare (Workstation Shell 4.0 and above [VLM])
- ・Windows 98/95 および Novell NetWare Client 32

また、IPX/SPX 互換プロトコル、NetWare クライアントサービスをあらかじめ組み込んでおく必要があります。

手順

1 ネットワーク設定ユーティリティを管理者のパソコンにインストールする

インストール方法は、ソフトウェアマニュアル「第 7 章 Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ」を参照してください。

2 NetWare 環境で印刷するための設定を行います。

詳細は、ソフトウェアマニュアル「第 8 章 NetWare 印刷の設定」を参照してください。

■ プリンタ LAN ポートの NetWare 動作環境設定 (管理者のみ)

- 1 プリンタ添付の CD-ROM から、*Printianavi* ネットワーク設定ユーティリティをインストールする
- 2 *NetWare* サーバにスーパーバイザでログインする
- 3 ネットワーク設定ユーティリティを起動する
- 4 プリンタの一覧から環境設定を行うプリンタを選択する
- 5 *NetWare* プロトコルの設定を選択する
- 6 設定を行う

画面に従って、マシン名、パケット形式、動作モード、動作モード別の詳細設定、*NetWare* ポート名を設定し、設定内容をプリンタに反映して終了します。



手順 4 でプリンタの一覧に該当するプリンタが表示されない場合は、プリンタのオペレータパネルで *NetWare* プロトコルが有効に設定されているか確認してください。 *NetWare* プロトコルが無効となっている場合には、有効に変更します。

■ NetWare プロトコルの設定項目（管理者のみ）

- マシン名 プリントサーバモード時のプリントサーバ名として使用します。
- パケット形式 802.2が初期値です。NetWareサーバが認識できるパケット形式を選択します。
- 動作モード リモートプリンタモードとプリントサーバモードを選択します。
リモートプリンタモードでは、ネットワーク内に対応するNetWareのプリントサーバが起動している必要があります。
プリントサーバモードでは、プリンタ自身がNetWareのプリントサーバとして動作するため、専用のプリントサーバを起動する必要はありません。ただし、NetWareファイルサーバに1ユーザとしてログインします。
リモートプリンタモードでは最大8台のプリントサーバに接続して、最大8個のプリントキューを処理することができます。プリントサーバモードでは最大8台のファイルサーバに接続して、最大32個のプリントキューを処理することができます。
- リモートプリンタ詳細 最大8台までのプリントサーバ名の登録とジョブタイムアウト時間を設定します。
- プリントサーバ詳細 最大8台までのファイルサーバ名の登録と、ファイルサーバにログインする際に必要となるパスワードの設定、およびジョブポーリング間隔を指定します。
- NetWare ポート名 PCONSOLEの「プリントサーバ情報」の「プリンタの構成」に使用する名前です。



マシン名、プリントサーバ名、ファイルサーバ名、パスワード、NetWareポート名に使用できる文字は31文字以内の半角英数字です。

■ NetWare サーバ側の設定（管理者のみ）

▶ お問い合わせ

NetWare4.1J (IntranetWare) 上で使用する場合、次の点に注意して設定を行ってください。

- ・ プリントサーバモードで使用するとき
サーバにバインダリモードでログインして設定します。
また、NetWare4.1Jのユーザに対してキューを公開する場合は、サーバにNDSモードでログイン後、キューユーザを追加してください。
- ・ リモートプリンタモードで使用するとき
サーバにNDSモードでログインして設定してください。

▶ 設定の手順

- 1 NetWare サーバにスーパーバイザでログインし、
PCONSOLE コマンドを実行する
- 2 「利用可能な項目」から「プリントキュー情報」を選択する
- 3 「プリントキュー情報」で〔Insert〕キーを押し、任意のプリントキュー名を追加する
- 4 〔Esc〕キーを押し「利用可能な項目」に戻り、「プリントサーバ情報」を選択する
- 5 「プリントサーバ」で〔Insert〕キーを押し新プリントサーバ名を入力する
リモートプリンタモードの場合は、任意のプリントサーバ名を、プリントサーバモードの場合はプリンタ LAN ポートに設定したマシン名を入力します。
- 6 手順5で作成したプリントサーバを選択し、「プリントサーバ情報」の「プリントサーバ構成」を選択する
- 7 「プリントサーバ構成メニュー」から「プリンタの構成」を選択すると表示される「構成完了プリンタ」から「インストールされていません0」を選択する
「プリンタ0の構成」へ移行します。

- 8 「プリンタ0の構成」画面の「名前：」に、プリンタLANポートに設定した NetWare ポート名を入力する
- 9 「タイプ：」を選択し、「プリンタタイプ」に移行し、プリンタタイプで「リモートプリンタ、LPT1」を選択する
- 10 [Esc] キーを押して、設定を保存する
- 11 「プリントサーバ情報」に戻り、「プリントサーバ構成」、「プリンタでサービスされているキュー」を順に選択して「定義済みのプリンタ」へ移行し、「プリンタ0の構成」で設定したプリンタポート名を選択する
- 12 サービスキューリストで [Insert] キーを押して、「使用可能キュー」の中から「プリントキュー情報」で設定したキュー名を選択する
- 13 PCONSOLE を終了する
- 14 リモートプリンタモードのときは、PCONSOLE の設定を有効にするため、NetWare のプリントサーバを再起動する
- 15 すべての設定作業が終わったら、プリンタ本体の電源を再投入する

■ クライアントから印刷できるようにするための設定

1 仮の印刷先ポートを指定してプリンタドライバをインストールする

「第2章 プリンタドライバのインストール」(29ページ)を参照してください。

印刷先は適当なポート(ローカルポート:LPT1など)を選択してください。

▶ お願ひ

ここでは、実際に接続されていないポートを仮の印刷先として指定します。テストページ等の印刷は行わないください。

2 印刷先ポートの変更を行う

詳細は、「印刷先ポートの追加と変更」(57、61ページ)と「サーバ経由で印刷するとき」(58、62ページ)(Windows 3.1は「Windows 3.1のとき」(64ページ))を参照してください。

メッセージ一覧

▼ プリンター一覧 (Printianavi マネージャ)



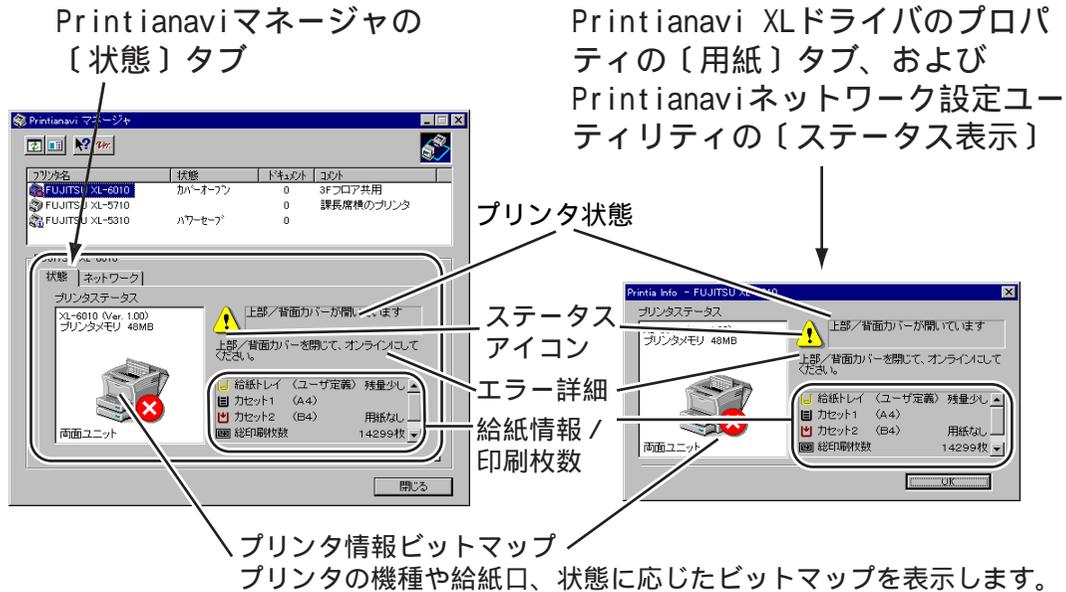
Printianavi マネージャの
〔プリンター一覧〕

表示内容	意味	アイコン	備考
(空白)	プリンタは正常状態です。		
印刷中	印刷中です。		
停止中	プリンタが一時停止状態となっています。		
他で使用	プリンタが他のコンピュータより使用されています。		
セットアップ中	プリンタがセットアップ中です。		
プリンタ空き待ち	プリンタが他のコンピュータより使用されており、その終了を待ち合せています。	情報あり	
ウォームアップ	プリンタのウォームアップ完了を待ち合せています。		
パワーセーブ	プリンタがパワーセーブ状態です。		
印刷設定中	プリンタが印刷設定中です。		
トナー少	トナーが残り少なくなっています。		
印刷中 (トナー少)	印刷中かつトナーが残り少なくなった状態です。		
		警告あり	

表示内容	意味	アイコン	備考		
オフライン	プリンタがオフライン状態です。		プリンタとの通信が不可能な場合は表示されません。		
用紙なし	プリンタの用紙がありません。				
カセットなし	プリンタのカセットがセットされていません。				
カバーオープン	プリンタがカバーオープン状態です。				
ユニット確認	プリンタの給紙トレイ、両面ユニット、または定着器が外れています。				
用紙交換	プリンタの用紙を交換してください。				
用紙サイズエラー	プリンタの用紙サイズが違います。				
紙詰まり	プリンタが紙詰まり状態です。				
カートリッジなし	プリンタのプロセカートリッジが正しくセットされていません。				
トレイフル	プリンタの排紙トレイに用紙がたまっています。				
メモリ不足	プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えない状態です。		異常状態		
メモリオーバー	プリンタでメモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。				
プリンタリセット	プリンタがプリンタリセットエラー状態です。				
ハードエラー	プリンタがハードエラー状態です。				
通信エラー	プリンタとの通信が異常となりました。				
応答なし	プリンタからの応答がありません。				
エラー	その他のエラーが発生しています。				
(空白)	プリンタの情報を取得中です。				
				その他	

▼ プリンタステータス

(Printianavi マネージャ、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ、Printia XL ドライバ)



■ 給紙情報

給紙情報で表示されるアイコンは、次のとおりです。

アイコン (色)	説明
 (黒)	用紙が入っています。
 (黄色)	用紙が残り少なくなっています。用紙サイズの横に「残量少し」と表示されます。
 (暗い赤色)	用紙がありません。この給紙口から印刷を行う前に、用紙を補給してください。
 (暗い赤色)	用紙サイズが横に「用紙なし」と表示されます。給紙カセットが正しくセットされていません。給紙カセットにサポート外の用紙をセットしたときは「用紙サイズエラー」、給紙カセットが正しく装着されていないときは「カセットなし」と表示されます。(用紙サイズおよび用紙残量情報は表示されません。)
 (グレー)	プリンタからの情報をまだ取得していないか、取得に失敗したため、給紙情報が不明です。(用紙サイズおよび用紙残量情報は表示されません。)

また、次のプリンタ状態（エラー）の場合は、エラーが発生している給紙口情報の文字が暗い赤色で表示されます。

プリンタ状態	暗い赤色で表示される給紙口
給紙トレイが外れています	給紙トレイ
給紙カセットがセットされていません	カセットなしの給紙口すべて
給紙カセット×が正しくセットされていません	カセット×
給紙トレイの用紙サイズが違います	給紙トレイ
給紙カセット×の用紙サイズが違います	カセット×
給紙トレイの用紙がありません	給紙トレイ
給紙カセット×の用紙がありません	カセット×
給紙トレイで紙詰まりが発生しました	給紙トレイ
給紙カセット×で紙詰まりが発生しました	カセット×

ただし、これらはプリンタ状態の表示内容と同期しているため、給紙口のエラーが解除されないまま他のエラーが発生した場合は、給紙口情報の文字は黒色になります。（例えば、プリンタ状態が「給紙カセットがセットされていません」のとき、カセットをセットしないで上部/背面カバーを開くと、プリンタ状態は「上部/背面カバーが開いています」に変わり、同時に暗い赤色で表示された給紙情報の文字は黒色になります。）

■ ステータスアイコン / プリンタ状態 / エラー詳細

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 正常	オンライン	
	パワーセーブ中 ...	
	ウォームアップ中 ...	
	印刷中 ...	
	情報取得中 ...	しばらくおまちください。
	他で使用	プリンタ装置が他で使用です。
	情報設定中 .. (注 1)	しばらくおまちください。
	情報の設定が完了しました(注 1)	しばらくおまちください。
 トナー少 (黄色)	オンライン	トナーが残り少なくなりました。
	パワーセーブ中 ...	
	ウォームアップ中 ...	
	印刷中 ...	
 エラー、警告	プリンタからの応答がありません(注 2)	
	プリンタが印刷設定中です	
	上部カバーが開いています	上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	フロントカバーが開いています	フロントカバーを閉じて、オンラインにしてください。
	定着器カバーが開いています	定着器カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	上部 / 背面カバーが開いています	上部 / 背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	給紙トレイが外れています	給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。
	両面ユニットが外れています	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。
	定着器が外れています	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。
	排紙トレイが用紙でいっぱいです	排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。
	プリンタがオフラインとなっています	プリンタをオンラインにしてください。

注 1 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕タブで、設定を行ったときのみ表示されます。

注 2 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕タブでも表示されます。

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 エラー、警告	プリンタがリセットされました	プリンタをオンラインにしてください。
	リモート設定中です	しばらくおまちください。
	初期化中です	しばらくおまちください。
	プリンタメモリが不足しています	プリンタドライバの解像度を 300dpi に設定し直すか、A4 以下のサイズで再度印刷してください。
	プリンタメモリが不足しています	プリンタドライバの「テキストを高速印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。
	メモリオーバーが発生しました(ESC/Page)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。
	プリンタメモリが不足しています	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷で続行します。
	プリンタからの情報取得ができません(注 2)	環境を確認してください。
	システムエラーが発生しました(注 2)	(注 3)
	プリンタで異常が発生しました	プリンタの状態を確認してください。
	プリンタからの応答が異常です(注 4)	(注 3)
 用紙なし	指定した用紙がありません(用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。
	給紙カセット X に用紙がありません(用紙サイズ)	給紙カセット X に用紙を補給し、オンラインにしてください。
	給紙トレイに用紙がありません(用紙サイズ)	給紙トレイに用紙を補給してください。
 カセットエラー (暗い赤色)	給紙カセットがセットされていません	給紙カセットをセットしてください。
	給紙カセット x が正しくセットされていません	給紙カセット x をセットし直してください。
	用紙サイズが違います(用紙サイズ)	給紙カセット、また給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。

注 2 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕タブでも表示されます。

注 3 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕タブでは、エラー詳細に「エラー詳細：コード」の形式でエラーコードが表示されます。

注 4 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕タブでのみ表示されます。

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 カセット エラー (暗い赤色)	給紙カセット×の用紙サイズが違います(用紙サイズ)	給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインにしてください。
	給紙トレイの用紙サイズが違います(用紙サイズ)	給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。
 紙詰まり	給紙カセット×で紙詰まりが発生しました	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。
	給紙トレイで紙詰まりが発生しました	
	プリンタ内部で紙詰まりが発生しました	
	排紙部で紙詰まりが発生しました	
	両面ユニットで紙詰まりが発生しました	
 カートリッジエラー	プロセスカートリッジが正しくセットされていません	プロセスカートリッジをセットし直してください。
	 ハードエラー	ハードエラーが発生しました

▼ Printianavi によるメッセージ表示一覧

■ ステータス表示ウィンドウ

Printianaviの設定で「印刷中のステータスを表示する」を設定している場合、印刷中にプリンタの状態や印刷状況を表示します。

▶ 最小化時



アイコン	説明
	印刷中です。
	プリンタがウォームアップ状態です。
	プリンタがエラー状態です。
	プリンタのトナーが残り少なくなっているなど、その他の状態を示します。

▶ ポップアップ時



プリンタ情報ビットマップ

プリンタの機種や給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

ステータスアイコン	ステータス内容
 正常	[印刷中 ...]
	[印刷中 ...]
	両面印刷の指定は無効です。(プリンタメモリ不足)
	[印刷中 ...]
	両面印刷の指定は無効です。(両面ユニットなし)
	[印刷待ち]
	プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。
 トナー少 (黄色)	[ウォームアップ中 ...]
	プリンタがウォームアップ動作中です。しばらくお待ちください。
	[印刷の再開準備中 ...]
	印刷再開準備中です。しばらくお待ちください。
 トナー少 (黄色)	[印刷中 ... (トナーニアエンプティ)]
	トナーが残り少なくなりました。
	[印刷中 ... (トナーニアエンプティ)]
 トナー少 (黄色)	トナーが残り少なくなりました。
	両面印刷の指定は無効です。(プリンタメモリ不足)

ステータスアイコン	ステータス内容
 トナー少 (黄色)	[印刷中... (トナーニアンプティ)] トナーが残り少なくなりました。 両面印刷の指定は無効です。(両面ユニットなし) [ウォームアップ中... (トナーニアンプティ)] プリンタがウォームアップ動作中です。しばらくお待ちください。 トナーが残り少なくなりました。
 エラー、警告	[印刷設定中...] プリンタの設定スイッチが有効となっています。 [0300 オフライン] プリンタがオフラインとなっています。 プリンタをオンラインにしてください。
 用紙なし	[0301 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。 [0302 用紙なし] 給紙カセット×に用紙がありません。(用紙サイズ) 給紙カセット×に用紙を補給し、オンラインにしてください。 [0303 用紙なし] 給紙トレイに用紙がありません。(用紙サイズ) 給紙トレイに用紙を補給してください。
 カセットエラー、 (暗い赤色)	[0304 カセットなし] 給紙カセットがセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。
 エラー、警告	[0305 カバーオープン] 上部カバーが開いています。 上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。 [0306 カバーオープン] フロントカバーが開いています。 フロントカバーを閉じて、オンラインにしてください。 [0307 カバーオープン] 定着器カバーが開いています。 定着器カバーを閉じて、オンラインにしてください。

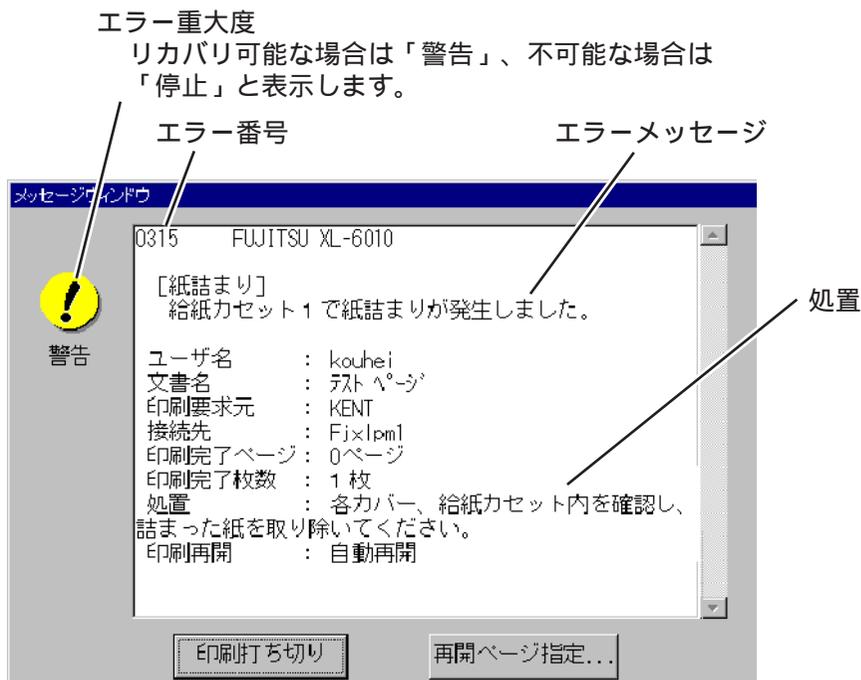
ステータスアイコン	ステータス内容
 カセット エラー (暗い赤色)	<p>[0309 用紙交換] 用紙サイズが違います。(用紙サイズ) 給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。</p> <p>[0310 用紙交換] 給紙カセット×の用紙サイズが違います。(用紙サイズ) 給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインにしてください。</p> <p>[0311 用紙交換] 給紙トレイの用紙サイズが違います。(用紙サイズ) 給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。</p> <p>[0312 用紙サイズエラー] 給紙カセット×が正しくセットされていません。 給紙カセット×を正しくセットし直してください。</p>
 紙詰まり	<p>[0314 紙詰まり] 排紙部で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p> <p>[0315 紙詰まり] 給紙カセット×で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p> <p>[0316 紙詰まり] 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p> <p>[0317 紙詰まり] プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p> <p>[0318 紙詰まり] 両面ユニットで紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>

ステータスアイコン	ステータス内容
 カートリッジエラー	<p>[0319 カートリッジなし] プロセскарートリッジが正しくセットされていません。 プロセскарートリッジをセットし直してください。</p>
 エラー、警告	<p>[0320 トレイフル] 排紙トレイが用紙でいっぱいです。 排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。</p>
	<p>[0330 ユニット確認] 給紙トレイが外れています。 給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。</p>
	<p>[0331 ユニット確認] 両面ユニットが外れています。 プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。</p>
	<p>[0332 ユニット確認] 定着器が外れています。 プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。</p>
	<p>[0351 メモリオーバー] メモリオーバーが発生しました。(ESC/Page) プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。</p>
	<p>[0353 メモリ不足] プリンタメモリが不足しています。 プリンタドライバの解像度を 300dpi に設定し直すか、A4 以下のサイズで再度印刷してください。</p>
	<p>[0354 メモリ不足] プリンタメモリが不足しています。 プリンタドライバの「テキストを高速印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。</p>
	<p>[0356 メモリ不足] プリンタメモリが不足しています。 プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷で続行します。</p>
	<p>[0371 プリンタリセット] プリンタがリセットされました。 プリンタをオンラインにしてください。</p>

ステータスアイコン	ステータス内容
 エラー、警告	[0373 プリンタリセット] プリンタが初期化中です。 プリンタの初期化終了後、印刷が開始されます。
	[0390 プリンタ異常] プリンタで異常が発生しました。 プリンタの状態を確認してください。
	[0405 カバーオープン] 上部/背面カバーが開いています。 上部/背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	[XXXX 通信エラー] プリンタとの通信が異常となりました。 プリンタの電源を投入し直してください。
	[1500 応答なし] プリンタからの応答がありません。 プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。
 ハード エラー	[XXXX ハードエラー] ハードエラーが発生しました。 プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。
 エラー、警告	[1900 メモリ不足] メモリ不足が発生しました。 プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。
	[XXXX システムエラー] システムエラーが発生しました。 いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。

■ エラーメッセージ

Printianaviの設定で「エラー時にメッセージを通知する」を設定している場合、印刷中にエラーが発生したときにエラーメッセージを表示します。



以降のメッセージ一覧表中の自動再開欄の記号は、次の意味を示します。

- プリンタの操作でエラーが解除されると、印刷を自動的に再開します。
- プリンタのセットアップ項目の「環境設定」の「データ保証」が「設定」になっているときは、印刷を自動的に再開します。それ以外の場合は、印刷開始前にエラーを検出した場合のみ印刷を自動的に再開し、印刷中にエラーを検出した場合は、印刷を打ち切ります。
- 印刷開始前にエラーを検出した場合は、印刷を自動的に再開します。
印刷中にエラーを検出した場合は、印刷を打ち切ります。
- × 印刷を再開しません。(印刷打ち切り)

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0300	オフライン	〔オフライン〕 プリンタがオフラインとなっています。	プリンタをオンラインにしてください。	
0301	用紙なし	〔用紙なし〕 指定した用紙がありません。 (用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。	
0302	用紙なし	〔用紙なし〕 給紙カセット×に用紙がありません。(用紙サイズ)	給紙カセット×に用紙を補給し、オンラインにしてください。	
0303	用紙なし	〔用紙なし〕 給紙トレイに用紙がありません。 (用紙サイズ)	給紙トレイに用紙を補給してください。	
0304	カセットなし	〔カセットなし〕 給紙カセットがセットされていません。	給紙カセットをセットしてください。	
0305	カバーオープン	〔カバーオープン〕 上部カバーが開いています。	上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。	
0306	カバーオープン	〔カバーオープン〕 フロントカバーが開いています。	フロントカバーを閉じて、オンラインにしてください。	
0307	カバーオープン	〔カバーオープン〕 定着器カバーが開いています。	定着器カバーを閉じて、オンラインにしてください。	
0309	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 用紙サイズが違います。 (用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。	
0310	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 給紙カセット×の用紙サイズが違います。(用紙サイズ)	給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインにしてください。	
0311	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 給紙トレイの用紙サイズが違います。(用紙サイズ)	給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。	
0312	用紙サイズエラー	〔用紙サイズエラー〕 給紙カセット×が正しくセットされていません。	給紙カセット×をセットし直してください。	

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0314	紙詰まり	〔紙詰まり〕 排紙部で紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。	(注1)
0315	紙詰まり	〔紙詰まり〕 給紙カセット×で紙詰まりが発生しました。		
0316	紙詰まり	〔紙詰まり〕 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。		
0317	紙詰まり	〔紙詰まり〕 プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。		
0318	紙詰まり	〔紙詰まり〕 両面ユニットで紙詰まりが発生しました。		
0319	カートリッジなし	〔カートリッジなし〕 プロセスカートリッジが正しくセットされていません。	プロセスカートリッジをセットし直してください。	
0320	トレイフル	〔トレイフル〕 排紙トレイが用紙でいっぱいです。	排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。	
0330	ユニット確認	〔ユニット確認〕 給紙トレイが外れています。	給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。	
0331	ユニット確認	〔ユニット確認〕 両面ユニットが外れています。	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。	
0332	ユニット確認	〔ユニット確認〕 定着器が外れています。	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。	
0351	メモリオーバー	〔メモリオーバー〕 メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 (ESC/Page)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。	
0353	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。(解像度 600dpi)	プリンタドライバの解像度を 300 dpi に設定し直すか、A3、B4 用紙の場合は A4 縮小設定にして再度印刷してください。	
0354	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。(テキスト高速印刷)	プリンタドライバの「テキストを高速印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。	
0356	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。(両面印刷)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷で続行します。	

注 1: プリントサーバが Windows NT4.0 の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしているときのみ)

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0371	パネルリセット (注2)	〔プリンタリセット〕 プリンタがリセットされました。	プリンタをオンラインにしてください。	
0373	プリンタ ソフトリセット	〔プリンタリセット〕 プリンタが初期化中です。	プリンタの初期化終了後、印刷が開始されます。	
0390	プリンタ異常	〔プリンタ異常〕 プリンタで異常が発生しました。	プリンタの状態を確認してください。	(注1)
0405	カバーオープン	〔カバーオープン〕 上部/背面カバーが開いています。	上部/背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。	
0500	通信タイムアウト	〔通信エラー〕 プリンタとの通信が異常となりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	
0520	パラメータ長			
~	エラー			
0526				
0540	未定義コマンド			
0560	コマンド			
~	シーケンスエラー			
0567				
5500	ポートモニタ			
~	エラー			
5505				
1520	プロトコル異常			
1500	通信タイム アウト (電源断)	〔応答なし〕 プリンタからの応答がありません。	プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。プリンタの接続が正常な場合、プリンタ側のパネル操作で、双方向インタフェースが有効(バイセントロモード:設定)になっていることを確認してください。	(注1)
0700	エンジン異常	〔ハードエラー〕 ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	(注1)
~				
0705				
1900	メモリ不足 (パソコン側)	〔メモリ不足〕 メモリ不足が発生しました。	プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。	×
5900	システムエラー	〔システムエラー〕	いったん印刷を終了し、再度印刷	×
5901	(ポートモニタ)	システムエラーが発生しました。	を行ってください。	
上記以外	システムエラー	〔システムエラー〕 システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	

注1: プリントサーバがWindows NT4.0の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしているときのみ)

注2: プリンタリセットのタイミングによっては、通信エラーとなることがあります。印刷を中止したいときは、プリンタをオフラインにしてから、Printianaviのエラーメッセージ画面で「印刷打ち切り」を実行することをお勧めします。

ネットワーク用語の解説

■ SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol) とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器が SNMP をサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用の SNMP 管理マネージャソフトから、SNMP メッセージを使用することでその接続機器の設定情報である MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

・ SNMP メッセージ

SNMP によるエージェントの管理は以下の5種類のメッセージを使って行われます。

メッセージ種別	説 明	メッセージの送信方向	
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ	エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ	エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ	エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント	マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント	マネージャ

なお、本プリンタでは SetRequest はサポートしていません。

■ MIB

SNMP では、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータを MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) といいます。

本プリンタは MIB- II および PrinterMIB をサポートしています。プリンタに添付されている CD-ROM には PrinterMIB に対応した ASN.1 形式の「XLprtmb.my」が「MIB」ディレクトリに収録されています。これを SNMP 管理マネージャソフトにインストールして使用してください。

■ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IPアドレスの自動割り付けシステムです。クライアントがTCP/IP通信を行うときに、必要に応じてサーバからIPアドレスをもらい、通信終了後にはサーバにIPアドレスを戻します。IPアドレス設定ユーティリティはDHCPを利用してプリンタへのIPアドレス割り当てを実現しています。

■ BPP (Business Printer Protocol)

富士通独自の双方向ネットワークプリンタ通信プロトコル(TCP/IPを使用)です。

プリンタとの双方向通信によりPrintianaviのエラー通知やページリカバリ機能をサポートしているため、lpr印刷に比べて信頼性の高いシステムを構築できます。

■ lpr (Line Printer Remote)

TCP/IP標準の印刷制御プロトコルです。Windows NTでは、TCP/IP印刷サービスとして標準添付されています。

ただし、双方向通信はサポートしていないため、lpr印刷ではPrintianavi機能は使用できません。

■ RFC (Request For Comments)

インターネットの研究開発機関IETF (Internet Engineering Task Force) がとりまとめている文書群を指します。一般的にはTCP/IPの規格書として知られています。

Printianavi トラブルシューティング

双方向プリンティングシステム「Printianavi」、およびPrintia XLドライバを使用中に発生する問題の対処方法を示します。なお、以下の内容とともに、「Printia LASER プリンタユーティリティ V3.1」CD-ROM内のREADME.TXTもお読みください。

■ Windows 98/95 のプリンタポートから印刷できない

- ・プリンタケーブルが正しく接続されているか確認してください。プリンタ切り替え器やプリンタ増設カードをご利用の場合、プリンタとの双方向通信ができずに通信エラーが発生する場合があります。
- ・プリンタの電源を再投入してください。プリンタとの双方向通信が復旧することがあります。
- ・双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ（XL-2000W、XJシリーズなど）をインストールしている場合は、他のプリンタの「印刷先のポート」を「FILE:」に変更してください。
- ・〔スプールの設定〕ダイアログボックスで「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」設定にし、印刷してください。
〔スプールの設定〕ダイアログボックスは、次の手順で開きます。

1 〔スタート〕ボタンから、〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。

2 〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択し、〔詳細〕〔スプールの設定〕を順にクリックします。

- ・「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」に設定すると印刷でき、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」に設定すると印刷できないときは、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていない、あるいはポートドライバに不具合があると考えられます。

ECPプリンタポートが設定されている場合には、プリンタポートに変更します。

プリンタポートの変更は、次の手順で行います。

- 1 [スタート]ボタンから、[設定][コントロールパネル]の順で選択します。
- 2 [システム]をダブルクリックし、[システムのプロパティ]ダイアログボックスを開きます。
- 3 [デバイスマネージャ]をクリックし、[ポート(COM/LPT)]の[プリンタポート(LPT1)]をダブルクリックして[プリンタポートのプロパティ]ダイアログボックスを開きます。
- 4 [ドライバ][ドライバの更新]の順にクリックし、「すべてのデバイスを表示」を選択します。
- 5 [プリンタポート]をダブルクリックし、プリンタポートを変更します。
プリンタポートを変更しても状態が改善されないときは、モジュール「LPT.VXD」を別のバージョンのモジュールに変更する必要があります。(Windows 95)

Windows 98/95 で印刷できるが、Printianavi のメッセージが表示されない

- ・ Printia XL ドライバが正しく選択されているか確認してください。プリンタを「通常使うプリンタに設定」することをお勧めします。なお、アプリケーションによっては、以前使用したプリンタを記憶している場合がありますので、どのプリンタを選択しているか確認してください。
- ・〔スプールの設定〕で、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」が選択されていることを確認してください。（「Windows 98/95 のプリンタポートから印刷できない」を参照）
- ・プリンタのプロパティで「Printianavi を有効にする」が設定されていない場合、Printianavi のメッセージは表示しません。次の操作で「Printianavi を有効にする」を設定してください。

1 〔スタート〕ボタンから、〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。

2 〔ファイル〕メニューから、〔プロパティ〕を選択し、〔Printianavi〕をクリックします。

- ・ネットワーク環境で Printianavi をお使いになる場合は、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティを使用するすべてのパソコン（プリントサーバを含む）にインストールし、動作環境、および到着通知パネルの起動（クライアント）を設定する必要があります。詳しくは、ソフトウェアマニュアル「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」を参照してください。
- ・プリントサーバに Printianavi のメッセージが表示される場合は、クライアントの到着通知パネルをいったん終了し、再起動してください。クライアントの到着通知パネルを起動するときにプリントサーバが起動していなかったり、到着通知パネルを起動した後にプリントサーバを再起動したときにこのような現象が発生します。到着通知パネルを終了するときは、到着通知パネルを右クリックし、「到着通知パネルの終了」または「閉じる」を選択します。

■ Windows NT4.0 や Windows 98/95 以外の共有プリンタで Printianavi 機能を使いたい

Printianavi は、Windows NT4.0 および Windows 98/95 に対応しています。Windows NT4.0 より前のバージョン（3.51 など）や、IntranetWare、NetWare 4.1J / NetWare 3.12J では、Printianavi を使用することはできません。（共有プリンタとして利用することはできません。）

■ Windows NT3.51 のサーバ共有プリンタとして使用したいが、Windows NT3.51 用のプリンタドライバがない

Printia XL ドライバディスク V2.1 の Windows NT3.51 用のプリンタドライバを使用することができます。

プリンタが XL-6010 の場合は〔FUJITSU XL-6600〕を、XL-5710 の場合は〔FUJITSU XL-5700〕を、XL-5310 の場合は〔FUJITSU XL-5300〕を選択してください。

Printia XL ドライバディスク V2.1 の Windows NT3.51 用のドライバディスクは、ソフトウェアライブラリから作成できます。

ドライバディスクの作成方法については、「XL ドライバディスクの作成」を参照してください。

■ プリントサーバが Windows NT3.51、クライアントが Windows NT4.0 のときに、ネットワークインストールしたプリンタドライバで印刷できない

- ・プリントサーバとクライアントの Windows NT のバージョンが異なることが原因と考えられます。この環境で、〔ネットワークプリントサーバ〕を選択してインストールを行うと（47 ページ参照）、異なるバージョン用に作成されたドライバがコピーされてしまうことがあります。この場合は、インストールしたドライバを削除し、〔このコンピュータ〕を選択してプリンタドライバをインストールし直します。次に、〔ポートの追加〕で印刷先のポート名に〈共有プリンタ名〉を割り当てます。

具体的な操作は、次のとおりです。

4 [LPR 互換プリンタの追加] ダイアログボックスで、次の内容を入力します。

lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス：プリンタの IP アドレス
サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名： LP

入力が終わったら、[OK] をクリックします。



・プリンタの IP アドレスは、半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

(例：172.22.89.17 など)

・「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタ LAN カード XL-LN100 (XL-5300A オプション) の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

5 「利用可能なポート」で追加したポートがチェックされていることを確認して、[次へ] をクリックします。

その後、「第 2 章 プリンタドライバのインストール」の「Windows NT4.0 のとき」の手順 6 (47 ページ) 以降の操作を行ってプリンタドライバのインストールを終了します。ただし、テストページの印刷は行わないでください。

6 印刷データのスプール方法を変更します。

1 [スタート] から、[設定][プリンタ] の順で選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

2 [ファイル] メニューで [プロパティ] を選択します。

3 [スケジュール] をクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

7 双方向通信を無効にします。

[プロパティ] から [ポート] をクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずします。

スプール方法の変更が終わったら、[OK] をクリックします。

Windows NT3.51 の場合も、同様に設定を行います。ただし、次の点に注意してください。

• **アクセス権の設定**

Windows NT3.51のファイルシステムにNTFSを使用している場合、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります。

- 1 ファイルマネージャを起動し、「¥system_root¥system32 ¥spool¥PRINTERS」ディレクトリをクリックします。
- 2 [セキュリティ][アクセス権]の順に選択し、「EVERYONE」に対する権限を「フルコントロール」にします。

• **スプールの設定**

印刷データのスプール方法は、[スプール中にジョブを印刷する]のチェックをはずします。

- 1 プリントマネージャを起動し、LPR印刷のプリンタをクリックします。
- 2 [プリンタ]メニューから、[プリンタ情報]を選択します
- 3 「プリンタの作成」ダイアログで、[詳細]をクリックします。
- 4 [スプール中にジョブを印刷する]のチェックをはずして、[OK]をクリックします。

■ Windows NT4.0 で TCP/IP 印刷サービスを組み込んでプリンタ LAN カード経由の印刷を行うと、「通信エラー」や「プリンタポートの書き込みエラー」が発生する

TCP/IP 印刷サービス (LPR ポート) は、プリンタとの双方向通信に対応していないため、エラーが発生します。

このエラーを回避するには、〔プリンタのプロパティ〕ダイアログボックスの〔ポート〕で、「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。

〔ポート〕は、次の操作で表示します。

- 1 〔スタート〕ボタンから、〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。
- 2 〔ファイル〕メニューから、〔プロパティ〕を選択し、〔ポート〕をクリックします。

■ Windows NT4.0 で区切りページを指定すると、Printianavi のメッセージが表示されない

本プリンタは、Windows NT4.0 の区切りページファイル (*.sep) の印刷をサポートしていません。

また、Printianavi の機能が正常に動作しなくなるため、区切りページは使用しないでください。

■ TCP/IP 接続のネットワークプリンタに印刷できない Printianavi マネージャで「プリンタからの応答がありません」のメッセージが表示される

次の4点を確認してください。

- ・プリンタのネットワークケーブルが正しく接続されていますか。
- ・プリンタの電源を再投入してください。
- ・プリンタのネットワーク設定を確認してください。
(詳細は下の「プリンタのネットワーク設定の確認のしかた」参照)
- ・パソコンの印刷先ポートを確認してください。

ネットワークポートモニタの設定(ポートの詳細または構成)で正しいIPアドレスが設定されているか確認してください。また、オプション設定のポート番号とプリンタのポート番号1が一致しているか確認してください。

▶ プリンタのネットワーク設定の確認のしかた

プリンタのネットワーク設定は、次の手順でオペレータパネルから「メニュー印刷」(LANの印刷)を実行すると確認できます。

- 1 プリンタがオンライン状態であることを確認する
- 2 次の順序でオペレータパネルのスイッチを操作する
「オンライン」 「メニュー」 「▼」 「▶」
- 3 プリンタのディスプレイが次のように表示されていることを確認する

メニュー	インサツ
LAN	ノ インサツ

4 「メニュー」(設定)スイッチを押し、一覧の印刷を開始する

印刷を開始しない場合は、選択している給紙口に用紙がセットされていることを確認して、操作をやり直してください。

印刷結果を見て、次の内容を確認してください。

- ・TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
「無効」になっている場合は、オペレータパネルを操作して、TCP/IPを「有効」に設定してください。
- ・TCP/IP 動作状態コードは、「0」になっていますか。
 - 「1」のとき IPアドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容を確認してください。
 - 「2」のとき DHCPによりTCP/IP構成情報を取得中です。もう一度LANの設定内容を印刷し直してください。
 - 「3」以上のとき ... DHCPによるTCP/IP構成情報の取得で異常が発生しています。
DHCPサーバの設定を見直すか、プリンタのパネル操作で、DHCP自動取得を「解除」して、正しいIPアドレスやサブネットマスクを設定し直してください。
また、IPアドレス設定ユーティリティを使って、設定したIPアドレスは、プリンタの電源を切ると無効になります。
IPアドレス設定ユーティリティでIPアドレスを設定した場合は、プリンタの電源を切る前に必ず、DHCP自動取得を「無効」に変更してください。
- ・TCP/IP 設定の内容が正しいか確認してください。
TCP/IP設定の内容に誤りがある場合は、設定内容を変更してください。
- ・TCP/IP 設定の内容とパソコン側のネットワーク設定が一致しているか確認してください。

■ 旧バージョン・レベルとの混在運用について

本プリンタと旧Printianavi対応プリンタを混在運用する場合、添付ソフトウェアの組み合わせにより、動作に不具合が生じる可能性があります。各ソフトウェアのバージョンアップ/レベルアップについて説明します。

▶ XL-5800/5300

プリンタの添付ソフトウェア

- ・Printia LASER プリンタユーティリティ V1.1
- ・XL ドライバディスク V2.1 L12 または L13

ソフトウェアのバージョンアップについて

- ・Printia LASER プリンタユーティリティ V1.1

アンインストール後、本プリンタに添付されているPrintianaviネットワーク連携ユーティリティ V3.1 をインストールしてください。アンインストール作業は、Windows 起動後、一度も印刷動作を行っていない状態で行ってください。また、ソフトウェアのバージョンアップはサーバおよびクライアントパソコン双方で行い、バージョンを同一にしてください。

- ・XL ドライバディスク V2.1 L12 または L13

お使いのパソコンのプリンタフォルダに登録されている XL-5800/5300 をすべて削除してください。Windows を再起動後、最新版の XL ドライバディスク V2.1 から XL-5800/5300 をインストールして、Windows を再起動します。

最新版の XL ドライバディスク V2.1 は、本プリンタの添付 CD-ROM に収容されているソフトウェアライブラリからダウンロードできます。

▶ XL-5300A

プリンタの添付ソフトウェア

- ・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V2.1
- ・XL ドライバディスク V2.1 L20 以降

ソフトウェアのバージョンアップについて

- ・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V2.1
アンインストール後、本プリンタに添付されているPrintianavi ネットワーク連携ユーティリティ V3.1 をインストールしてください。アンインストール作業は、Windows 起動後、一度も印刷動作を行っていない状態で行ってください。また、ソフトウェアのバージョンアップはサーバおよびクライアントパソコン双方で行い、バージョンを同一にしてください。
- ・XL ドライバディスク V2.1 L20 以降
最新版のXL ドライバディスク V2.1 は、本プリンタの添付 CD-ROM に収容されているソフトウェアライブラリからダウンロードできます。最新ドライバにレベルアップして使用することをお勧めします。

▶ XL-5810/5510

プリンタの添付ソフトウェア

- ・Printianavi ネットワークポートモニタ V1.1
- ・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V2.1
- ・XL ドライバディスク V2.1 L20 以降

ソフトウェアのバージョンアップについて

- ・Printianavi ネットワークポートモニタ V1.1
Windows 起動後、一度も印刷動作を行っていない状態で、本プリンタに添付されているPrintianavi ネットワークポートモニタ V3.1 をインストールしてください。上書きインストールでバージョンアップします。



上書きインストールは、通常のインストールと同じ手順で行いますが、次の点に注意してください。

- ・Printianavi Network Portを印刷先に指定しているプリンタがある場合は、印刷先を別のポートに変更してください。
- ・Windows 起動後、何も印刷をしていない状態からPrintianavi ネットワークポートモニタをインストールしてください。

- ・ Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V2.1
アンインストール後、本プリンタに添付されている Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ V3.1 をインストールしてください。アンインストール作業は、Windows 起動後、一度も印刷動作を行っていない状態で行ってください。また、ソフトウェアのバージョンアップはサーバおよびクライアントパソコン双方で行い、バージョンを同一にしてください。
- ・ XL ドライバディスク V2.1 L20 以降
お使いのパソコンのプリンタフォルダに登録されている XL-5810/5510 をすべて削除してください。Windows を再起動後、XL ドライバディスク V3.1 の XL-5810/5510 をインストールして、Windows を再起動します。

▶ XL-5710/5310

・ プリンタの添付ソフトウェア

- ・ Printianavi マネージャ V3.1L10
- ・ XL ドライバディスク V3.1L10

・ ソフトウェアのレベルアップについて

最新レベルがインストールされていない場合は、すべて最新のレベルに更新してください。

- ・ Printianavi マネージャ V3.1L10
本プリンタに添付されている Printianavi マネージャ V3.1 の最新版を再インストールしてください。
- ・ XL ドライバディスク V3.1L10
お使いのパソコンのプリンタフォルダに登録されている XL-5710/5310 をすべて削除してください。
Windows を再起動後、XL ドライバディスクの V3.1 最新版の XL-5710/5310 をインストールして、Windows を再起動します。

■ 新しいバージョン / レベルのメッセージが表示される

お使いのパソコンに、古いバージョン / レベルのXL-5810/5510/5710/5310のいずれかがすでに登録されている場合、最新のプリンタドライバをインストールすると登録済みのXL-5810/5510/5710/5310のエラーメッセージ / ステータス表示ウィンドウに表示されるメッセージ内容は、本マニュアルに記載されている内容となります。(以前の表示と異なります。)

プリンタの動作や印刷結果への影響はありませんが、古いバージョン / レベルのプリンタドライバは最新のバージョン / レベルに更新することをおすすめします。

■ 古いバージョン / レベルのメッセージが表示される

お使いのパソコンに、本バージョン / レベルのXL-5810/5510/5710/5310のいずれかを登録後、古いバージョン / レベルのXL-5810/5510/5710/5310のいずれかを登録すると、エラーメッセージ / ステータス表示ウィンドウに表示されるメッセージ内容が本マニュアルと異なる(古いバージョン / レベルの表示になる)ことがあります。

プリンタの動作や印刷結果への影響はありませんが、このような場合には、いったんプリンタフォルダからすべての対象プリンタを削除した後、最新のPrintia XLドライバを使用して再インストールすることをお勧めします。

なお、本マニュアル(「メッセージ一覧」参照)と異なるメッセージは次のとおりです。

▶ ステータス表示ウィンドウ(印刷中にステータスを表示する(ポップアップ時))

ステータスアイコン	ステータス内容
	[0351 登録メモリオーバー] ESC/Page コマンド受信中に外字などの登録用メモリのメモリ不足が発生しました。プリンタのいずれかのスイッチを押してください。
エラー、警告	[0353 RAM 不足] プリンタRAMモジュール(オプション)が取り付けられていないため、指定した印刷が行えません。
	[0354 登録メモリ不足] 登録メモリのメモリ不足が発生しました。プリンタドライバの設定を見直してください。

▶ エラーメッセージ (エラー時にメッセージを通知する)

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0351	登録メモリアーバ-	〔登録メモリアーバ〕 ESC/Page コマンド受信中に外字などの登録用メモリのメモリ不足が発生しました。	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。	
0353	R A M不足	〔RAM 不足〕 プリンタRAM モジュール (オプション) が取り付けられていないため、指定した印刷が行えません。	プリンタドライバの解像度を 300 dpi に設定し直すか、A3、B4 用紙の場合は A4 縮小設定にして再度印刷してください。	
0354	登録メモリ不足	〔登録メモリ不足〕 登録メモリのメモリ不足が発生しました。	プリンタドライバの設定を見直してください。	

また、次の状態のときのプリンタ情報ビットマップの表示も異なります。(図は XL-5710 の場合)

状態	新しいバージョン / レベルの表示 ステータス表示ウィンドウ	古いバージョン / レベルの表示 ステータス表示ウィンドウ
----	-----------------------------------	----------------------------------

応答なし



インストールしたプリンタドライバの機種と印刷先の機種が異なっている場合

Printia
≡ LASER



索引～プリンタ編～

記号	J
136/LM 設定 95	JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表 177
1 バイト系ゼロ 94	JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表 180
2 バイト系ゼロ 94	JIS C6234-1983 の字体との違い ... 187
A	L
A3 ユニバーサル 6	LAN
ACK タイミング 102	ケーブルコネクタ 6
ANK 文字 91, 94	経由の接続 32
C	初期化 104
CR コード 91, 93, 96	設定 103
E	に接続するときの注意事項 33
EG モード設定 93	パソコンと LAN の両方に
EP モード設定 91	接続したときの留意事項 35
ESC/Page モード 9, 87, 93	LF コード 93
キャラクタコード一覧表 170	LM 位置設定 95
コマンド一覧表 164	
印刷可能領域 161	O
ESC/P モード 9, 87, 91	OHP フィルム 19
キャラクタコード一覧表 169	P
コマンド一覧表 162	PC-PR201 系プリンタとの違い 12
印刷可能領域 161	PC-PR201 モード 9, 87
Ethernet タイプ 103	キャラクタコード一覧表 174
F	コマンド一覧表 167
FF コード 93	JIS 漢字コードについてのご注意 183
H	印刷可能領域 161
HEX ダンプ印刷 101	PC モード設定 94
を行う操作 109	Printia XL ドライバ
I	印刷時の表示内容 71
INIT 受信 102	で印刷する 9
	印刷可能領域 161
	Printianavi
	使用時のネットワーク接続形態 34
	使用時の留意事項 34

T		エラー
TCP/IP 設定	103	コード
		メッセージが表示されたとき ...
A		
アフターサービス	188	
I		オ
移動		オプション
近くに移動する	65	カバー
イメージパターン	93	取り付け上のご注意
印刷		の取り付け
可能領域	161	品
指令	96	オフライン状態
設定	87	オンライン状態とオフライン状態を
品質が低下したとき	132	切り替える
部数を一時的に切り替える	76	オペレータパネル
Printia XL ドライバで印刷する	9	を操作する
いろいろな印刷のしかた	9	オンライン
エミュレーションモードで印刷する ...	9	状態
印刷方向	70, 87, 160	状態とオフライン状態を切り替える ...
スイッチ	8	スイッチ
を一時的に切り替える	73	ランプ
印字濃度調整	100	
インタフェース仕様	159	カ
ウ		改行コード
運搬		改ページコード
梱包して運搬する	68	書出し桁位置設定
エ		拡張給紙ユニット
液晶ディスプレイ	8	を取り付ける
Printia XL ドライバ印刷時の表示内容	71	を取り外す
通常時の表示内容	70	各国文字
エミュレーション設定	87	紙づまり
エミュレーションモード		になったとき
で印刷する	9	の主な原因
を切り替える	10	の取り除きかた
を使う上での留意事項	11	環境設定
		漢字書体
		漢字文字サイズ
		官製はがき

キ		サ	
キャラクタコード一覧	169	サイズ	
給紙		用紙のサイズ	18
位置	89, 91	サプライ用品	15
方法	18		
給紙カセット		シ	
(A3ユニバーサル)	6, 15	自動 CR & LF	96
に用紙をセットする	45	自動給紙	98
給紙口	70, 71, 88	縮小印刷	70, 78, 88
スイッチ	8	を一時的に切り替える	76
を一時的に切り替える	74	仕様	158
給紙トレイ	6, 7	基本仕様	158
印刷	99	状態表示	70, 71
サイズ	76, 78, 88	上部カバー	7
に用紙をセットする	42	消耗品	70, 71
番号	94		
強制印刷		ス	
をする	82	スムージング	97
を中断する	82	寸法	
を取り消す	83	プリンタの寸法	25
切り替えコマンドの使い方	11		
ク		セ	
グラフィックモード	96	セイコーエプソン	
		LP-8000S との違い	12
		VP-1000 との違い	11
コ		清掃	
交換		シールドガラスの清掃	62
プロセスカートリッジの交換	51	プリンタ外部の清掃	59
項目一覧		プリンタ内部の清掃	60
セットアップ項目一覧	110	設置	
コネクタピン配列	159	上のお願ひ	24
コピー枚数	76, 78, 89	手順	26
コマンド		設定	
でエミュレーションモードを		の変更手順	106
切り替える	10	選んだ項目に設定する操作	106
切り替えコマンドの使い方	11	数値を設定する操作	108

セットアップ

項目	86
項目一覧	110
の操作方法	106

接続

外部との接続	29
電源コードの接続	36
パソコンと接続するときの留意事項...	34
パソコンとの接続	30

ソ

操作

HEX ダンプ印刷を行う操作	109
選んだ項目に設定する操作	106
基本的な操作	106
数値を設定する操作	108
メニュー印刷やテスト印刷を行う操作.....	108

双方向プリンティングシステム

使用時のネットワーク接続形態	34
留意事項	34

タ

第一水準漢字一覧表	177
第二水準漢字一覧表	180
タイマー監視	99
タッチ音	98
縦余白設定	92, 96

チ

中止

印刷を中止する	81
---------------	----

ツ

通風口	6
-----------	---

テ

データ

なし印刷	98
保証	98
ランプ	8
テスト印刷	86
メニュー印刷やテスト印刷を 行う操作	108

電源

スイッチ	6
ランプ	8
を入れる	40
を切る	41
電源コード	
コネクタ	6
の接続	36

ト

動作モード	70
を切り替える	87
登録	105
特長	
プリンタの特長	5
トナーセーブ	97
補正	100

ハ

排紙

トレイ	6
部	6
排紙トレイ	
をセットする	50
排出スイッチ	8
バイセントロモード	101
はがき	
官製はがき	19

パソコン

インタフェース	70, 71
と LAN の両方に接続したときの 留意事項	35
と接続するときの留意事項	34
との接続	30
パワーセーブ時間	100

ヒ

ビジーディレイ	102
描画位置	71

フ

ブザー	98
復帰改行	93
復帰コード	91, 93, 96
普通紙推奨用紙	15
不定形サイズ	76, 78, 88
プリンタ	
の寸法	25
の特長	5
プリンタ RAM モジュール	13
を取り付ける	143
を取り外す	145
プリンタケーブル	14
コネクタ	6
プロセスカートリッジ	7, 15
の交換	51
の取り扱いと保管	58
を取り付ける	55
を取り外す	54
の回収サービス	15
プロトコル	103

ホ

ポート 1 設定	101
ポート切替時間	100
保守モード	105
補助機能設定	100

ミ

未印刷データ を強制的に印刷する	82
右マージン位置	91

メ

メッセージランプ	8
メニュー印刷	86
設定モード	76
設定モードの操作方法	77
やテスト印刷を行う操作	108
メニュースイッチ	8
メモリアーオーバー解除	94
メモリ不足解除	99

モ

文字コード	89, 91
-------------	--------

ヨ

用紙	
位置設定	95
関係	160
のサイズ	18
の保管上のご注意	21
給紙カセットに用紙をセットする .	45
給紙トレイに用紙をセットする	42
使用できない用紙	20
使用できる用紙	18
用紙サイズ	70, 71
を一時的に切り替える	76
横余白設定	92, 97

ラ

ラベル紙	19
------------	----

リ

リセット

スイッチ	8
プリンタをリセットする	81
リリースボタン	6

レ

レーザープリンタ置台	15
------------------	----

索引～ソフトウェア編～

A		P	
Acrobat Reader 3.0J	14	Plug & Play によるインストール	35
B		Windows 95	41
BPP	157	Windows 98	36
Business Printer Protocol	157	Printia XL ドライバ	9
C		Printianavi	6
CD-ROM の内容	16	インストーラ	17
D		トラブルシューティング	158
DHCP	157	によるメッセージ表示一覧	146
F		ネットワーク設定ユーティリティ ...	12
FUJITSU XL-xxxx ダイアログボックス ...	87	ネットワークポートモニタ	9
L		ネットワーク連携ユーティリティ ...	10
LAN 接続		の設定	107
の印刷設定	24	の特長	7
の手順	20	を有効にする	107
lpr	157	Printianavi マネージャ	10
M		R	
MIB	156	Request For Comments	157
N		RFC	157
N-up 印刷	94	S	
NetWare		SNMP	156
環境での印刷設定	133	T	
サーバ側の設定	136	TCP/IP	
対応 XL プリンタ	4	接続の手順	20
プロトコルの設定項目	135	を使用する	111

W

Windows 3.1	
の設定画面	87
の設定項目一覧	129
新しいドライバに置き換えるとき .	66
印刷先ポートの追加と変更	64
プリンタドライバのインストール .	51
Windows 95	
の設定項目一覧	117
Plug & Play によるインストール ..	41
新しいドライバに置き換えるとき .	65
アプリケーションソフトからの	
設定画面	76
印刷先ポートの追加と変更	57
インストール	30
スタートからの設定画面	78
設定画面	76
通常のインストール	30
ネットワークインストール	70
プリンタ設定のプロパティ	76
プリンタのプロパティ	78
プリンタを共有する	54
Windows 98	
の設定項目一覧	117
Plug & Play によるインストール ..	36
新しいドライバに置き換えるとき .	65
アプリケーションソフトからの	
設定画面	76
印刷先ポートの追加と変更	57
インストール	30
スタートからの設定画面	78
設定画面	76
通常のインストール	30
ネットワークインストール	70
プリンタ設定のプロパティ	76
プリンタのプロパティ	78
プリンタを共有する	54

Windows NT4.0

の設定項目一覧	123
新しいドライバに置き換えるとき .	66
アプリケーションソフトからの	
設定画面	80
印刷先ポートの追加と変更	61
スタートからの設定画面	82
設定画面	80
代替ドライバのインストール	67
ドキュメントの既定値プロパティ .	82
ネットワークインストール	73
プリンタ設定のプロパティ	80
プリンタドライバのインストール .	46
プリンタのプロパティ	84
プリンタを共有する	56
プリントサーバーのプロパティ	86

X

XL ドライバディスクの作成	132
XL プリンタ	4

ア

アイコン表示	108
アクロバットリーダー	14
新しいドライバに置き換えるとき	
Windows 3.1	66
Windows 98/95	65
Windows NT4.0	66
アプリケーションソフト	
からの設定画面	76, 80
からのプリンタ設定の	
プロパティ	123

イ		オプション機能を設定する 114
イメージサイズの調整 92		
印刷		カ
終了のメッセージ通知 109		解像度 99, 103
する用紙サイズを固定する 96		かんたんバーコード Lite 13
中のステータスを表示する 108		キ
N-up 印刷 94		旧 Printianavi 対応プリンタ 4
高速に印刷する 103		給紙方法 93
データにあわせた用紙サイズで 印刷する 95		きれいに印刷する 99
データを決まった拡大率または 縮小率で印刷する 96		ク
テキストをグラフィックとして 印刷する 116		クライアント からの印刷設定 27
テキストを高速印刷する 104		コ
両面印刷をする 105		高速に印刷する 103
印刷先ポートの追加と変更		サ
Windows 98/95 57		サーバ側の設定
Windows 3.1 64		NetWare サーバ側の設定 136
Windows NT4.0 61		サーバで共有しない
インストール 30		LAN 接続 20
の概要 3		TCP/IP 接続 20
の手順と設定の概要 18		セントロ接続 19
Plug & Play によるインストール .. 35		サーバで共有する
Windows 3.1 51		LAN 接続 21
Windows NT4.0 46		TCP/IP 接続 21
通常のインストール 30		セントロ接続 19
ネットワークインストール 70		シ
エ		縮小 92
エラー時のメッセージ通知 110		出力用紙の選択 92
エラーメッセージ 152		初期表示モード 109
オ		ス
置き換え		スタートからの設定画面 78, 82
新しいドライバに置き換えるとき . 65		
オプション		
ダイアログ 88		

ステータス		ソフトウェアライブラリ	14
表示	111		
表示ウィンドウ	146		
スミージング	100		
		タ	
		ダイアログ	
		FUJITSU XL-xxxx ダイアログボックス	87
		オプションダイアログ	88
		両面印刷設定ダイアログ	89
		代替ドライバのインストール	67
		テ	
設定		データにあわせた用紙サイズで印刷する	95
LAN 接続の印刷設定	24	データを決めた拡大率または	
Printianavi の設定	107	縮小率で印刷する	96
オプション機能を設定する	114	ディザリング	101, 102
クライアントからの印刷設定	27	テキストをグラフィックとして印刷する .	116
セントロ接続の印刷設定	22	テキストを高速印刷する	104
プリンタ LAN ポートの TCP/IP			
動作環境設定	23		
プリンタ共有サーバとしての設定 .	26		
用紙の設定	90		
設定画面	76		
Windows 3.1	87		
Windows 95	76		
Windows 98	76		
Windows NT4.0	80		
アプリケーションソフトからの			
設定画面(Windows 98/95)	76		
アプリケーションソフトからの			
設定画面(Windows NT4.0).....	80		
スタートからの設定画面	78, 82		
設定項目一覧	117		
Windows 3.1	129		
Windows 98/95	117		
Windows NT4.0	123		
設定の詳細	90		
セントロ接続			
の印刷設定	22		
の手順	19		
		ト	
		ドキュメントの既定値プロパティ	82
		とじしろ	
		位置	106
		量	106
		トナーセーブする	114
		ドライバ	
		情報ダイアログ	114
		新しいドライバに置き換えるとき .	65
		トラブルシューティング	158
		ネ	
		ネットワークインストール	70
		Windows 95	70
		Windows 98	70
		Windows NT4.0	73
		ネットワーク設定ユーティリティ	12
		ネットワークポートモニタ	9
		ネットワーク用語の解説	156
		ネットワーク連携ユーティリティ	10
		ソ	
双方向プリンティングシステム	6		
ソフトウェアマニュアル	15		

- ノ**
- 濃度 101, 102
- ハ**
- バージョン
情報 113
- ハーフトーンカラー 101
の調整 102
- 白紙ページ
印刷 106
の扱い 106, 115
- ヒ**
- 標準の印刷 95
- フ**
- 複数ページのデータを1ページ内に
印刷する 97
- 部数 93
- プリンタ
ステータス 141
設定のプロパティ 76, 80
のプロパティ 78, 84, 126
を共有する 54
を共有する(Windows 98/95) ... 54
を共有する(Windows NT4.0) 56
- プリンタ LAN ポート
の機能概要 8
の NetWare 動作環境設定 134
の TCP/IP 動作環境設定 23
- プリンター一覧 139
- プリンタ共有サーバとしての設定 26
- プリンタドライバ
のインストール(Windows 3.1) .. 51
のインストール(Windows 98/95).. 30
のインストール(Windows NT4.0) .. 46
の情報を確認する 113
の設定でできる印刷例 95
- プリンタメモリ 104
- プリンティアナビ 6
- プリントサーバー
のプロパティ 86, 128
- フルページバンディングする 115
- プロトコル
NetWare プロトコルの設定項目 . 135
- プロパティ
ドキュメントの既定値プロパティ . 82
プリンタ設定のプロパティ 76, 80
プリンタのプロパティ ... 78, 84, 126
プリントサーバーのプロパティ . 86, 128
- ヘ**
- ページ配置 94
- ホ**
- ポップアップ表示 108
- メ**
- メッセージ一覧 139
- ヨ**
- 用紙サイズ 91
- 用紙種類 93
- 用紙種類指定対応プリンタ 4
- 用紙ダイアログ
にプリンタ状態を表示する 107
- 用紙の設定 90
- 用紙方向 92
- リ**
- 両面印刷 105
設定ダイアログ 89
対応プリンタ 4
をする 105
- レ**
- レイアウト枠を付ける 94

ページプリンタ XL-6010

取扱説明書

B1WY-4331-01-01

発行日 1999年8月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願いいたします。

本書は、改善のため予告なし変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU